

青梅市
高齢者に関する調査
報告書

平成 20 年 9 月

青梅市

目 次

第1章 調査の構成と概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	5
5. 報告書利用上の留意点	5
第2章 高齢者一般調査	7
1. 調査結果の概要	9
2. 本人について	14
3. 住居について	30
4. 日常生活やお付き合いについて	35
5. 介護保険などのサービスについて	47
6. 介護者について	71
7. 自由意見	85
第3章 在宅要介護・要支援認定者調査	87
1. 調査結果の概要	89
2. 本人について	94
3. 住居について	101
4. 健康について	105
5. 介護保険などのサービスについて	111
6. 介護者について	138
7. 自由意見	152
第4章 地域支援事業対象者調査	153
1. 調査結果の概要	155
2. 本人について	160
3. 住居について	176
4. 日常生活やお付き合いについて	181
5. 生活習慣改善について	192
6. 介護保険などのサービスについて	202
7. 介護者について	217
8. 自由意見	230

〔参考〕調査問比較・経年比較	231
1. 本人について	233
2. 住居について	242
3. 日常生活やお付き合いについて	245
4. 介護保険などのサービスについて	250
5. 介護者について	257

第 1 章 調査の構成と概要

1. 調査実施の目的

介護保険制度がスタートしてから7年が経ち、来年度には、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しが行われることとなっており、介護保険も含め高齢者保健福祉施策のより一層の充実を図るため、ご意見・ご要望などをお伺いするアンケート調査を実施した。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 高齢者一般調査	市内に住所のある満65歳以上の市民2,000名
2. 在宅要介護・要支援認定者調査	市内に住所のある要介護1～5の認定者800名、要支援1～2の認定者200名
3. 地域支援事業対象者調査	市内に住所のある特定高齢者(生活機能が低下し、要支援、要介護となるおそれがある高齢者)200名

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成20年3月

< 回収状況 >

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 高齢者一般調査	2,000件	1,431件	71.6%
2. 在宅要介護・要支援認定者調査	1,000件	583件	58.3%
3. 地域支援事業対象者調査	200件	144件	72.0%
合計	3,200件	2,158件	67.44%

・地区別回収状況

< 発送数 >

地区名	一般	認定者	地域支援事業者
青梅	245	148	19
長淵	329	170	18
大門	272	112	17
梅郷	194	92	41
沢井	89	52	17
小曾木	74	38	4
成木	51	31	7
東青梅	254	126	25
新町	156	70	12
河辺	213	105	30
今井	123	56	10
計	2,000	1,000	200

第1章 調査の構成と概要

< 回収数 >

地区名	一般	認定者	地域支援事業者
青梅	199	110	17
長淵	212	88	13
大門	176	64	8
梅郷	148	55	27
沢井	69	27	13
小曾木	48	20	4
成木	40	19	6
東青梅	164	72	19
新町	116	38	6
河辺	152	52	23
今井	85	29	6
記載なし	22	9	2
計	1,431	583	144

< 回収率 >

地区名	一般	認定者	地域支援事業者
青梅	81.2%	93.2%	89.5%
長淵	64.4%	63.3%	72.2%
大門	64.7%	72.7%	47.1%
梅郷	76.3%	70.5%	65.9%
沢井	77.5%	62.8%	76.5%
小曾木	64.9%	64.5%	100.0%
成木	78.4%	73.1%	85.7%
東青梅	64.6%	77.4%	76.0%
新町	74.4%	66.7%	50.0%
河辺	71.4%	64.2%	76.7%
今井	69.1%	63.0%	60.0%
記載なし			
計	71.6%	58.3%	72.0%

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 高齢者一般調査	1. 本人について 2. 住居について 3. 日常生活やお付き合いについて 4. 介護保険などのサービスについて 5. 介護者について 6. 自由意見
2. 在宅要介護・要支援認定者調査	1. 本人について 2. 住居について 3. 健康について 4. 介護保険などのサービスについて 5. 介護者について 6. 自由意見
3. 地域支援事業対象者調査	1. 本人について 2. 住居について 3. 日常生活やお付き合いについて 4. 生活習慣改善について 5. 介護保険などのサービスについて 6. 介護者について 7. 自由意見

5. 報告書利用上の留意点

・回答者数について

図表中の「n」は、各設問に対する回答者の総数であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

・図表の単位について

本報告書に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り「%」(回答率)をあらわしている。

また、回答率は小数第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならない場合がある。

・図表における選択枝等の記載について

図表の記載にあたっては、調査票の選択枝等の文言を一部簡略化している場合がある。

・グラフについて

複数回答のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択枝を回答率(%)の高いものから低いものへと並び換えて表示している場合がある。

第1章 調査の構成と概要

第 2 章 高齡者一般調査

1. 調査結果の概要

(1) 本人について

- ・現在の居住場所は、「自宅で生活している」が96.0%の大多数である。
- ・回答者は、「あて名のご本人」が89.2%の大多数である。
- ・居住地区は、「長淵地区」が14.8%で最も多く、以下、「青梅地区」(13.9%)、「大門地区」(12.3%)の順となっている。
- ・家族構成は、「夫婦二人暮らし(共に65歳以上)」が36.8%、「三人以上で64歳以下の方と同居」が31.4%となっている。
- ・同居者は、「配偶者」が71.3%で最も多く、以下、「子ども」(44.0%)、「孫」(13.3%)の順となっている。
- ・市内居住年数は、「20年以上」が83.8%で最多である。
- ・生活費は、「自分の年金や恩給」が70.6%で最も多く、以下、「配偶者の年金や恩給」(34.7%)、「自分で働いて得た収入」(19.3%)の順となっている。
- ・世帯年間収入額は、「200万円～300万円未満」が25.2%で最多である。
- ・医療、保健等の手帳については、「いずれも持っていない」が72.5%である。所持している手帳の種類別の割合は、「身体障害者手帳」が7.1%で最多である。
- ・健康のために心がけていることは、「できるだけ身体を動かす」が69.3%で最も多く、以下、「食事など、栄養のバランスに気をつける」(59.7%)、「休養や睡眠を十分とる」(52.8%)の順となっている。
- ・一人でできない動作については、「これらの動作はすべてできる」が77.1%である。一人でできない動作の中では、「歩く」が6.4%で最も多く、以下、「お風呂で体を洗う」(6.3%)、「浴槽に入る」(5.4%)の順となっている。
- ・継続的に治療している病気やけがは、「高血圧」が40.5%で最も多く、以下、「眼の病気」(17.2%)、「糖尿病」(10.1%)、「高脂血症」(10.1%)の順となっている。
- ・ここ3か月の健康状態は、「健康」が77.4%、「健康ではない」が21.9%である。
- ・1年前と比べた健康状態の変化は、「悪くなった」が26.1%、「良くなった」が9.1%である。
- ・かかりつけ医の有無は、「日ごろから健康状態の相談や診察をしてもらう医師がいる」が53.8%で最多である。
- ・日常生活に支障のある症状については、「ひざやひじなどの関節を動かすづらい」が22.6%で最も多く、以下、「ものが見えにくい」(13.8%)、「音が聞こえにくい」(10.2%)の順となっている。
- ・不安や悩みの相談相手は、「同居の家族」が61.3%で最も多く、以下、「医師」(31.1%)、「別居の子ども、親族など」(21.0%)の順となっている。
- ・利用している医療器具や医的処置については、「インシュリン注射」が1.3%で最も多く、以下、「ペースメーカー」(1.1%)、「尿管カテーテル」(0.4%)の順となっている。
- ・健康を維持していく上で困っていることについては、「気軽に参加できる、健康維持のための活動がない」が7.5%で最も多く、以下、「一緒に健康づくりをする仲間がいない」(7.0%)、「どこから情報を得れば良いかわからない」(6.1%)の順となっている。

第2章 高齢者一般調査

- ・心配される精神状態については、「不安な気持ちになる」が 22.2%で最も多く、以下、「やる気が起こらない」(16.0%)、「気分が落ち込む」(13.8%)の順となっている。
- ・現在、困っていることについては、「買い物に行けない」が 6.0%で最も多く、以下、「掃除ができない」(5.8%)、「外出できない」(5.7%)の順となっている。

(2) 住居について

- ・住居形態は、「一戸建て住宅(持ち家)」が 80.8%で最多である。
- ・現在の住居で困っていることについては、「老朽化している」が 12.2%で最も多く、以下、「交通の便が悪い」(8.6%)、「日当たりや風通しが悪い」(7.5%)の順となっている。
- ・手すりの取り付けがある場所については、「階段」が 44.3%で最も多く、以下、「トイレ」(21.5%)、「玄関」(9.6%)の順となっている。
- ・段差の解消がされている場所については、「部屋の入り口」が 9.3%で最も多く、以下、「浴室」(8.5%)、「玄関」(5.0%)の順となっている。
- ・住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が 50.0%で最多である。
- ・住宅改修の際、障害となることについては、「費用の都合がつかない」が 21.9%で最も多く、以下、「増改築などが構造的に無理である」(7.7%)、「どこに相談したら良いかわからない」(5.0%)の順となっている。

(3) 日常生活やお付き合いについて

- ・近所付き合いの程度は、「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」が 45.1%で最多である。
- ・友人や親戚との付き合いの頻度は、「ときどきある(月に1回~年に数回程度)」が 34.7%で最多である。
- ・外出頻度は、「1日1回以上」が 38.3%、「2~3日に1回程度」が 35.2%である。
- ・参加している地域活動は、「自治会活動」が 20.8%で最も多く、以下、「趣味・文化活動」(17.0%)、「高齢者クラブ」(13.2%)の順となっている。
- ・参加したい地域活動は、「趣味・文化活動」が 12.5%で最も多く、以下、「市民センター等で行なわれる諸行事」(7.4%)、「高齢者クラブ」(6.8%)の順となっている。
- ・生きがいを感じるものは、「趣味」が 52.4%で最も多く、以下、「旅行」(42.3%)、「家族とのだんらん」(40.7%)の順となっている。
- ・就労形態は、「自由業・自営業・家族従業」が 9.6%で最も多く、以下、「臨時・パートタイマー」(7.2%)、「正規職員・従業員」(2.9%)の順となっている。
- ・働いている理由は、「家計の維持・補助のため」が 51.7%で最も多く、以下、「健康に良いから」(47.5%)、「働くのが当たり前だから」(35.2%)の順となっている。
- ・今後の就労意向は、「仕事に就くことは考えていない」が 80.9%で最多である。
- ・就労しない理由は、「健康上の理由から」が 37.0%で最も多く、以下、「生活するのに困らないから」(32.5%)、「適当な就職口が見つからないから」(12.5%)の順となっている。
- ・情報入手先は、「テレビ」が 89.3%で最も多く、以下、「新聞(タウン誌を含む)」(72.5%)

「家族」(48.9%)の順となっている。

- ・福祉に配慮したまちづくりに不足していることは、「歩道等の段差の解消」が45.1%で最も多く、以下、「交通機関のバリアフリー化」(21.5%)、「公園、自治会館等のバリアフリー化」(15.5%)の順となっている。
- ・成年後見制度の周知度は、「知らない」が44.2%、「名前は聞いたことがある」が40.1%となっている。
- ・地域福祉権利擁護事業の周知度は、「知らない」が46.8%、「名前は聞いたことがある」が37.9%となっている。

(4) 介護保険などのサービスについて

- ・現在の要介護度は、「認定申請はしていない、または現在申請中である」が77.9%で最多である。
- ・認定結果に対する気持ちは、《納得している》が49.3%、《納得していない》が13.0%である。
- ・認定申請をしていない理由は、「現在は健康なので、認定を受ける必要がない」が86.4%で突出して多く、以下、「どんなサービスがあるのか、よくわからないから」(8.2%)、「現在、家族による介護で十分なため」(6.8%)の順となっている。
- ・介護保険料の負担については、「相互扶助による保険制度なので、支払うことは仕方がない」が32.7%で最多である。
- ・保険料と介護サービスのあり方については、「どちらともいえない」が48.4%で最多である。
- ・利用している居宅サービスは、「通所介護」が2.1%で最も多く、以下、「福祉用具の貸与」(1.7%)、「訪問介護」(1.3%)の順となっている。
- ・ケアマネジャーを選んだきっかけは、「地域包括支援センターに相談して紹介された」が19.6%、「市の窓口でもらった一覧から自分で選択した」が15.2%となっている。
- ・利用限度額に対する利用割合は、「上限いっぱい利用している」が21.7%で最多である。
- ・介護保険利用料の負担者は、「本人の負担」が63.0%で最多である。
- ・ケアプランの満足度は、《満足》が64.2%、《不満》が15.2%である。
- ・在宅サービスの満足度は、《満足》が59.8%、《不満》が12.0%である。
- ・居宅サービスを利用していない理由は、「今のところサービスを受ける必要がないから」が80.5%で突出して多く、以下、「自分で身の回りのことをするよう努力しているため」(17.1%)、「家族に介護してもらいたいため」(3.2%)の順となっている。
- ・介護保険サービスについて、「現在利用していないが、今後は利用したい」との回答は、『訪問介護』が34.7%で最も多く、以下、『訪問看護』(30.8%)、『住宅改修費の支給』(30.7%)、『福祉用具購入費の支給』(29.4%)と続き、2割強～3割台半ばの利用意向がみられる。
- ・サービスを増やしたくない理由は、「家族などが介護できるため」が27.1%で最も多く、以下、「費用が高くなるため」(18.2%)、「現状のサービスで十分だと思っているため」(7.6%)の順となっている。
- ・夜間対応型訪問介護の利用意向は、《利用したい》が47.5%、《利用したくない》が28.1%である。
- ・今後の希望介護形態は、「主に介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい」

が36.2%で最多である。

- ・利用したい施設については、「特別養護老人ホーム」が13.6%で最も多く、以下、「介護療養型医療施設」(11.2%)、「老人保健施設」(10.3%)の順となっている。
- ・施設などを利用したい理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」が51.7%で最も多く、以下、「専門的な介護やお世話が受けられるから」(45.2%)、「医療的な対応を受けられるから」(38.0%)の順となっている。
- ・介護予防の参加意向は、「筋力を向上させるための運動」が40.5%で最も多く、以下、「転倒を予防するための軽い体操」(36.8%)、「認知症を予防するための知的な活動」(33.5%)の順となっている。
- ・高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したことがある」割合は、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(7.0%)、『シルバー人材センター』(5.7%)で高く、その他の事業では5%に満たない。「知っているが利用していない」割合は、『老人(福祉)センター』(27.7%)、『シルバー人材センター』(31.2%)で3割前後と高い。「知らなかった」割合は、『家具転倒防止器具給付事業』(30.4%)、『生活管理指導短期宿泊事業』(30.1%)、『はいかい高齢者家族支援サービス』(31.1%)で3割を超えて高くなっている。
- ・高齢者福祉サービスを利用した感想は、利用者数が少ないため参考値になるが、「大いに役立っている」との回答が多くみられる傾向にある。「あまり役に立っていない」との回答は皆無か少数であり、その中では『配食サービス事業』(16.7%)、『家具転倒防止器具給付事業』(10.0%)で比較的高くなっている。
- ・高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したい」割合は、『緊急通報システム』(26.8%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(25.4%)、『火災安全システム』(24.5%)、『在宅介護支援センター』(24.0%)で比較的高くなっている。「利用したくない」割合は、『シルバー人材センター』(9.6%)、『小曾木保健福祉センター』(9.1%)、『沢井保健福祉センター』(8.9%)で1割弱みられる。

(5) 介護保険などのサービスについて

- ・介護者の就労状況は、「働いている」が28.6%、「働いたことがない」が20.3%となっている。
- ・介護者の健康状態は、「あてはまるものはない」が53.3%で最も多く、以下、「病気や障害を抱えている」(13.7%)、「病弱である」(5.5%)の順となっている。
- ・介護者と本人の距離は、「同居している」が68.7%で最多である。
- ・介護、見守りに費やす時間(日中)は、「日中の一部分」が41.8%で最も多く、以下、「日中の介護、見守りはない」(17.0%)、「日中のほとんど」(16.5%)の順となっている。
- ・介護、見守りに費やす時間(夜間)は、「夜間の介護、見守りはない」が37.9%で最も多く、以下、「夜間の一部分」(29.7%)、「夜間のほとんど」(5.5%)の順となっている。
- ・介護を手伝ってくれる家族は、「息子」が26.4%で最も多く、以下、「娘」(25.8%)、「配偶者」(23.1%)の順となっている。
- ・介護に際して感じるストレスは、「介護があるために、自分が好きなところに外出できない」が34.1%で最も多く、以下、「介護のために、自分のやりたいことができる時間が少なくなった」(33.0%)、「旅行などを楽しむことをあきらめなければならなかった」(31.9%)の順となっ

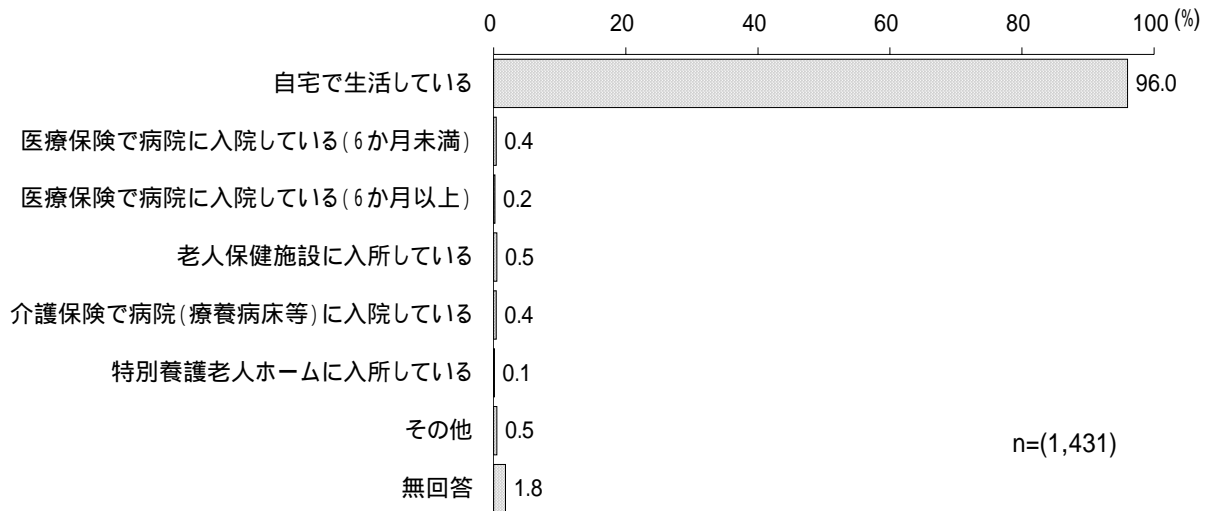
ている。

- ・介護の負担感が「とても高い」と「高い」を合わせた《高い》の割合は、『精神的負担感』で44.5%と高く、『身体的負担感』では32.4%、『経済的負担感』では24.7%となっている。
- ・介護者が困っていることは、「自分の時間がとれない」が25.3%で最も多く、以下、「食事の介護」(17.0%)、「夜に眠れない」(15.4%)の順となっている。
- ・介護者が自身に希望する介護形態は、「在宅で、家族の介護に加え、介護保険も利用しながら生活したい」が25.3%で最多である。
- ・将来、介護者を介護してくれる人の有無は、「いると思う」(33.5%)、「いないと思う」(21.4%)、「わからない」(24.2%)となっている。
- ・認知症の症状は、「同じことを何度も尋ねる」が20.3%で最も多く、以下、「少し前に何をしていたか思い出すことができない」(17.0%)、「感情が不安定になることがある」(17.0%)の順となっている。
- ・認知症を発症して受診するまでの期間は、「まだ受診していない」が35.4%で最多である。
- ・認知症に関して利用したいサービスは、「認知症を専門とする相談員などによる相談」が37.9%で最も多く、以下、「専門病院の紹介」(33.5%)、「認知症専門のデイサービス」(25.8%)の順となっている。
- ・家族以外で介護者を手伝ってくれる人については、「近隣、近所の人」が6.6%で最も多く、以下、「友人、知人」(3.8%)、「ボランティアの人」(1.6%)の順となっている。
- ・在宅生活を続けるために必要なことは、「緊急時の連絡ができ安心して生活できること」が47.3%で最も多く、以下、「介護に関する費用が増えないこと」(45.1%)、「必要な在宅サービスを必要なときに使えること」(40.7%)、「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」(40.7%)の順となっている。

2. 本人について

(1) 現在の居住場所

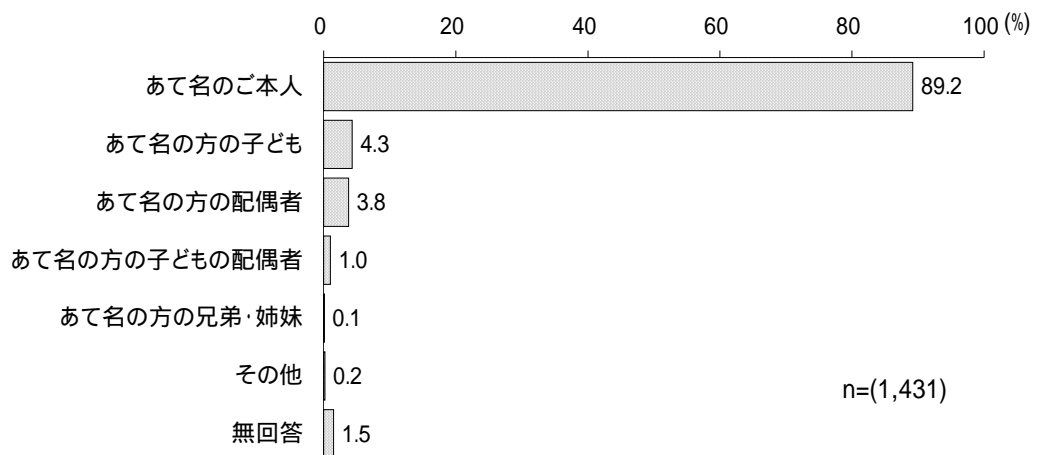
問1 あなた(あて名ご本人)は、現在どちらにいらっしゃいますか。(は1つ)



現在の居住場所は、「自宅で生活している」が96.0%の大多数である。

(2) 回答者

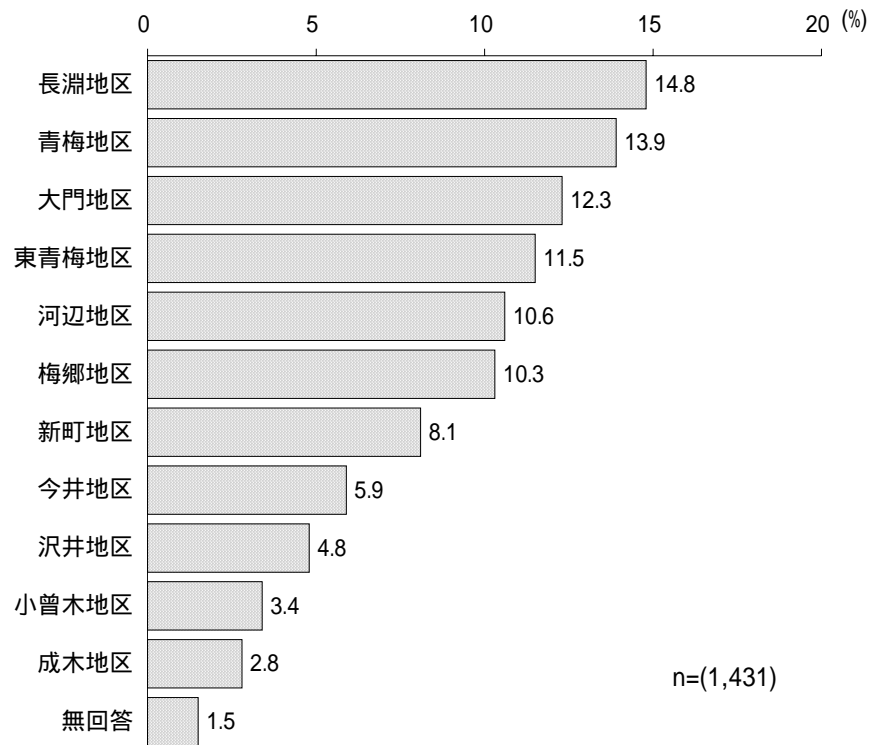
問2 この調査票に答えている方はどなたですか。(は1つ)



回答者は、「あて名のご本人」が89.2%の大多数である。

(3) 居住地区

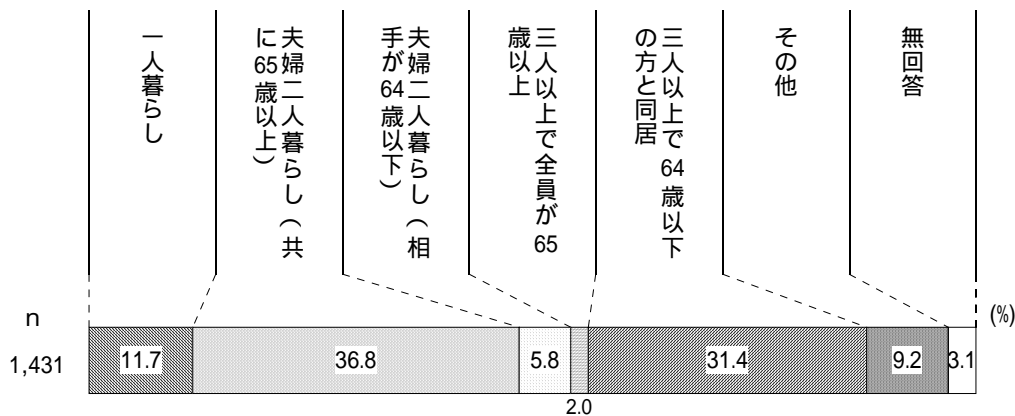
問3 あて名のご本人がお住まいの地区はどちらですか。(は1つ)



居住地区は、「長淵地区」が 14.8%で最も多く、以下、「青梅地区」(13.9%)、「大門地区」(12.3%)、「東青梅地区」(11.5%)、「河辺地区」(10.6%)、「梅郷地区」(10.3%)、「新町地区」(8.1%)、「今井地区」(5.9%)の順となっている。

(4) 家族構成

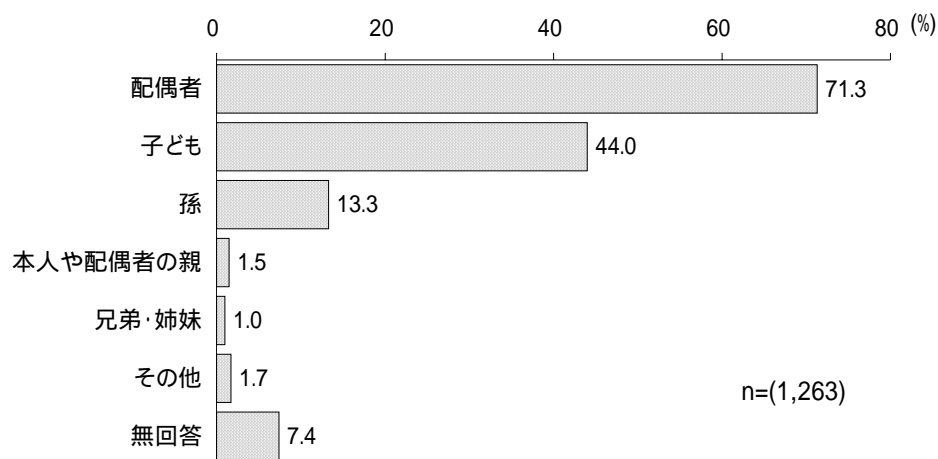
問4-1 あなた(あて名ご本人)の同居者(ご家族)の構成をお答えください。(は1つ)



家族構成は、「夫婦二人暮らし(共に65歳以上)」が36.8%で最も多く、以下、「三人以上で64歳以下の方と同居」(31.4%)、「一人暮らし」(11.7%)、「夫婦二人暮らし(相手が64歳以下)」(5.8%)、「三人以上で全員が65歳以上」(2.0%)の順となっている。

(5) 同居者

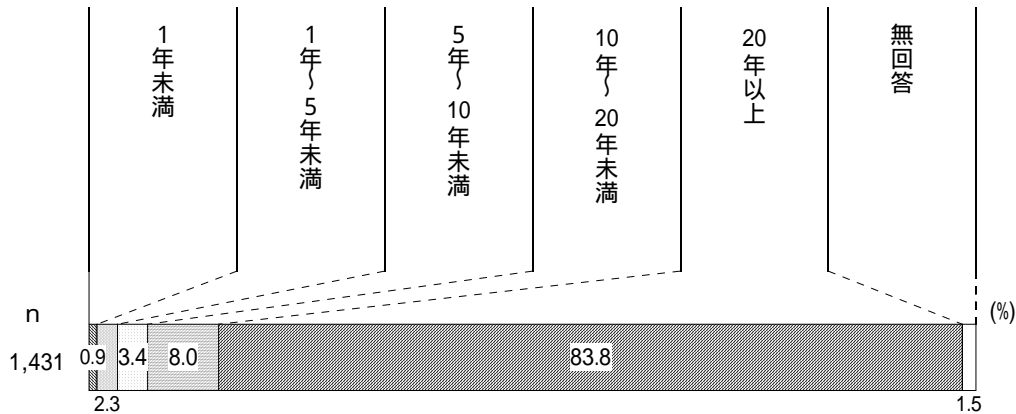
問4-2 (一人暮らし以外の方に)あなた(あて名ご本人)は、現在どなたと一緒に住まいますか。(あてはまるものすべてに)



同居者は、「配偶者」が71.3%で最も多く、以下、「子ども」(44.0%)、「孫」(13.3%)、「本人や配偶者の親」(1.5%)、「兄弟・姉妹」(1.0%)の順となっている。

(6) 市内居住年数

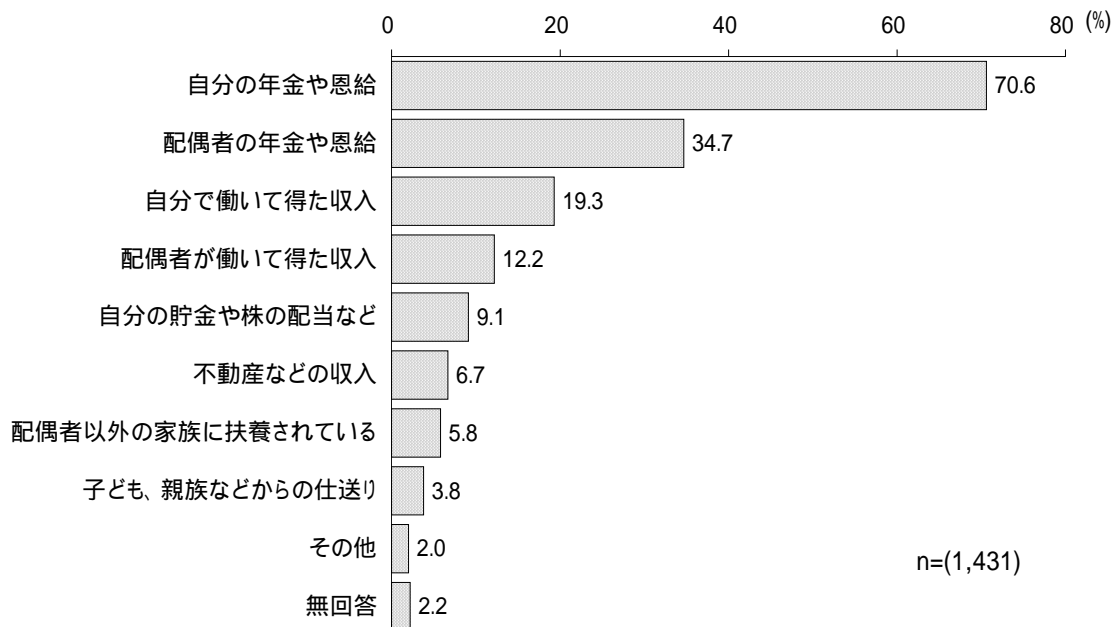
問5 あなた(あて名ご本人)は青梅市に住んで何年になりますか。(は1つ)



市内居住年数は、「20年以上」が83.8%で最も多く、以下、「10年～20年未満」(8.0%)、「5年～10年未満」(3.4%)、「1年～5年未満」(2.3%)、「1年未満」(0.9%)の順となっている。

(7) 生活費

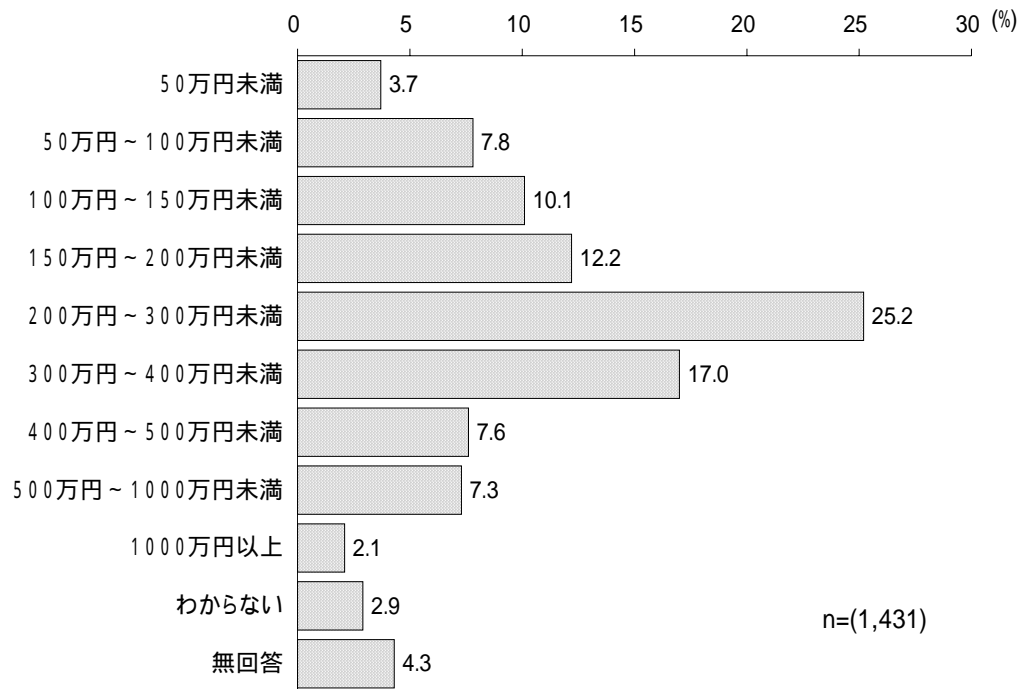
問6 あなた(あて名ご本人)の日常の生活費はどのようにしてまかなわれていますか。(あてはまるものすべてに)



生活費は、「自分の年金や恩給」が70.6%で最も多く、以下、「配偶者の年金や恩給」(34.7%)、「自分で働いて得た収入」(19.3%)、「配偶者が働いて得た収入」(12.2%)、「自分の貯金や株の配当など」(9.1%)の順となっている。

(8) 世帯年間収入額

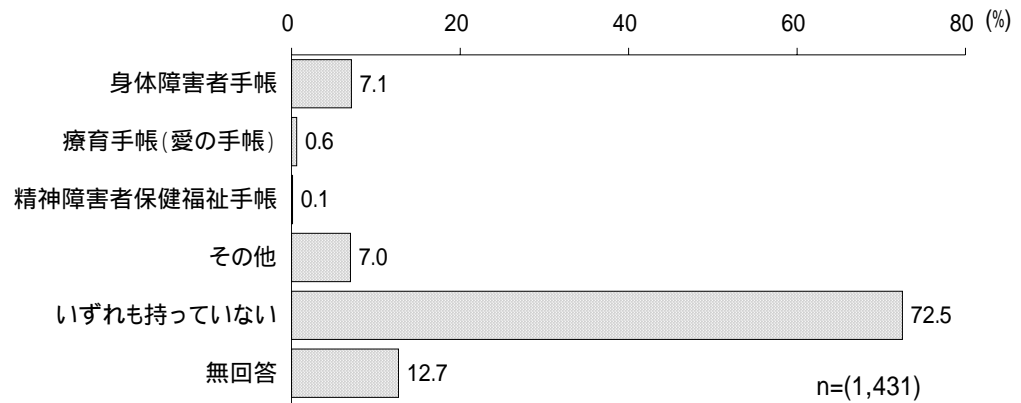
問7 あなた(あて名ご本人)の世帯の年間収入の合計額はどのくらいですか。(は1つ)



世帯年間収入額は、「200万円～300万円未満」が25.2%で最も多く、以下、「300万円～400万円未満」(17.0%)、「150万円～200万円未満」(12.2%)、「100万円～150万円未満」(10.1%)、「50万円～100万円未満」(7.8%)、「400万円～500万円未満」(7.6%)の順となっている。

(9) 所持している手帳の種類

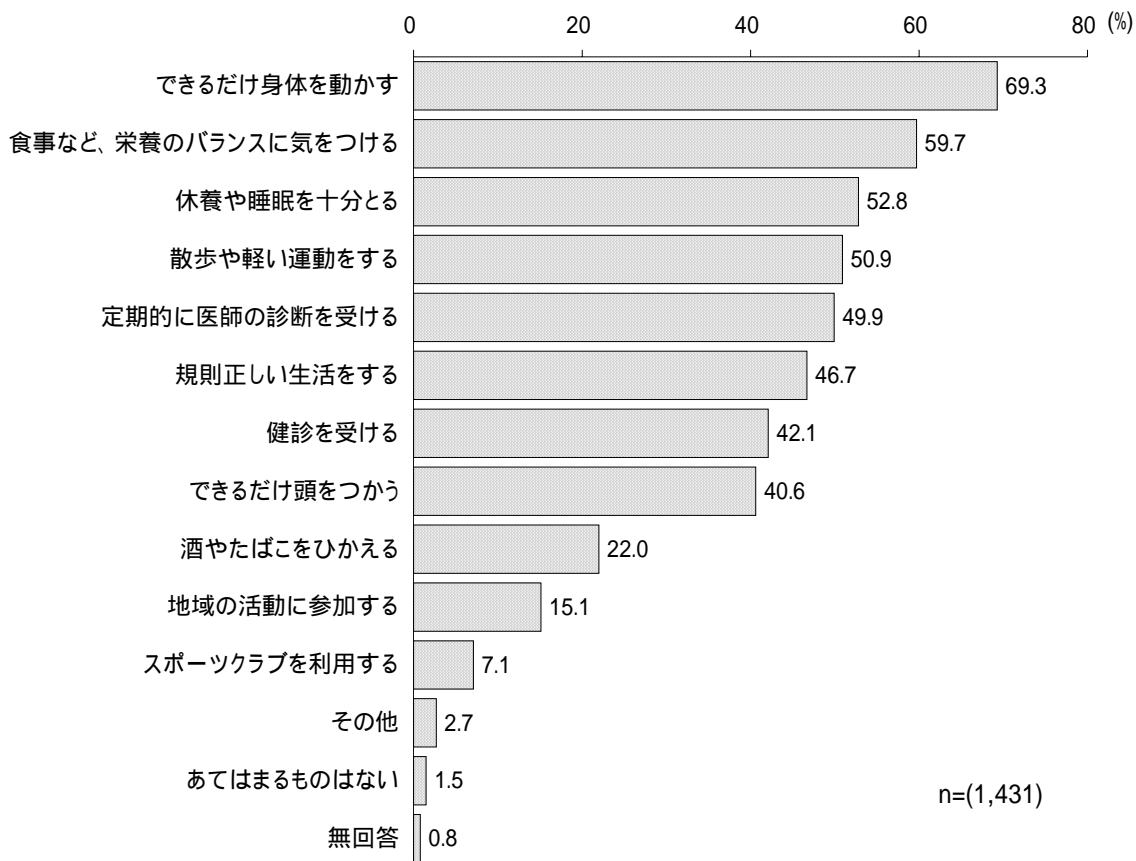
問8 あなた(あて名ご本人)は、次にあげる医療、保健等の手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに)



医療、保健等の手帳については、「いずれも持っていない」が72.5%である。所持している手帳の種類別の割合は、「身体障害者手帳」(7.1%)、「療育手帳(愛の手帳)」(0.6%)、「精神障害者保健福祉手帳」(0.1%)、「その他」(7.0%)となっている。

(10) 健康のために心がけていること

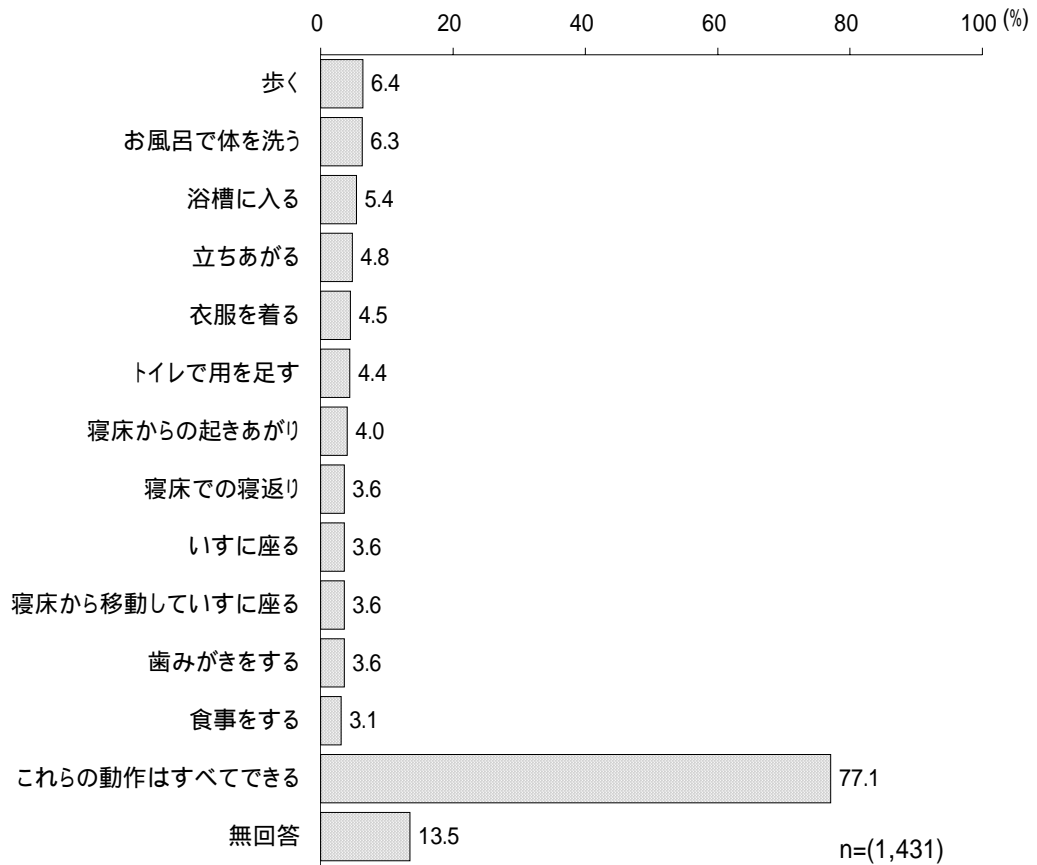
問9 あなた(あて名ご本人)は、健康状態を維持・向上するためにふだんから心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに)



健康のために心がけていることは、「できるだけ身体を動かす」が 69.3%で最も多く、以下、「食事など、栄養のバランスに気をつける」(59.7%)、「休養や睡眠を十分とる」(52.8%)、「散歩や軽い運動をする」(50.9%)、「定期的に医師の診断を受ける」(49.9%)、「規則正しい生活をする」(46.7%)、「健診を受ける」(42.1%)、「できるだけ頭をつかう」(40.6%)の順となっている。

(11) 一人でできない動作

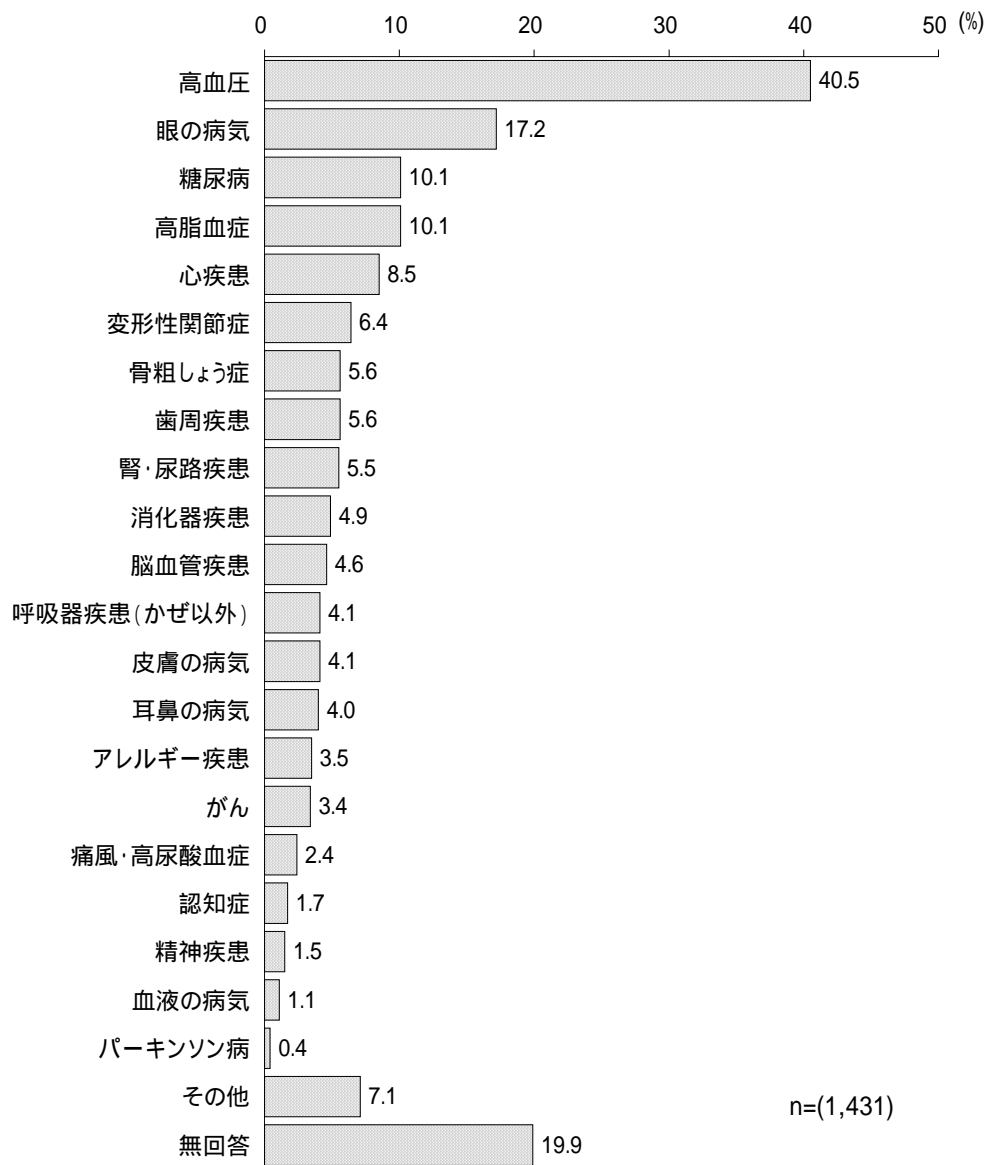
問10 あなた(あて名ご本人)が一人でできない動作はありますか。(あてはまるものすべてに)



一人でできない動作については、「これらの動作はすべてできる」が 77.1%である。一人でできない動作の中では、「歩く」が 6.4%で最も多く、以下、「お風呂で体を洗う」(6.3%)、「浴槽に入る」(5.4%)、「立ちあがる」(4.8%)、「衣服を着る」(4.5%)、「トイレで用を足す」(4.4%)の順となっている。

(12) 継続的に治療している病気やけが

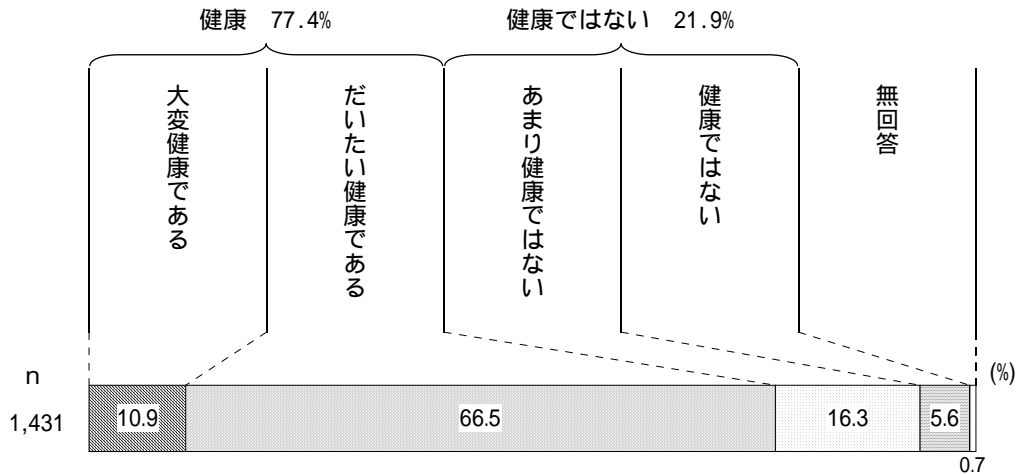
問11 あなた(あて名ご本人)は現在、継続的に治療している病気やけがはありますか。
(あてはまるものすべてに)



継続的に治療している病気やけがは、「高血圧」が 40.5%で最も多く、以下、「眼の病気」(17.2%)、「糖尿病」(10.1%)、「高脂血症」(10.1%)、「心疾患」(8.5%)、「変形性関節症」(6.4%)、「骨粗しょう症」(5.6%)、「歯周疾患」(5.6%)、「腎・尿路疾患」(5.5%)、「消化器疾患」(4.9%)、「脳血管疾患」(4.6%)の順となっている。

(13) ここ3か月の健康状態

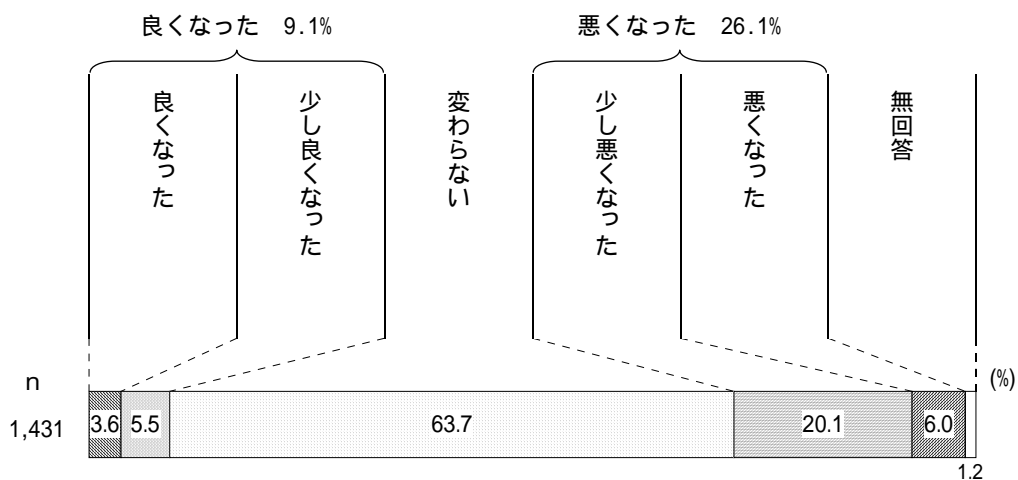
問12 あなた(あて名ご本人)のここ3か月の健康状態について、お知らせください。
(は1つ)



ここ3か月の健康状態は、「だいたい健康である」が66.5%で最も多く、これに「大変健康である」(10.9%)を合わせると、77.4%が《健康》と回答している。一方、「あまり健康ではない」(16.3%)と「健康ではない」(5.6%)を合わせた《健康ではない》は21.9%である。

(14) 1年前と比べた健康状態の変化

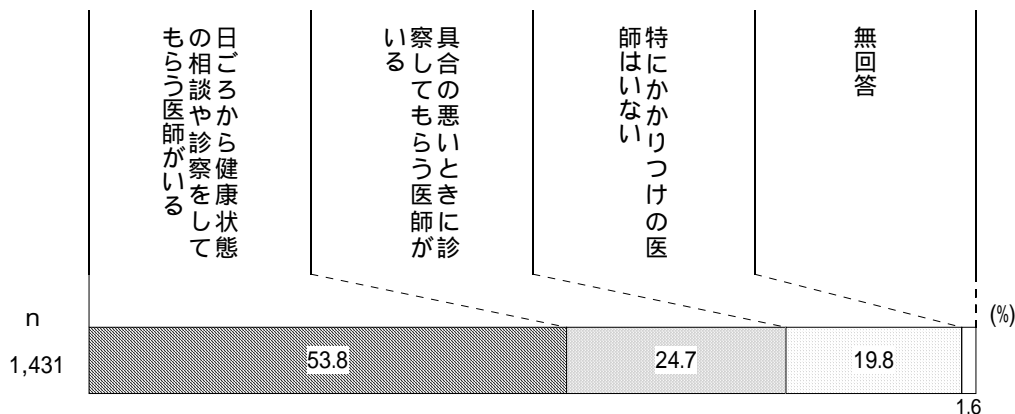
問13 1年前と比べて、あなた(あて名ご本人)の健康状態はどのように変化しましたか。(は1つ)



1年前と比べた健康状態の変化は、「変わらない」が63.7%で最も多い。「少し悪くなった」(20.1%)と「悪くなった」(6.0%)を合わせた《悪くなった》は26.1%で、「少し良くなった」(5.5%)と「良くなった」(3.6%)を合わせた《良くなった》9.1%を上回っている。

(15) かかりつけ医の有無

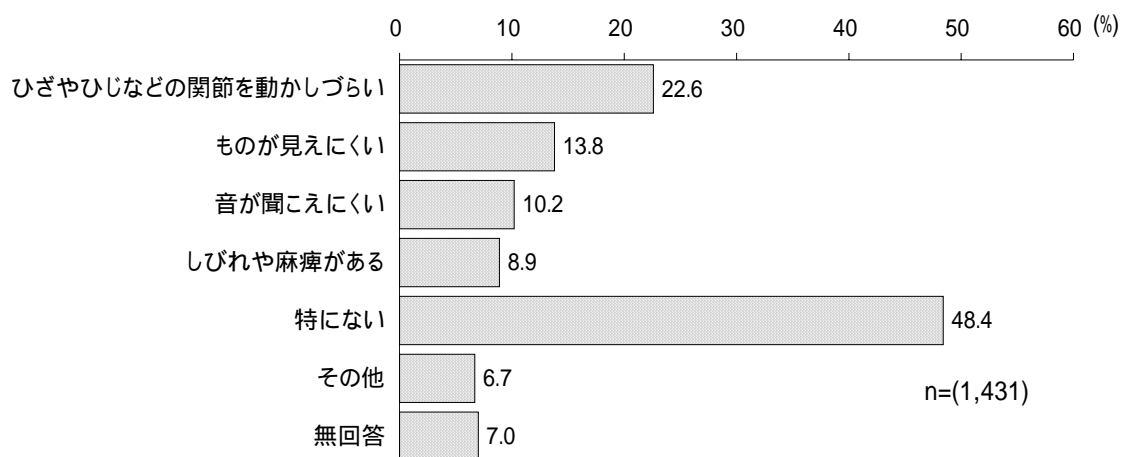
問14 あなた（あて名ご本人）はふだんから治療を受けたり、日常の健康について相談することができるかかりつけの医師はいますか。（ は1つ）



かかりつけ医の有無は、「日ごろから健康状態の相談や診察をしてもらう医師がいる」が53.8%で最も多く、以下、「具合の悪いときに診察してもらう医師がいる」(24.7%)、「特にかかりつけの医師はいない」(19.8%)の順となっている。

(16) 日常生活に支障のある症状

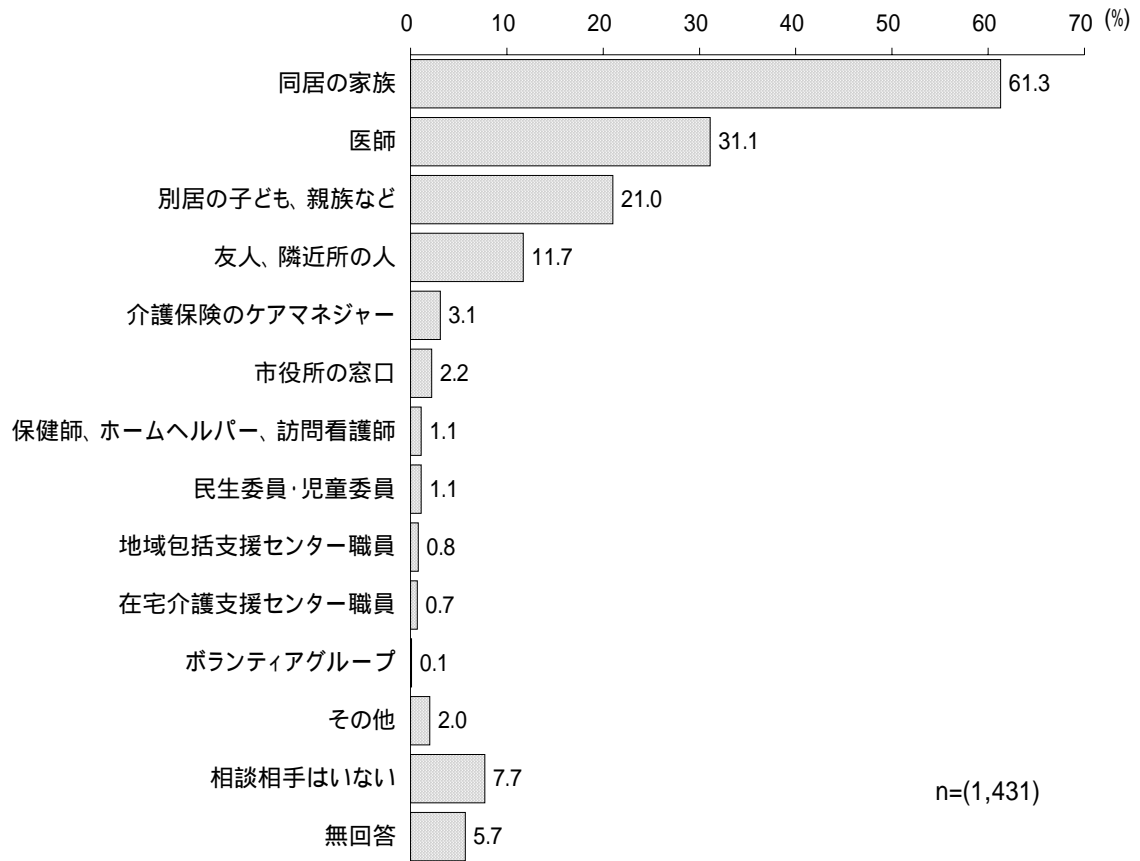
問15 あなた（あて名ご本人）には、日常生活に支障のある次のような症状がありますか。（あてはまるものすべてに ）



日常生活に支障のある症状については、「特にない」が48.4%である。症状の中では、「ひざやひじなどの関節を動かすづらい」が22.6%で最も多く、以下、「ものが見えにくい」(13.8%)、「音が聞こえにくい」(10.2%)、「しびれや麻痺がある」(8.9%)の順となっている。

(17) 不安や悩みの相談相手

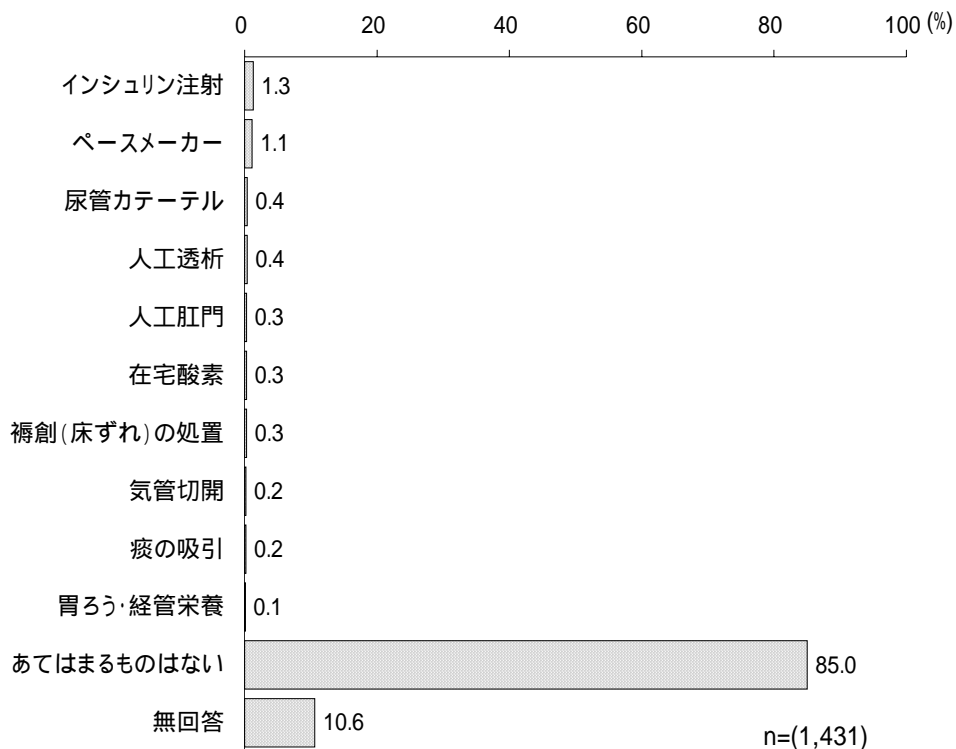
問16 あなた(あて名ご本人)に、健康や福祉についての不安や悩みを誰(どちら)に相談していますか。(あてはまるものすべてに)



不安や悩みの相談相手は、「同居の家族」が61.3%で最も多く、以下、「医師」(31.1%)、「別居の子ども、親族など」(21.0%)、「友人、隣近所の人」(11.7%)、「介護保険のケアマネジャー」(3.1%)、「市役所の窓口」(2.2%)の順となっている。

(18) 利用している医療器具や医的処置

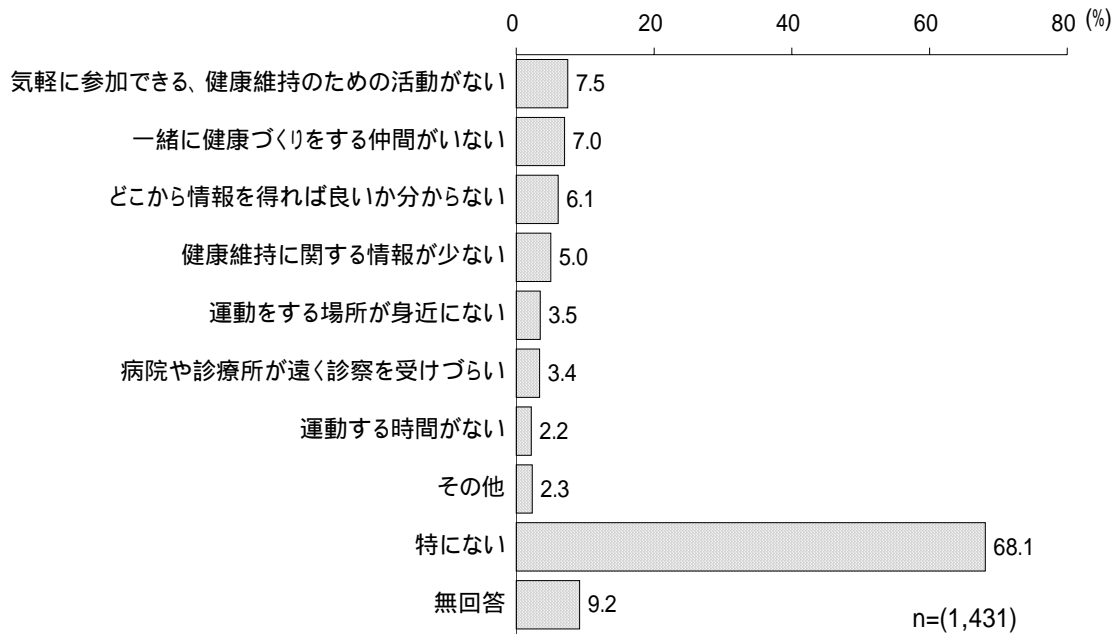
問17 あなた(あて名ご本人)は、現在、次にあげような医療器具を利用したり、医的処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに)



利用している医療器具や医的処置については、「あてはまるものはない」が 85.0%の大多数である。利用している医療器具や医的処置の中では、「インシュリン注射」が 1.3%で最も多く、以下、「ペースメーカー」(1.1%)、「尿管カテーテル」(0.4%)、「人工透析」(0.4%)、「人工肛門」(0.3%)、「在宅酸素」(0.3%)、「褥創(床ずれ)の処置」(0.3%)の順となっている。

(19) 健康を維持していく上で困っていること

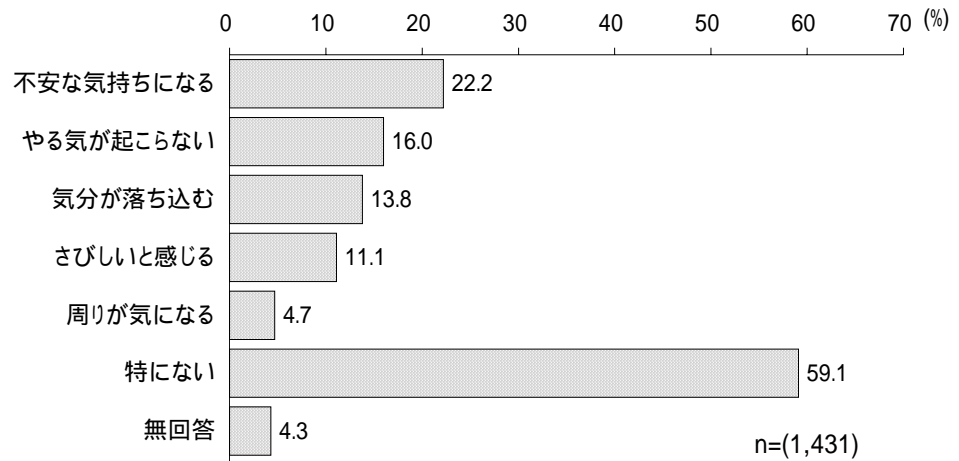
問18 健康を維持していく上で、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに)



健康を維持していく上で困っていることについては、「特にない」が 68.1%である。困っていることの中では、「気軽に参加できる、健康維持のための活動がない」が 7.5%で最も多く、以下、「一緒に健康づくりをする仲間がない」(7.0%)、「どこから情報を得れば良いか分からない」(6.1%)、「健康維持に関する情報が少ない」(5.0%)、「運動をする場所が身近にない」(3.5%)の順となっている。

(20) 心配される精神状態

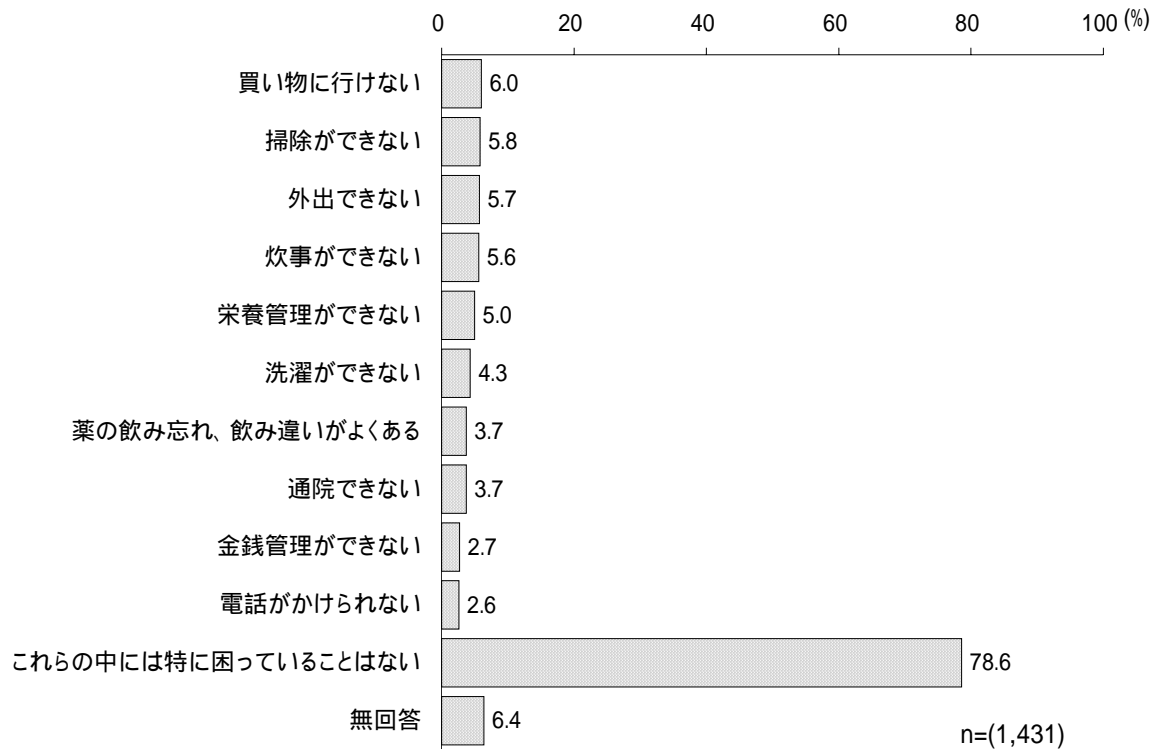
問19 あなた(あて名ご本人)は、次のような気持ちになることがよくありますか。(あてはまるものすべてに)



心配される精神状態については、「特にない」が 59.1%である。心配される精神状態の中では、「不安な気持ちになる」が 22.2%で最も多く、以下、「やる気が起こらない」(16.0%)、「気分が落ち込む」(13.8%)、「さびしいと感じる」(11.1%)、「周りが気になる」(4.7%)の順となっている。

(21) 現在、困っていること

問20 あなた(あて名ご本人)が現在、困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに)

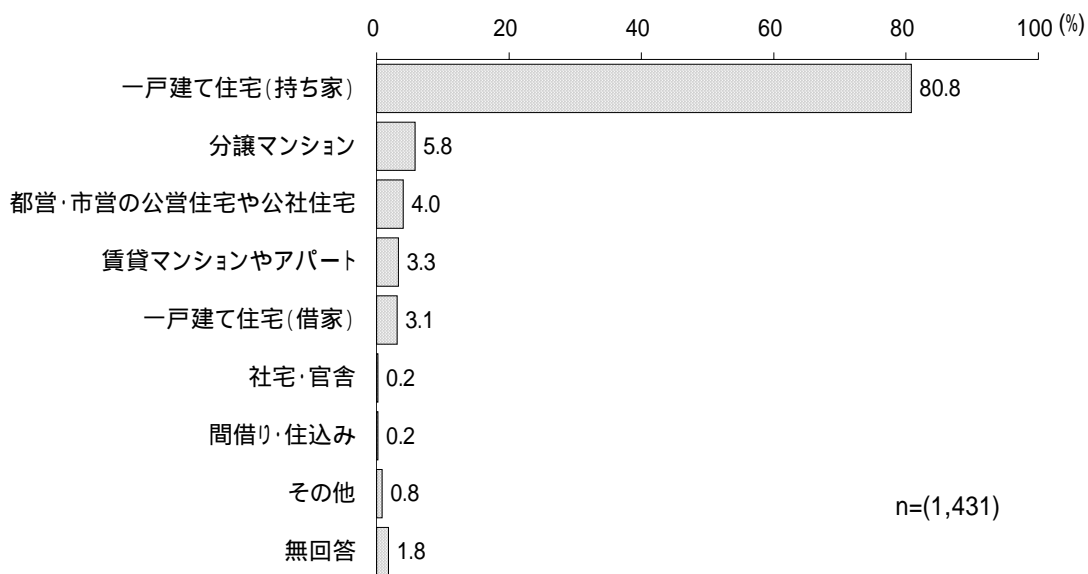


現在、困っていることについては、「これらの中には特に困っていることはない」が 78.6%である。困っていることの中では、「買い物に行けない」が 6.0%で最も多く、以下、「掃除ができない」(5.8%)、「外出できない」(5.7%)、「炊事ができない」(5.6%)、「栄養管理ができない」(5.0%)、「洗濯ができない」(4.3%)の順となっている。

3. 住居について

(1) 住居形態

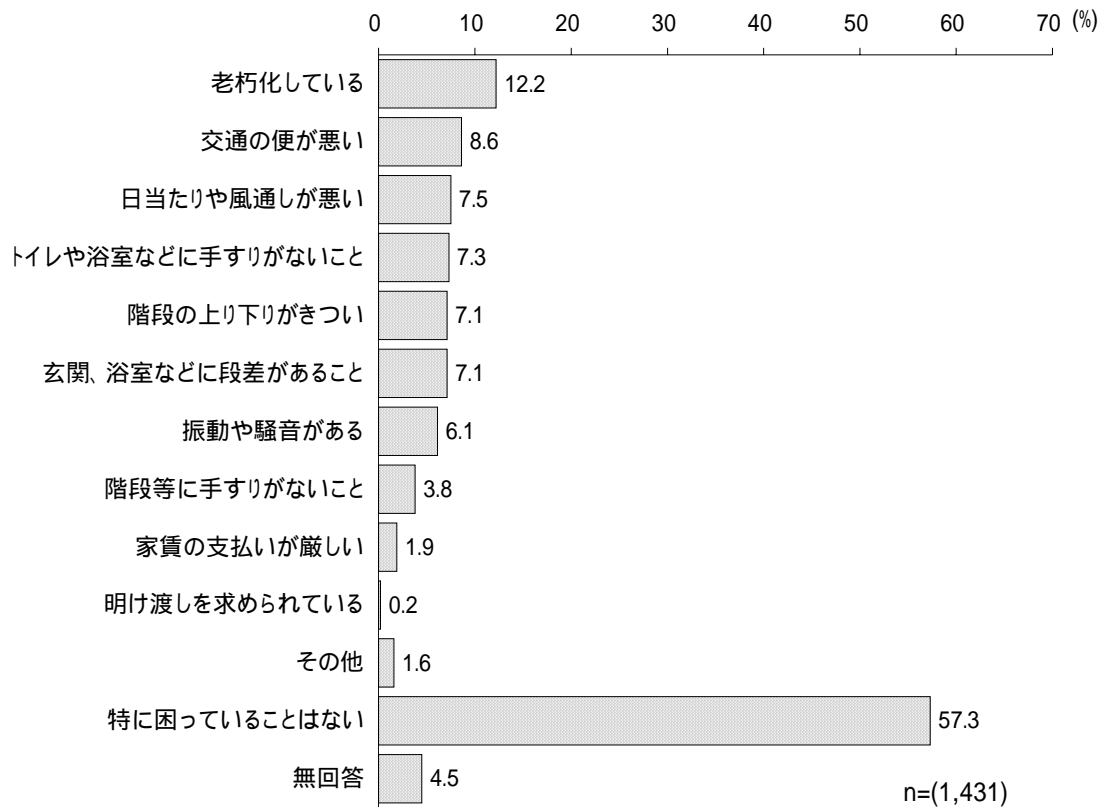
問21 あなた（あて名ご本人）の自宅はどのような種類の住宅ですか。現在、老人保健施設に入所している方および介護療養型医療施設や病院に入院中の方は、戻る予定のご自宅についてお答えください。（ は1つ）



住居形態は、「一戸建て住宅（持ち家）」が 80.8%で最も多く、以下、「分譲マンション」（5.8%）、「都営・市営の公営住宅や公社住宅」（4.0%）、「賃貸マンションやアパート」（3.3%）、「一戸建て住宅（借家）」（3.1%）の順となっている。

(2) 現在の住居で困っていること

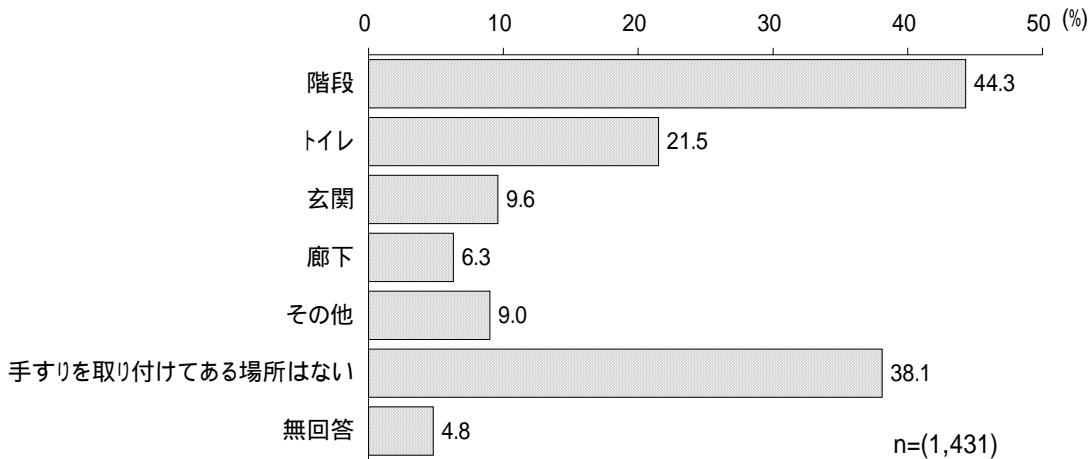
問22 あなた(あて名ご本人)が現在のお住まいで、困っていることをお答えください。
(あてはまるものすべてに)



現在の住居で困っていることについては、「特に困っていることはない」が 57.3%である。困っていることの中では、「老朽化している」が 12.2%で最も多く、以下、「交通の便が悪い」(8.6%)、「日当たりや風通しが悪い」(7.5%)、「トイレや浴室などに手すりがないこと」(7.3%)、「階段の上り下りがきつい」(7.1%)、「玄関、浴室などに段差があること」(7.1%)の順となっている。

(3) 手すりの取り付けがある場所

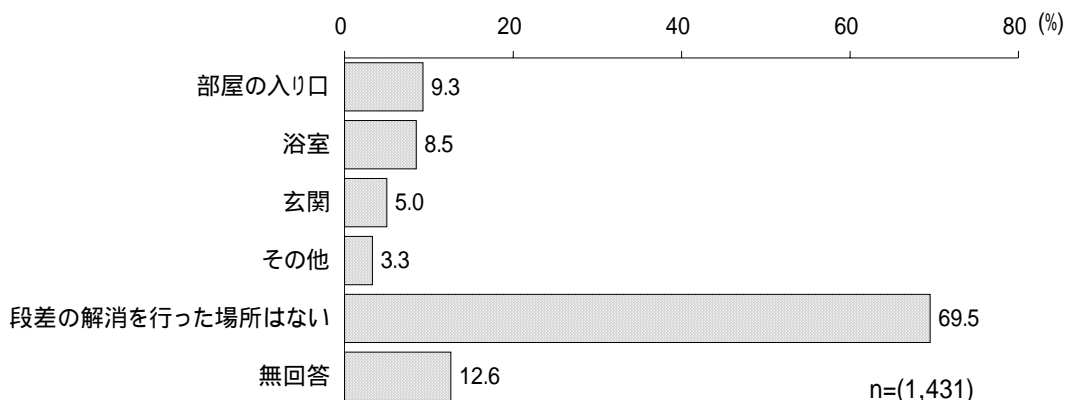
問23 あなた（あて名ご本人）のお住まいで手すりの取り付けがある場所はありますか。
（あてはまるものすべてに ）



手すりの取り付けがある場所については、「階段」が 44.3%で最も多く、以下、「トイレ」(21.5%)、「玄関」(9.6%)、「廊下」(6.3%)の順となっている。また、「手すりを取り付けがある場所はない」が 38.1%みられる。

(4) 段差の解消がされている場所

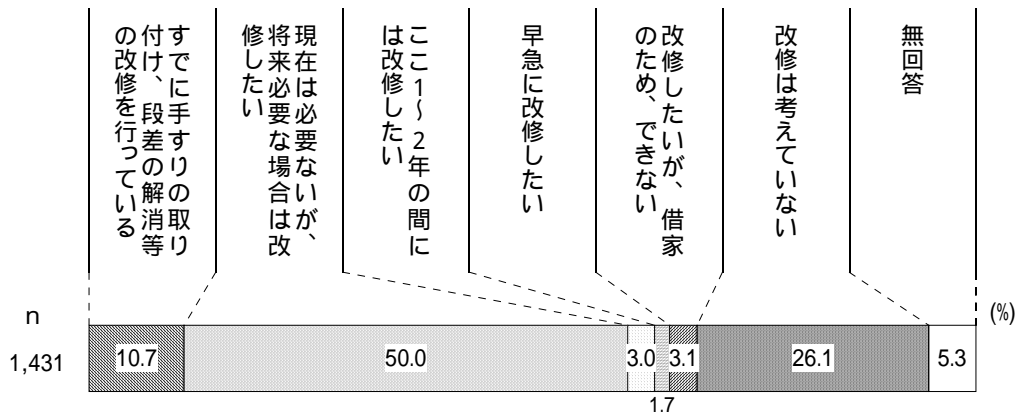
問24 あなた（あて名ご本人）のお住まいで段差の解消（スロープの設置等）がされている場所はありますか。（あてはまるものすべてに ）



段差の解消については、「段差の解消を行った場所はない」が 69.5%である。段差の解消がされている場所の中では、「部屋の入り口」が 9.3%で最も多く、以下、「浴室」(8.5%)、「玄関」(5.0%)、「その他」(3.3%)の順となっている。

(5) 住宅改修の必要性

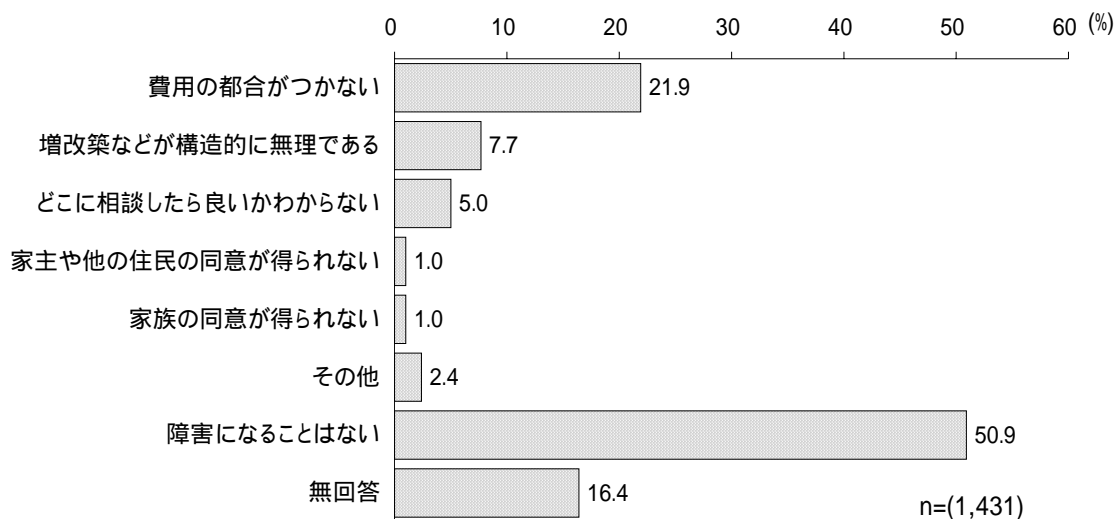
問25 あなた(あて名ご本人)のお住まいで、手すりの取り付け、段差の解消等、住宅改修の必要性についてどのようにお考えですか。(は1つ)



住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が 50.0%で最も多く、以下、「改修は考えていない」(26.1%)、「すでに手すりの取り付け、段差の解消等の改修を行っている」(10.7%)、「改修したいが、借家のため、できない」(3.1%)、「ここ1～2年の間には改修したい」(3.0%)、「早急に改修したい」(1.7%)の順となっている。

(6) 住宅改修の際、障害となること

問26 お住まいを改善する際に、障害となることはありますか。(あてはまるものすべてに)

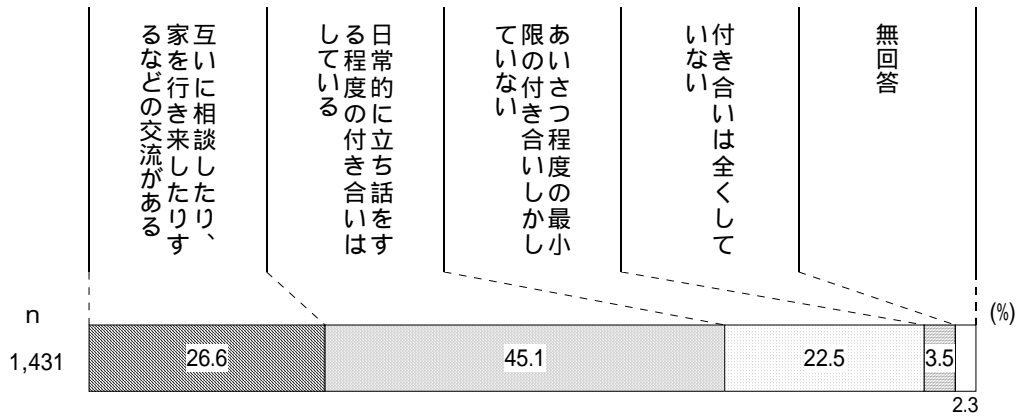


住宅改修の際、障害となることについては、「障害になることはない」が 50.9%である。障害の中では、「費用の都合が見つからない」が 21.9%で最も多く、以下、「増改築などが構造的に無理である」(7.7%)、「どこに相談したら良いかわからない」(5.0%)、「家主や他の住民の同意が得られない」(1.0%)、「家族の同意が得られない」(1.0%)の順となっている。

4. 日常生活やお付き合いについて

(1) 近所付き合いの程度

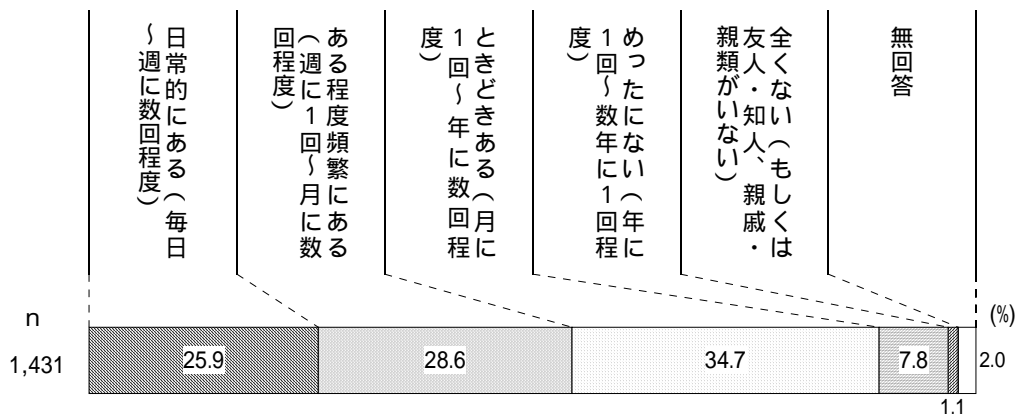
問27 あなた（あて名ご本人）はご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。
（は1つ）



近所付き合いの程度は、「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」が 45.1%で最も多く、以下、「互いに相談したり、家を行き来したりするなどの交流がある」(26.6%)、「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」(22.5%)、「付き合いは全くしていません」(3.5%)の順となっている。

(2) 友人や親戚との付き合いの頻度

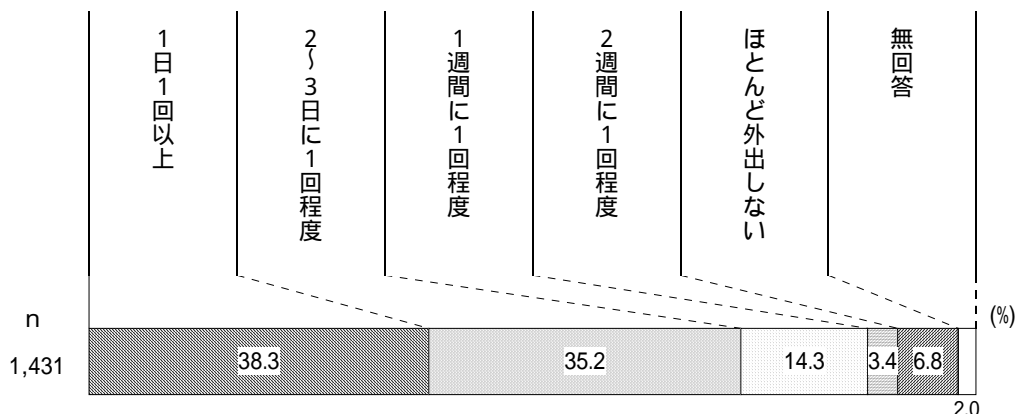
問28 あなた(あて名ご本人)は友人・知人や親戚・親類とどのくらいの頻度でお付き合いをしていますか。(は1つ)



友人や親戚との付き合いの頻度は、「ときどきある(月に1回〜年に数回程度)」が34.7%で最も多く、以下、「ある程度頻繁にある(週に1回〜月に数回程度)」(28.6%)、「日常的にある(毎日〜週に数回程度)」(25.9%)、「めったにない(年に1回〜数年に1回程度)」(7.8%)、「全くない(もしくは友人・知人、親戚・親類がない)」(1.1%)の順となっている。

(3) 外出頻度

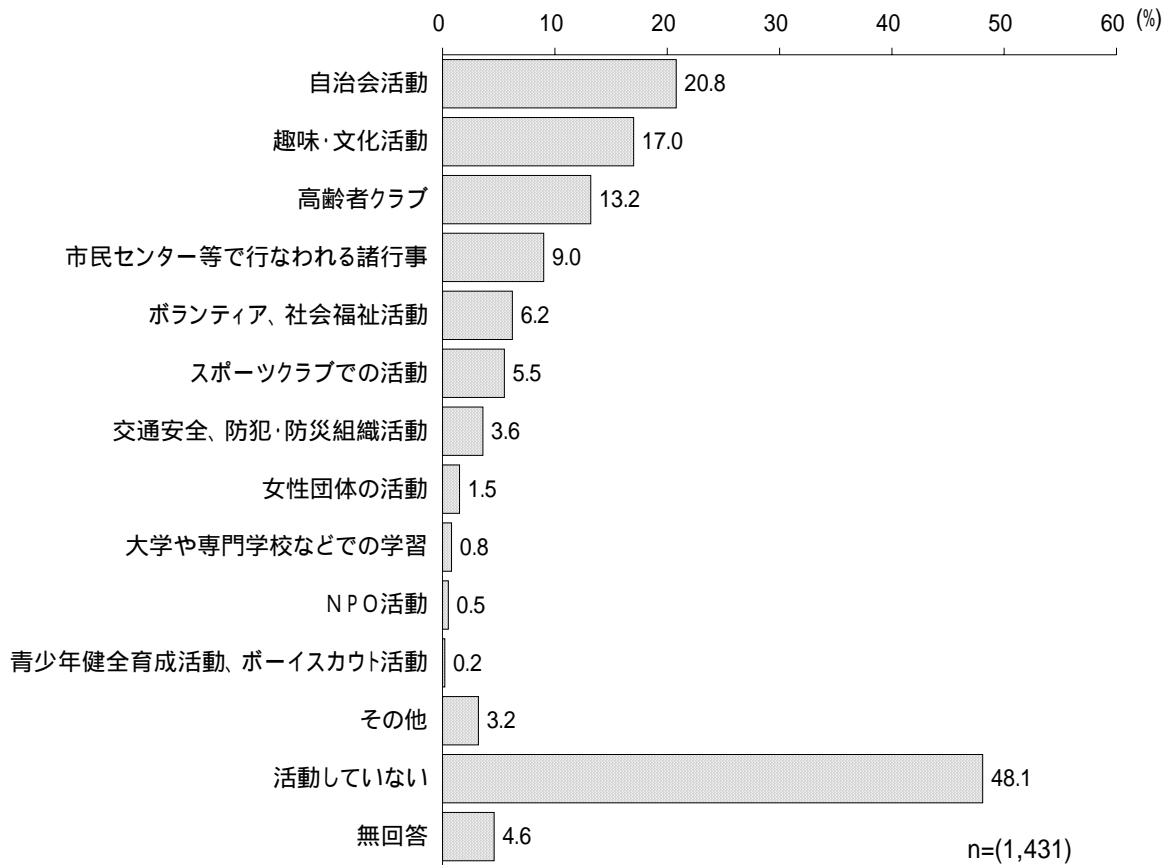
問29 あなた(あて名ご本人)は、散歩や買い物など、どのくらいの頻度で外出していますか。(は1つ)



外出頻度は、「1日1回以上」が38.3%で最も多く、以下、「2〜3日に1回程度」(35.2%)、「1週間に1回程度」(14.3%)、「ほとんど外出しない」(6.8%)、「2週間に1回程度」(3.4%)の順となっている。

(4) 参加している地域活動

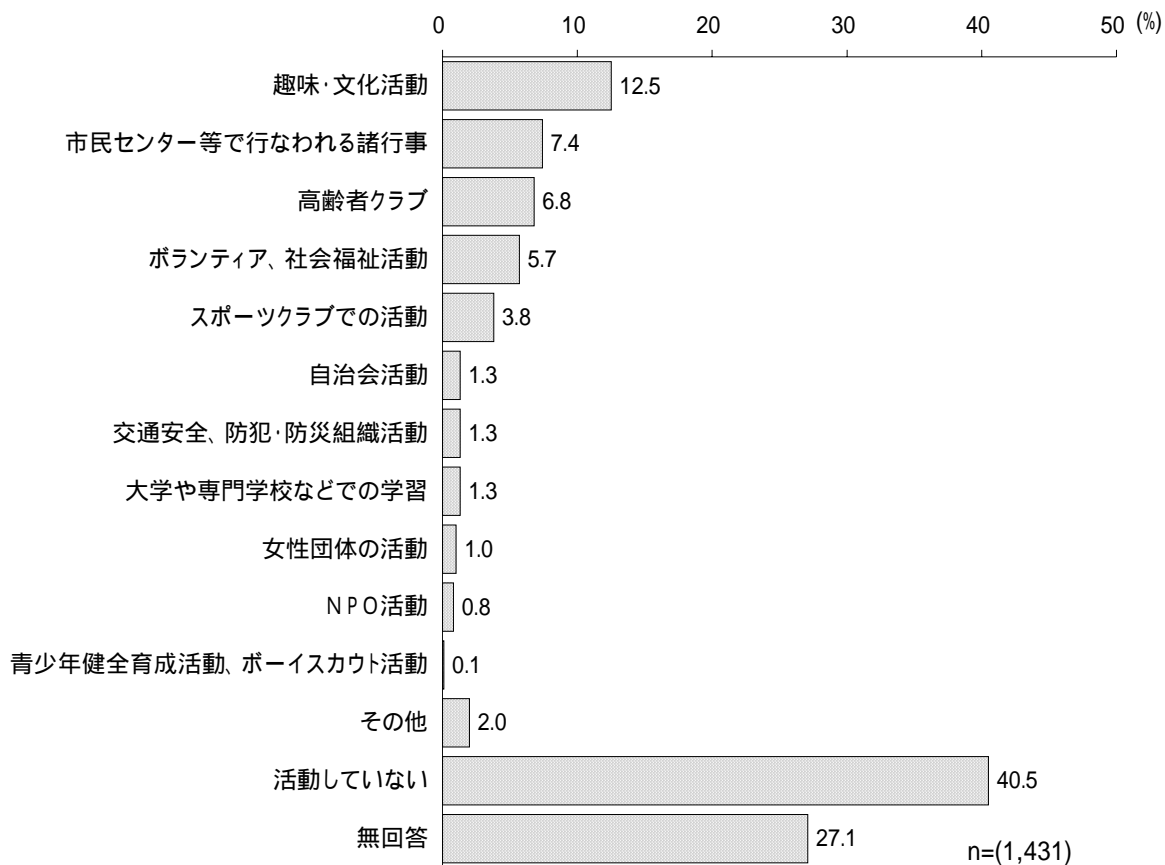
問30 あなた(あて名ご本人)は、地域でどのような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに)



地域活動については、「活動していない」が 48.1%である。参加している活動の中では、「自治会活動」が 20.8%で最も多く、以下、「趣味・文化活動」(17.0%)、「高齢者クラブ」(13.2%)、「市民センター等で行なわれる諸行事」(9.0%)、「ボランティア、社会福祉活動」(6.2%)、「スポーツクラブでの活動」(5.5%)の順となっている。

(5) 参加したい地域活動

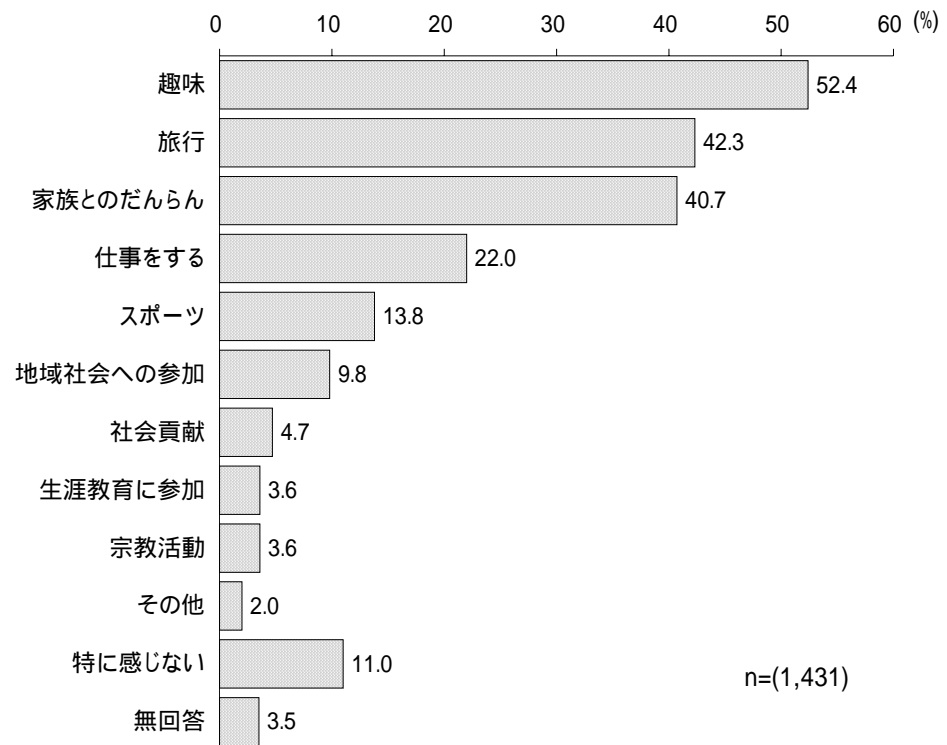
問31 あなた(あて名ご本人)は、今後、参加を希望される活動はありますか。現在なさっている活動を除いてお答えください。(あてはまるものすべてに)



地域活動については、「活動していない」が 40.5%である。参加したい活動の中では、「趣味・文化活動」が 12.5%で最も多く、以下、「市民センター等で行なわれる諸行事」(7.4%)、「高齢者クラブ」(6.8%)、「ボランティア、社会福祉活動」(5.7%)、「スポーツクラブでの活動」(3.8%)の順となっている。

(6) 生きがいを感じるもの

問32 あなた(あて名ご本人)にとって、どんなことをしているときに生きがいを感じますか。(あてはまるものすべてに)

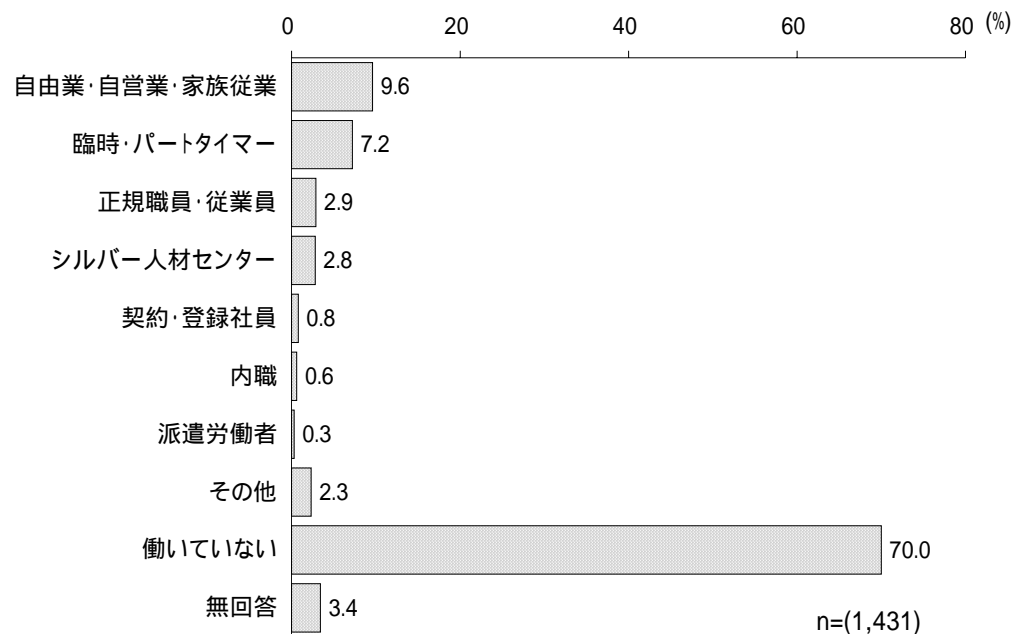


生きがいを感じるものは、「趣味」が 52.4%で最も多く、以下、「旅行」(42.3%)、「家族とのだんらん」(40.7%)、「仕事をする」(22.0%)、「スポーツ」(13.8%)、「地域社会への参加」(9.8%)、「社会貢献」(4.7%)の順となっている。

(7) 就労形態

問33 就業・就労の状況についてお伺いします。

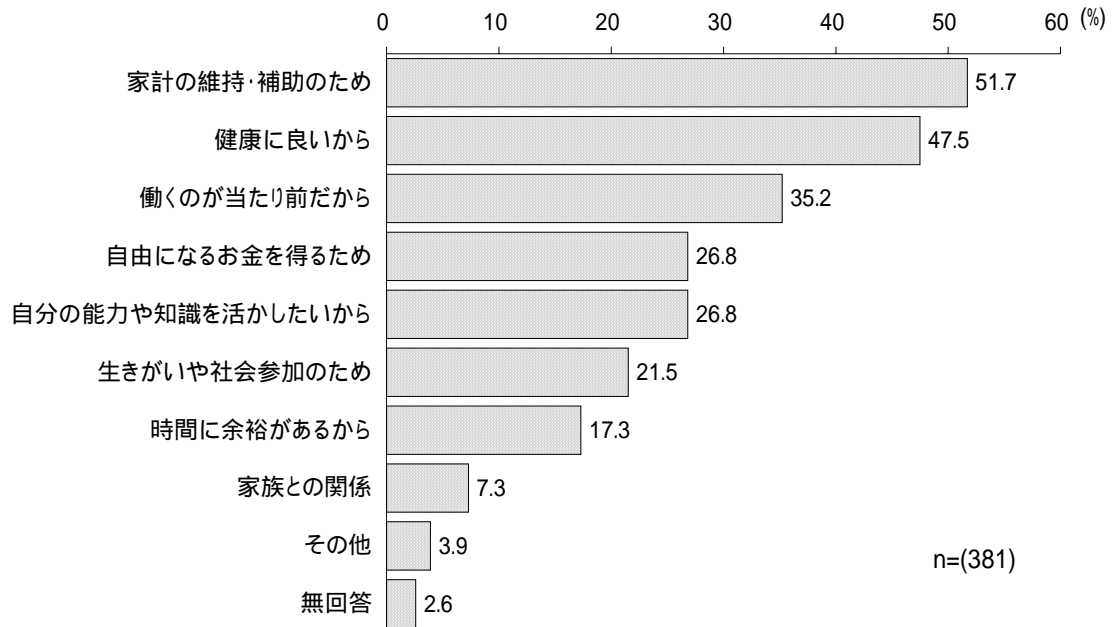
あなた(あて名ご本人)はふだん、次に掲げるような収入を伴う仕事(パート・アルバイトを含む)をしていますか。(は1つ)



就労状況については、「働いていない」が 70.0%である。就労形態は、「自由業・自営業・家族従業」が 9.6%で最も多く、以下、「臨時・パートタイマー」(7.2%)、「正規職員・従業員」(2.9%)、「シルバー人材センター」(2.8%)、「契約・登録社員」(0.8%)の順となっている。

(8) 働いている理由

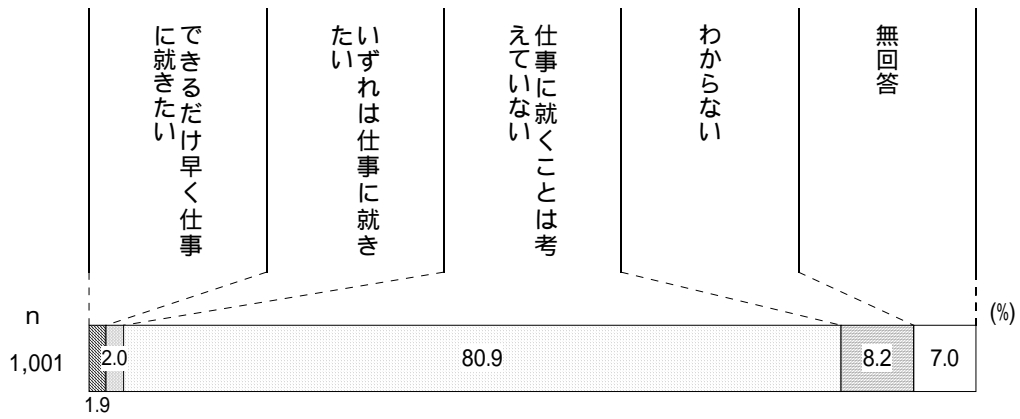
働いている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



働いている理由は、「家計の維持・補助のため」が 51.7%で最も多く、以下、「健康に良いから」(47.5%)、「働くのが当たり前だから」(35.2%)、「自由になるお金を得るため」(26.8%)、「自分の能力や知識を活かしたいから」(26.8%)、「生きがいや社会参加のため」(21.5%)の順となっている。

(9) 今後の就労意向

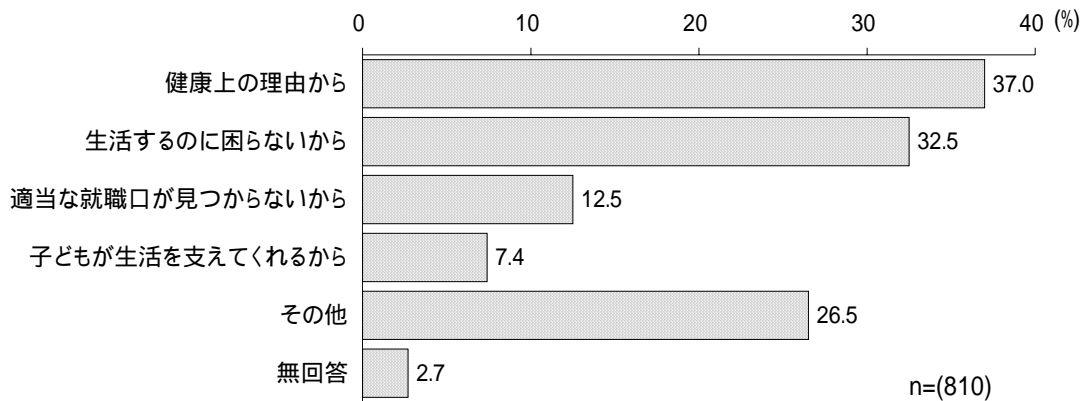
(問33 で「働いていない」に つけた方にお伺いします)
 今後仕事に就くことについてどのようにお考えですか。(は1つ)



今後の就労意向は、「仕事に就くことは考えていない」が 80.9%で最も多く、以下、「わからない」(8.2%)、「いずれは仕事に就きたい」(2.0%)、「できるだけ早く仕事に就きたい」(1.9%)の順となっている。

(10) 就労しない理由

(前問で「仕事に就くことは考えていない」に つけた方にお伺いします)
 仕事に就くことを考えていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

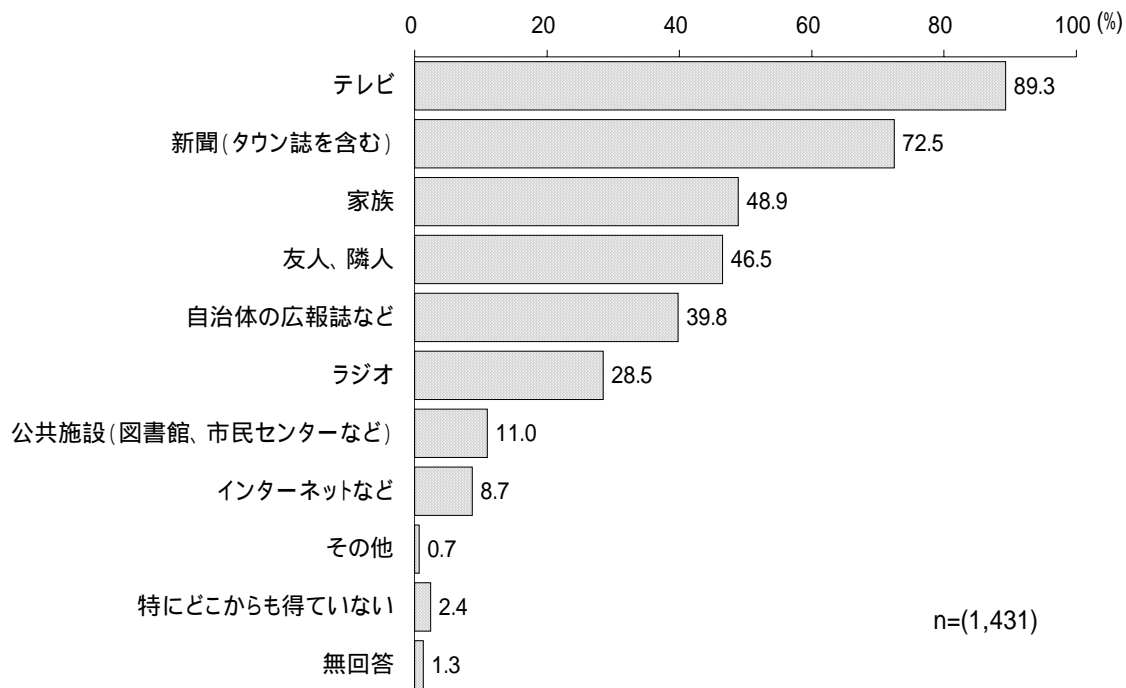


就労しない理由は、「健康上の理由から」が 37.0%で最も多く、以下、「生活するのに困らないから」(32.5%)、「適当な就職口が見つからないから」(12.5%)、「子どもが生活を支えてくれるから」(7.4%)の順となっている。

その他の内容は、「高齢だから」(152件)、「長い間、十分働いてきたから」(9件)、「家事が忙しい」(7件)、「家族の介護をしている」(7件)、「農業等をしている」(5件)、「趣味、地域活動、ボランティア活動、宗教活動が忙しい」(5件)、「気力がない」(3件)、「孫の世話をしている」(3件)などとなっている。

(11) 情報入手先

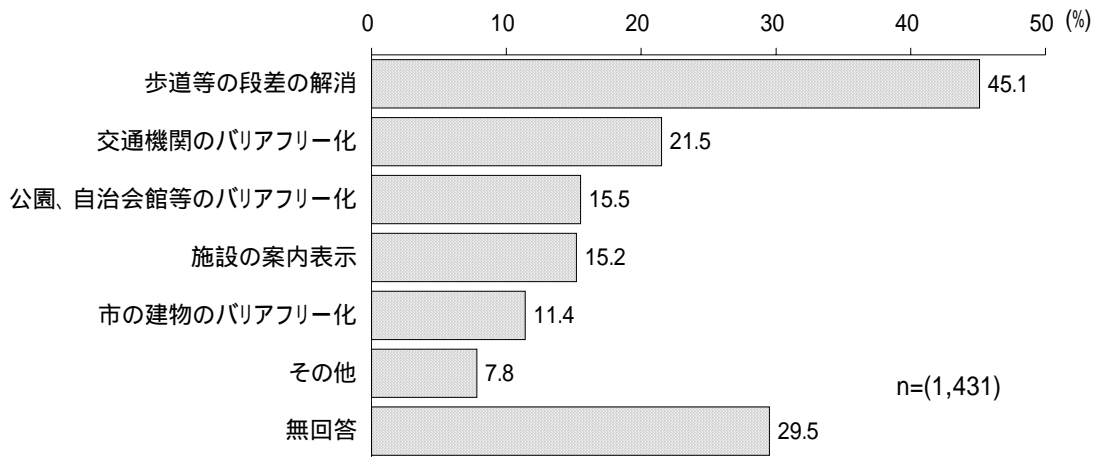
問34 日常生活を送る上で、どのようなところから情報を入手していますか。(あてはまるものすべてに)



情報入手先は、「テレビ」が 89.3%で最も多く、以下、「新聞(タウン誌を含む)」、(72.5%)、「家族」(48.9%)、「友人、隣人」(46.5%)、「自治体の広報誌など」(39.8%)、「ラジオ」(28.5%)、「公共施設(図書館、市民センターなど)」(11.0%)の順となっている。

(12) 福祉に配慮したまちづくりに不足していること

問35 あなた(あて名ご本人)は、福祉に配慮したまちづくりを進める上で、お住まいの地域で不足していることは何だと思われますか。(あてはまるものすべてに)

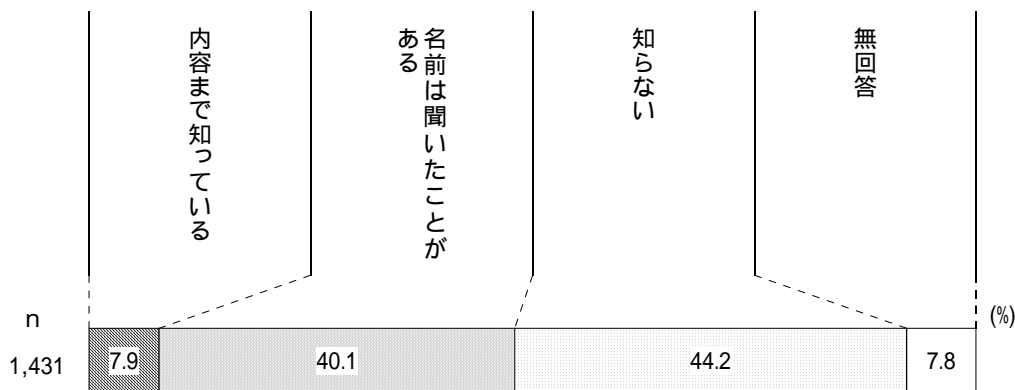


福祉に配慮したまちづくりに不足していることは、「歩道等の段差の解消」が 45.1%で最も多く、以下、「交通機関のバリアフリー化」(21.5%)、「公園、自治会館等のバリアフリー化」(15.5%)、「施設の案内表示」(15.2%)、「市の建物のバリアフリー化」(11.4%)の順となっている。

(13) 成年後見制度の周知度

問36 本人の判断力が衰えたり、なくなった場合に、本人の権利が擁護され、本人の意思や判断能力が反映されるように、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業がスタートしています。あなた(あて名のご本人)は、この制度をご存知ですか。次の各問にお答えください。

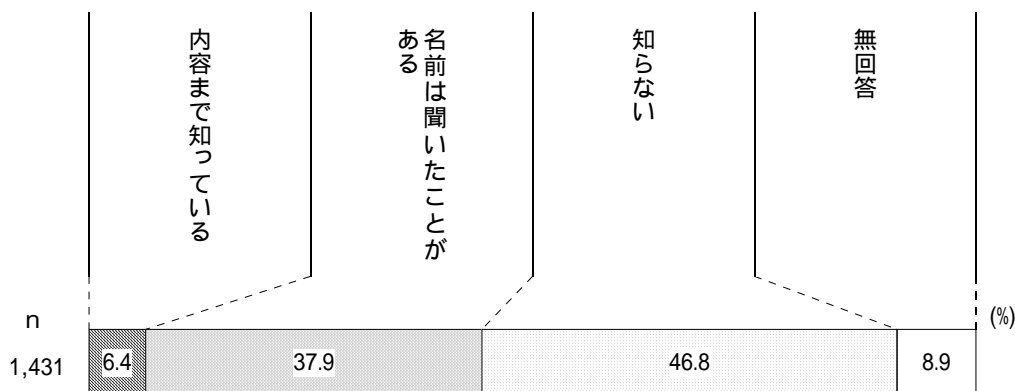
成年後見制度(従来の禁治産・準禁治産制度を「補助」「補佐」「後見」の制度に改まる新たな制度として平成12年4月から施行されている。)(は1つ)



成年後見制度の周知度は、「知らない」が 44.2%で最も多く、以下、「名前は聞いたことがある」(40.1%)、「内容まで知っている」(7.9%)の順となっている。

(14) 地域福祉権利擁護事業の周知度

地域福祉権利擁護事業(認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不十分な方が自立した生活が送れるよう、その者の権利を擁護する事業で、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスがある)(は1つ)

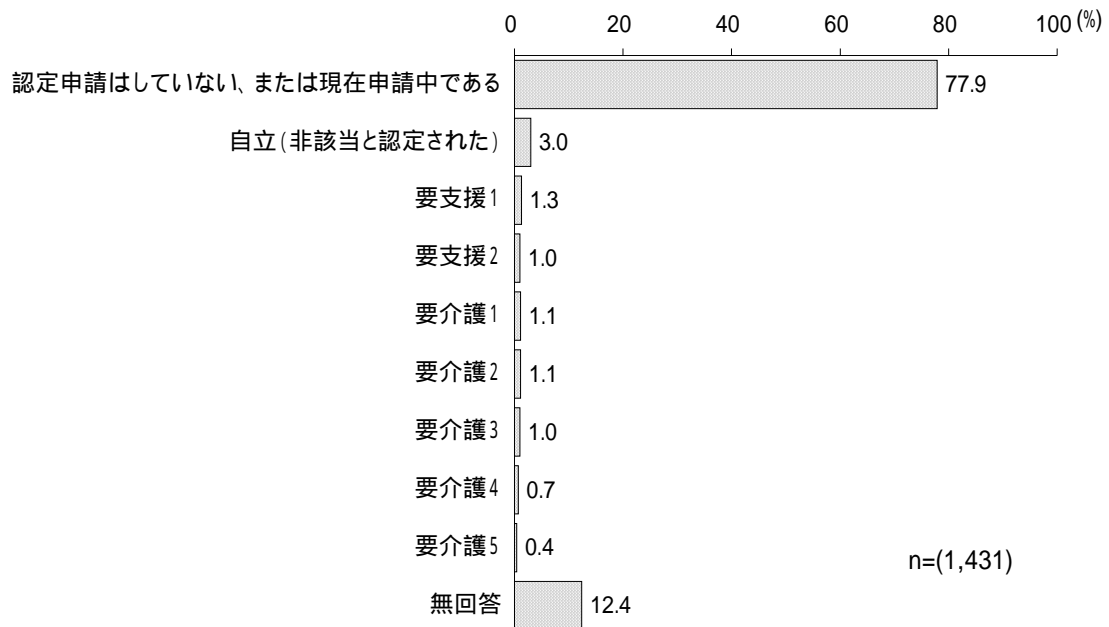


地域福祉権利擁護事業の周知度は、「知らない」が 46.8%で最も多く、以下、「名前は聞いたことがある」(37.9%)、「内容まで知っている」(6.4%)の順となっている。

5. 介護保険などのサービスについて

(1) 現在の要介護度

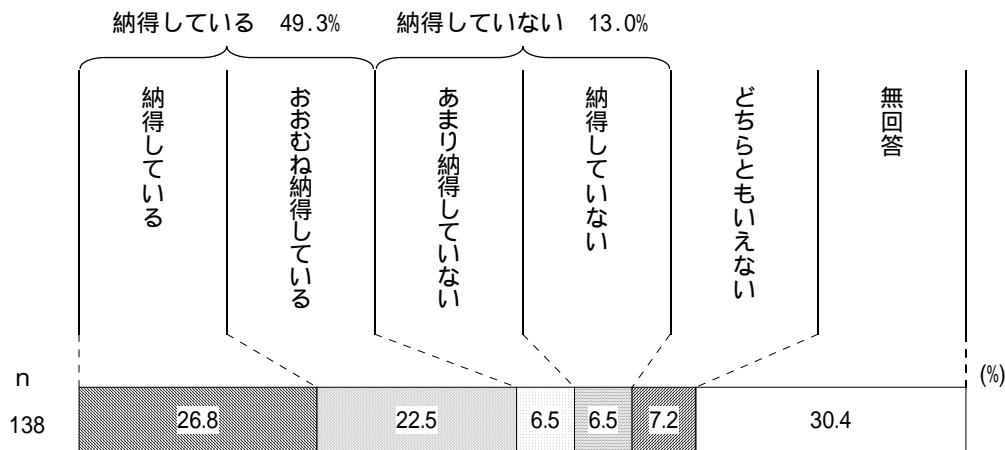
問37-1 あなた(あて名ご本人)は、介護保険の要介護・要支援認定を申請しましたか。認定を受けている場合は、現在の要介護度をお答えください。(は1つ)



現在の要介護度は、「認定申請はしていない、または現在申請中である」が 77.9%である。認定の結果は、自立(非該当と認定された)(3.0%)、「要支援1」(1.3%)、「要介護1」(1.1%)、「要介護2」(1.1%)、「要支援2」(1.0%)、「要介護3」(1.0%)、「要介護4」(0.7%)、「要介護5」(0.4%)の順となっている。

(2) 認定結果に対する気持ち

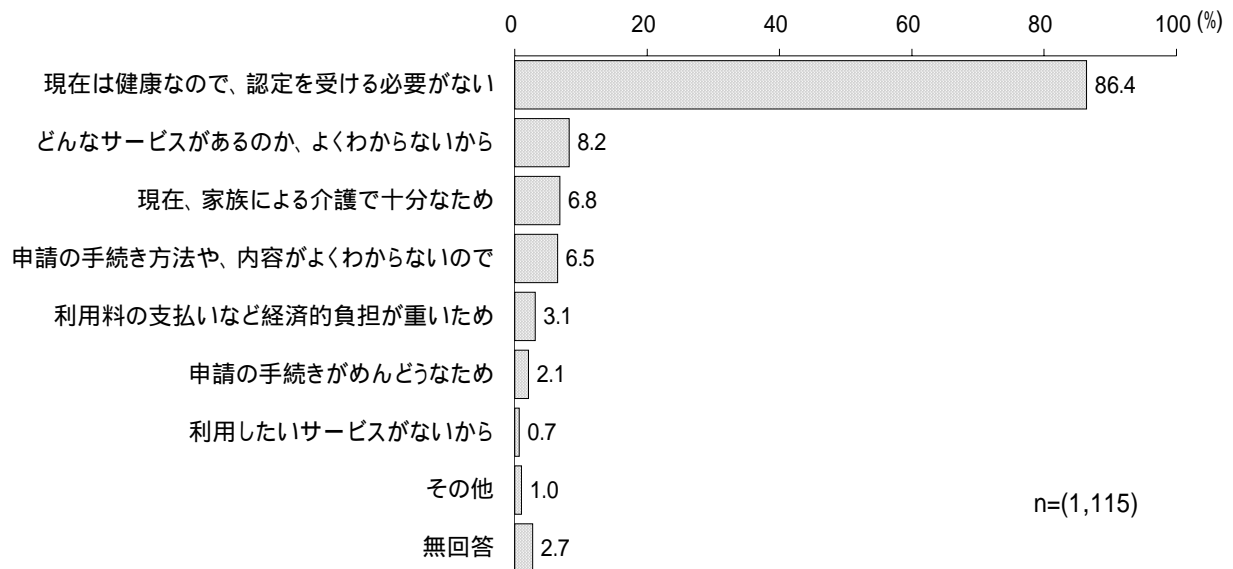
問37 - 2 前問で要介護・要支援認定を受けていると答えられた方におたずねします。認定結果について納得されていますか。(は1つ)



認定結果に対する気持ちは、「納得している」が 26.8%で最も多く、これに「おおむね納得している」(22.5%)を合わせると、49.3%が《納得している》と回答している。一方、「あまり納得していない」(6.5%)と「納得していない」(6.5%)を合わせた《納得していない》は 13.0%である。

(3) 認定申請をしていない理由

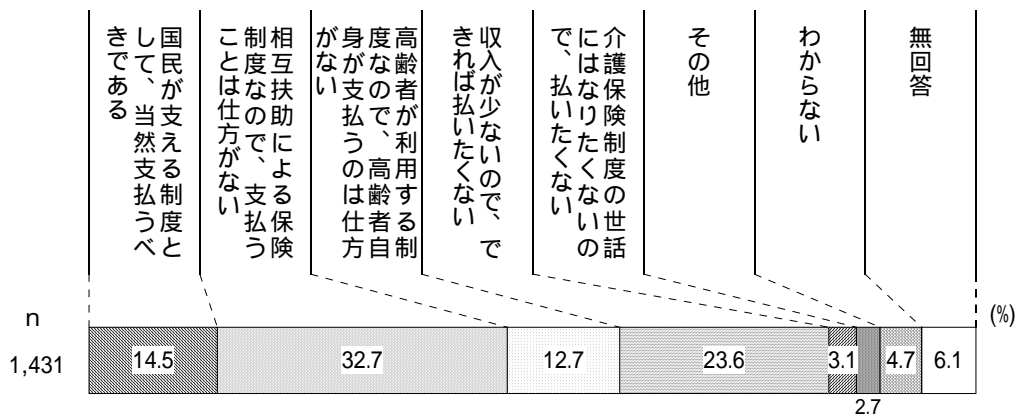
問37 - 3 前問で「認定申請はしていない」に つけられた方におたずねします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



認定申請をしていない理由は、「現在は健康なので、認定を受ける必要がない」が 86.4%で突出して多く、以下、「どんなサービスがあるのか、よくわからないから」(8.2%)、「現在、家族による介護で十分なため」(6.8%)、「申請の手続き方法や、内容がよくわからないので」(6.5%)、「利用料の支払いなど経済的負担が重いため」(3.1%)の順となっている。

(4) 介護保険料の負担について

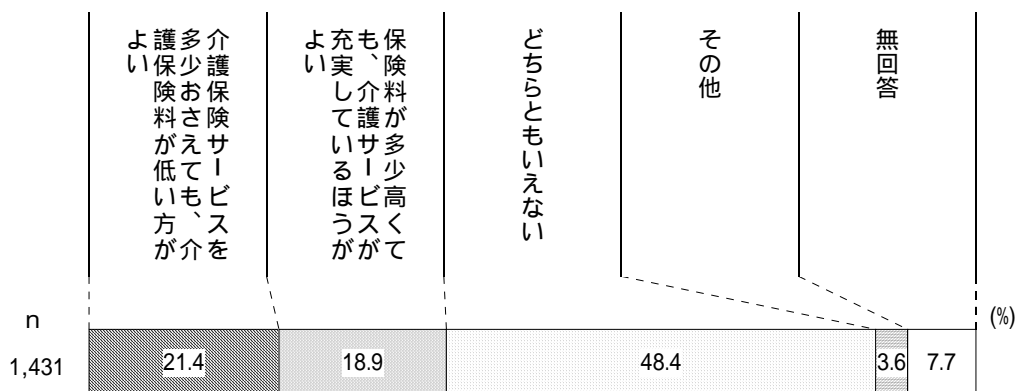
問38 あなた(あて名ご本人)は現在支払っている介護保険料の負担について、どのように思われますか。(は1つ)



介護保険料の負担については、「相互扶助による保険制度なので、支払うことは仕方がない」が 32.7%で最も多く、以下、「収入が少ないので、できれば払いたくない」(23.6%)、「国民が支える制度として、当然支払うべきである」(14.5%)、「高齢者が利用する制度なので、高齢者自身が支払うのは仕方がない」(12.7%)の順となっている。

(5) 保険料と介護サービスのあり方について

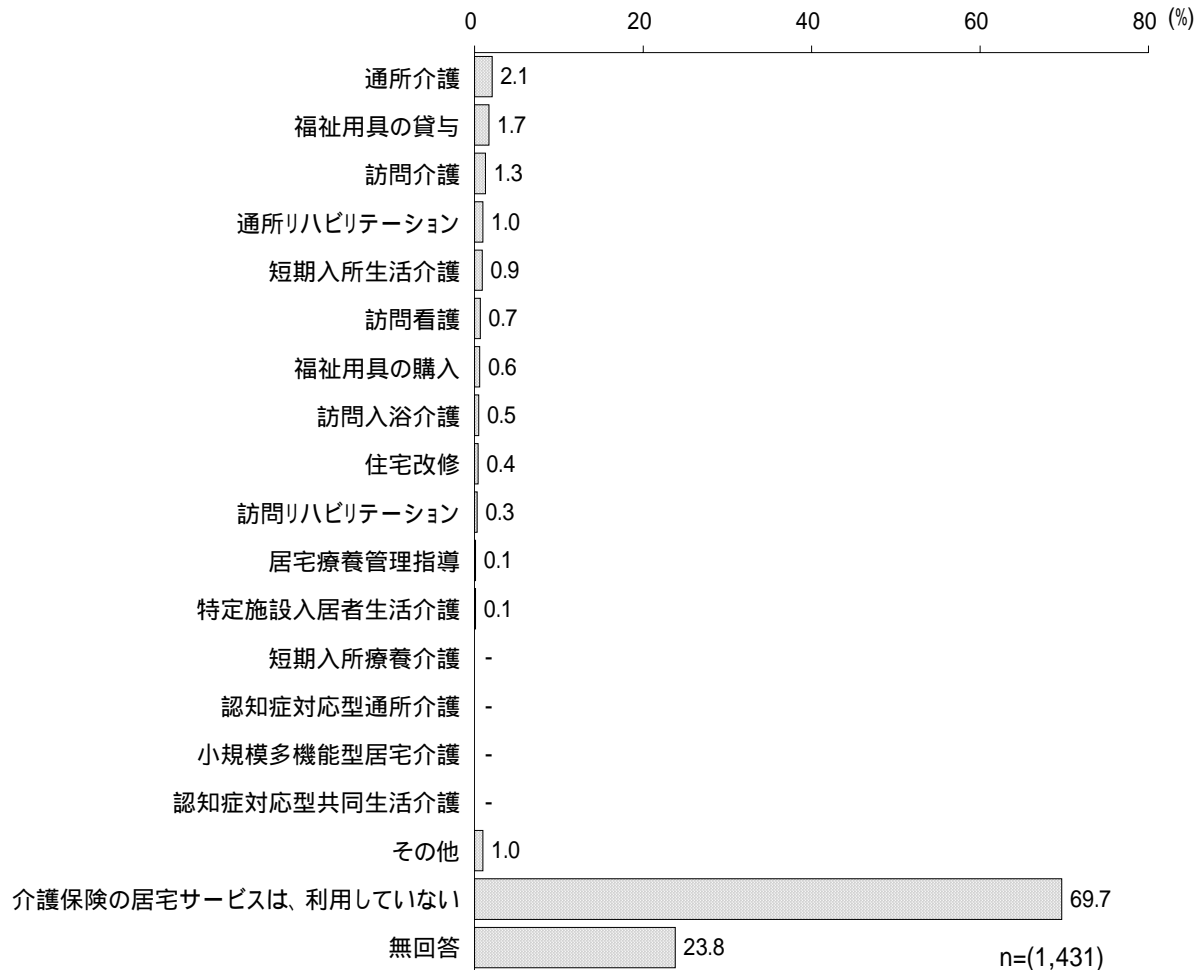
問39 介護保険制度において65歳以上の方からいただいている保険料は、青梅市では、基準月額3,600円です。この保険料と介護サービスのあり方について、あなた(あて名ご本人)のお考えに近いものはどれですか。(は1つ)



保険料と介護サービスのあり方については、「どちらともいえない」が 48.4%で最も多く、以下、「介護保険サービスを多少おさえても、介護保険料が低い方がよい」(21.4%)、「保険料が多少高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」(18.9%)の順となっている。

(6) 現在利用している居宅サービス

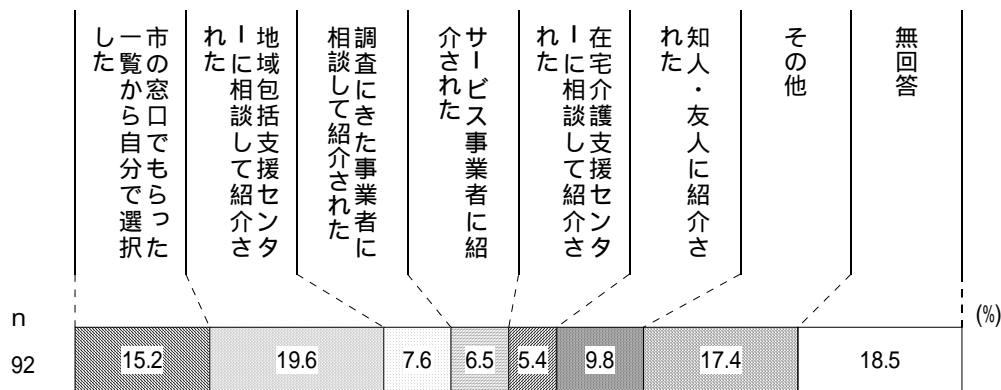
問40 あなた（あて名ご本人）が現在利用している介護保険の居宅サービスは何ですか。
（あてはまるものすべてに ）



居宅サービスについては、「介護保険の居宅サービスは、利用していない」が 69.7%である。利用している居宅サービスの中では、「通所介護」が 2.1%で最も多く、以下、「福祉用具の貸与」（1.7%）、「訪問介護」（1.3%）、「通所リハビリテーション」（1.0%）、「短期入所生活介護」（0.9%）、「訪問看護」（0.7%）、「福祉用具の購入」（0.6%）、「訪問入浴介護」（0.5%）の順となっている。

(7) ケアマネジャーを選んだきっかけ

問41 あなた（あて名ご本人）のケアプラン作成を依頼したケアマネジャー（介護支援専門員）は、どのようなきっかけで選びましたか。（ は1つ）

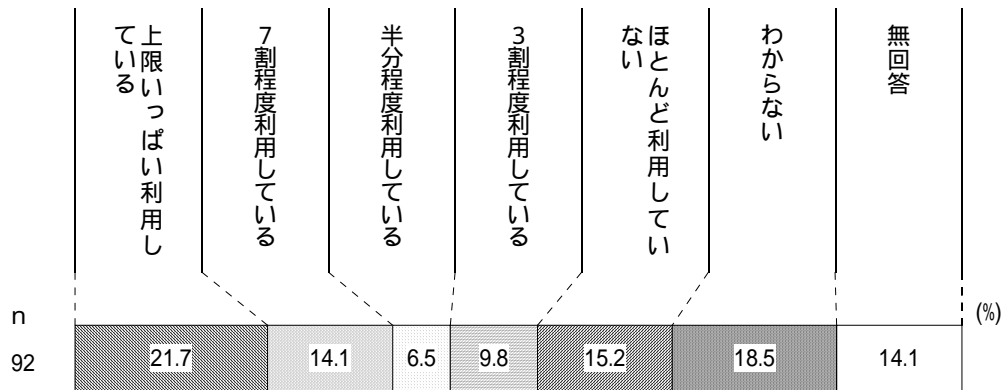


ケアマネジャーを選んだきっかけは、「地域包括支援センターに相談して紹介された」が19.6%で最も多く、以下、「市の窓口でもらった一覧から自分で選択した」(15.2%)、「知人・友人に紹介された」(9.8%)、「調査にきた事業者に相談して紹介された」(7.6%)、「サービス事業者に紹介された」(6.5%)の順となっている。

その他の内容は、「チラシ広告」「入院した病院から紹介」「病院でみかけた」「嫁が福祉関係に働いていたから」などとなっている。

(8) 利用限度額に対する利用割合

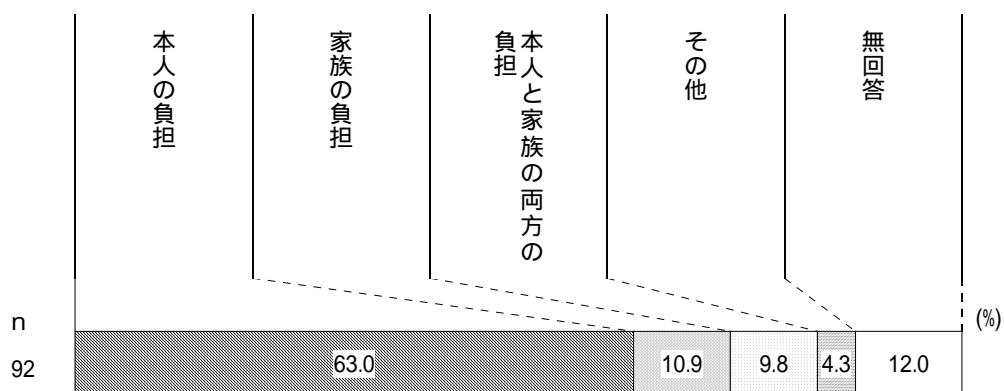
問42 あなた(あて名ご本人)は介護保険で定められている利用限度額に対して、どれくらいの割合を利用していますか。(は1つ)



利用限度額に対する利用割合は、「上限いっぱい利用している」が21.7%で最も多く、以下、「ほとんど利用していない」(15.2%)、「7割程度利用している」(14.1%)、「3割程度利用している」(9.8%)、「半分程度利用している」(6.5%)の順となっている。また、「わからない」が18.5%みられる。

(9) 介護保険利用料の負担者

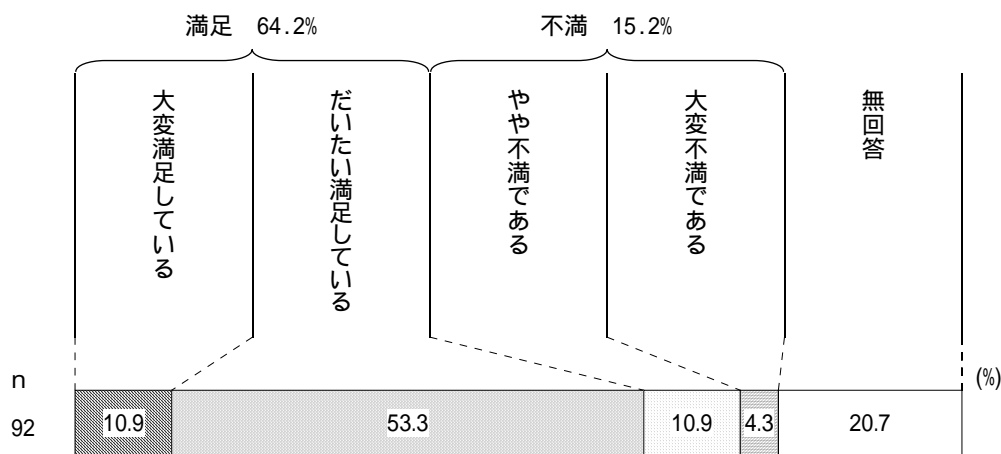
問43 介護保険の利用にかかる費用は、どなたが負担していますか。(は1つ)



介護保険利用料の負担者は、「本人の負担」が63.0%で最も多く、以下、「家族の負担」(10.9%)、「本人と家族の両方の負担」(9.8%)の順となっている。

(10) ケアプランの満足度

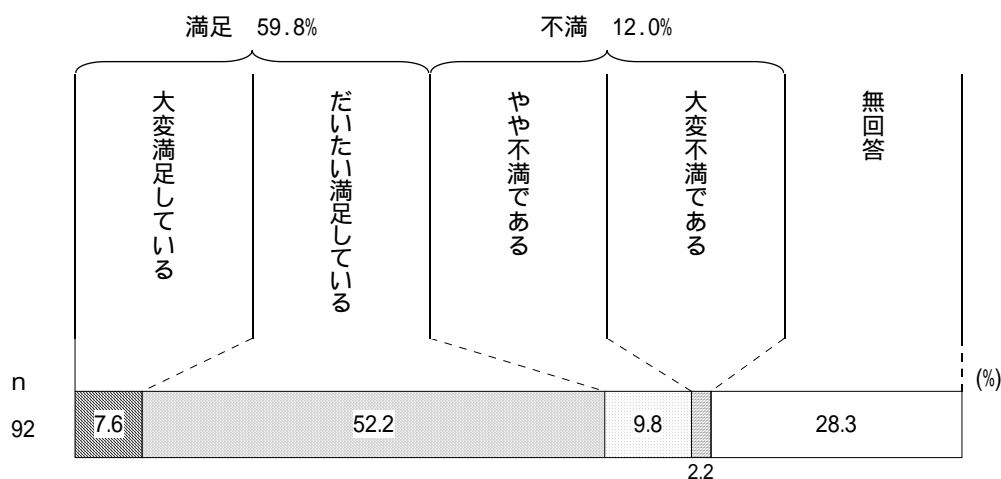
問44 あなた（あて名ご本人）は現在のケアプランの内容に満足していますか。（ は1つ）



ケアプランの満足度は、「だいたい満足している」が 53.3%で最も多く、これに「大変満足している」(10.9%)を合わせると、64.2%が《満足》と回答している。一方、「やや不満である」(10.9%)と「大変不満である」(4.3%)を合わせた《不満》は 15.2%である。

(11) 在宅サービスの満足度

問45 あなた（あて名ご本人）は、現在利用している介護保険の在宅サービス（ケアプランの作成を除く）の内容に満足していますか。（ は1つ）

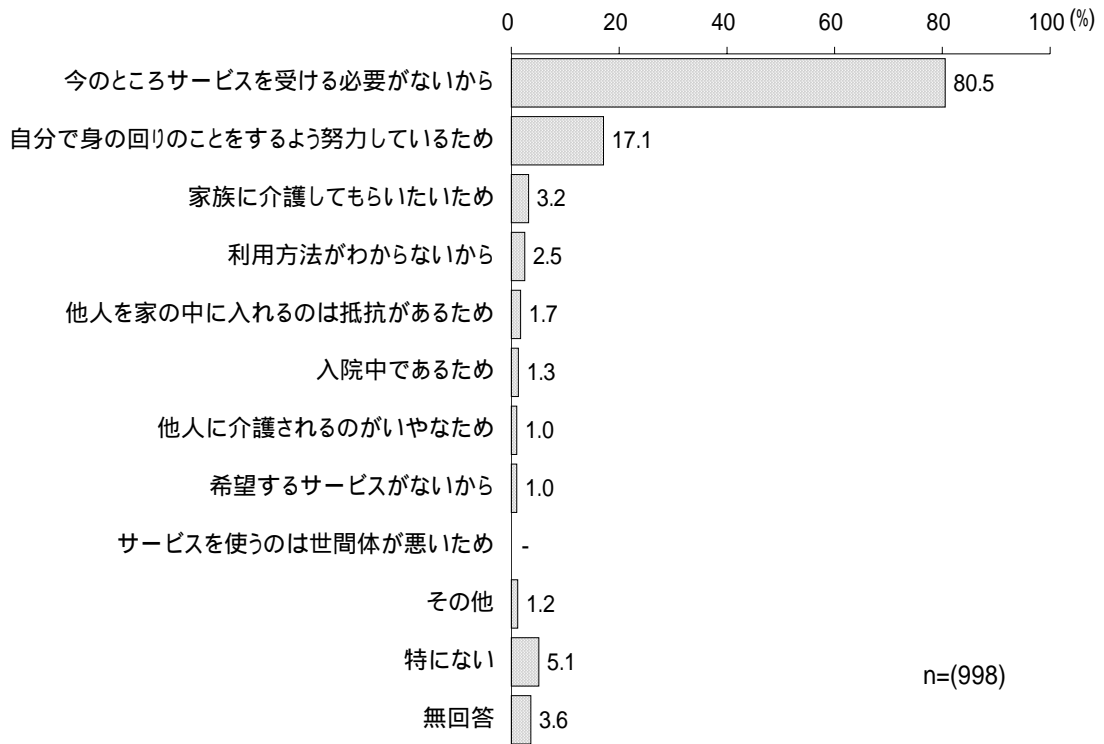


在宅サービスの満足度は、「だいたい満足している」が 52.2%で最も多く、これに「大変満足している」(7.6%)を合わせると、59.8%が《満足》と回答している。一方、「やや不満である」(9.8%)と「大変不満である」(2.2%)を合わせた《不満》は 12.0%である。

(12) 居宅サービスを利用していない理由

(問40で「介護保険の居宅サービスは利用していない」に つけた方におたずねします)

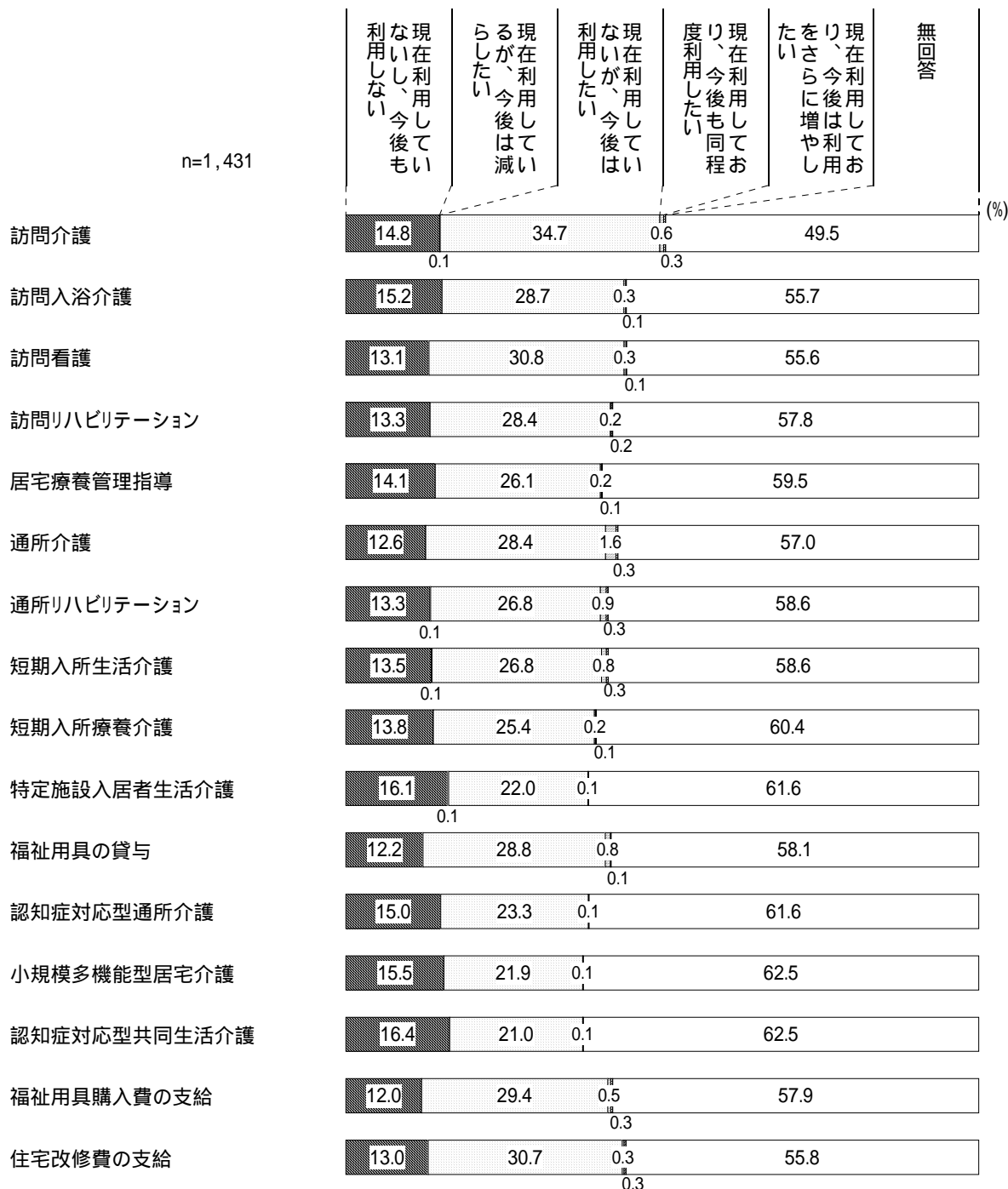
問46 あなた(あて名ご本人)が介護保険の居宅サービスを利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに)



居宅サービスを利用していない理由は、「今のところサービスを受ける必要がないから」が80.5%で突出して多く、以下、「自分で身の回りのことをするよう努力しているため」(17.1%)、「家族に介護してもらいたいため」(3.2%)、「利用方法がわからないから」(2.5%)、「他人を家の中に入れるのは抵抗があるため」(1.7%)、「入院中であるため」(1.3%)の順となっている。

(13) 介護保険サービスの利用意向

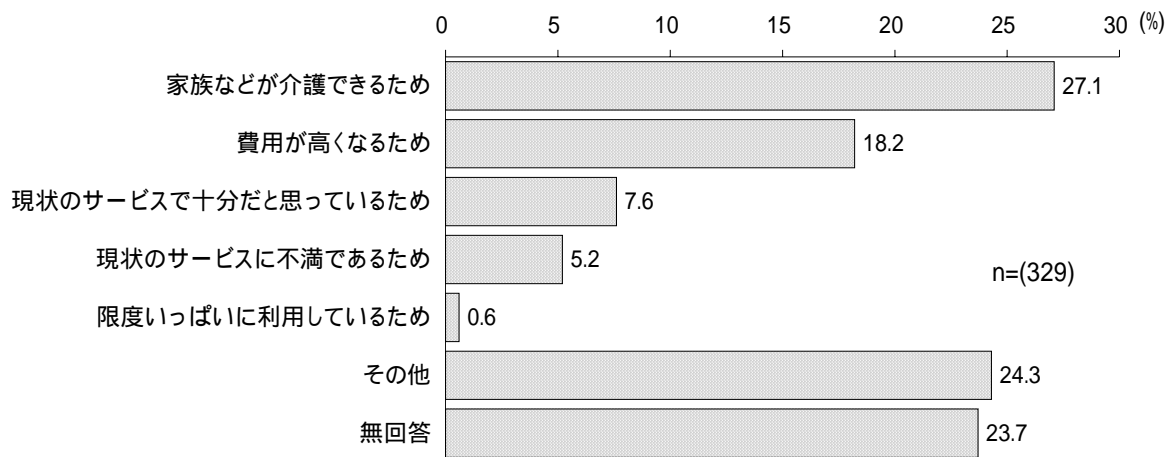
問47-1 介護保険の各サービス(介護予防サービスを含む)について、今後の利用をどのようにお考えですか。次にあげる各サービスごとに、あなた(あて名ご本人)の考えに最も近いものを選んでください。(それぞれは1つ)



介護保険サービスについて、「現在利用していないが、今後は利用したい」との回答は、『訪問介護』が34.7%で最も多く、以下、『訪問看護』(30.8%)、『住宅改修費の支給』(30.7%)、『福祉用具購入費の支給』(29.4%)と続き、2割強～3割台半ばの利用意向がみられる。

(14) サービスを増やしたくない理由

(問47-1の各サービスのいずれかで「現在利用していないし、今後も利用しない」または「現在利用しているが、今後は減らしたい」に つけた方にお伺いします)
 問47-2 あなた(あて名ご本人)が、サービスを増やしたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



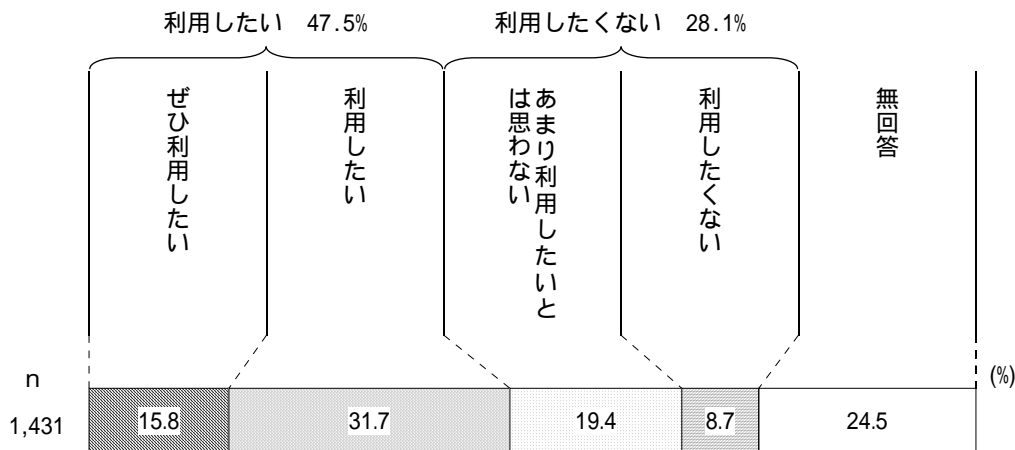
サービスを増やしたくない理由は、「家族などが介護できるため」が 27.1%で最も多く、以下、「費用が高くなるため」(18.2%)、「現状のサービスで十分だと思っているため」(7.6%)、「現状のサービスに不満であるため」(5.2%)、「限度いっぱい利用しているため」(0.6%)の順となっている。

その他の内容は、「必要ない」(17件)、「健康だから、健康でいたいから」(8件)、「まだ分からない」(8件)、「利用していないのでサービスについて分からない」(4件)、「自力でできるため」(4件)などとなっている。

(15) 夜間対応型訪問介護の利用意向

問48 現在青梅市で行われていないサービスで、これらのサービスを提供してくれる介護保険の事業所が身近な地域にあったら、あなた(あて名ご本人)は利用を希望しますか。

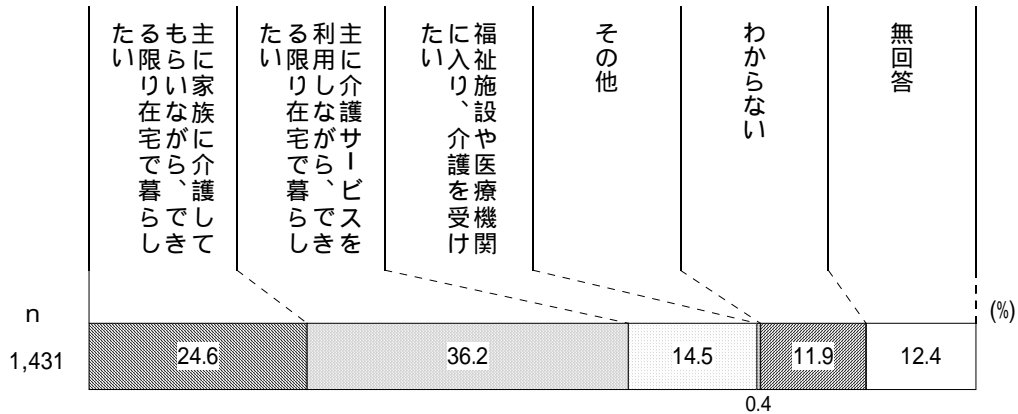
夜間対応型訪問介護 一晩に1回、ホームヘルプ(訪問介護)を受けられるほか、夜間の緊急時に通報すれば訪問介護を受けられるサービスです。(は1つ)



夜間対応型訪問介護の利用意向は、「利用したい」が31.7%で最も多く、これに「ぜひ利用したい」(15.8%)を合わせると、47.5%が《利用したい》と回答している。一方、「あまり利用したいとは思わない」(19.4%)と「利用したくない」(8.7%)を合わせた《利用したくない》は28.1%である。

(16) 今後希望する介護形態

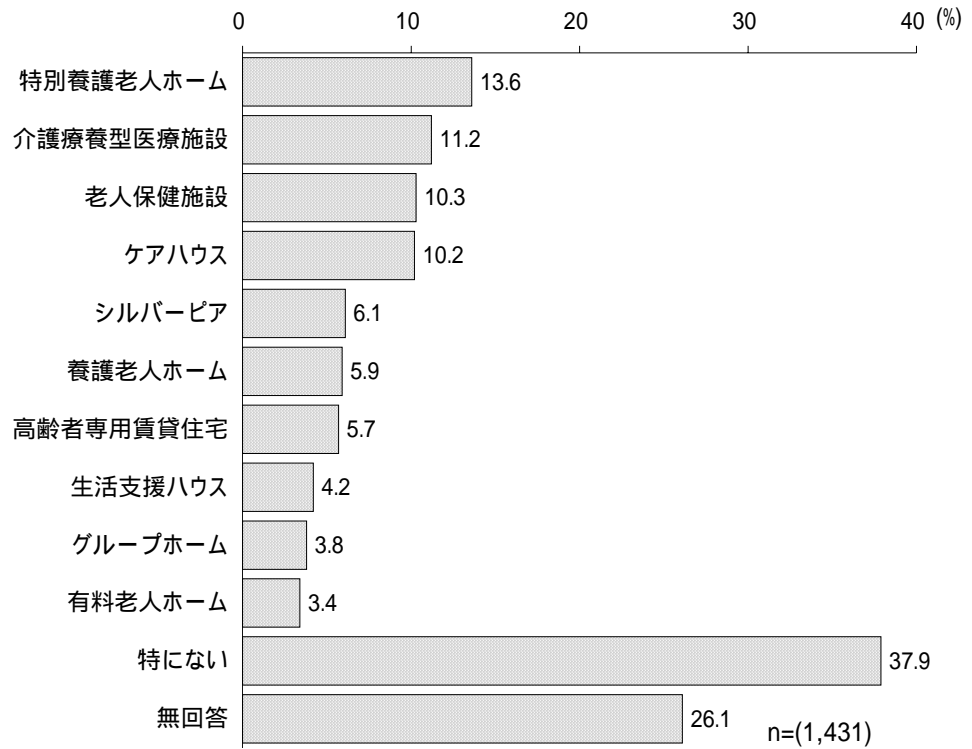
問49 今後の介護について、あなた（あて名ご本人）はどのような希望をお持ちですか。現在、介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。（は1つ）



今後の希望介護形態は、「主に介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい」が 36.2%で最も多く、以下、「主に家族に介護してもらいながら、できる限り在宅で暮らしたい」(24.6%)、「福祉施設や医療機関に入り、介護を受けたい」(14.5%)の順となっている。また、「わからない」が 11.9%みられる。

(17) 利用したい施設

問50-1 あなた(あて名ご本人)が、申込みをしている施設、もしくは、今後、利用したい施設などがありますか。下の一覧表を参考にして、お答えください。(あてはまるものすべてに)

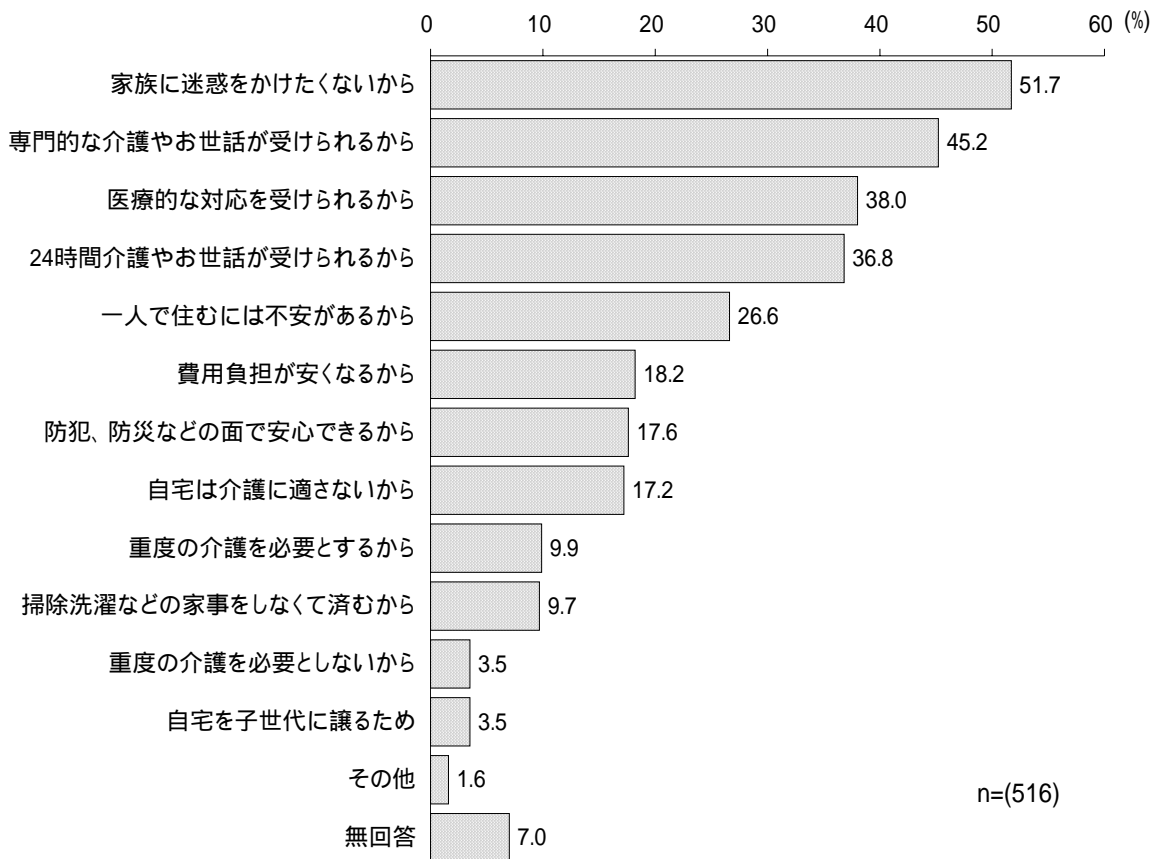


利用したい施設については、「特にない」が 37.9%である。利用したい施設の中では、「特別養護老人ホーム」が 13.6%で最も多く、以下、「介護療養型医療施設」(11.2%)、「老人保健施設」(10.3%)、「ケアハウス」(10.2%)、「シルバーピア」(6.1%)、「養護老人ホーム」(5.9%)、「高齢者専用賃貸住宅」(5.7%)の順となっている。

(18) 施設などを利用したい理由

(前問50-1で、いずれかの施設に つけた方におたずねします)

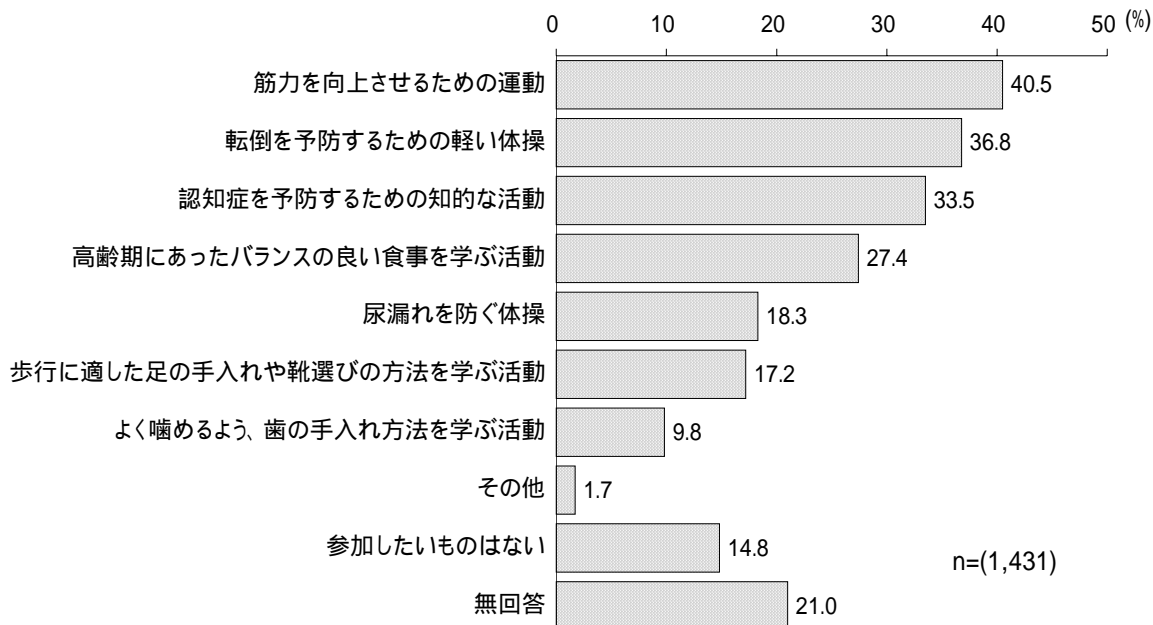
問50-2 このような施設などを利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



施設などを利用したい理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」が 51.7%で最も多く、以下、「専門的な介護やお世話が受けられるから」(45.2%)、「医療的な対応を受けられるから」(38.0%)、「24 時間介護やお世話が受けられるから」(36.8%)、「一人で住むには不安があるから」(26.6%)、「費用負担が安くなるから」(18.2%)の順となっている。

(19) 介護予防の参加意向

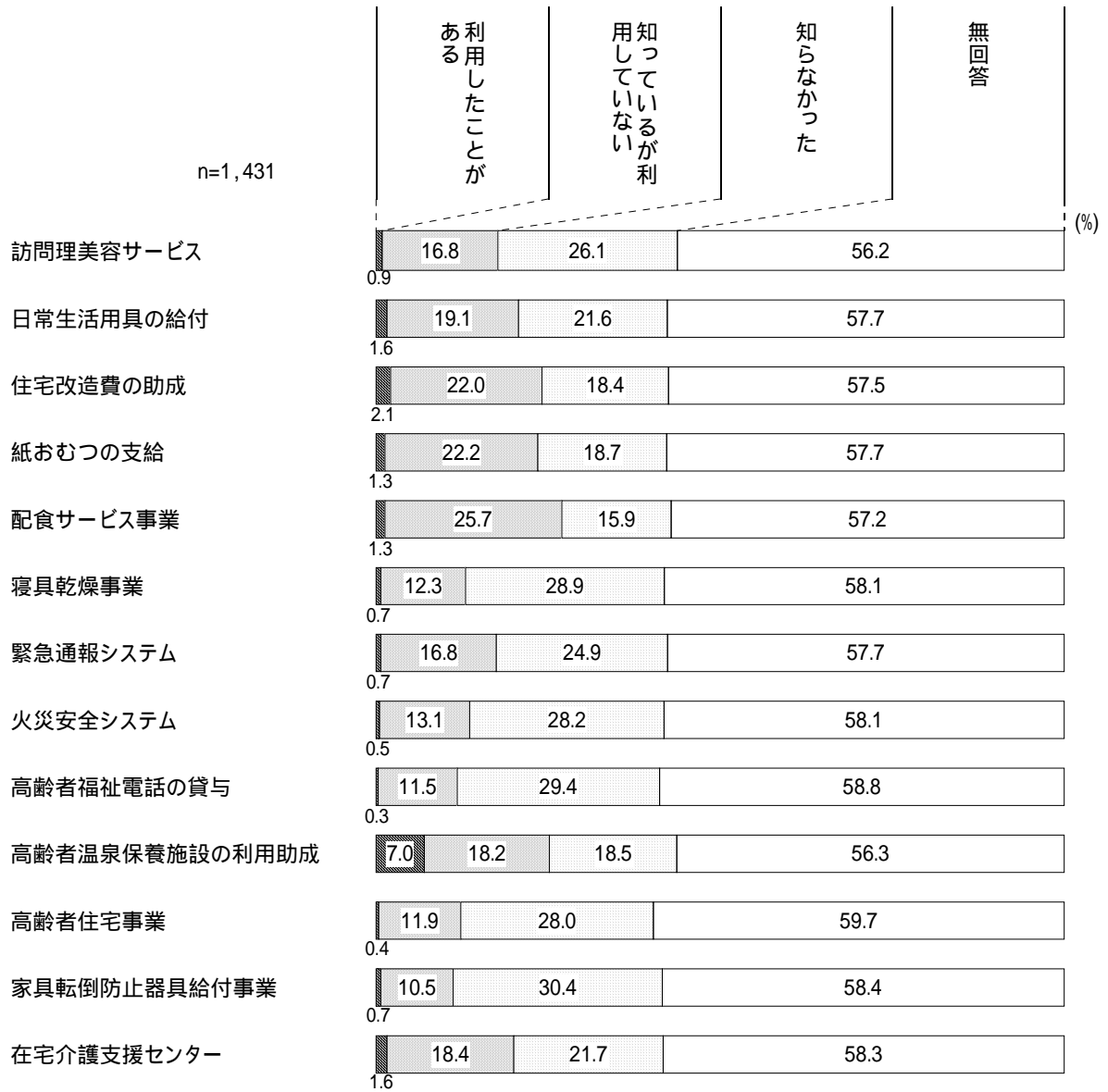
問51 体が弱ってきた方や、要支援、要介護1など、介護度が低い方に対しては、これ以上身体の具合が悪くならないようにする「介護予防」の取り組みが重要だといわれています。介護予防のために以下のような活動への参加を促された場合、参加したいと思うものをお答えください。(あてはまるものすべてに)



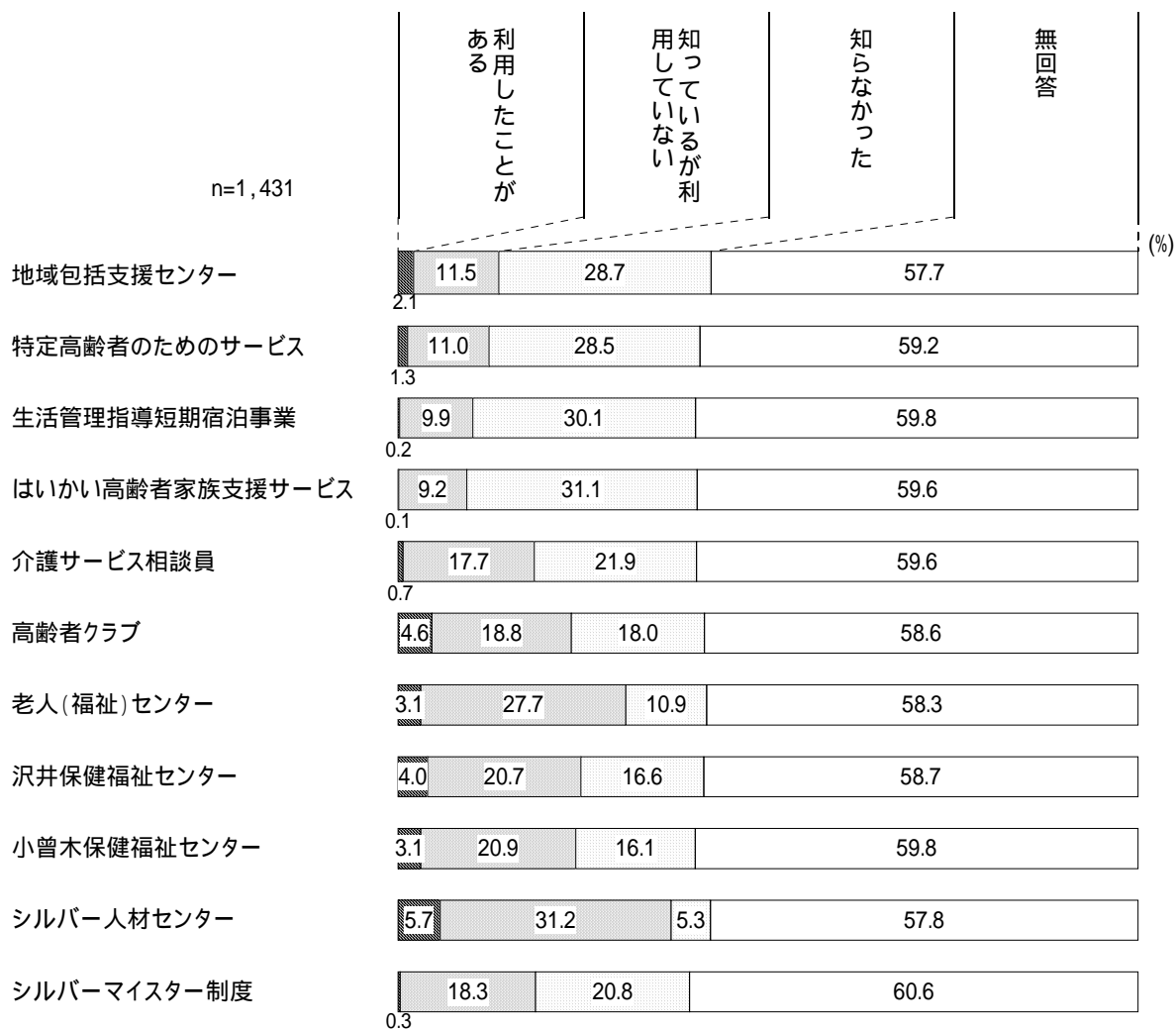
介護予防の参加意向は、「筋力を向上させるための運動」が 40.5%で最も多く、以下、「転倒を予防するための軽い体操」(36.8%)、「認知症を予防するための知的な活動」(33.5%)、「高齢期にあったバランスの良い食事を学ぶ活動」(27.4%)、「尿漏れを防ぐ体操」(18.3%)、「歩行に適した足の手入れや靴選びの方法を学ぶ活動」(17.2%)の順となっている。

(20) 高齢者福祉サービスの利用状況等

問52 高齢者福祉サービスの各事業について、利用状況、利用した感想、今後の利用意向の各項目ごとに、該当するものを選んでください。(それぞれは1つ)

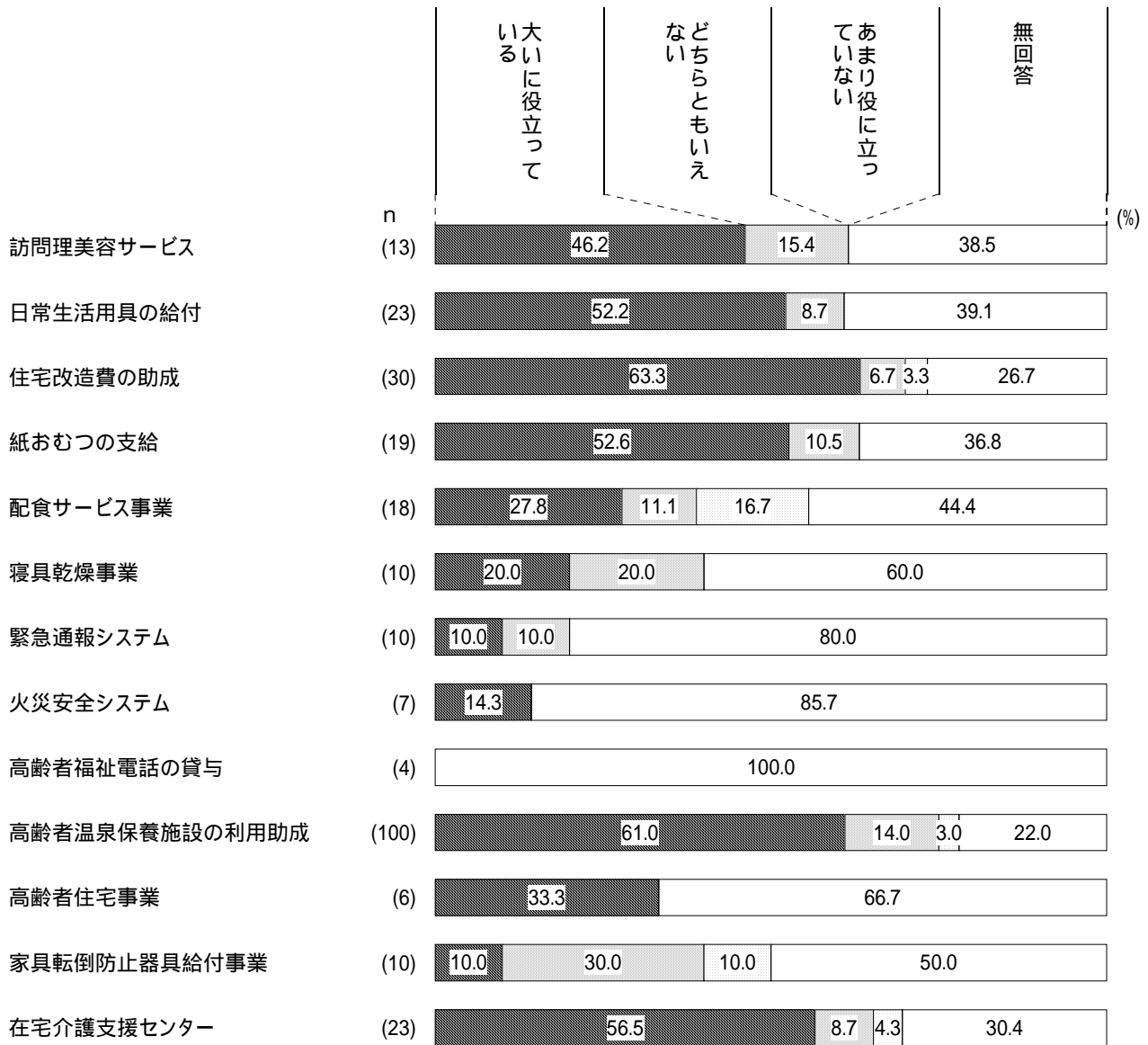


第2章 高齢者一般調査

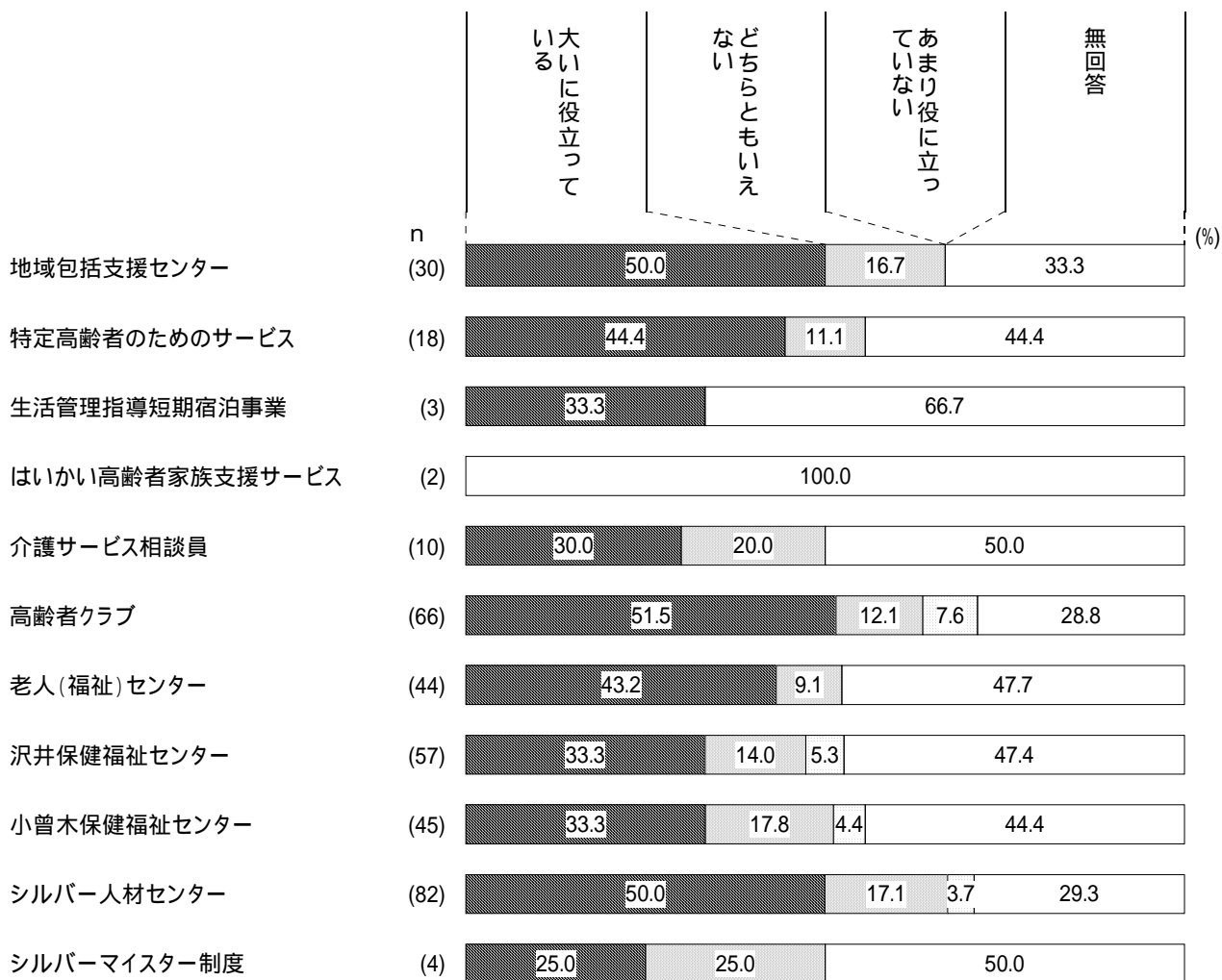


高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したことがある」割合は、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(7.0%)、『シルバー人材センター』(5.7%)で高く、その他の事業では5%に満たない。「知っているが利用していない」割合は、『老人(福祉)センター』(27.7%)、『シルバー人材センター』(31.2%)で3割前後と高い。「知らなかった」割合は、『家具転倒防止器具給付事業』(30.4%)、『生活管理指導短期宿泊事業』(30.1%)、『はいかい高齢者家族支援サービス』(31.1%)で3割を超えて高くなっている。

(21) 高齢者福祉サービスを利用した感想

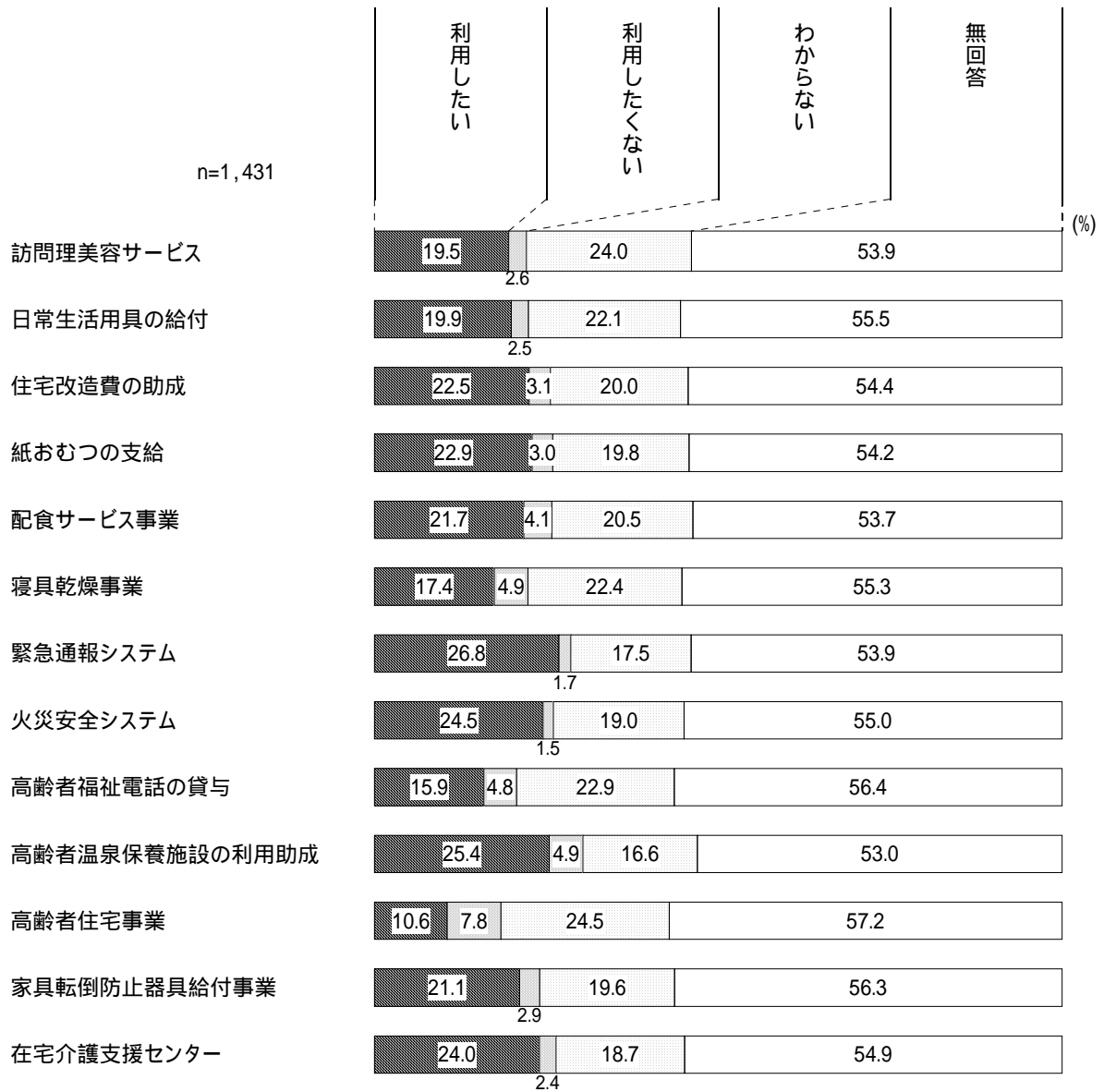


第2章 高齢者一般調査

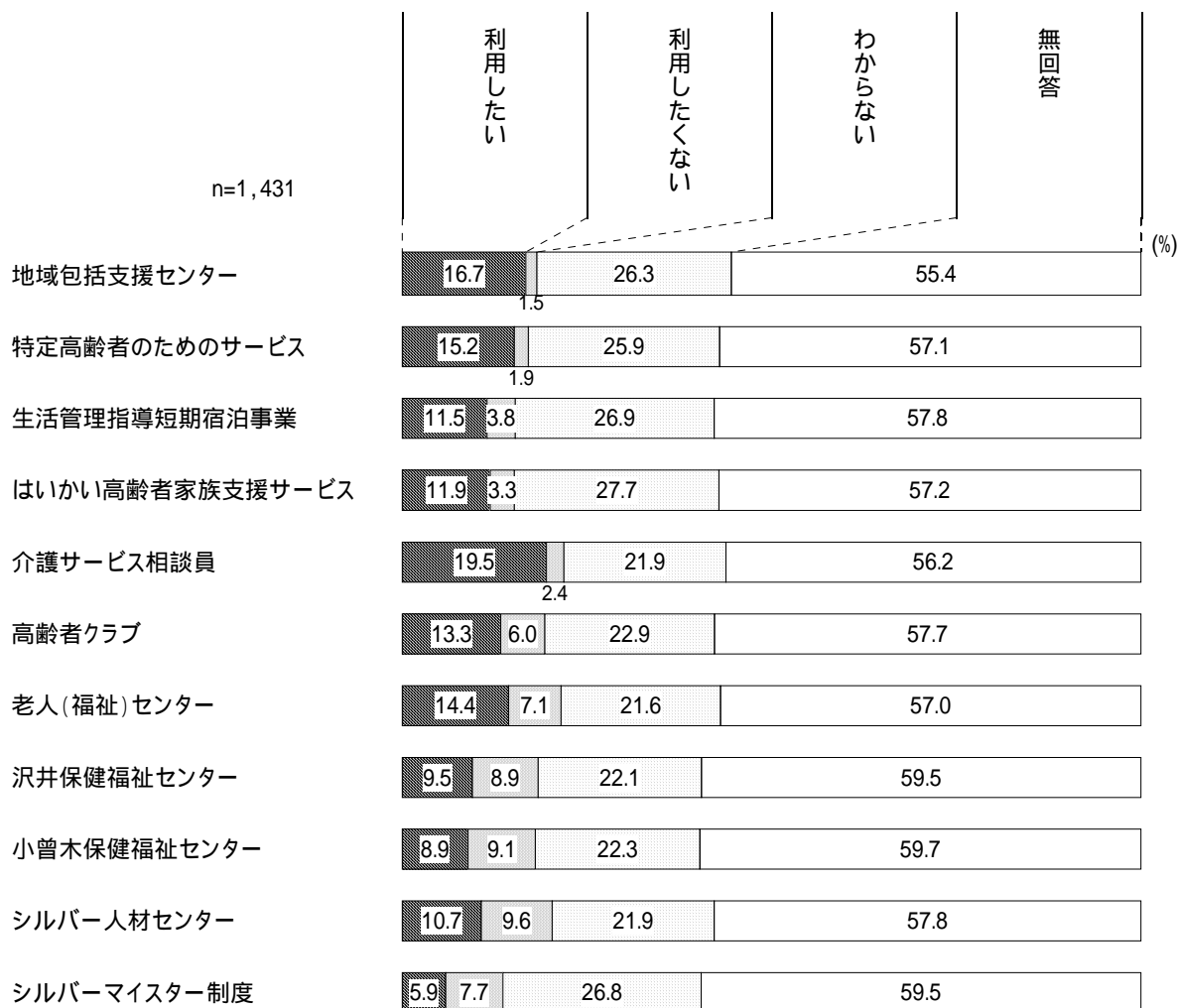


高齢者福祉サービスを利用した感想は、利用者数が少ないため参考値になるが、「大いに役立っている」との回答が多くみられる傾向にある。「あまり役に立っていない」との回答は皆無か少数であり、その中では『配食サービス事業』(16.7%)、『家具転倒防止器具給付事業』(10.0%)で比較的高くなっている。

(22) 高齢者福祉サービスの今後の利用意向



第2章 高齢者一般調査



高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したい」割合は、『緊急通報システム』(26.8%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(25.4%)、『火災安全システム』(24.5%)、『在宅介護支援センター』(24.0%)で比較的高くなっている。「利用したくない」割合は、『シルバー人材センター』(9.6%)、『小曾木保健福祉センター』(9.1%)、『沢井保健福祉センター』(8.9%)で1割弱みられる。

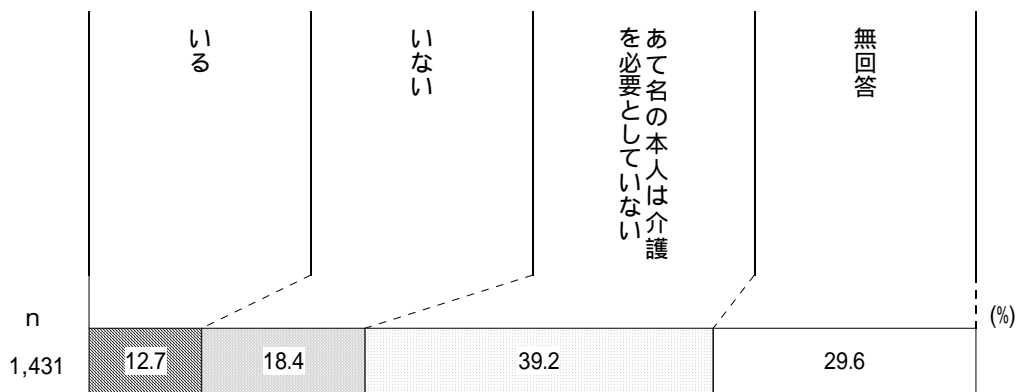
(23) 高齢者福祉サービスについての自由意見

区分	記入内容	件数
1	未利用について	11
2	アンケートについて	11
3	サービスについて	8
4	情報提供について	7
5	今後の利用意向について	6
6	老人福祉センターについて	5
7	介護保険料について	3
8	シルバー人材センターについて	2

1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある
「その他」を除く

(24) 家族介護者の有無

問53 あて名のご本人を介護しているご家族の方はいますか。(は1つ)

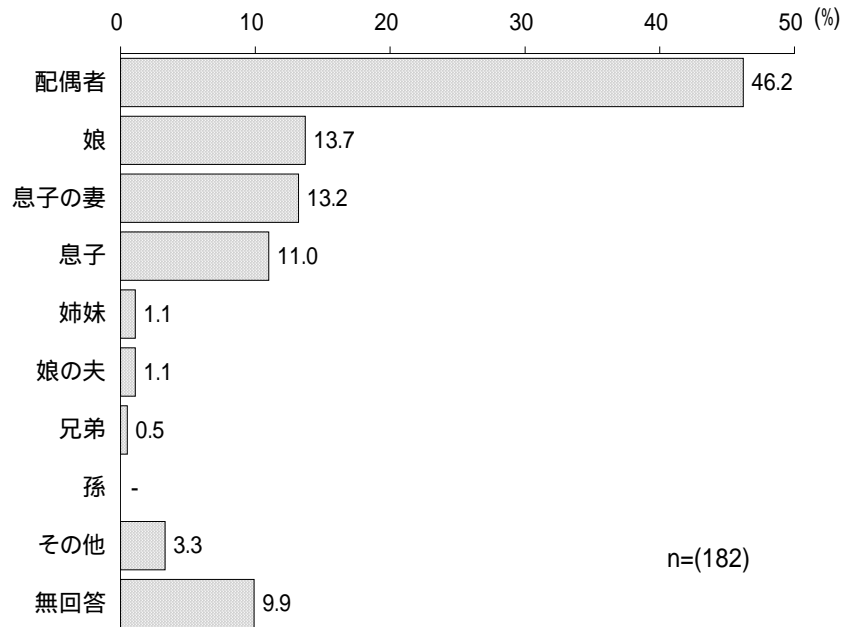


家族介護者の有無は、「あて名の本人は介護を必要としていない」が 39.2%で最も多く、以下、「いない」(18.4%)、「いる」(12.7%)の順となっている。

6. 介護者について

(1) 介護者の続柄

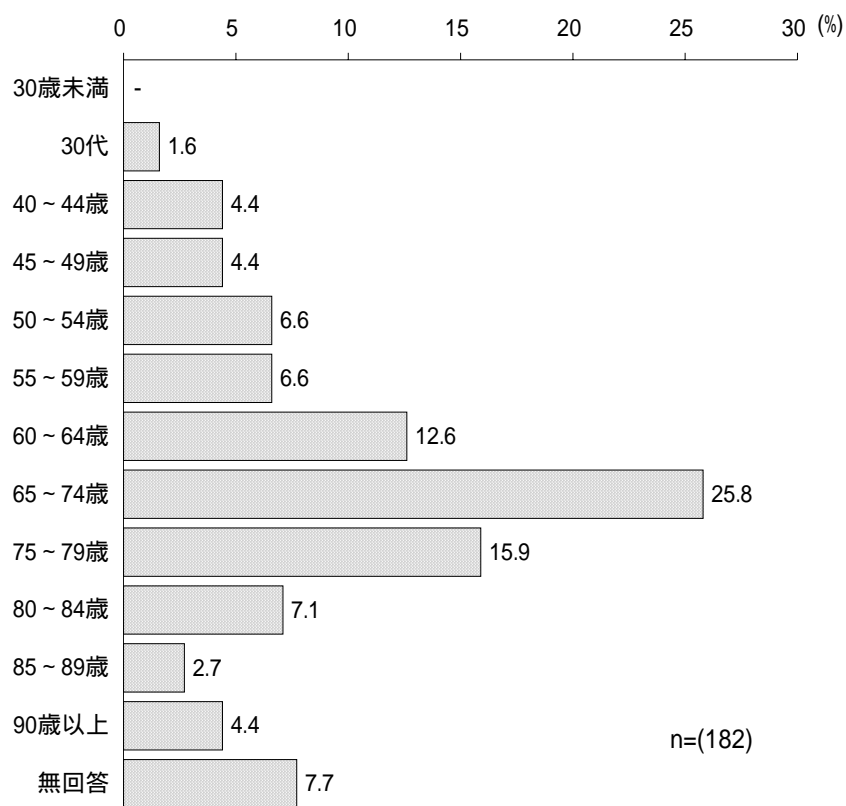
問54 主に介護している方（介護者）は、あて名のご本人（介護されている方）からみて、どのような関係の方ですか。（ は1つ）



介護者の続柄は、「配偶者」が 46.2%で最も多く、以下、「娘」(13.7%)、「息子の妻」(13.2%)、「息子」(11.0%)、「姉妹」(1.1%)、「娘の夫」(1.1%)の順となっている。

(2) 介護者の年齢

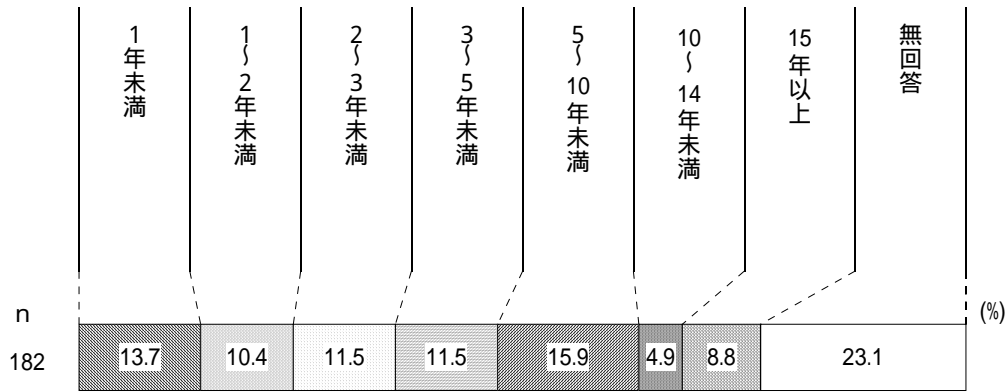
介護者の方の年齢はおいくつですか。(は1つ)



介護者の年齢は、「65～74歳」が25.8%で最も多く、以下、「75～79歳」(15.9%)、「60～64歳」(12.6%)、「80～84歳」(7.1%)と続き、65歳以上が過半数となっている。

(3) 介護期間

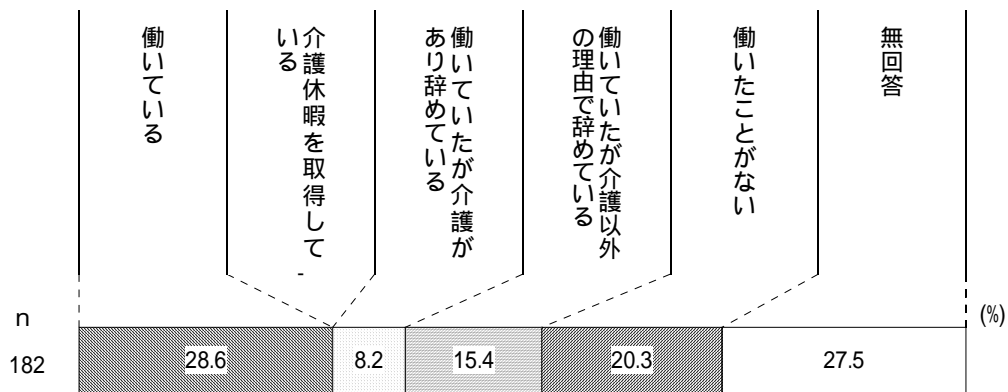
介護者の方は、どのくらいの期間介護していますか。(は1つ)



介護期間は、「5～10年未満」が15.9%で最も多く、以下、「1年未満」(13.7%)、「2～3年未満」(11.5%)、「3～5年未満」(11.5%)、「1～2年未満」(10.4%)、「15年以上」(8.8%)、「10～14年未満」(4.9%)の順となっている。

(4) 介護者の就労状況

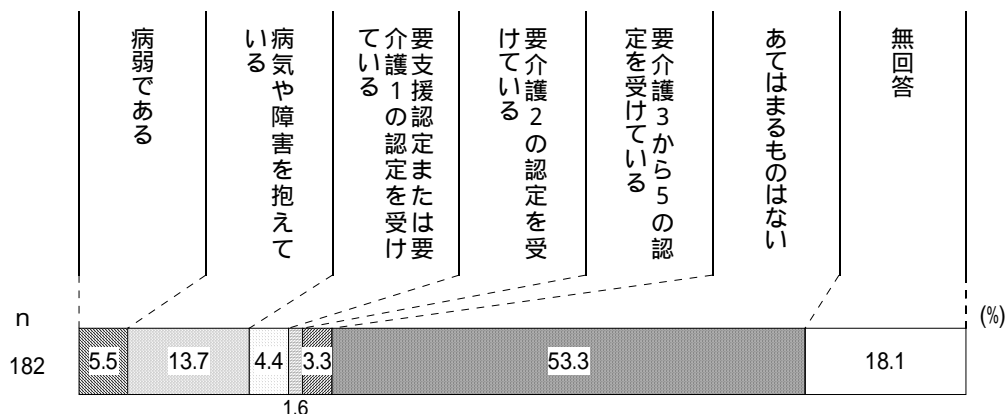
介護者の方は働いていますか。(は1つ)



介護者の就労状況は、「働いている」が28.6%で最も多く、以下、「働いたことがない」(20.3%)、「働いていたが介護以外の理由で辞めている」(15.4%)、「働いていたが介護があり辞めている」(8.2%)の順となっている。

(5) 介護者の健康状態

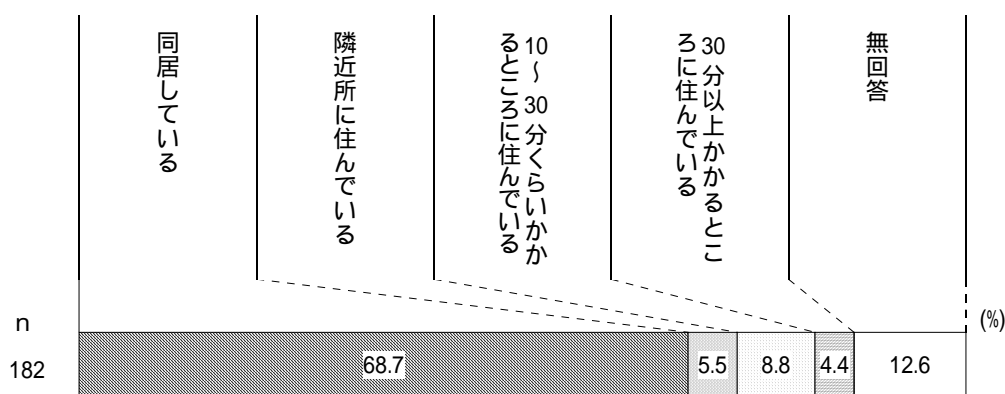
介護者の方の健康状態について、あてはまるものをお答えください。(は1つ)



介護者の健康状態は、「あてはまるものはない」が 53.3%で最も多く、以下、「病気を障害を抱えている」(13.7%)、「病弱である」(5.5%)、「要支援認定または要介護1の認定を受けている」(4.4%)の順となっている。

(6) 介護者と本人の距離

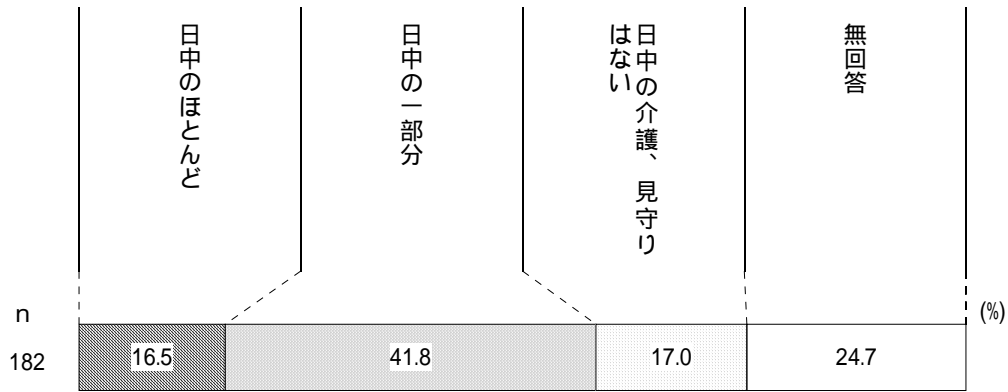
介護者の方とあて名のご本人との同別居についてお伺いします。別居している場合は、いつも通っている方法(徒歩・電車・バスなど)でどれくらいの時間がかかるか、お答えください。(は1つ)



介護者と本人の距離は、「同居している」が 68.7%で最も多く、以下、「10~30分くらいかかる場所に住んでいる」(8.8%)、「隣近所に住んでいる」(5.5%)、「30分以上かかる場所に住んでいる」(4.4%)の順となっている。

(7) 介護、見守りに費やす時間(日中)

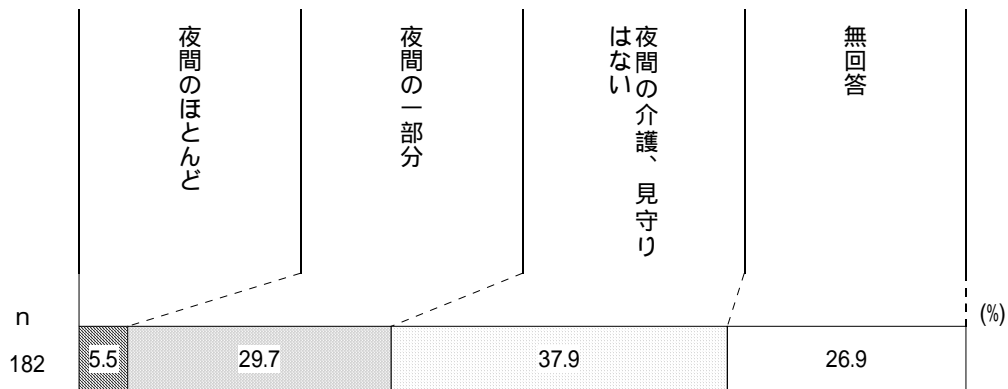
介護者の方が介護、見守りに費やしている日中の時間はどのくらいですか。(は1つ)



介護、見守りに費やす時間(日中)は、「日中の一部分」が41.8%で最も多く、以下、「日中の介護、見守りはない」(17.0%)、「日中のほとんど」(16.5%)の順となっている。

(8) 介護、見守りに費やす時間(夜間)

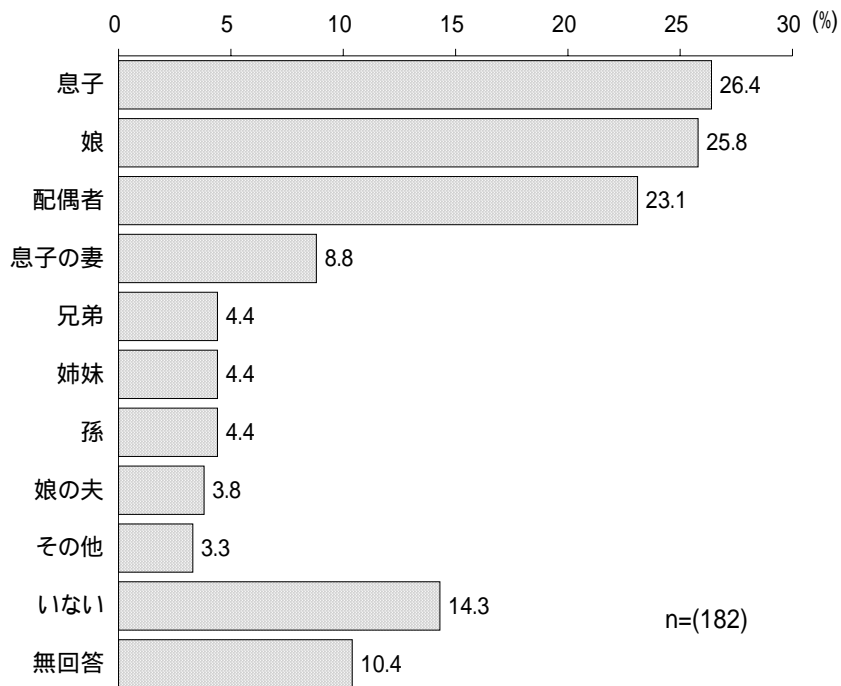
介護者の方が夜間、介護、見守りに費やしている時間はどのくらいですか。(は1つ)



介護、見守りに費やす時間(夜間)は、「夜間の介護、見守りはない」が37.9%で最も多く、以下、「夜間の一部分」(29.7%)、「夜間のほとんど」(5.5%)の順となっている。

(9) 介護を手伝ってくれる家族

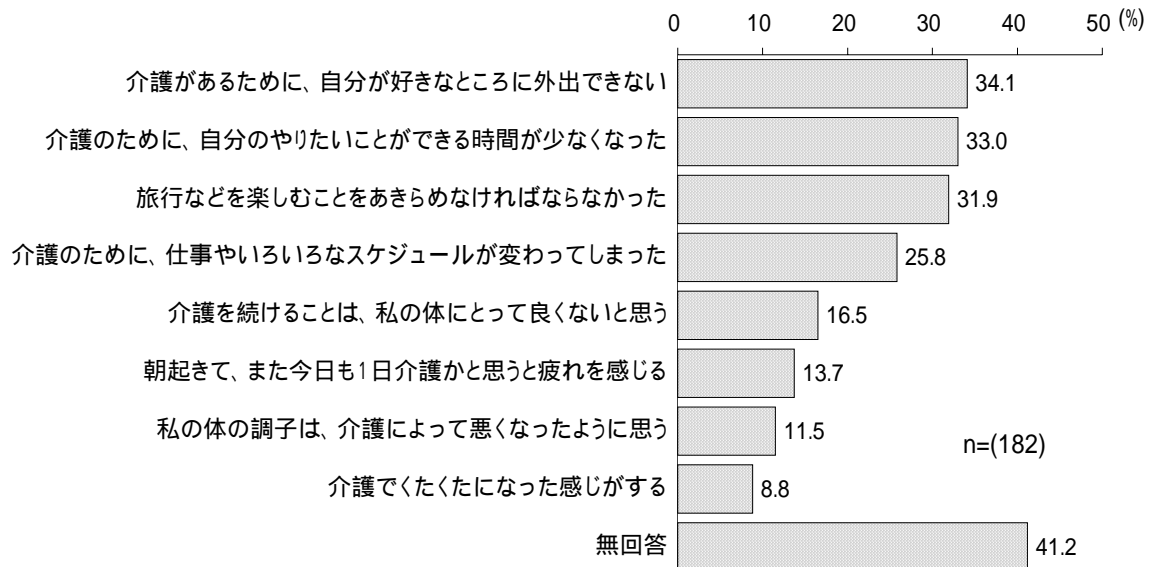
介護者以外で、あて名のご本人の介護を手伝ってくれるご家族はどなたですか。あて名のご本人との関係をお答えください。(あてはまるものすべてに)



介護を手伝ってくれる家族は、「息子」が 26.4%で最も多く、以下、「娘」(25.8%)、「配偶者」(23.1%)、「息子の妻」(8.8%)、「兄弟」(4.4%)、「姉妹」(4.4%)、「孫」(4.4%)の順となっている。

(10) 介護に際して感じるストレス

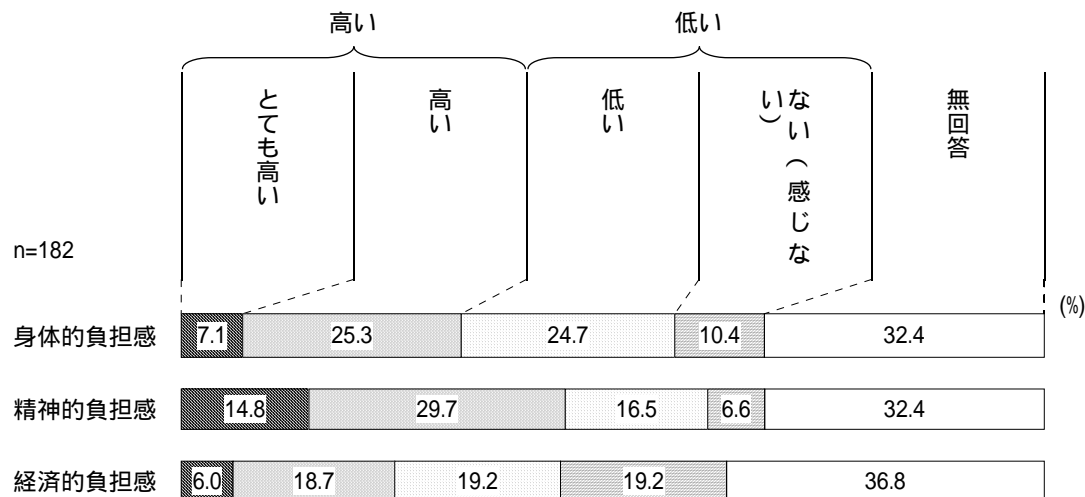
問55 介護者の方は、介護に際してストレスを感じることがありますか。次にあげる各項目について、現在、あてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに)



介護に際して感じるストレスは、「介護があるために、自分が好きなところに外出できない」が34.1%で最も多く、以下、「介護のために、自分のやりたいことができる時間が少なくなった」(33.0%)、「旅行などを楽しむことをあきらめなければならなかった」(31.9%)、「介護のために、仕事やいろいろなスケジュールが変わってしまった」(25.8%)の順となっている。

(11) 介護の負担感

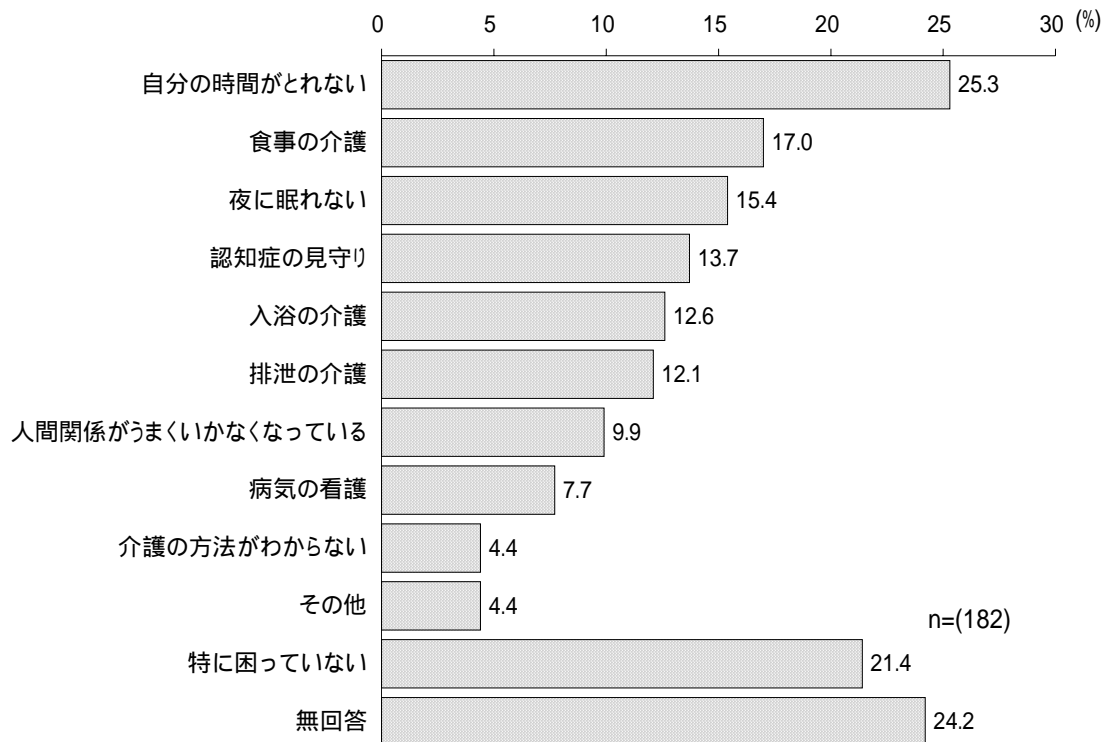
問56 介護をする上で、介護者の方が感じる負担感はどの程度ですか。次にあげる各項目について、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれは1つ)



介護の負担感が「とても高い」と「高い」を合わせた《高い》の割合は、『精神的負担感』で44.5%と高く、『身体的負担感』では32.4%、『経済的負担感』では24.7%となっている。

(12) 介護者が困っていること

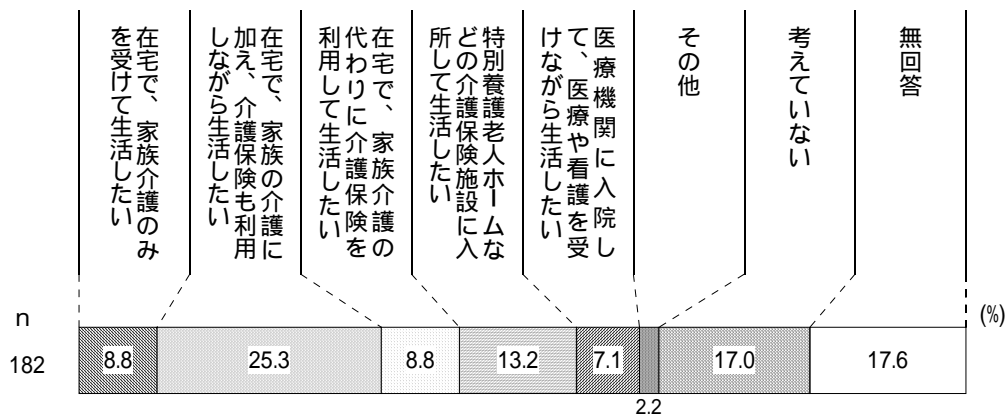
問57 介護者の方がお困りのことは何ですか。(あてはまるものすべてに)



介護者が困っていることは、「自分の時間がとれない」が 25.3%で最も多く、以下、「食事の介護」(17.0%)、「夜に眠れない」(15.4%)、「認知症の見守り」(13.7%)、「入浴の介護」(12.6%)、「排泄の介護」(12.1%)の順となっている。また、「特に困っていない」が 21.4%みられる。

(13) 介護者が自身に希望する介護形態

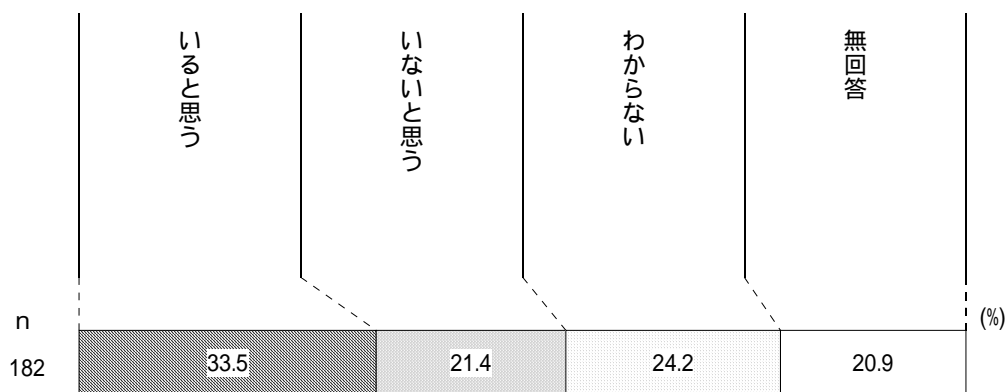
問58 今後、介護者ご自身が、介護や生活上の手助けが必要となった場合、どこで生活したいとお考えですか。(は1つ)



介護者が自身に希望する介護形態は、「在宅で、家族の介護に加え、介護保険も利用しながら生活したい」が 25.3%で最も多く、以下、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して生活したい」(13.2%)、「在宅で、家族介護のみを受けて生活したい」(8.8%)、「在宅で、家族介護の代わりに介護保険を利用して生活したい」(8.8%)の順となっている。また、「考えていない」が 17.0%みられる。

(14) 将来、介護者を介護してくれる人の有無

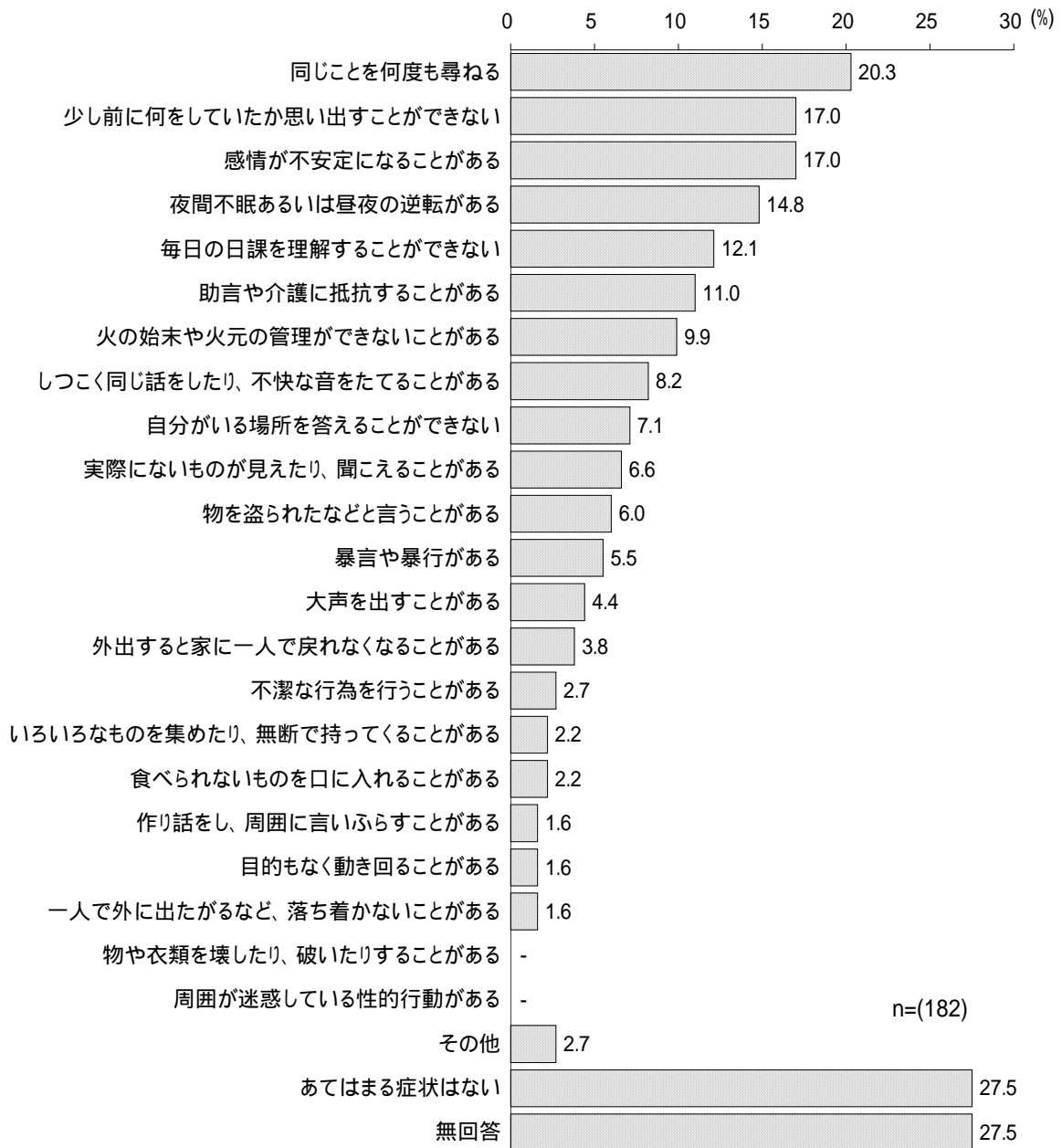
問59 将来、介護者であるあなたに介護や介助が必要となった場合についておたずねします。あなたを介護したり、生活を手助けしてくれる人はいますか。(は1つ)



将来、介護者を介護してくれる人の有無は、「いると思う」(33.5%)、「いないと思う」(21.4%)、「わからない」(24.2%)となっている。

(15) 認知症の症状

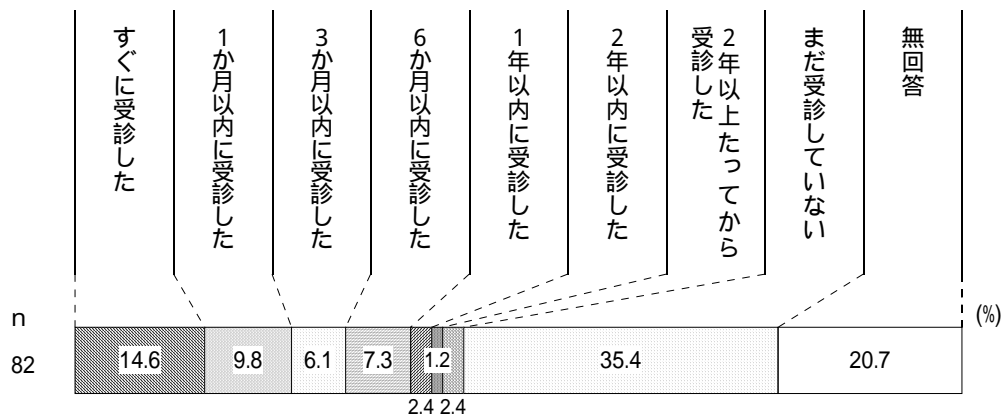
問60 - 1 あて名のご本人にあてはまる症状はありますか。(あてはまるものに)



認知症の症状は、「あてはまる症状はない」が 27.5%である。症状の中では、「同じことを何度も尋ねる」が 20.3%で最も多く、以下、「少し前に何をしていたか思い出すことができない」(17.0%)、「感情が不安定になることがある」(17.0%)、「夜間不眠あるいは昼夜の逆転がある」(14.8%)、「毎日の日課を理解することができない」(12.1%)、「助言や介護に抵抗することがある」(11.0%)の順となっている。

(16) 認知症を発症して受診するまでの期間

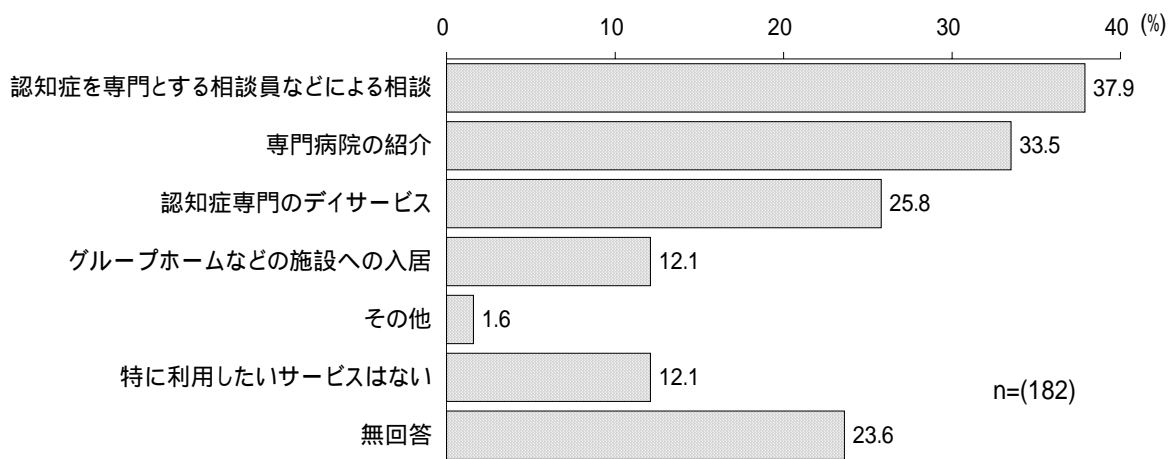
問60 - 2 前問で をつけた症状に気づいてから、その症状について医療機関に受診するまで、どれくらいの期間がありましたか。(は1つ)



認知症を発症して受診するまでの期間は、「まだ受診していない」が 35.4%で最も多く、以下、「すぐに受診した」(14.6%)、「1か月以内に受診した」(9.8%)、「6か月以内に受診した」(7.3%)、「3か月以内に受診した」(6.1%)の順となっている。

(17) 認知症に関して利用したいサービス

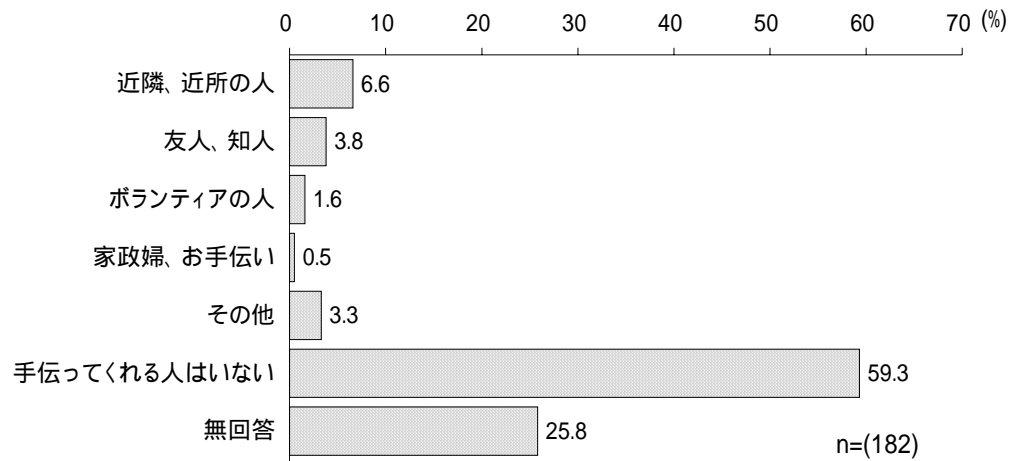
問61 あて名のご本人に、認知症の症状が出た場合、主に介護している方はどのようなサービスがあれば利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに)



認知症に関して利用したいサービスは、「認知症を専門とする相談員などによる相談」が 37.9%で最も多く、以下、「専門病院の紹介」(33.5%)、「認知症専門のデイサービス」(25.8%)、「グループホームなどの施設への入居」(12.1%)の順となっている。また、「特に利用したいサービスはない」が 12.1%みられる。

(18) 家族以外で介護者を手伝ってくれる人

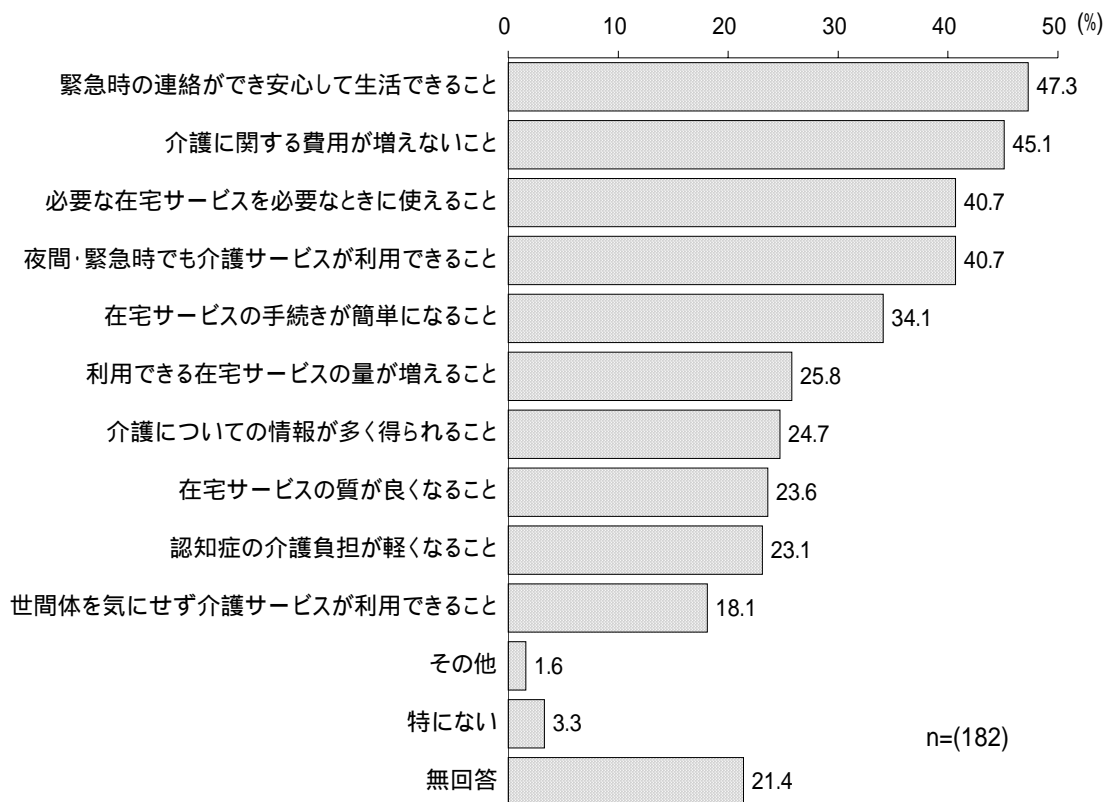
問62 ご家族以外で、また介護保険サービス以外で、主に介護している方の介護を手伝ってくれる方はいますか。(あてはまるものすべてに)



家族以外で介護者を手伝ってくれる人については、「手伝ってくれる人はいない」が 59.3%である。手伝ってくれる人の中では、「近隣、近所の人」が 6.6%で最も多く、以下、「友人、知人」(3.8%)、「ボランティアの人」(1.6%)、「家政婦、お手伝い」(0.5%)の順となっている。

(19) 在宅生活を続けるために必要なこと

問63 今後も在宅生活を続けるためには、何が必要ですか。(あてはまるものすべてに)



在宅生活を続けるために必要なことは、「緊急時の連絡ができ安心して生活できること」が47.3%で最も多く、以下、「介護に関する費用が増えないこと」(45.1%)、「必要な在宅サービスを必要なときに使えること」(40.7%)、「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」(40.7%)、「在宅サービスの手続きが簡単になること」(34.1%)、「利用できる在宅サービスの量が増えること」(25.8%)の順となっている。

7. 自由意見

問64 今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等、ご自由にご記入ください。

区分	記入内容	件数
1	施設入所について	41
2	情報提供について	40
3	アンケートについて	35
4	高齢者施策について	33
5	サービスについて	27
6	介護予防・認知症予防について	25
7	医療体制について	24
8	介護保険制度について	24
9	介護保険料について	22
10	交通機関の充実について	20
11	金銭面の負担について	20
12	相談体制の充実について	19
13	運動・娯楽施設等の充実について	17
14	バリアフリーについて	9
15	高齢者の活用について	6
16	介護職等の人材について	5
17	家族への支援について	5
18	市の財政について	4
19	高齢者クラブについて	3
20	要介護認定について	2

1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある
「その他」を除く

第3章 在宅要介護・要支援認定者調査

1. 調査結果の概要

(1) 本人について

- ・現在の居住場所は、「自宅で生活している」が73.4%で最多である。
- ・回答者は、「あて名の方の子ども」が38.1%、「あて名のご本人」が32.4%となっている。
- ・居住地区は、「青梅地区」が18.9%で最も多く、以下、「長淵地区」(15.1%)、「東青梅地区」(12.3%)の順となっている。
- ・家族構成は、「三人以上で64歳以下の方と同居」が40.8%で最多である。
- ・同居者は、「子ども」が57.8%で最も多く、以下、「配偶者」(41.0%)、「孫」(21.3%)の順となっている。
- ・市内居住年数は、「20年以上」が81.8%で最多である。
- ・生活費は、「自分の年金や恩給」が67.6%で最も多く、以下、「配偶者の年金や恩給」(24.0%)、「配偶者以外の家族に扶養されている」(20.1%)の順となっている。
- ・世帯年間収入額は、「200万円～300万円未満」が18.0%で最多である。
- ・医療、保健等の手帳については、「いずれも持っていない」が50.9%である。所持している手帳の種類別の割合は、「身体障害者手帳」が29.5%で最多である。

(2) 住居について

- ・住居形態は、「一戸建て住宅(持ち家)」が82.7%で最多である。
- ・現在の住居で困っていることは、「玄関、浴室などに段差があること」が31.7%で最も多く、以下、「老朽化している」(18.2%)、「トイレや浴室などに手すりがないこと」(17.3%)の順となっている。
- ・手すりの取り付けがある場所は、「トイレ」が59.0%で最も多く、以下、「階段」(42.4%)、「玄関」(31.0%)の順となっている。
- ・段差の解消がされている場所は、「部屋の入り口」が15.4%で最も多く、以下、「浴室」(11.5%)、「玄関」(10.5%)の順となっている。
- ・住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が27.4%、「すでに手すりの取り付け、段差の解消等の改修を行っている」が26.1%となっている。

(3) 健康について

- ・継続的に治療している病気やけがは、「高血圧」が36.0%で最も多く、以下、「認知症」(21.1%)、「脳血管疾患」(19.7%)の順となっている。
- ・心配される精神状態は、「以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる」が60.9%で最も多く、以下、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」(32.4%)、「毎日の生活に充実感がない」(30.2%)の順となっている。
- ・ここ3か月の健康状態は、「日中は寝床から離れて暮らしており、介助があれば外出もできる」が19.0%、「日中は寝たり起きたりの生活で、介助なしでは外出できない」が15.6%となっている。
- ・認知症と診断された経験は、「ある」(29.3%)、「ない」(51.3%)、「わからない」(11.0%)とな

っている。

- ・認知症の症状は、「全く認知症の症状は有しない」が29.0%、「家庭内で電話の対応ができないなどの状態が見られる」が27.3%の順となっている。
- ・介護が必要となった時期は、「平成15年3月以前」が30.2%で最多である。
- ・利用している医療器具や医的処置の中では、「床ずれの処置」が7.2%で最も多く、以下、「インシュリン注射」(4.6%)、「胃ろう・経管栄養」(3.6%)の順となっている。

(4) 介護保険などのサービスについて

- ・現在の要介護度は、「要介護1」が21.4%で最多である。
- ・要介護認定の申請をしたおもな理由は、「介護保険の施設サービスを利用するため」が57.6%で最も多く、以下、「介護保険の居宅サービスを利用するため」(42.0%)、「介護保険の住宅改修・福祉用具購入等のサービスを利用するため」(23.5%)の順となっている。
- ・認定結果に対する気持ちは、「納得している」が68.9%、「納得していない」が20.4%である。
- ・居宅サービスの満足度は、「満足」が75.3%、「不満」が16.3%である。
- ・居宅サービスに不満の理由は、「サービスの量(利用回数や日数、種類等)に限度があったから」が66.2%で最も多く、以下、「利用者負担分の支払い上の問題があったから」(7.4%)、「職員の態度に問題があったから」(5.9%)、「職員の技術水準に問題があったから」(5.9%)の順となっている。
- ・居宅サービスの利用率は、『通所介護』が34.1%で最も高く、以下、『福祉用具貸与』(21.8%)、『訪問介護』(18.5%)、『通所リハビリテーション』(18.0%)の順となっている。
- ・居宅サービスの回数や日数について、「満足」の割合は、『認知症対応型共同生活介護』が52.9%で最も高く、以下、『通所介護』(39.2%)、『小規模多機能型居宅介護』(37.5%)の順となっている。一方、「不満」の割合は、『訪問介護』(14.8%)、『短期入所療養介護』(14.0%)、『特定施設入居者生活介護』(10.0%)で比較的高くなっている。
- ・居宅サービスの質について、「満足」の割合は、『認知症対応型共同生活介護』が52.9%で最も高く、以下、『訪問入浴介護』(47.3%)、『訪問看護』(40.7%)の順となっている。一方、「不満」の割合は、『短期入所療養介護』(11.6%)、『特定施設入居者生活介護』(10.0%)、『住宅改修費の支給』(7.8%)で比較的高くなっている。
- ・意向のケアプランへの反映は、「反映されている」が69.6%、「反映されていない」が5.0%である。
- ・意向が反映されていないと思う理由は、「希望したサービスが受けられなかった」(7件)、「全体的に、サービスの量が少なすぎる」(7件)、「よく理解できないうちに、決められた」(3件)の順となっている。
- ・利用限度額に対する利用割合は、「上限いっぱい利用している」が27.8%で最多である。
- ・上限いっぱい利用していない理由は、「家族が介護してくれるから」が25.1%で最も多く、以下、「今のサービスで満足しているから」(11.9%)、「希望するサービスがないから」(8.8%)の順となっている。
- ・介護保険の利用手続きでわかりにくいと感じる経験は、「ある」(29.5%)、「ない」(32.4%)、「わからない」(21.1%)となっている。

- ・わかりにくい利用手続き等は、「要介護認定の申請」が 36.0%で最も多く、以下、「訪問調査」(15.7%)、「主治医意見書の作成依頼」(12.8%)の順となっている。
- ・サービス提供事業者に対する要望は、「料金を安くしてほしい」が 15.6%で最も多く、以下、「希望と合ったサービスを入れてほしい」(13.0%)、「担当者をあまり替えないでほしい」(11.1%)の順となっている。
- ・自己負担の金額については、「おおむね妥当な額だと思う」が 44.8%で最多である。
- ・介護保険料の負担については、「相互扶助による保険制度なので、支払うことは仕方がない」が 32.9%で最多である。
- ・保険料と介護サービスのあり方については、「どちらともいえない」が 45.6%で最多である。
- ・居宅サービスを利用していない理由は、「入院中であるため」が 34.3%で最も多く、以下、「自分で身の回りのことをするよう努力しているため」(14.5%)、「家族に介護してもらいたいため」(13.9%)の順となっている。
- ・介護保険の各サービスについて、「新規に利用したい」割合は、『短期入所生活介護』が 9.1%で最も高く、以下、『福祉用具購入費の支給』(8.7%)、『短期入所療養介護』(7.7%)の順となっている。「現状どおり利用したい」割合は、『通所介護』が 24.4%で最も高く、以下、『通所リハビリテーション』(15.3%)、『福祉用具貸与』(13.9%)の順となっている。「回数を増やしたい」という回答はいずれもわずかだが、『通所介護』(4.3%)、『訪問介護』(3.6%)、『短期入所生活介護』(2.6%)などとなっている。「回数を減らしたい」という回答はほとんどみられない。いずれのサービスも「利用しない」が1割前後、「わからない」が2割前後みられる。
- ・不安や悩みの相談相手は、「同居の家族」が 48.4%で最も多く、以下、「介護保険のケアマネジャー」(33.6%)、「別居の子ども、親族など」(31.7%)の順となっている。
- ・介護保険について改善してほしいことは、「要介護認定の方法」が 13.0%で最も多く、以下、「介護保険制度全般の情報提供」(8.2%)、「利用者負担や保険料負担」(7.2%)の順となっている。
- ・今後希望する介護形態は、「主に介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい」が 40.1%で最多である。
- ・利用したい施設は、「特別養護老人ホーム」が 23.0%で最も多く、以下、「老人保健施設」(12.7%)、「介護療養型医療施設」(11.3%)の順となっている。
- ・高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したことがある」割合は、『日常生活用具の給付』が 18.9%で最も高く、以下、『住宅改造費の助成』(16.6%)、『在宅介護支援センター』(14.4%)の順となっている。「知っているが利用していない」割合は、『シルバー人材センター』が 37.0%で最も高く、以下、『住宅改造費の助成』(32.4%)、『配食サービス事業』(31.6%)の順となっている。「知らなかった」割合は、『家具転倒防止器具給付事業』(45.8%)、『高齢者福祉電話の貸与』(45.6%)、『はいかい高齢者家族支援サービス』(43.9%)で4割台半ばと高くなっている。
- ・高齢者福祉サービスを利用した感想は、利用者数が少ないため参考値になるが、「大いに役立っている」との回答が多くみられる傾向にある。「あまり役に立っていない」との回答は皆無か少数であり、その中では『はいかい高齢者家族支援サービス』(20.0%)、『配食サービス事業』(19.4%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(18.2%)で比較的高くなっている。

- ・高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したい」割合は、『紙おむつの支給』が24.7%で最も高く、以下、『日常生活用具の給付』（17.7%）『在宅介護支援センター』（16.5%）の順となっている。「利用したくない」割合は、『シルバー人材センター』（9.9%）『沢井保健福祉センター』（8.6%）『小曾木保健福祉センター』（8.6%）で1割弱みられる。
- ・家族介護者の有無は、「いる」（76.5%）「いない」（11.8%）「あて名の本人は介護を必要としていない」（2.2%）となっている。

（5）介護者について

- ・介護者の続柄は、「配偶者」が34.1%で最多である。
- ・介護者の年齢は、「65～74歳」が17.9%で最も多く、65歳以上が4割強である。
- ・介護期間は、「5～10年未満」が21.5%、「2～3年未満」が19.3%となっている。
- ・介護者の就労状況は、「働いている」が35.9%で最多である。
- ・介護者の健康状態は、「あてはまるものはない」が55.6%で最も多く、以下、「病気や障害を抱えている」（16.4%）「病弱である」（8.3%）の順となっている。
- ・介護者と本人の距離は、「同居している」が76.7%で最多である。
- ・介護、見守りに費やす時間（日中）は、「日中の一部分」が44.4%で最も多く、以下、「日中のほとんど」（35.2%）「日中の介護、見守りはない」（12.8%）の順となっている。
- ・介護、見守りに費やす時間（夜間）は、「夜間の一部分」が42.8%で最も多く、以下、「夜間の介護、見守りはない」（35.7%）「夜間のほとんど」（12.8%）の順となっている。
- ・介護を手伝ってくれる家族は、「息子」が28.9%で最も多く、以下、「娘」（26.5%）「息子の妻」（19.1%）の順となっている。
- ・介護に際して感じるストレスは、「介護のために、自分のやりたいことができる時間が少なくなった」が52.0%で最も多く、以下、「旅行などを楽しむことをあきらめなければならなかった」（51.8%）「介護があるために、自分が好きなところに外出できない」（50.9%）の順となっている。
- ・介護の負担感が「とても高い」と「高い」を合わせた《高い》の割合は、『精神的負担感』で65.0%と最も高く、『身体的負担感』では50.4%、『経済的負担感』では39.9%となっている。
- ・介護者が困っていることは、「自分の時間がとれない」が47.1%で最も多く、以下、「排泄の介護」（29.8%）「入浴の介護」（27.1%）の順となっている。
- ・介護者が自身に希望する介護形態は、「在宅で、家族の介護に加え、介護保険も利用しながら生活したい」が29.1%で最多である。
- ・将来、介護者を介護してくれる人の有無は、「いると思う」（30.7%）「いないと思う」（30.5%）「わからない」（29.8%）となっている。
- ・認知症の症状は、「少し前に何をしていたか思い出すことができない」が35.2%で最も多く、以下、「感情が不安定になることがある」（30.9%）「同じことを何度も尋ねる」（29.8%）の順となっている。
- ・認知症を発症して受診するまでの期間は、「まだ受診していない」が31.8%で最多である。
- ・認知症に関して利用したいサービスは、「認知症を専門とする相談員などによる相談」が45.1%で最も多く、以下、「専門病院の紹介」（36.1%）「認知症専門のデイサービス」（35.2%）

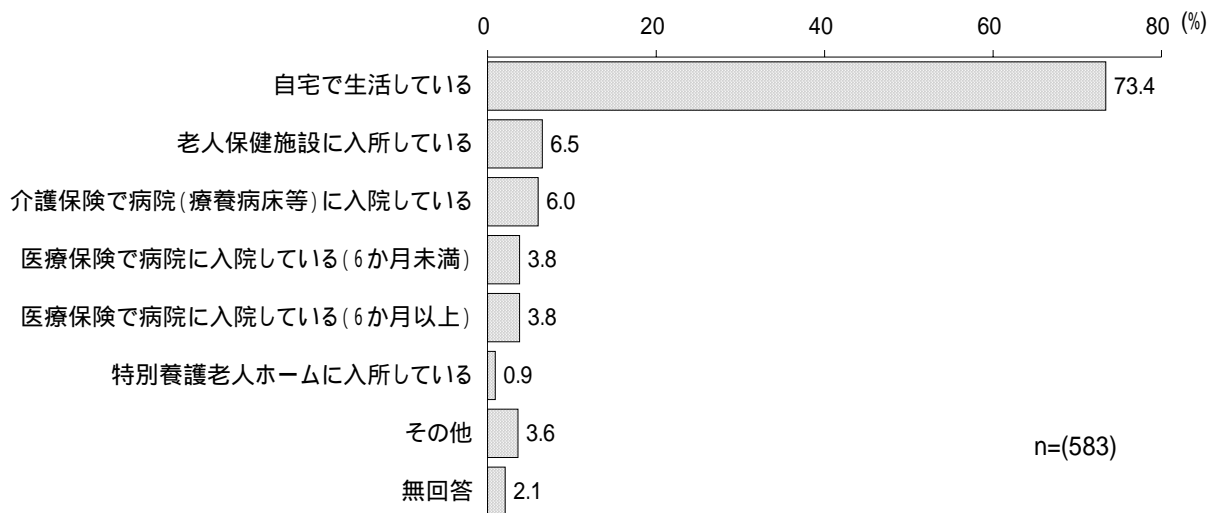
の順となっている。

- ・家族以外で介護者を手伝ってくれる人は、「近隣、近所の人」が 6.3%で最も多く、以下、「友人、知人」(4.0%)、「ボランティアの人」(1.1%)の順となっている。
- ・在宅生活を続けるために必要なことは、「介護に関する費用が増えないこと」が 58.5%で最も多く、以下、「必要な在宅サービスを必要なときに使えること」(47.5%)、「緊急時の連絡ができ安心して生活できること」(47.3%)の順となっている。

2. 本人について

(1) 現在の居住場所

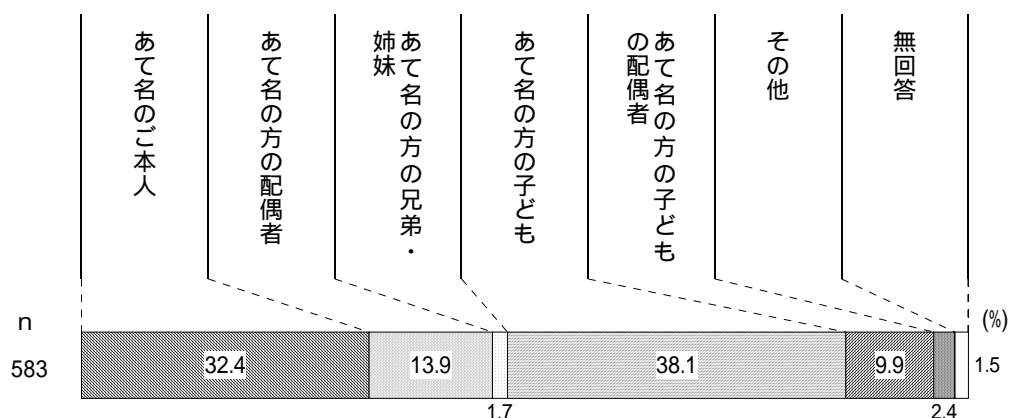
問1 あなた(あて名ご本人)は、現在どちらにいらっしゃいますか。(は1つ)



現在の居住場所は、「自宅で生活している」が73.4%で最も多く、以下、「老人保健施設に入所している」(6.5%)、「介護保険で病院(療養病床等)に入院している」(6.0%)、「医療保険で病院に入院している(6か月未満)」(3.8%)、「医療保険で病院に入院している(6か月以上)」(3.8%)、「特別養護老人ホームに入所している」(0.9%)の順となっている。

(2) 回答者

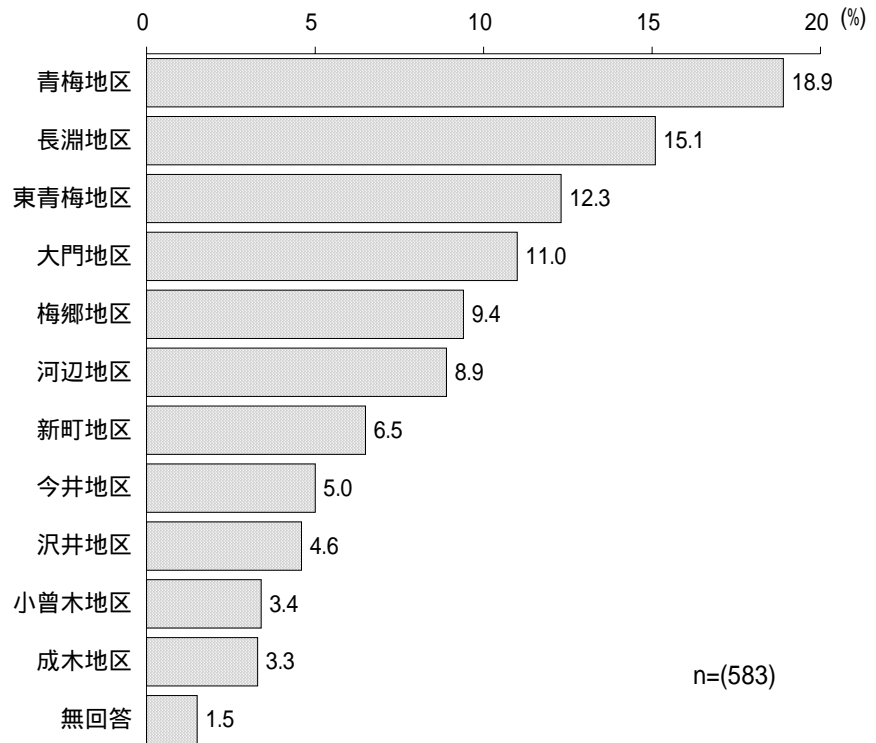
問2 この調査票に答えている方はどなたですか。(は1つ)



回答者は、「あて名の方の子ども」が38.1%で最も多く、以下、「あて名のご本人」(32.4%)、「あて名の方の配偶者」(13.9%)、「あて名の方の子どもの配偶者」(9.9%)、「あて名の方の兄弟・姉妹」(1.7%)の順となっている。

(3) 居住地区

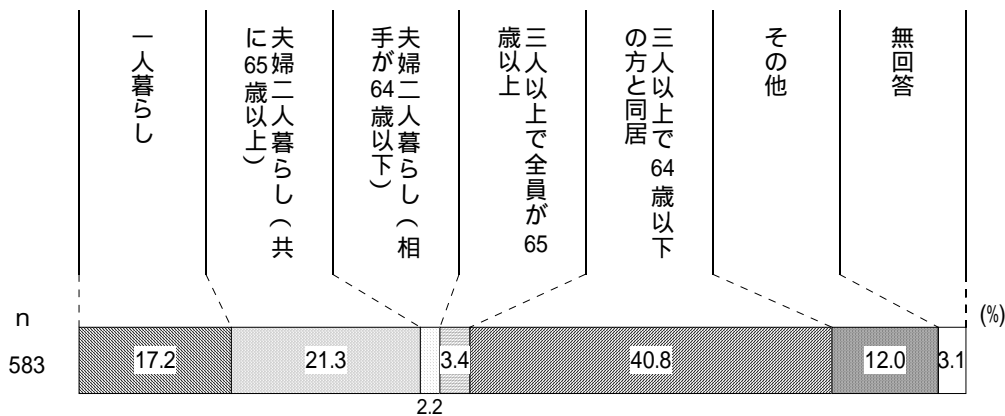
問3 あて名のご本人がお住まいの地区はどちらですか。(は1つ)



居住地区は、「青梅地区」が 18.9%で最も多く、以下、「長淵地区」(15.1%)、「東青梅地区」(12.3%)、「大門地区」(11.0%)、「梅郷地区」(9.4%)、「河辺地区」(8.9%)、「新町地区」(6.5%)、「今井地区」(5.0%)の順となっている。

(4) 家族構成

問4-1 あなた(あて名ご本人)の同居者(ご家族)の構成をお答えください。(は1つ)

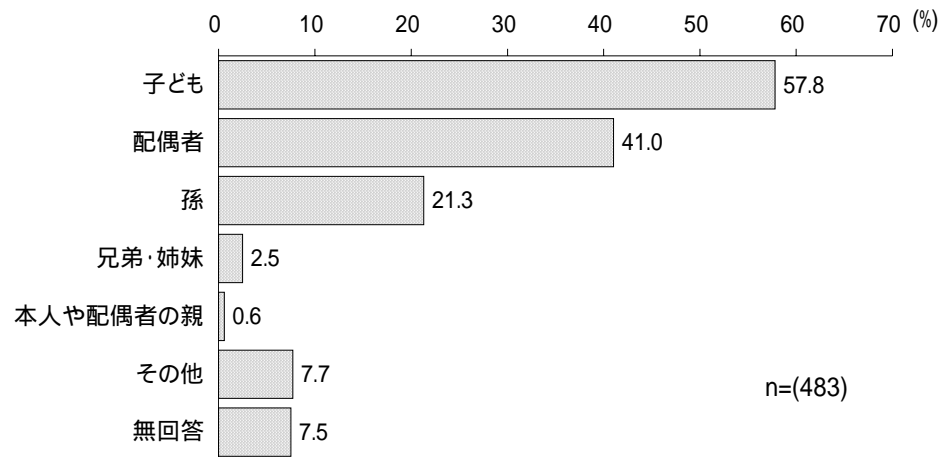


家族構成は、「三人以上で64歳以下の方と同居」が40.8%で最も多く、以下、「夫婦二人暮らし(共に65歳以上)」(21.3%)、「一人暮らし」(17.2%)、「三人以上で全員が65歳以上」(3.4%)、「夫婦二人暮らし(相手が64歳以下)」(2.2%)の順となっている。

その他の内容は、「子どもと二人暮らし(年齢不明)」(22件)、「子どもと二人暮らし(子ども64歳以下)」(8件)、「三人以上(年齢不明)」(8件)、「子どもと二人暮らし(子ども65歳以上)」(5件)、「二人暮らし(詳細不明)」(5件)、「施設」(4件)、「子どもと同居(数不明)」(4件)、「兄弟・姉妹と二人暮らし」(2件)、「嫁と二人暮らし」(2件)などとなっている。

(5) 同居者

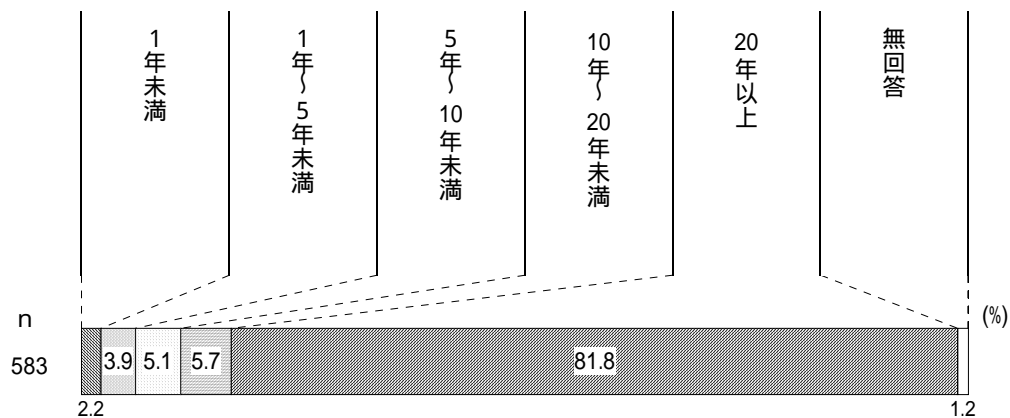
問4 - 2 (一人暮らし以外の方に) あなた(あて名ご本人)は、現在どなたと一緒に
お住まいですか。(あてはまるものすべてに)



同居者は、「子ども」が 57.8%で最も多く、以下、「配偶者」(41.0%)、「孫」(21.3%)、「兄弟・姉妹」(2.5%)、「本人や配偶者の親」(0.6%)の順となっている。

(6) 市内居住年数

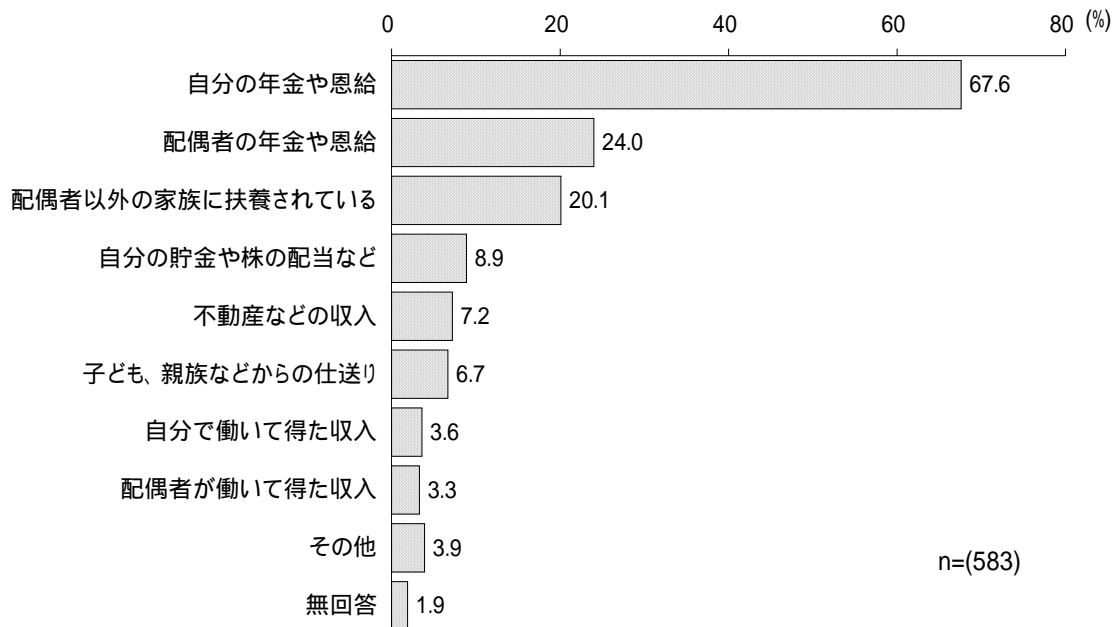
問5 あなた(あて名ご本人)は青梅市に住んで何年になりますか。(は1つ)



市内居住年数は、「20年以上」が 81.8%で最も多く、以下、「10年～20年未満」(5.7%)、「5年～10年未満」(5.1%)、「1年～5年未満」(3.9%)、「1年未満」(2.2%)の順となっている。

(7) 生活費

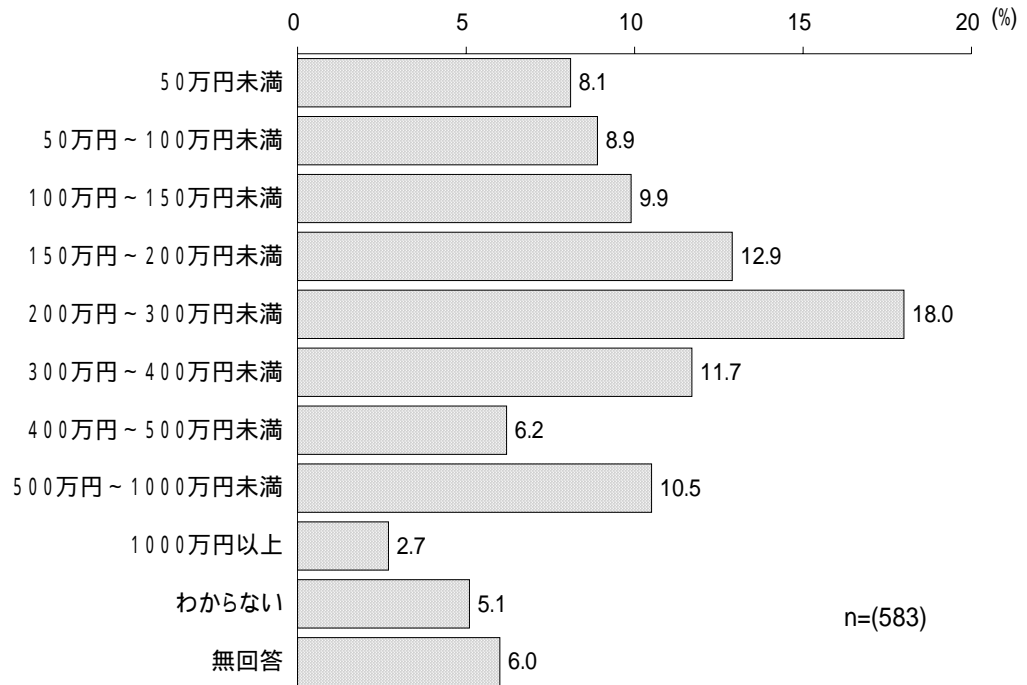
問6 あなた(あて名ご本人)の日常の生活費はどのようにしてまかなわれていますか。
(あてはまるものすべてに)



生活費は、「自分の年金や恩給」が 67.6%で最も多く、以下、「配偶者の年金や恩給」(24.0%)、「配偶者以外の家族に扶養されている」(20.1%)、「自分の貯金や株の配当など」(8.9%)、「不動産などの収入」(7.2%)、「子ども、親族などからの仕送り」(6.7%)の順となっている。

(8) 世帯年間収入額

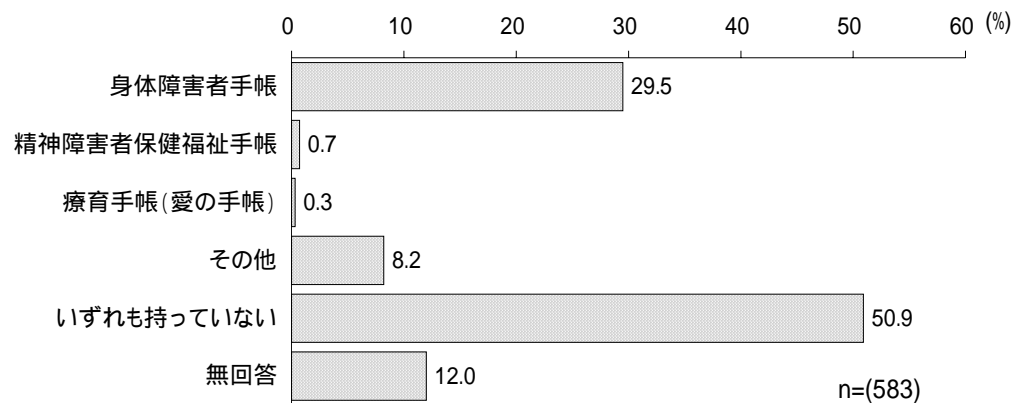
問7 あなた(あて名ご本人)の世帯の年間収入の合計額はどのくらいですか。(は1つ)



世帯年間収入額は、「200万円～300万円未満」が18.0%で最も多く、以下、「150万円～200万円未満」(12.9%)、「300万円～400万円未満」(11.7%)、「500万円～1000万円未満」(10.5%)、「100万円～150万円未満」(9.9%)、「50万円～100万円未満」(8.9%)の順となっている。

(9) 所持している手帳の種類

問8 あなた(あて名ご本人)は、次にあげる医療、保健等の手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに)

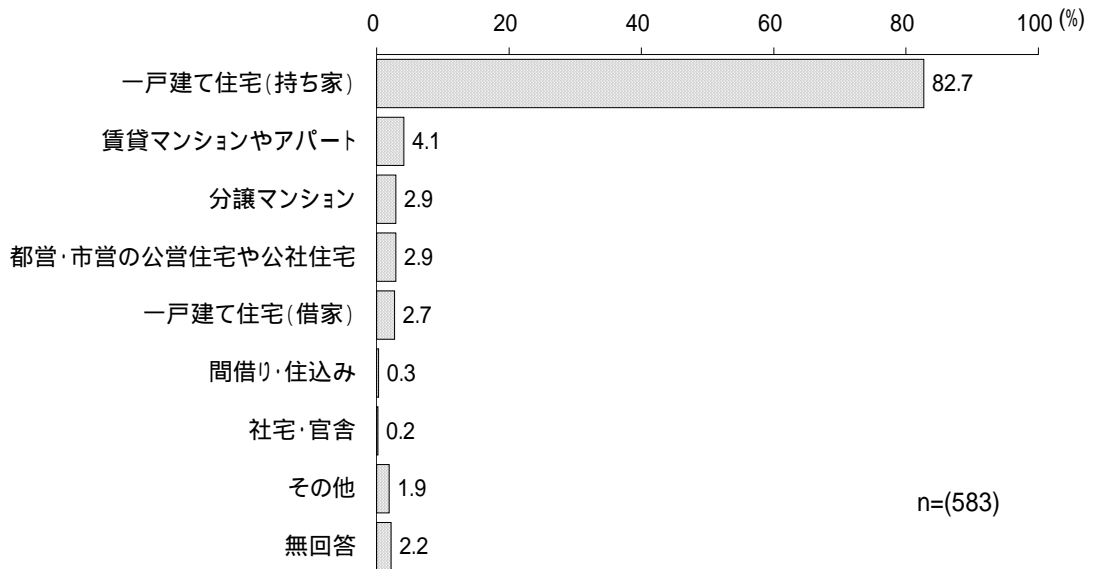


医療、保健等の手帳については、「いずれも持っていない」が 50.9%である。所持している手帳の種類別の割合は、「身体障害者手帳」(29.5%)、「精神障害者保健福祉手帳」(0.7%)、「療育手帳(愛の手帳)」(0.3%)、「その他」(8.2%)となっている。

3. 住居について

(1) 住居形態

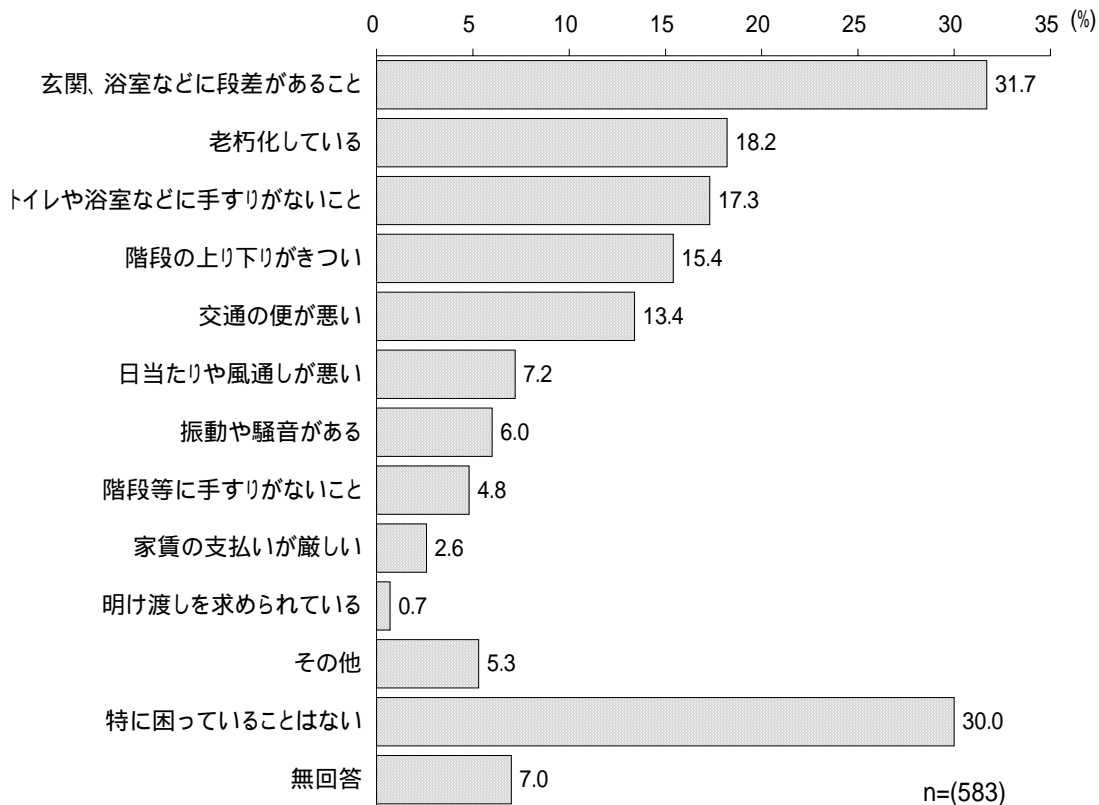
問9 あなた(あて名ご本人)の自宅はどのような種類の住宅ですか。現在、老人保健施設に入所している方および介護療養型医療施設や病院に入院中の方は、戻る予定のご自宅についてお答えください。(は1つ)



住居形態は、「一戸建て住宅(持ち家)」が82.7%で最も多く、以下、「賃貸マンションやアパート」(4.1%)、「分譲マンション」(2.9%)、「都営・市営の公営住宅や公社住宅」(2.9%)、「一戸建て住宅(借家)」(2.7%)の順となっている。

(2) 現在の住居で困っていること

問10 あなた（あて名ご本人）が現在のお住まいで、困っていることをお答えください。
（あてはまるものすべてに ）

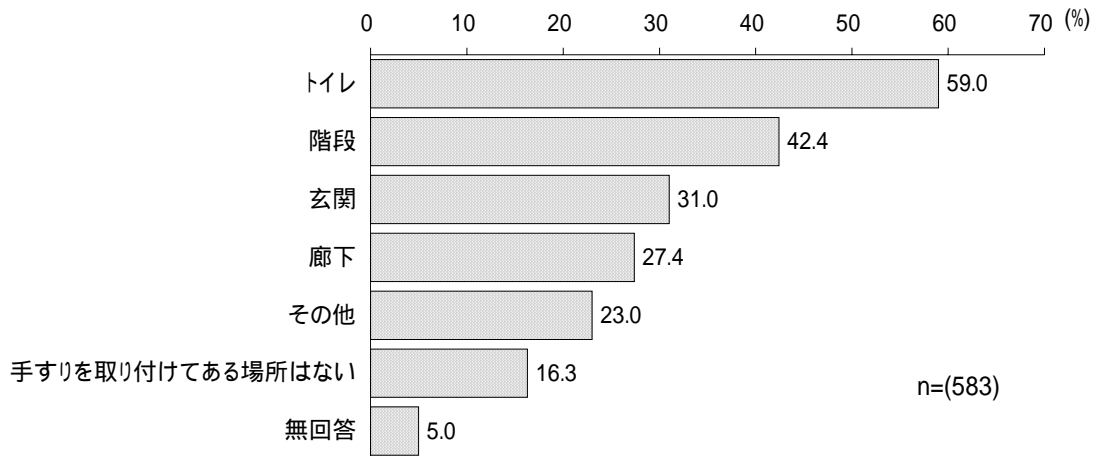


現在の住居で困っていることは、「玄関、浴室などに段差があること」が 31.7%で最も多く、以下、「老朽化している」(18.2%)、「トイレや浴室などに手すりがないこと」(17.3%)、「階段の上り下りがきつい」(15.4%)、「交通の便が悪い」(13.4%)の順となっている。

また、「特に困っていることはない」が 30.0%みられる。

(3) 手すりの取り付けがある場所

問11 あなた（あて名ご本人）のお住まいで手すりの取り付けがある場所がありますか。
（あてはまるものすべてに ）

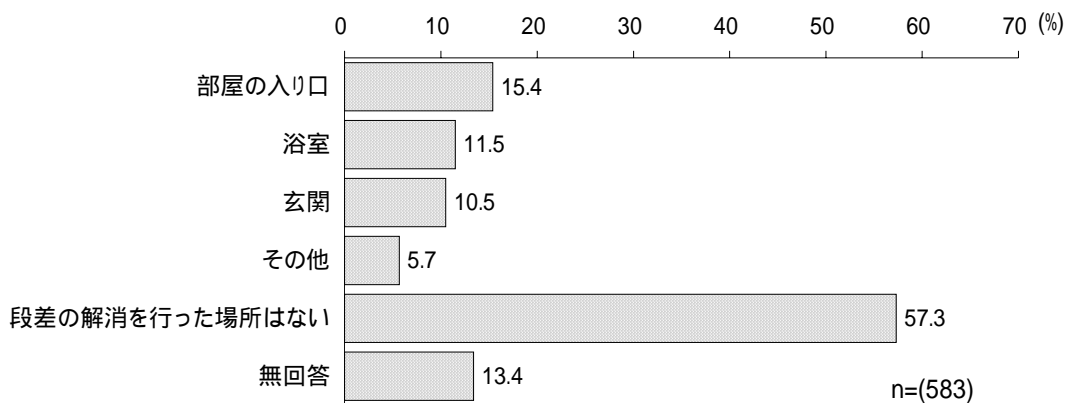


手すりの取り付けがある場所は、「トイレ」が 59.0%で最も多く、以下、「階段」(42.4%)、「玄関」(31.0%)、「廊下」(27.4%)の順となっている。

その他の内容は、「浴室」(121件)、「勝手口」(2件)、「洗面所」(2件)などとなっている。

(4) 段差の解消がされている場所

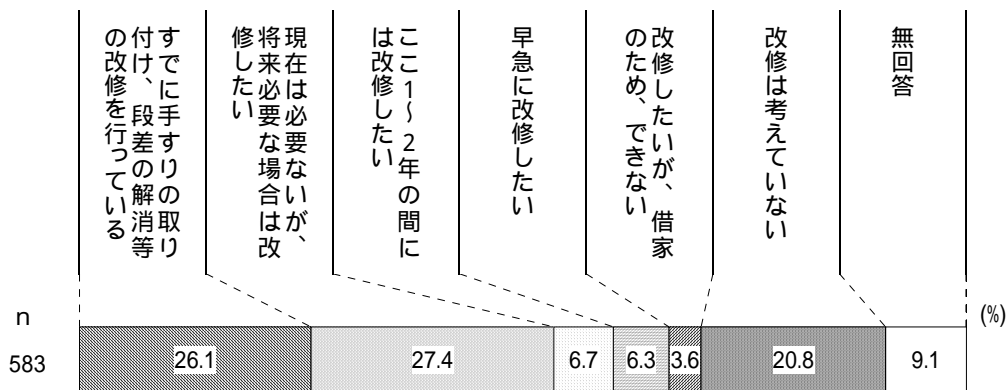
問12 あなた（あて名ご本人）のお住まいで段差の解消（スロープの設置等）がされている場所がありますか。（あてはまるものすべてに ）



段差の解消については、「段差の解消を行った場所はない」が 57.3%である。段差の解消がされている場所の中では、「部屋の入り口」が 15.4%で最も多く、以下、「浴室」(11.5%)、「玄関」(10.5%)の順となっている。

(5) 住宅改修の必要性

問13 あなた（あて名ご本人）のお住まいで、手すりの取り付け、段差の解消等、住宅改修の必要性についてどのようにお考えですか。（は1つ）

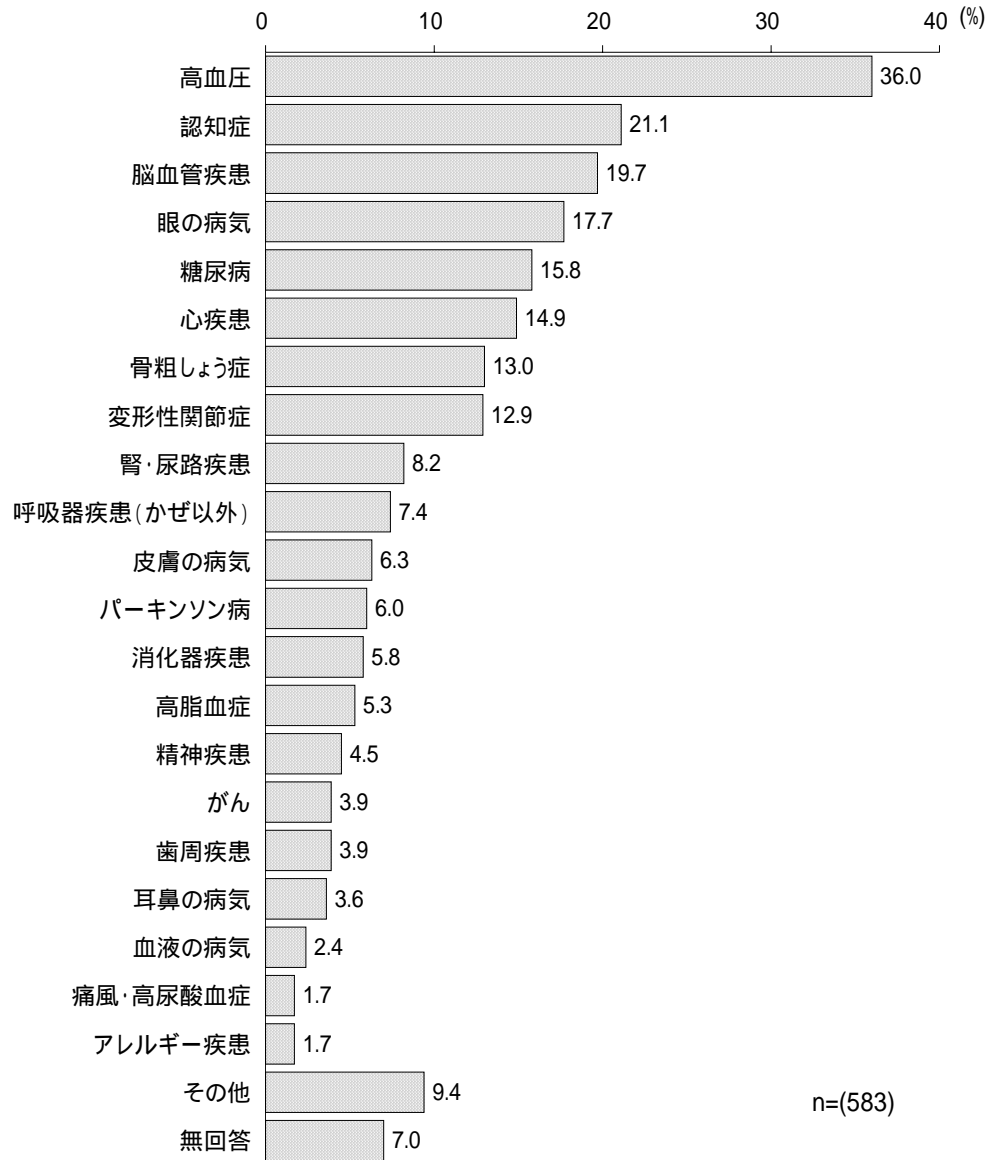


住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が 27.4%で最も多く、以下、「すでに手すりの取り付け、段差の解消等の改修を行っている」(26.1%)、「改修は考えていない」(20.8%)、「ここ1～2年の間には改修したい」(6.7%)の順となっている。

4. 健康について

(1) 継続的に治療している病気やけが

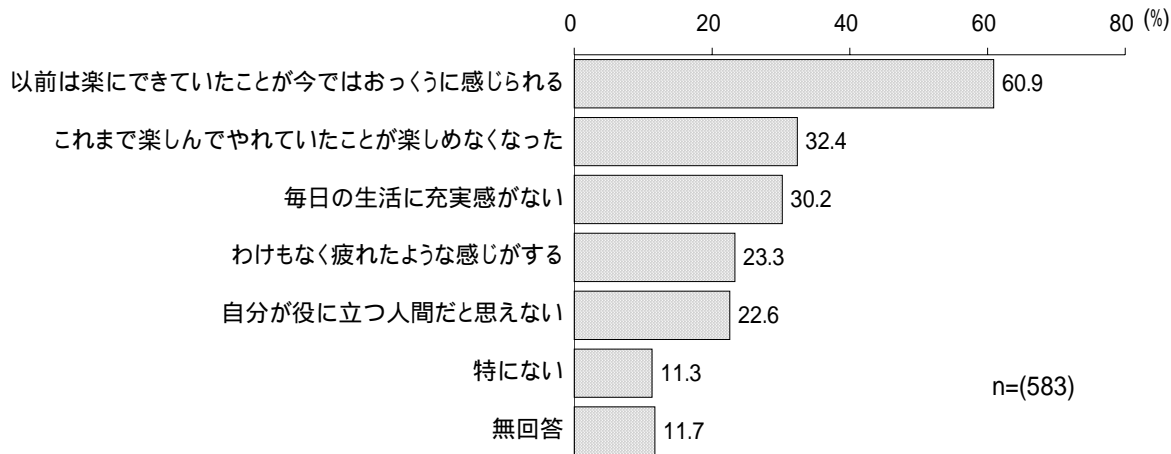
問14 あなた（あて名ご本人）は現在、継続的に治療している病気やけがはありますか。
（あてはまるものすべてに ）



継続的に治療している病気やけがは、「高血圧」が 36.0%で最も多く、以下、「認知症」(21.1%)、「脳血管疾患」(19.7%)、「眼の病気」(17.7%)、「糖尿病」(15.8%)、「心疾患」(14.9%)、「骨粗しょう症」(13.0%)、「変形性関節症」(12.9%)、「腎・尿路疾患」(8.2%)の順となっている。

(2) 心配される精神状態

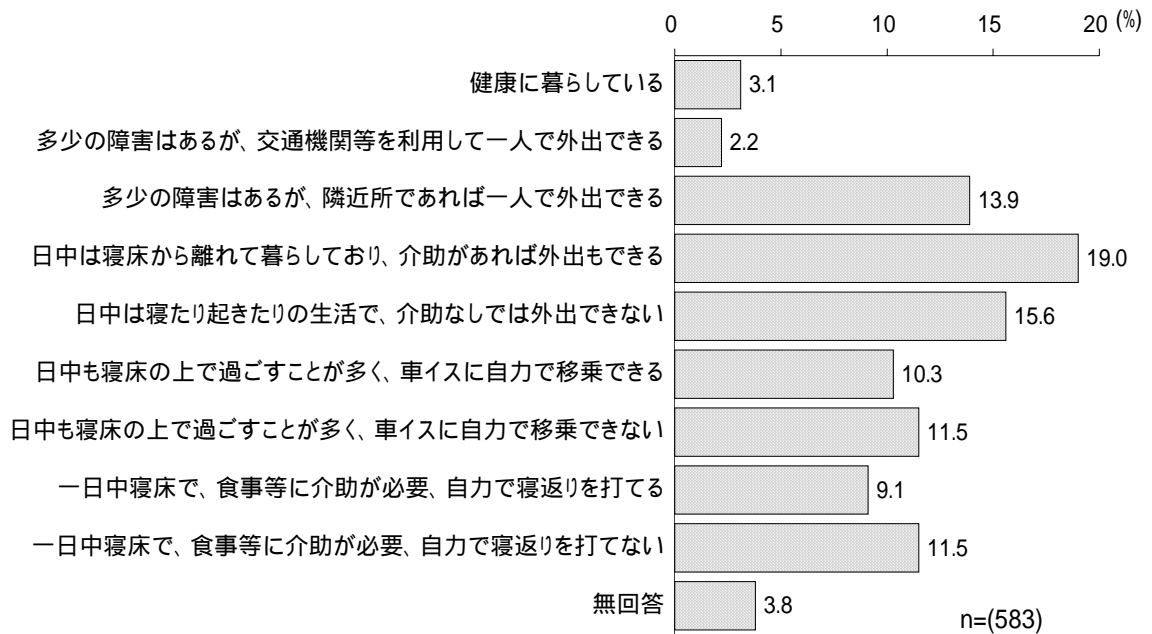
問15 あなた(あて名ご本人)は、次のような気持ちになることがよくありますか。(あてはまるものすべてに)



心配される精神状態は、「以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる」が60.9%で最も多く、以下、「これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった」(32.4%)、「毎日の生活に充実感がない」(30.2%)、「わけもなく疲れたような感じがする」(23.3%)、「自分が役に立つ人間だと思えない」(22.6%)の順となっている。

(3) ここ3か月の健康状態

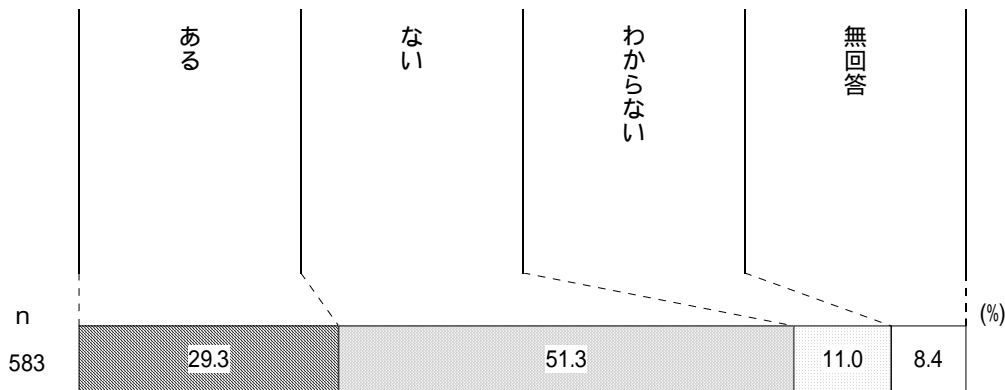
問16 あなた(あて名ご本人)のここ3か月の健康状態について、お知らせください。
(は1つ)



ここ3か月の健康状態は、「日中は寢床から離れて暮らしており、介助があれば外出もできる」が19.0%で最も多く、以下、「日中は寝たり起きたりの生活で、介助なしでは外出できない」(15.6%)、「多少の障害はあるが、隣近所であれば一人で外出できる」(13.9%)、「日中も寢床の上で過ごすことが多く、車イスに自力で移乗できない」(11.5%)、「一日中寢床で、食事等に介助が必要、自力で寝返りを打てない」(11.5%)の順となっている。

(4) 認知症と診断された経験

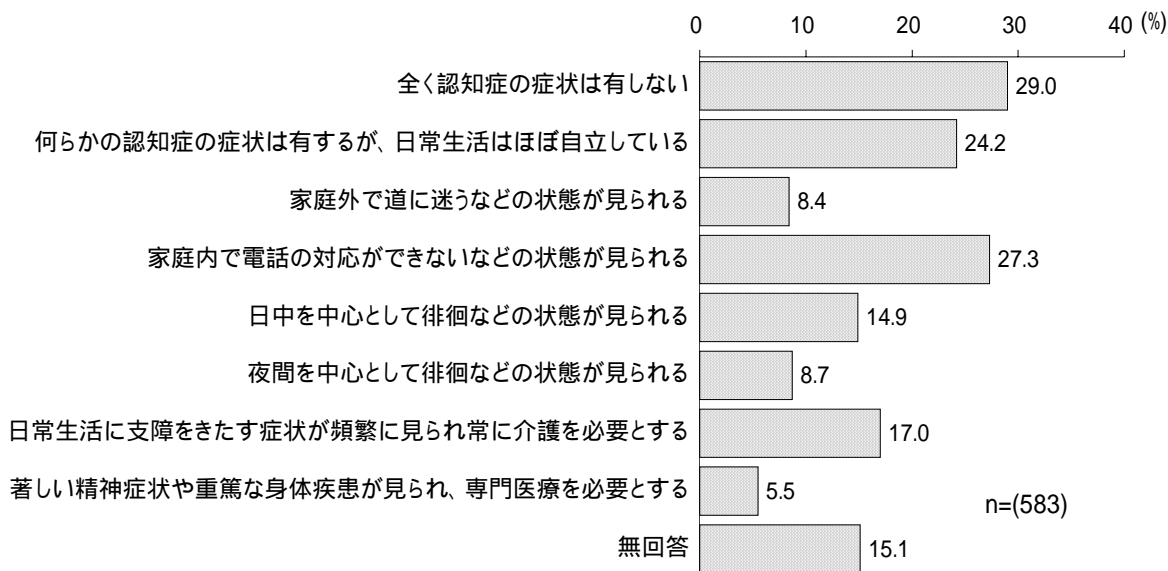
問17 あなた（あて名ご本人）は医師により認知症と診断されたことがありますか。（は1つ）



認知症と診断された経験は、「ある」(29.3%)、「ない」(51.3%)、「わからない」(11.0%)となっている。

(5) 認知症の症状

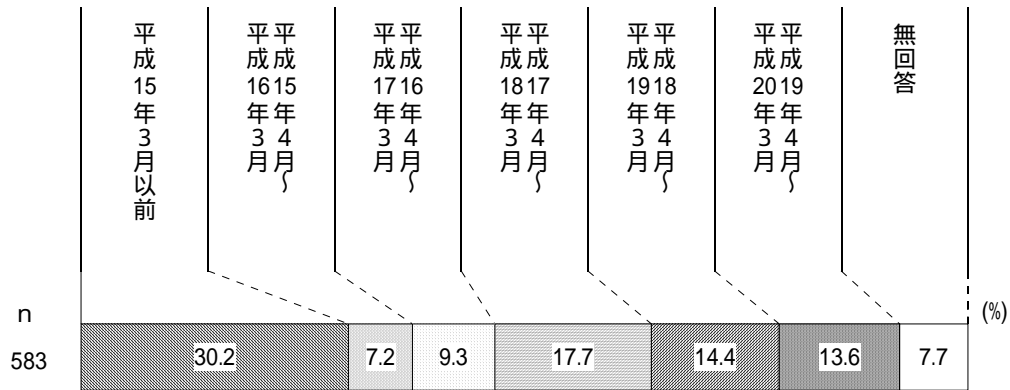
問18 あなた（あて名ご本人）は、次にあげる状態であてはまるものはありますか。（あてはまるものすべてに ）



認知症の症状は、「全く認知症の症状は有しない」が 29.0%で最も多く、以下、「家庭内で電話の対応ができないなどの状態が見られる」(27.3%)、「何らかの認知症の症状は有するが、日常生活はほぼ自立している」(24.2%)、「日常生活に支障をきたす症状が頻繁に見られ常に介護を必要とする」(17.0%)、「日中を中心として徘徊などの状態が見られる」(14.9%)の順となっている。

(6) 介護が必要となった時期

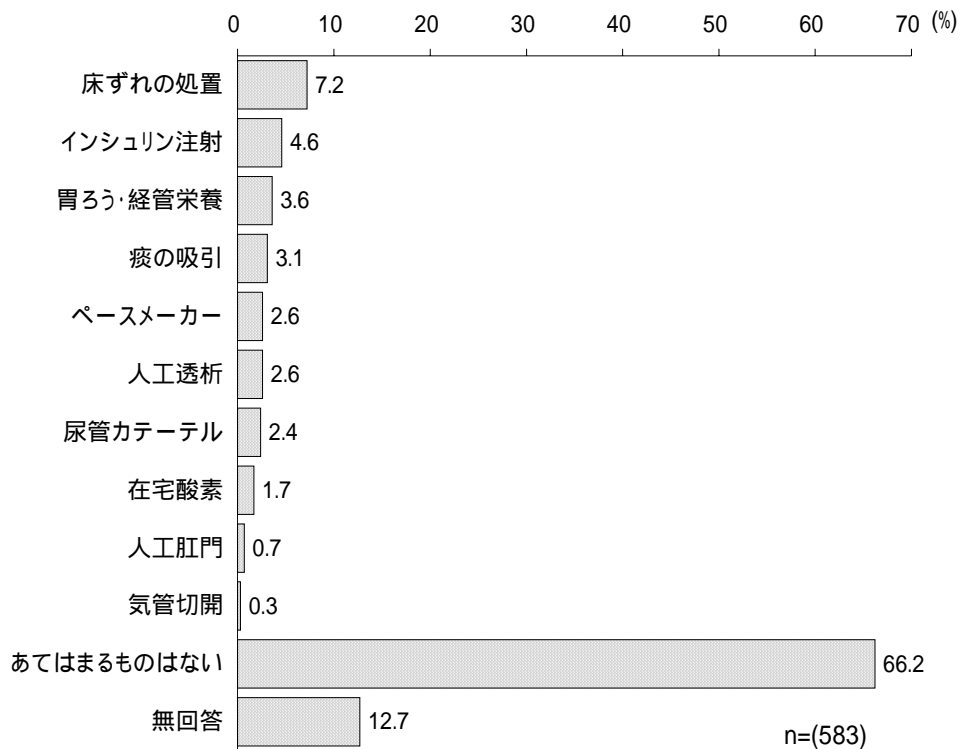
問19 日常生活に介護(介助)が必要となった時期はいつごろですか。(は1つ)



介護が必要となった時期は、「平成15年3月以前」が30.2%で最も多く、以下、「平成17年4月～平成18年3月」(17.7%)、「平成18年4月～平成19年3月」(14.4%)、「平成19年4月～平成20年3月」(13.6%)、「平成16年4月～平成17年3月」(9.3%)、「平成15年4月～平成16年3月」(7.2%)の順となっている。

(7) 利用している医療器具や医的処置

問20 あなた(あて名ご本人)は、現在、次にあげような医療器具を利用したり、医的処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに)

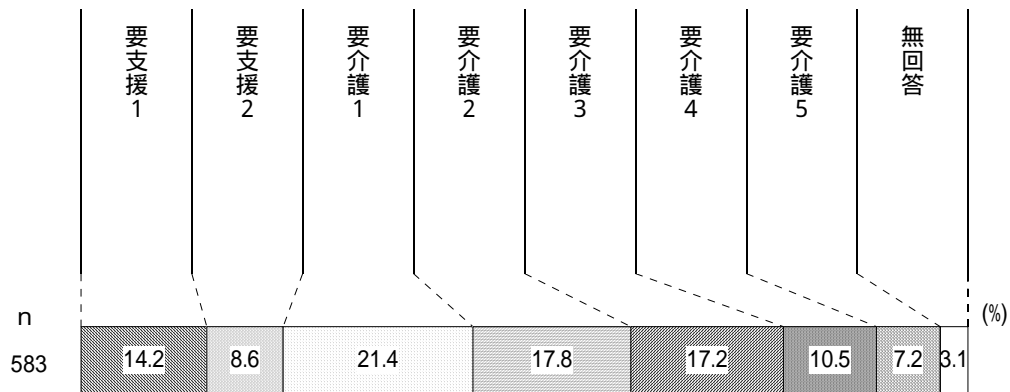


利用している医療器具や医的処置については、「あてはまるものはない」が 66.2%である。利用している医療器具や医的処置の中では、「床ずれの処置」が 7.2%で最も多く、以下、「インシュリン注射」(4.6%)、「胃ろう・経管栄養」(3.6%)、「痰の吸引」(3.1%)、「ペースメーカー」(2.6%)、「人工透析」(2.6%)の順となっている。

5. 介護保険などのサービスについて

(1) 現在の要介護度

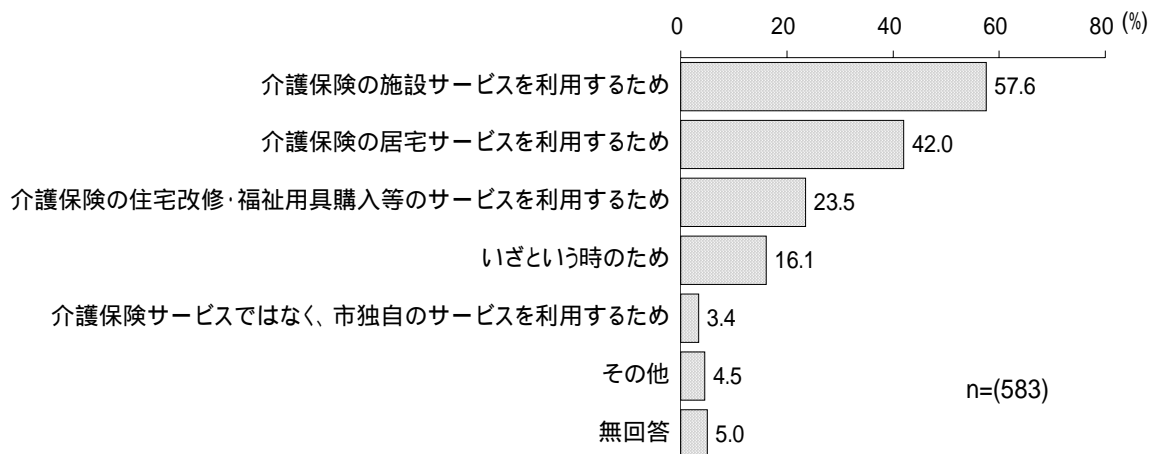
問21-1 あなた（あて名ご本人）の現在の要介護度をお答えください。（ は1つ）



現在の要介護度は、「要介護1」が21.4%で最も多く、以下、「要介護2」(17.8%)、「要介護3」(17.2%)、「要支援1」(14.2%)、「要介護4」(10.5%)、「要支援2」(8.6%)、「要介護5」(7.2%)の順となっている。

(2) 要介護認定の申請をしたおもな理由

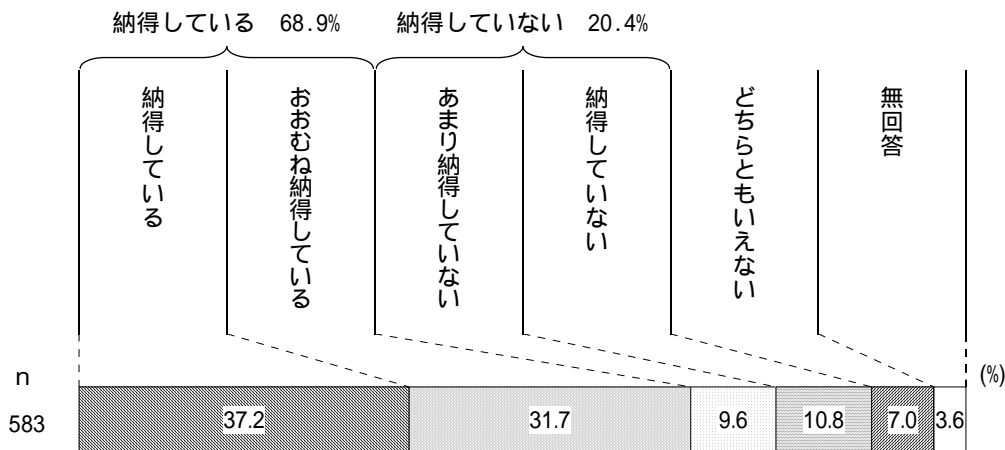
問21-2 あなた（あて名ご本人）が、要介護認定の申請をしたおもな理由は何ですか。（あてはまるものすべてに ）



要介護認定の申請をしたおもな理由は、「介護保険の施設サービスを利用するため」が57.6%で最も多く、以下、「介護保険の居宅サービスを利用するため」(42.0%)、「介護保険の住宅改修・福祉用具購入等のサービスを利用するため」(23.5%)、「いざという時のため」(16.1%)、「介護保険サービスではなく、市独自のサービスを利用するため」(3.4%)の順となっている。

(3) 認定結果に対する気持ち

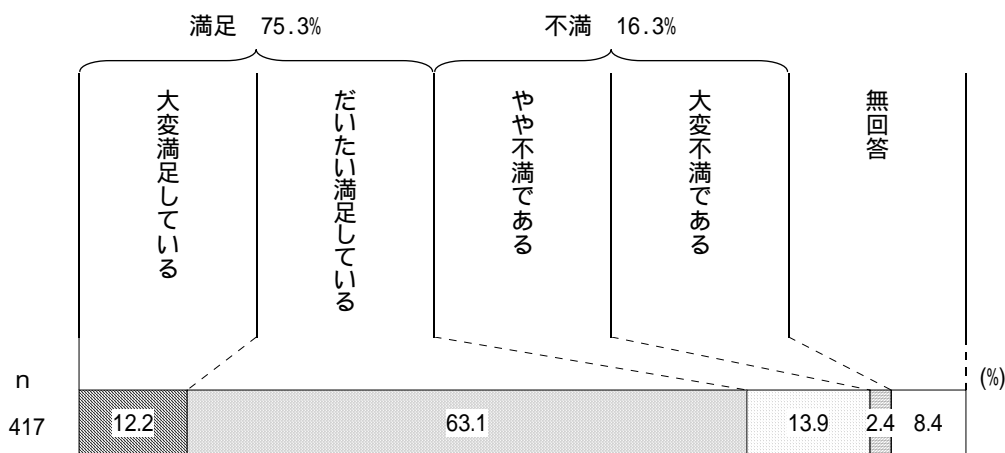
問21 - 3 あなた(あて名ご本人)は、要介護・要支援認定結果について納得されていますか。(は1つ)



認定結果に対する気持ちは、「納得している」が37.2%で最も多く、これに「おおむね納得している」(31.7%)を合わせると、68.9%が《納得している》と回答している。一方、「あまり納得していない」(9.6%)と「納得していない」(10.8%)を合わせた《納得していない》は20.4%である。

(4) 居宅サービスの満足度

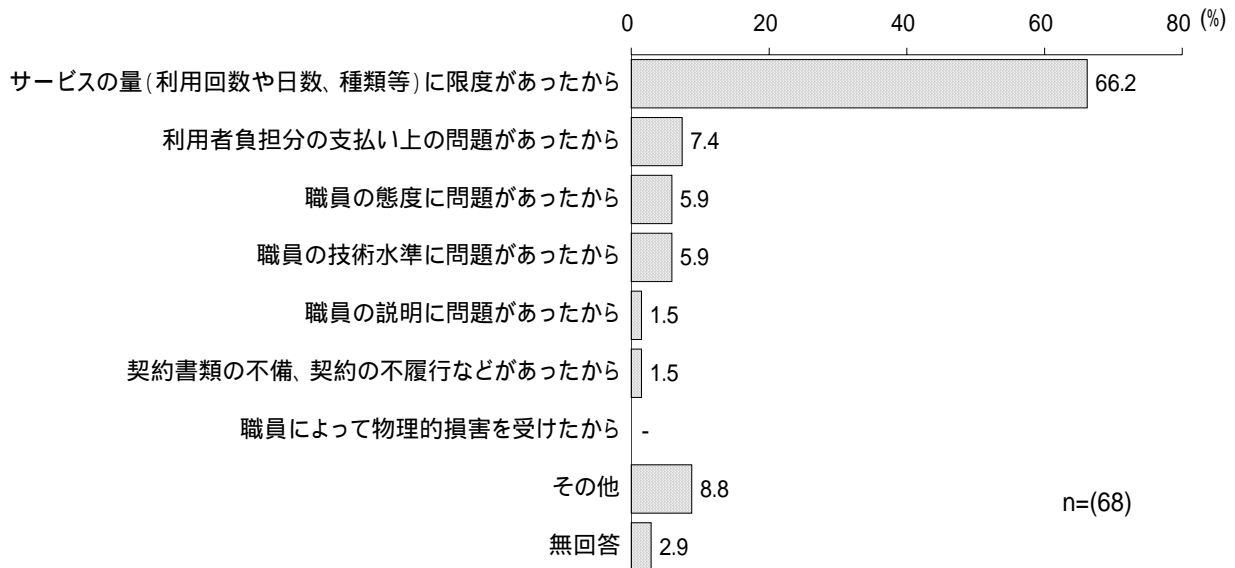
問22 - 1 あなた(あて名ご本人)は、現在利用している介護保険の居宅サービス(ケアプランの作成を除く)の内容に満足していますか。(は1つ)



居宅サービスの満足度は、「だいたい満足している」が63.1%で最も多く、これに「大変満足している」(12.2%)を合わせると、75.3%が《満足》と回答している。一方、「やや不満である」(13.9%)と「大変不満である」(2.4%)を合わせた《不満》は16.3%である。

(5) 居宅サービスに不満の理由

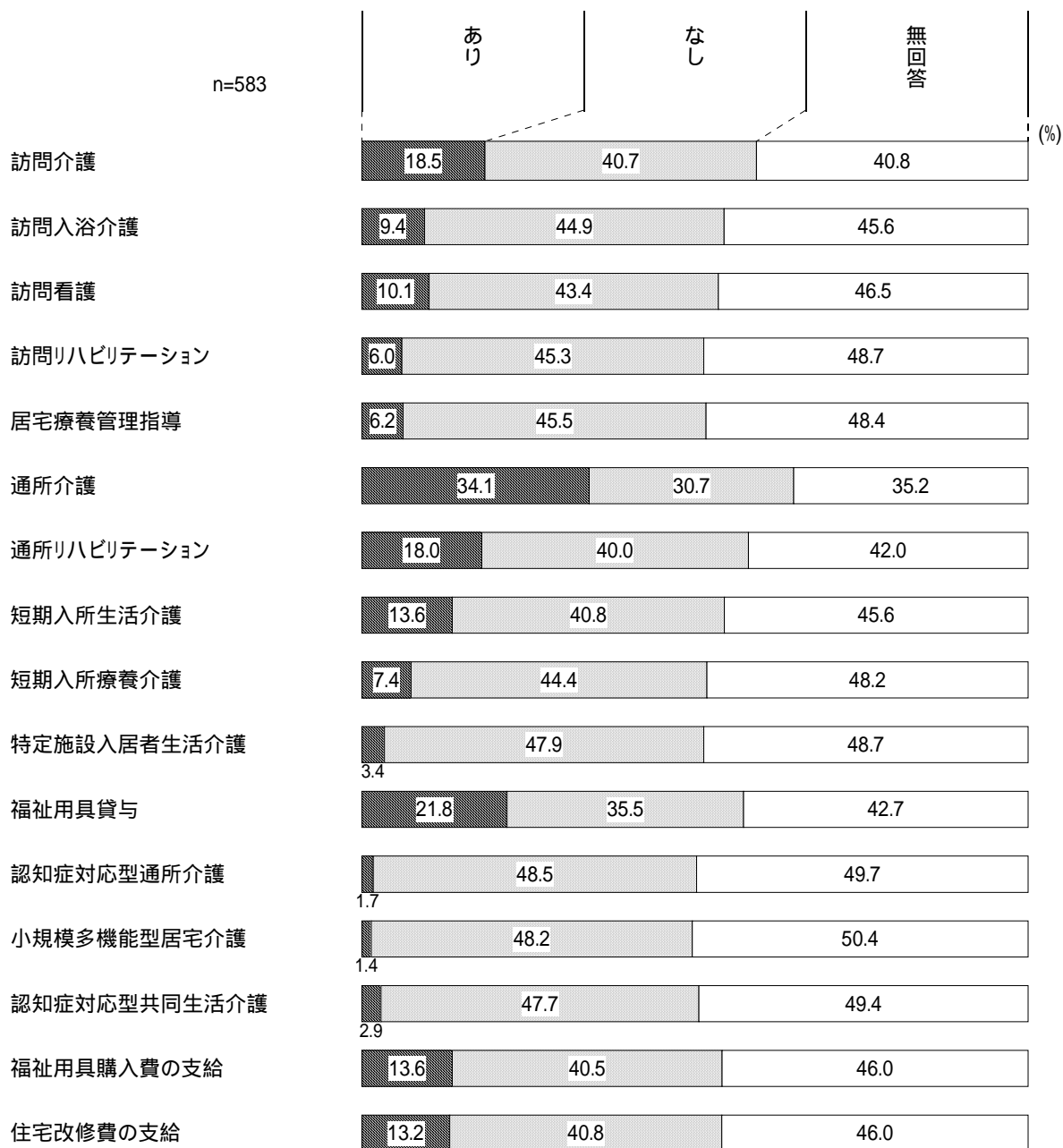
問22 - 2 前問で「やや不満である」および「大変不満である」に を付けた方にお聞きします。その理由は何ですか。(は1つ)



居宅サービスに不満の理由は、「サービスの量（利用回数や日数、種類等）に限度があったから」が 66.2%で最も多く、以下、「利用者負担分の支払い上の問題があったから」（7.4%）、「職員の態度に問題があったから」（5.9%）、「職員の技術水準に問題があったから」（5.9%）の順となっている。

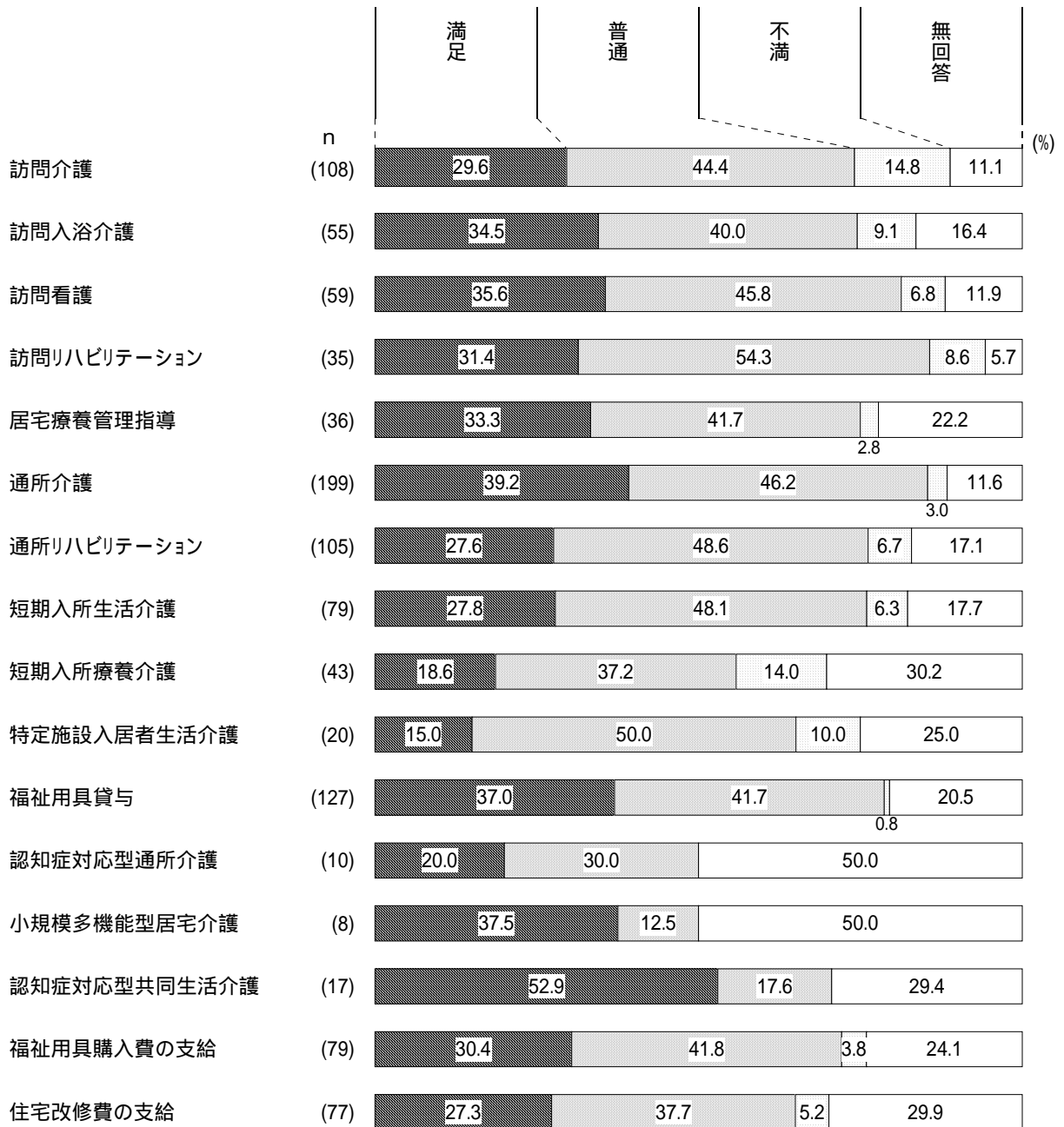
(6) 居宅サービスの利用の有無

問23 あなた（あて名ご本人）の介護保険の居宅サービスの利用の有無、現在利用している各サービスの回数や日数および質の満足度についておたずねします。（は各項目1つ）



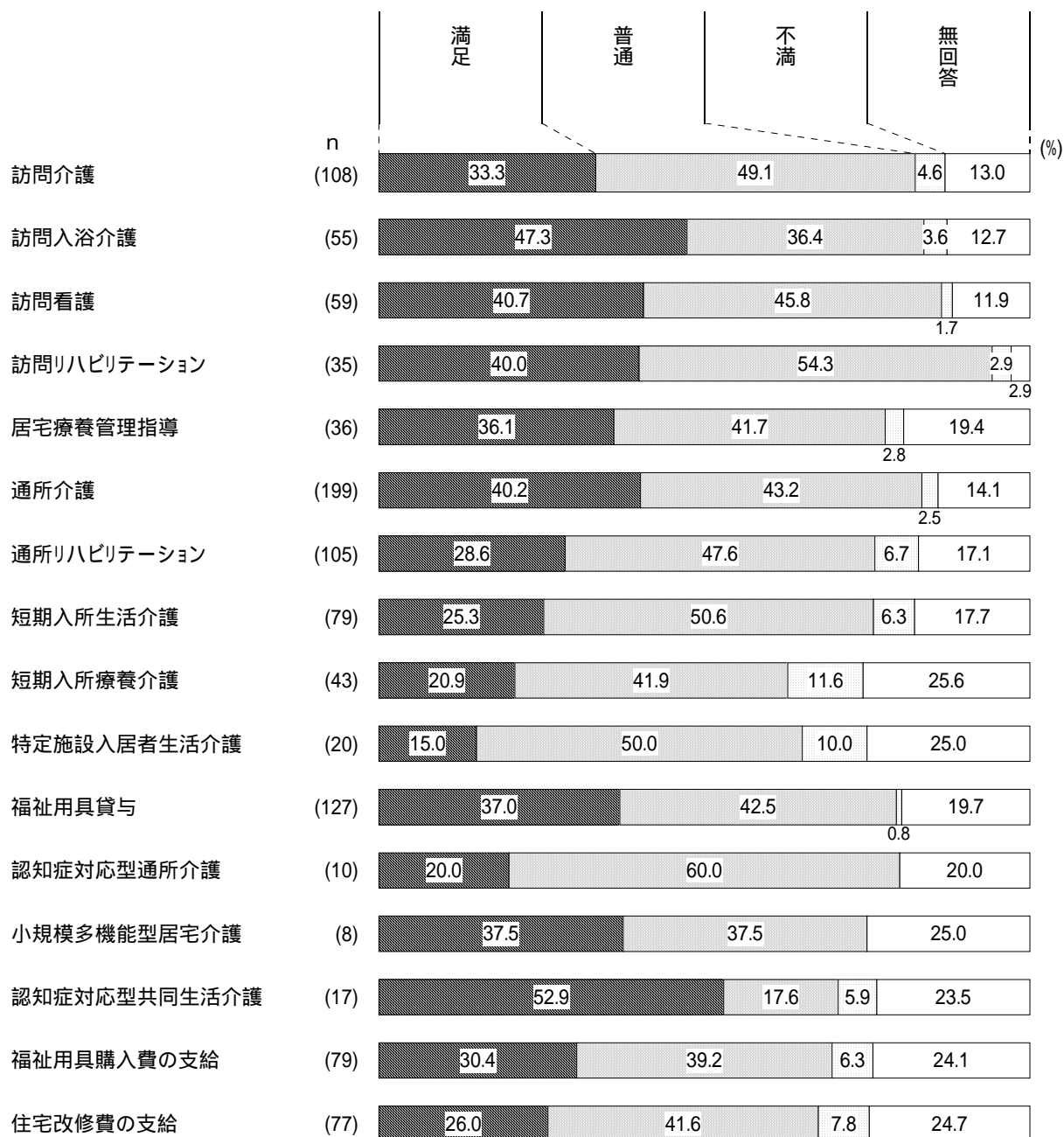
居宅サービスの利用率は、『通所介護』が 34.1%で最も高く、以下、『福祉用具貸与』（21.8%）『訪問介護』（18.5%）『通所リハビリテーション』（18.0%）『短期入所生活介護』（13.6%）『福祉用具購入費の支給』（13.6%）『住宅改修費の支給』（13.2%）『訪問看護』（10.1%）の順となっている。

(7) 居宅サービスの回数や日数の満足度



居宅サービスの回数や日数について、「満足」の割合は、『認知症対応型共同生活介護』が52.9%で最も高く、以下、『通所介護』(39.2%)、『小規模多機能型居宅介護』(37.5%)、『福祉用具貸与』(37.0%)、『訪問看護』(35.6%)、『訪問入浴介護』(34.5%)の順となっている。一方、「不満」の割合は、『訪問介護』(14.8%)、『短期入所療養介護』(14.0%)、『特定施設入居者生活介護』(10.0%)で比較的高くなっている。

(8) 居宅サービスの質の満足度



居宅サービスの質について、「満足」の割合は、『認知症対応型共同生活介護』が 52.9%で最も高く、以下、『訪問入浴介護』(47.3%)、『訪問看護』(40.7%)、『通所介護』(40.2%)、『訪問リハビリテーション』(40.0%)、『小規模多機能型居宅介護』(37.5%)、『福祉用具貸与』(37.0%)、『居宅療養管理指導』(36.1%)、『訪問介護』(33.3%)の順となっている。一方、「不満」の割合は、『短期入所療養介護』(11.6%)、『特定施設入居者生活介護』(10.0%)、『住宅改修費の支給』(7.8%)で比較的高くなっている。

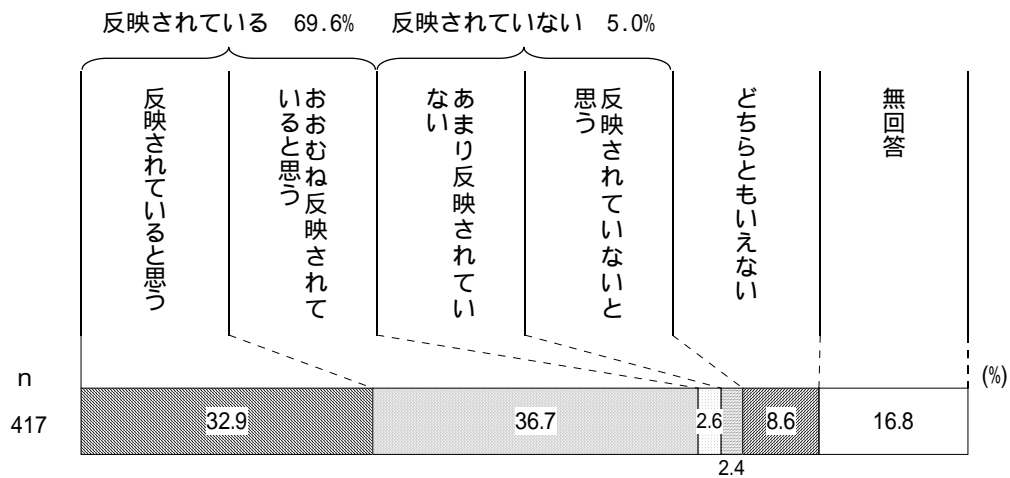
(9) 居宅サービスの利用についての自由意見

区分	記入内容	件数
1	入所・入院中	12
2	福祉用具貸与について	4
3	金銭面について	4
4	ショートステイについて	3
5	未利用について	3
6	リハビリテーションについて	3
7	アンケートについて	2
8	デイサービスについて	2

1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある「その他」を除く

(10) 意向のケアプランへの反映

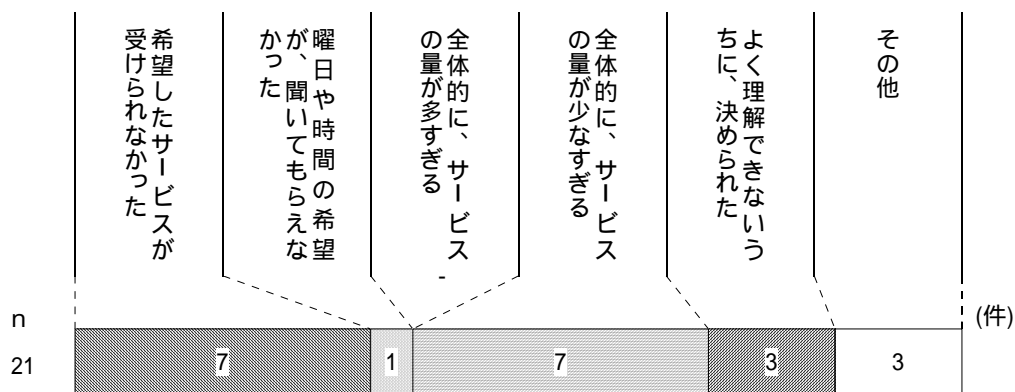
問24 - 1 あなた（あて名ご本人）は、介護保険の居宅サービスを利用するにあたって、あなたや御家族の意向がケアプランに反映されていると思いますか。（ は1つ）



意向のケアプランへの反映は、「おおむね反映されていると思う」が 36.7%で最も多く、これに「反映されていると思う」(32.9%)を合わせると、69.6%が《反映されている》と回答している。一方、「あまり反映されていない」(2.6%)と「反映されていないと思う」(2.4%)を合わせた《反映されていない》は5.0%である。

(11) 意向が反映されていないと思う理由

問24 - 2 前問で「あまり反映されていない」および「反映されていないと思う」に付けた方にお聞きします。その理由は何ですか。(は1つ)

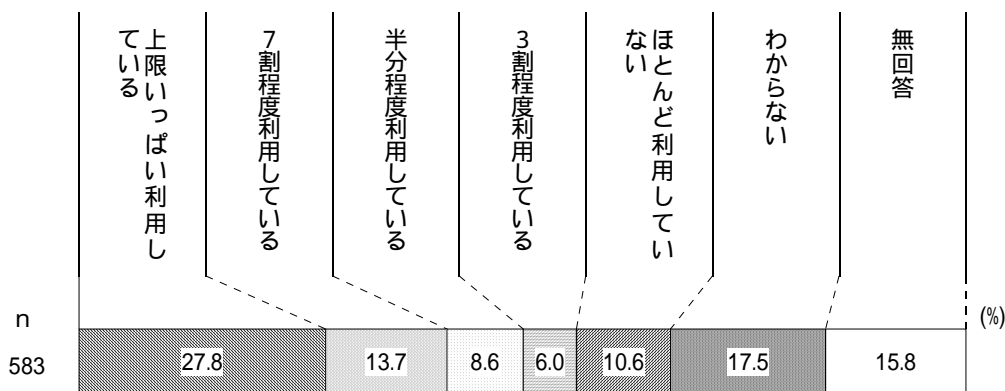


意向が反映されていないと思う理由は、「希望したサービスが受けられなかった」(7件)、「全体的に、サービスの量が少なすぎる」(7件)、「よく理解できないうちに、決められた」(3件)、「曜日や時間の希望が、聞いてもらえなかった」(1件)となっている。

その他の内容は、「外出支援が不能」「エアマットをお借りしている為」「通所リハビリ手続きに1ヶ月かかるならその間にデイサービスを入れてほしかった」となっている。

(12) 利用限度額に対する利用割合

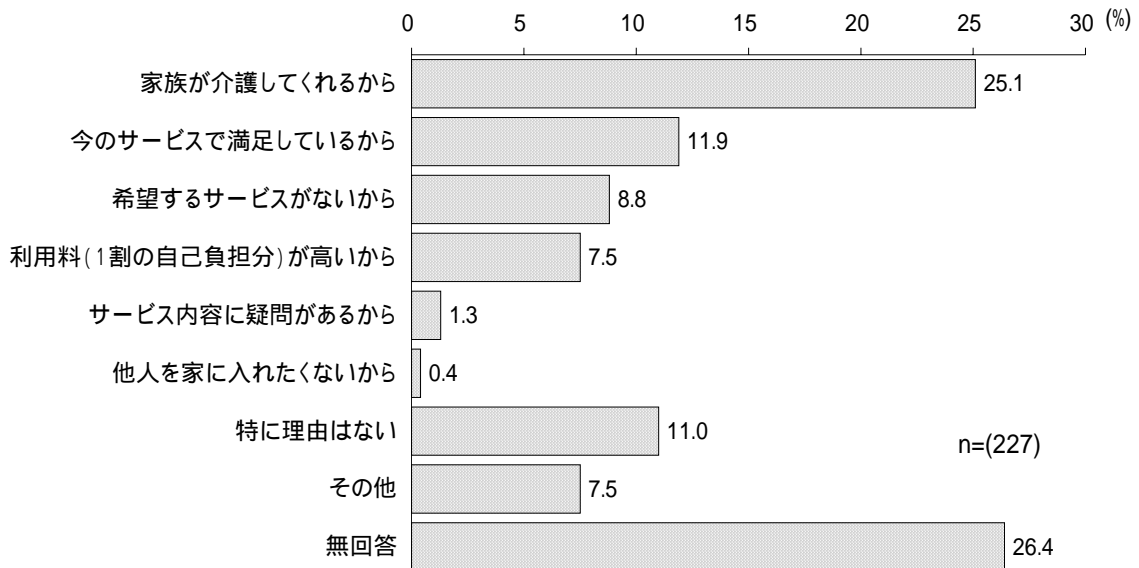
問25 - 1 あなた(あて名ご本人)は介護保険で定められている利用限度額に対して、どれくらいの割合を利用していますか。(は1つ)



利用限度額に対する利用割合は、「上限いっぱい利用している」が27.8%で最も多く、以下、「7割程度利用している」(13.7%)、「ほとんど利用していない」(10.6%)、「半分程度利用している」(8.6%)、「3割程度利用している」(6.0%)の順となっている。また、「わからない」が17.5%みられる。

(13) 上限いっぱい利用していない理由

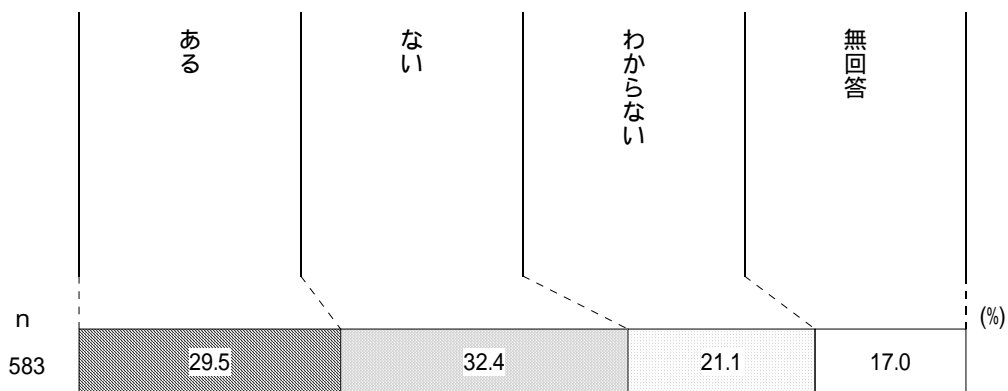
問25 - 2 前問で上限いっぱい利用していないと答えられた方にお聞きします。その理由は何ですか。(は1つ)



上限いっぱい利用していない理由は、「家族が介護してくれるから」が 25.1%で最も多く、以下、「今のサービスで満足しているから」(11.9%)、「希望するサービスがないから」(8.8%)、「利用料(1割の自己負担分)が高いから」(7.5%)の順となっている。また、「特に理由はない」が 11.0%みられる。

(14) 介護保険の利用手続きでわかりにくいと感じる経験

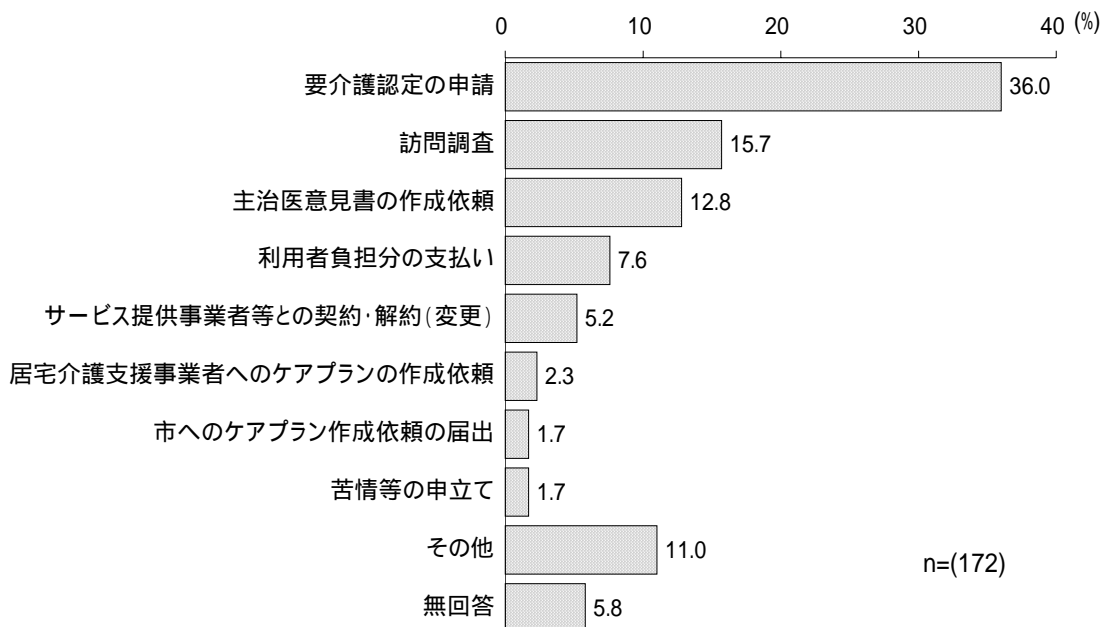
問26 - 1 あなた(あて名ご本人)は、介護保険の利用手続きでわかりにくい(わずらわしい)と感じることはありますか。(は1つ)



介護保険の利用手続きでわかりにくいと感じる経験は、「ある」(29.5%)、「ない」(32.4%)、「わからない」(21.1%)となっている。

(15) わかりにくい利用手続き等

問26 - 2 前問で「ある」に を付けた方にお聞きします。その理由は何ですか。(は 1つ)



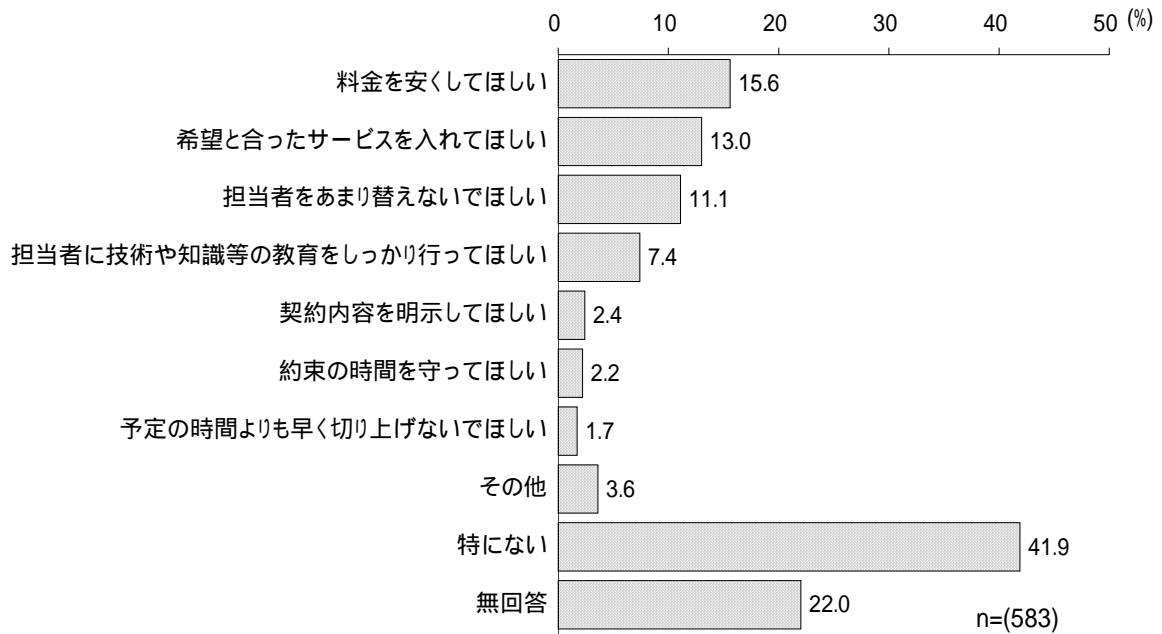
わかりにくい利用手続き等は、「要介護認定の申請」が 36.0%で最も多く、以下、「訪問調査」(15.7%)、「主治医意見書の作成依頼」(12.8%)、「利用者負担分の支払い」(7.6%)、「サービス提供事業者等との契約・解約(変更)」(5.2%)の順となっている。

その他の内容は、「理解できない、よくわからない」(5件)、「事業者を決めること」(1件)

「サービスの内容」(1件)、「表現が不適切なわかりにくい文書があり判断に困る」(1件)などとなっている。

(16) サービス提供事業者に対する要望

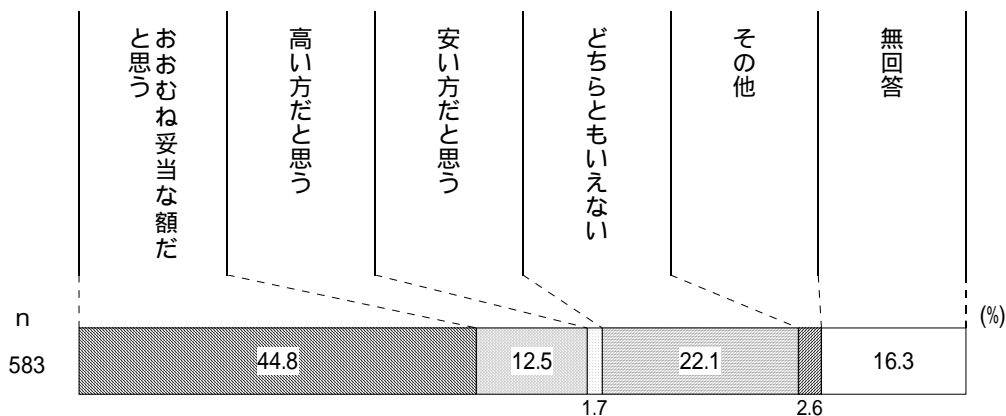
問27 あなた（あて名ご本人）は、介護保険のサービス提供事業者に対して何か御要望はありますか。（あてはまるものすべてに ）



サービス提供事業者に対する要望は、「特にない」が 41.9%である。要望の中では、「料金を安くしてほしい」が 15.6%で最も多く、以下、「希望と合ったサービスを入れてほしい」(13.0%)、「担当者をあまり替えないでほしい」(11.1%)、「担当者に技術や知識等の教育をしっかり行ってほしい」(7.4%)の順となっている。

(17) 自己負担の金額について

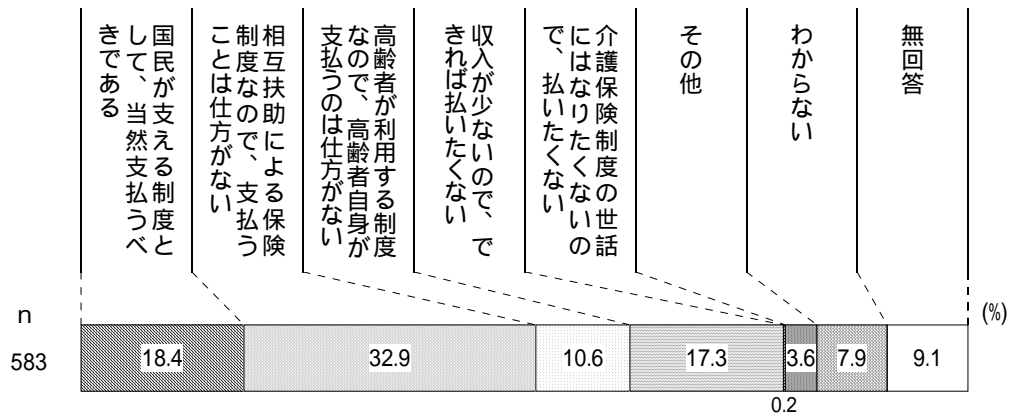
問28 介護保険制度では、サービス費用の1割が利用者の自己負担となっています。現在受けているサービスの量やサービス内容等からみて、この自己負担の金額をどのように思われますか。(は1つ)



自己負担の金額については、「おおむね妥当な額だと思う」が 44.8%で最も多く、以下、「どちらともいえない」(22.1%)、「高い方だと思う」(12.5%)、「安い方だと思う」(1.7%)の順となっている。

(18) 介護保険料の負担について

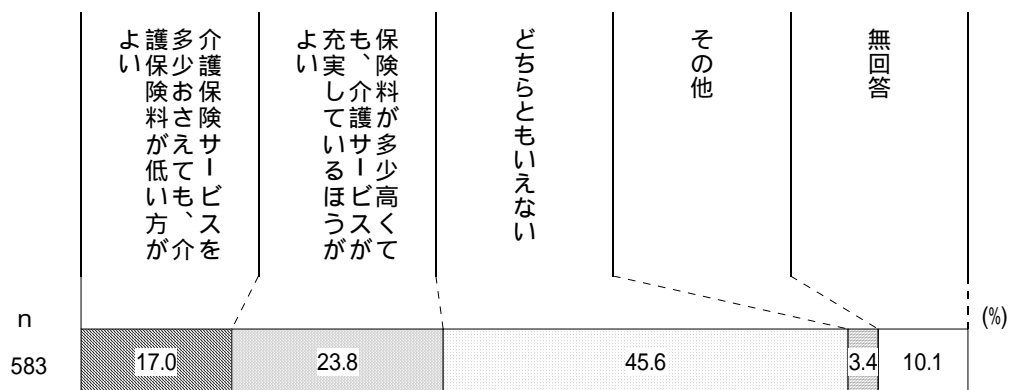
問29 あなた(あて名ご本人)は現在支払っている介護保険料の負担について、どのように思われますか。(は1つ)



介護保険料の負担については、「相互扶助による保険制度なので、支払うことは仕方がない」が 32.9%で最も多く、以下、「国民が支える制度として、当然支払うべきである」(18.4%)、「収入が少ないので、できれば払いたくない」(17.3%)、「高齢者が利用する制度なので、高齢者自身が支払うのは仕方がない」(10.6%)の順となっている。

(19) 保険料と介護サービスのあり方について

問30 介護保険制度において65歳以上の方からいただいている保険料は、青梅市では、基準月額3,600円です。この保険料と介護サービスのあり方について、あなた(あて名ご本人)のお考えに近いものはどれですか。(は1つ)

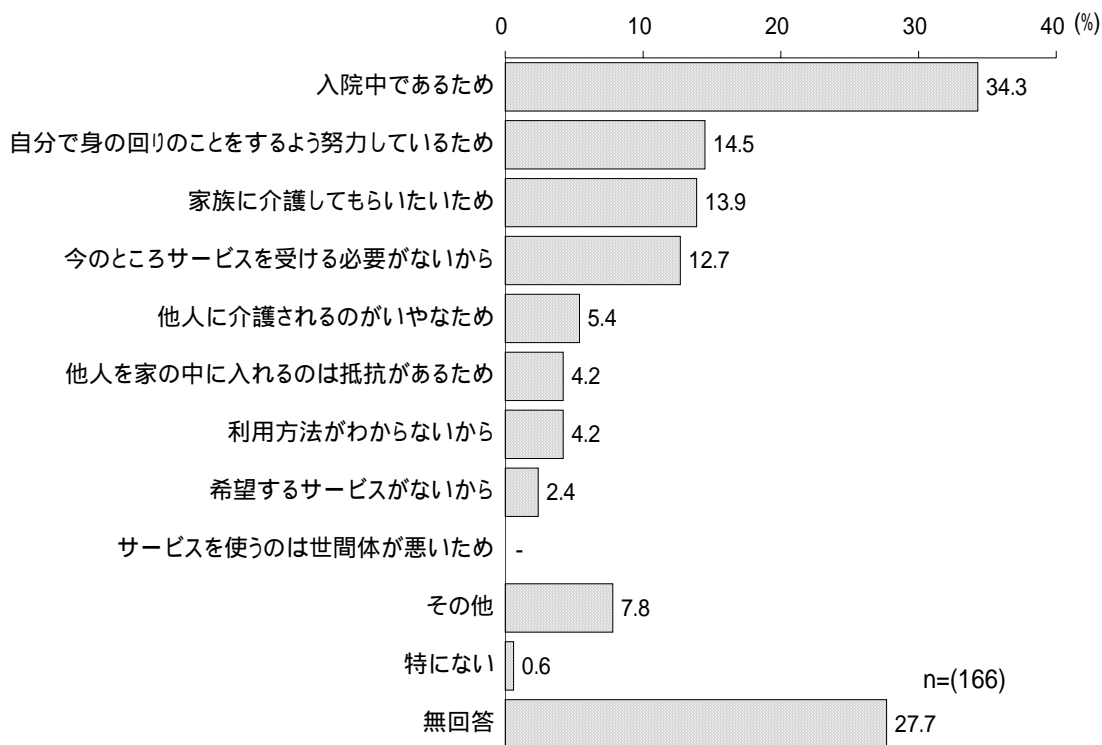


保険料と介護サービスのあり方については、「どちらともいえない」が 45.6%で最も多く、以下、「保険料が多少高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」(23.8%)、「介護保険サービスを多少おさえても、介護保険料が低いほうがよい」(17.0%)の順となっている。

(20) 居宅サービスを利用していない理由

(問23で介護保険の居宅サービスの利用の有無で「なし」に つけた方におたずねします)

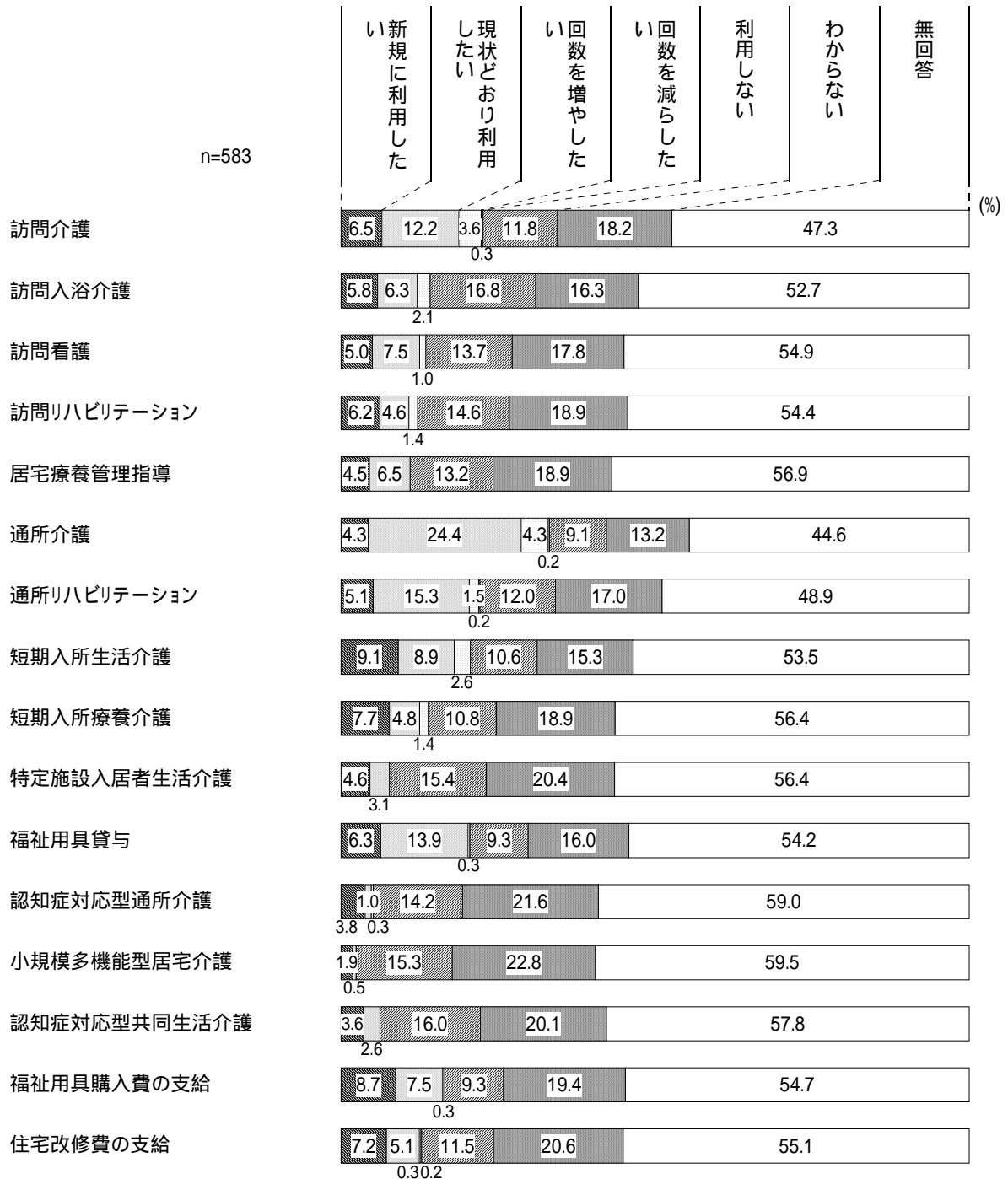
問31 あなた(あて名ご本人)が介護保険の居宅サービスを利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに)



居宅サービスを利用していない理由は、「入院中であるため」が 34.3%で最も多く、以下、「自分で身の回りのことをするよう努力しているため」(14.5%)、「家族に介護してもらいたいため」(13.9%)、「今のところサービスを受ける必要がないから」(12.7%)、「他人に介護されるのがいやなため」(5.4%)の順となっている。

(21) 介護保険サービスの今後の利用意向

問32 介護保険の各サービスについて、あなた（あて名ご本人）の今後の利用意向についてお答えください（は1つ）



介護保険の各サービスについて、「新規に利用したい」割合は、『短期入所生活介護』が 9.1%で最も高く、以下、『福祉用具購入費の支給』（8.7%）、『短期入所療養介護』（7.7%）、『住宅改修費の支給』（7.2%）の順となっている。「現状どおり利用したい」割合は、『通所介護』が 24.4%で最も高く、以下、『通所リハビリテーション』（15.3%）、『福祉用具貸与』（13.9%）、『訪問介護』

第3章 在宅要介護・要支援認定者調査

(12.2%)の順となっている。「回数を増やしたい」という回答はいずれもわずかだが、『通所介護』(4.3%)、『訪問介護』(3.6%)、『短期入所生活介護』(2.6%)、『訪問入浴介護』(2.1%)などとなっている。「回数を減らしたい」という回答はほとんどみられない。いずれのサービスも「利用しない」が1割前後、「わからない」が2割前後みられる。

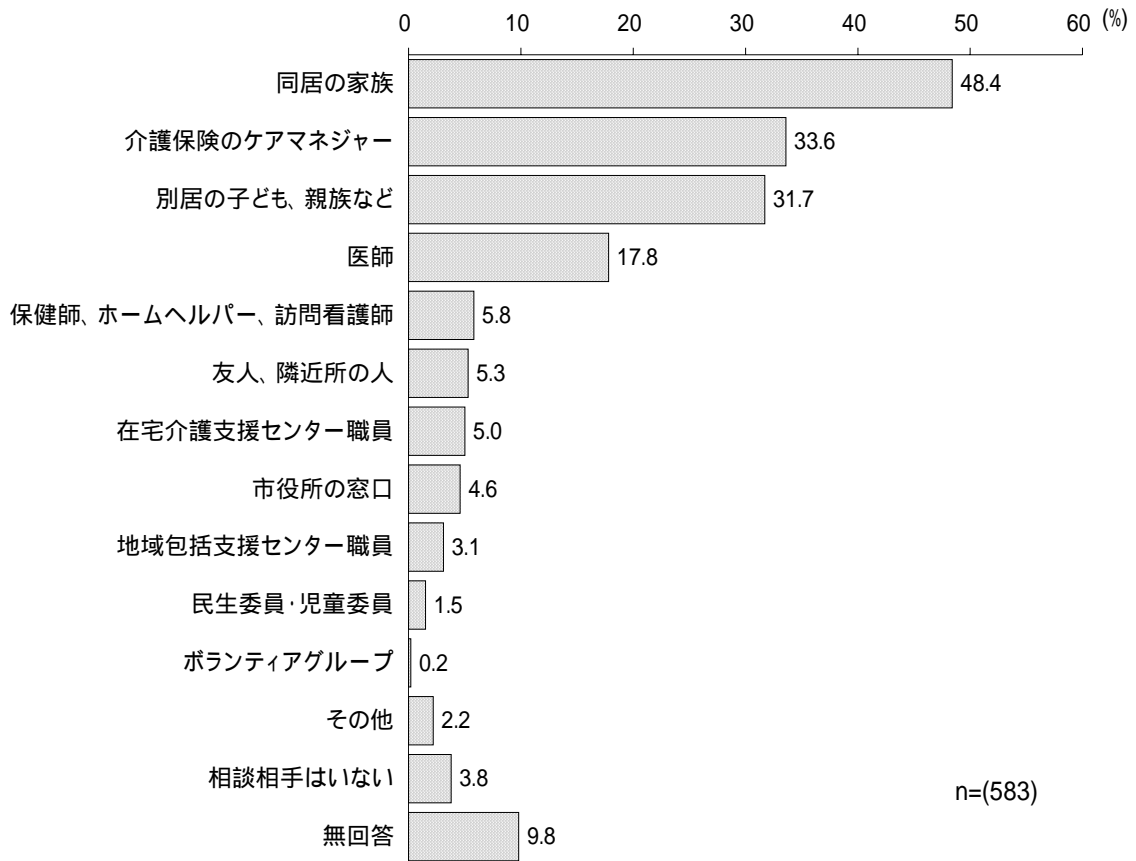
(22) 居宅サービスの利用意向についての自由意見

区分	記入内容	件数
1	アンケートについて	7
2	現時点で不明	7
3	今後の利用意向について	6
4	施設入所希望	6
5	金銭面の負担について	4
6	介護職等の人材について	4
7	入院中	2

1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある
「その他」を除く

(23) 不安や悩みの相談相手

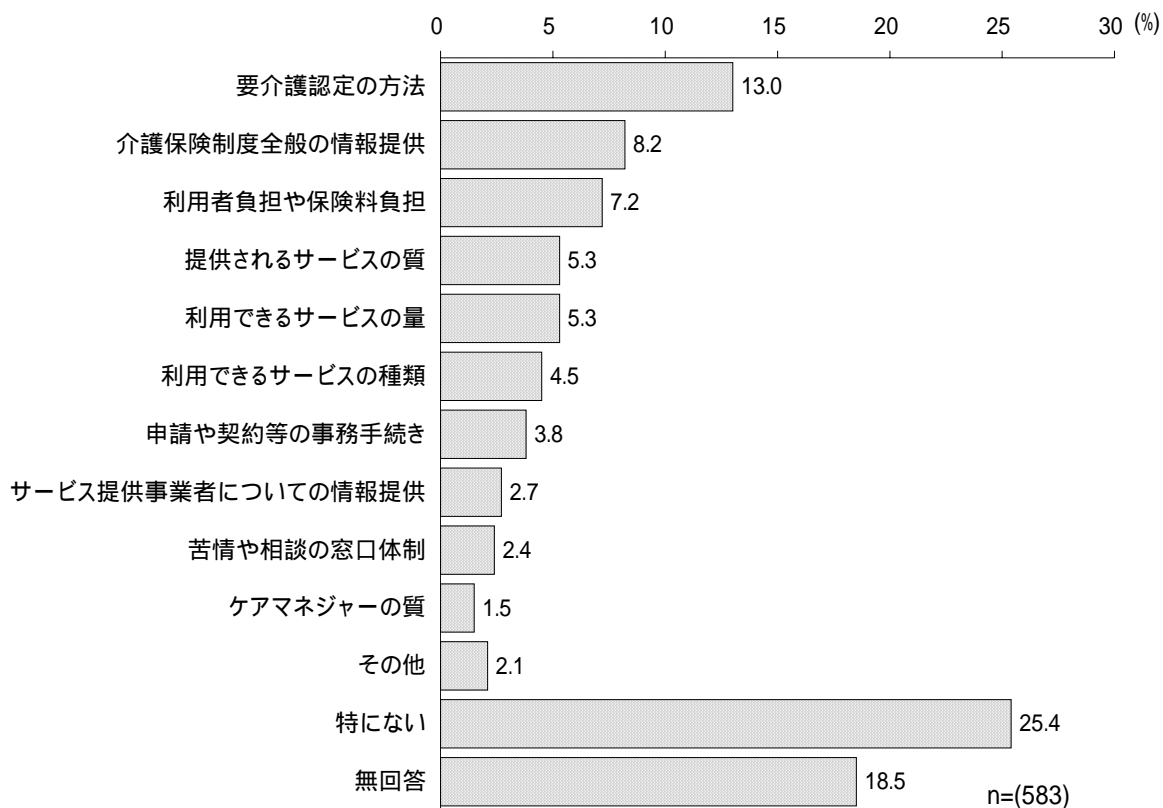
問33 あなた(あて名ご本人)には介護や福祉についての不安や悩みを誰(どちら)に相談していますか。(あてはまるものすべてに)



不安や悩みの相談相手は、「同居の家族」が 48.4%で最も多く、以下、「介護保険のケアマネジャー」(33.6%)、「別居の子ども、親族など」(31.7%)、「医師」(17.8%)、「保健師、ホームヘルパー、訪問看護師」(5.8%)、「友人、隣近所の人」(5.3%)の順となっている。

(24) 介護保険について改善してほしいこと

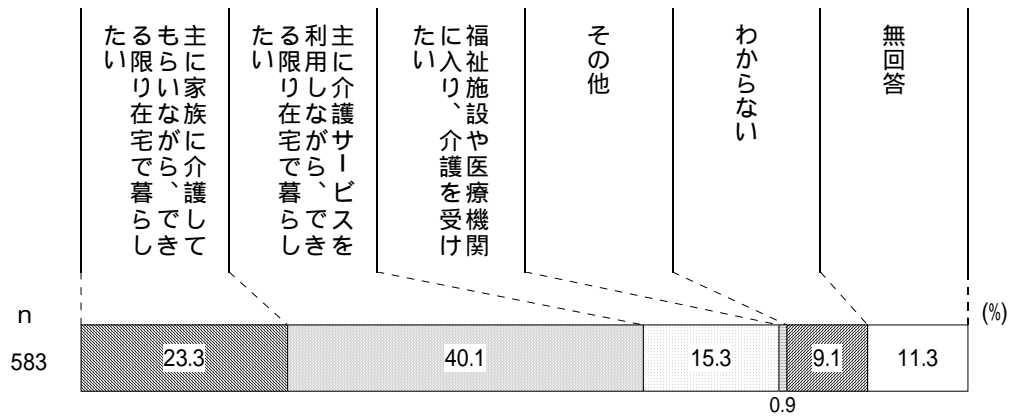
問34 現在の介護保険制度について、特に改善してほしいことはありますか。(1つ)



介護保険について改善してほしいことは、「特にない」が 25.4%である。改善してほしいことの中では、「要介護認定の方法」が 13.0%で最も多く、以下、「介護保険制度全般の情報提供」(8.2%)、「利用者負担や保険料負担」(7.2%)、「提供されるサービスの質」(5.3%)、「利用できるサービスの量」(5.3%)の順となっている。

(25) 今後希望する介護形態

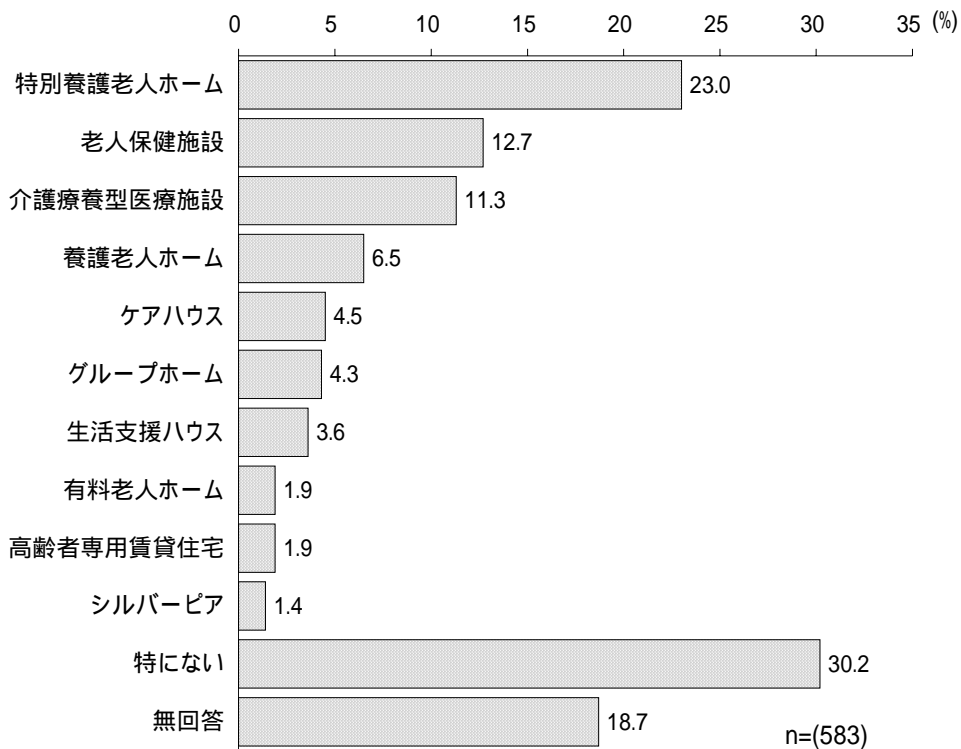
問35 今後の介護について、あなた（あて名ご本人）はどのような希望をお持ちですか。
（は1つ）



今後希望する介護形態は、「主に介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい」が40.1%で最も多く、以下、「主に家族に介護してもらいながら、できる限り在宅で暮らしたい」(23.3%)、「福祉施設や医療機関に入り、介護を受けたい」(15.3%)の順となっている。また、「わからない」が9.1%みられる。

(26) 利用したい施設

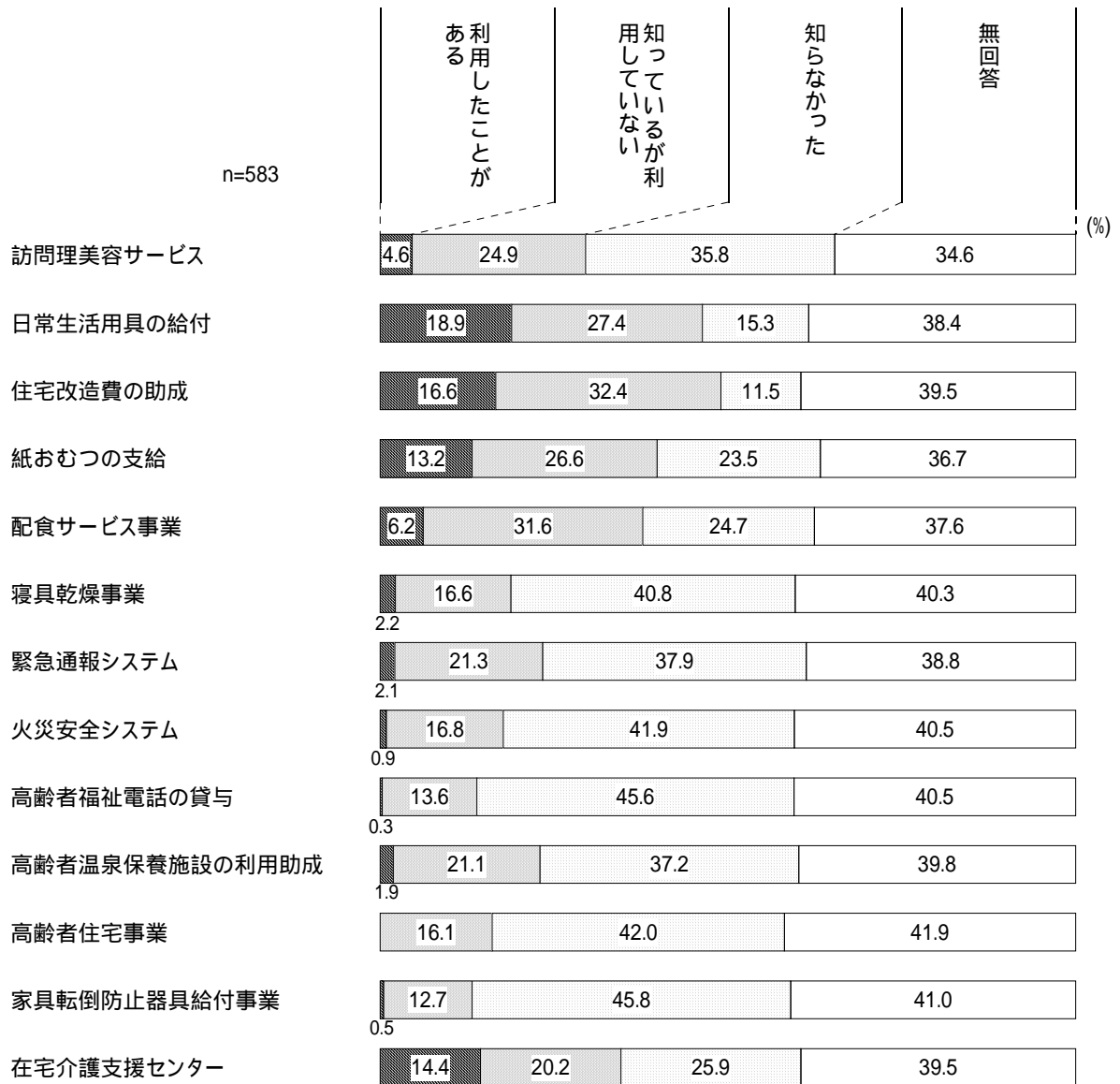
問36 あなた(あて名ご本人)が、申込みをしている施設、もしくは、今後、利用したい施設などがありますか。下の一覧表を参考にして、お答えください。(あてはまるものに)



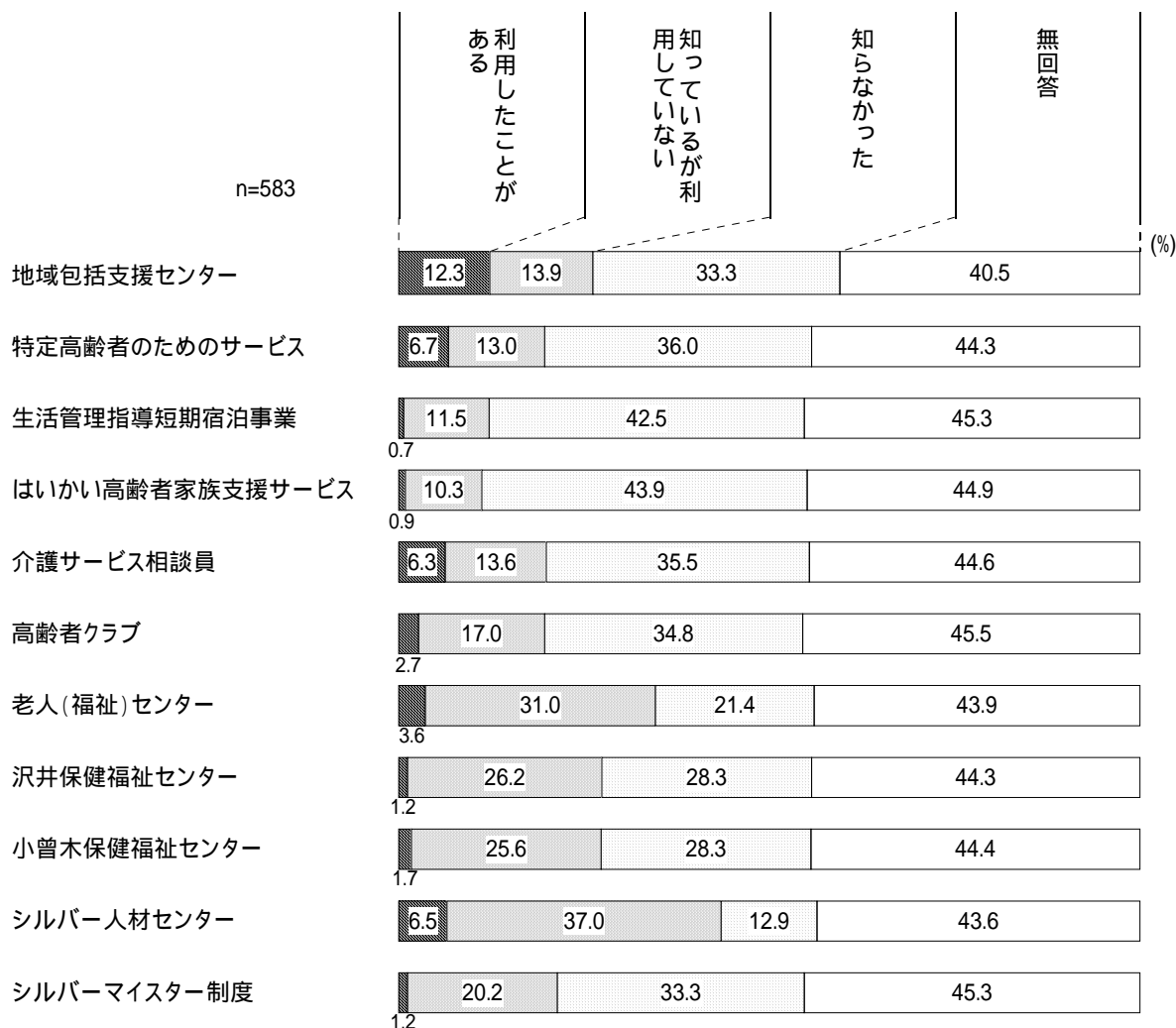
利用したい施設は、「特にない」が 30.2%である。利用したい施設の中では、「特別養護老人ホーム」が 23.0%で最も多く、以下、「老人保健施設」(12.7%)、「介護療養型医療施設」(11.3%)、「養護老人ホーム」(6.5%)、「ケアハウス」(4.5%)、「グループホーム」(4.3%)の順となっている。

(27) 高齢者福祉サービスの利用状況

問37 あなた(あて名ご本人)は、次の事業を利用されていますか。利用状況、利用した感想、今後の利用意向の各項目ごとに、該当するものを選んでください。(それぞれは1つ)

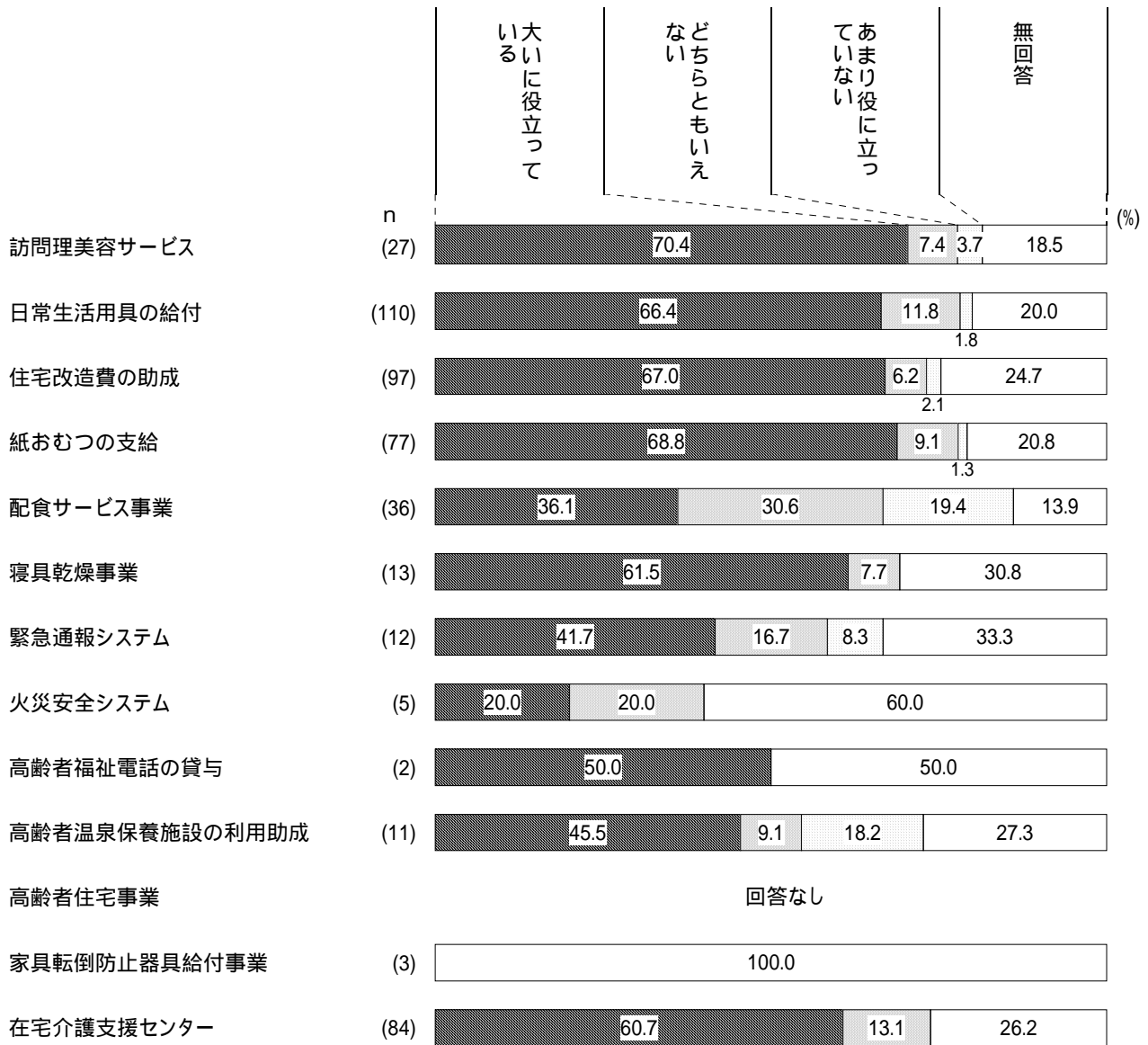


第3章 在宅要介護・要支援認定者調査

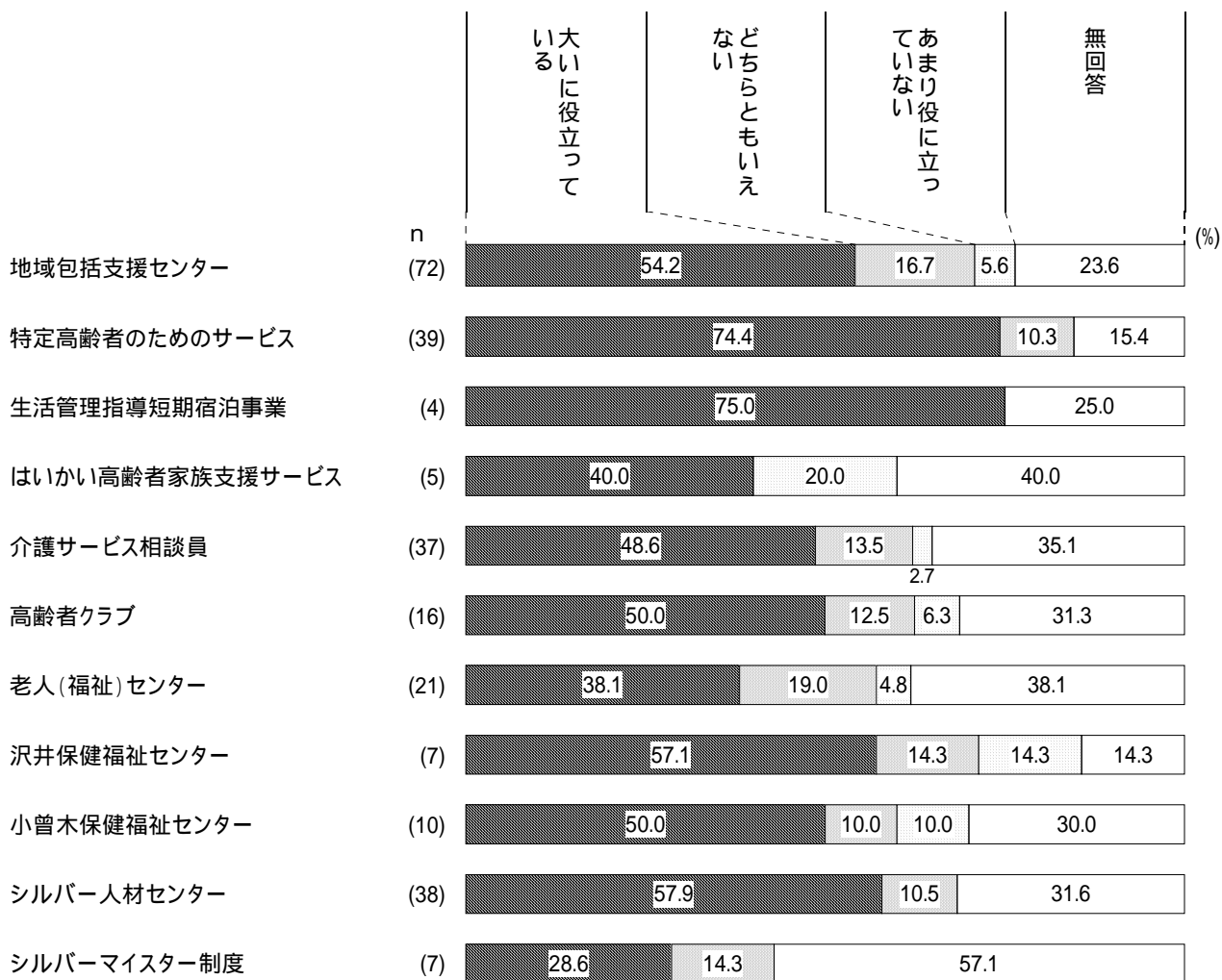


高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したことがある」割合は、『日常生活用具の給付』が 18.9%で最も高く、以下、『住宅改造費の助成』(16.6%)、『在宅介護支援センター』(14.4%)、『紙おむつの支給』(13.2%)、『地域包括支援センター』(12.3%)の順となっている。「知っているが利用していない」割合は、『シルバー人材センター』が 37.0%で最も高く、以下、『住宅改造費の助成』(32.4%)、『配食サービス事業』(31.6%)、『老人(福祉)センター』(31.0%)、『日常生活用具の給付』(27.4%)の順となっている。「知らなかった」割合は、『家具転倒防止器具給付事業』(45.8%)、『高齢者福祉電話の貸与』(45.6%)、『はいかい高齢者家族支援サービス』(43.9%)で4割台半ばと高くなっている。

(28) 高齢者福祉サービスを利用した感想

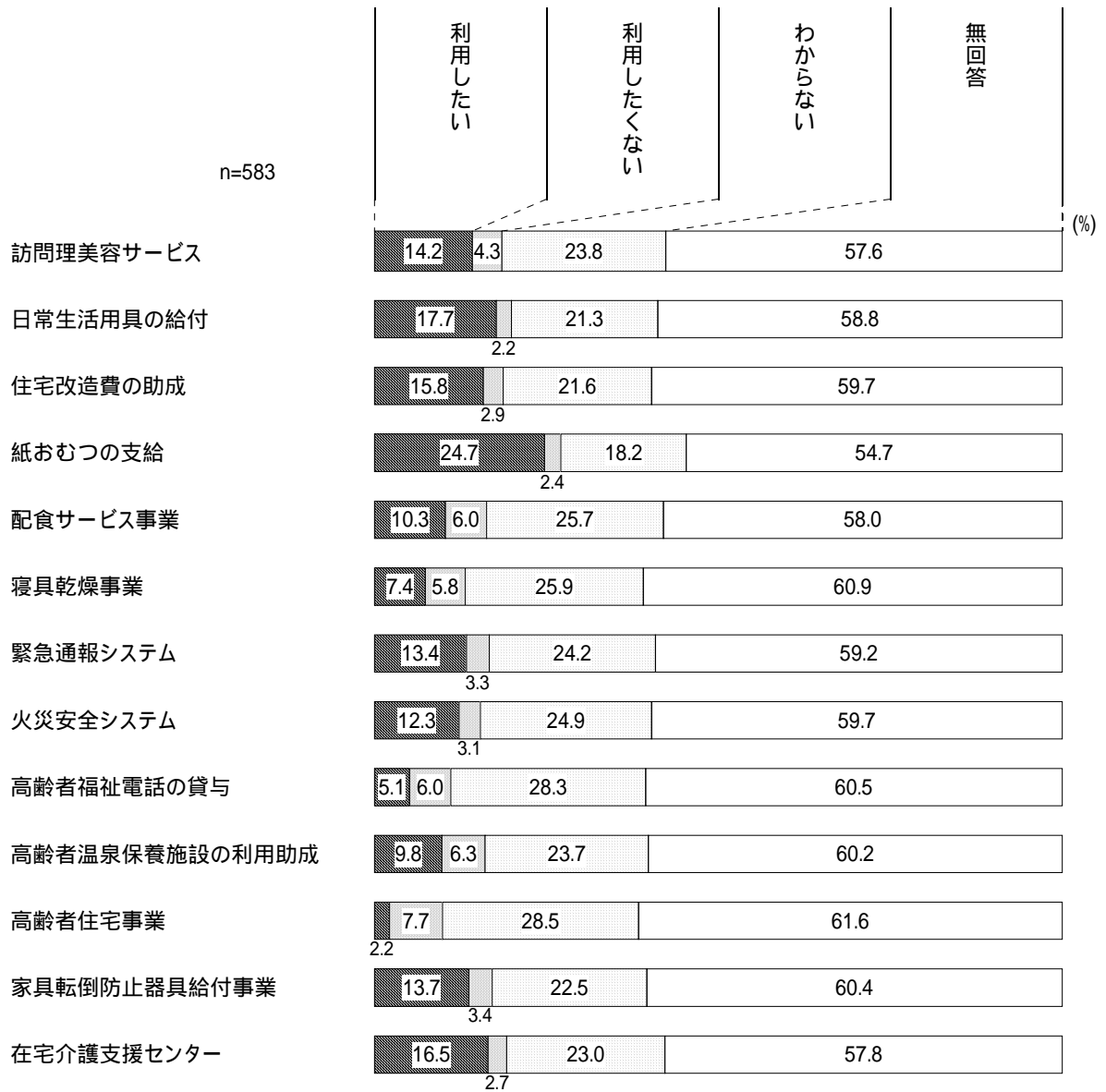


第3章 在宅要介護・要支援認定者調査

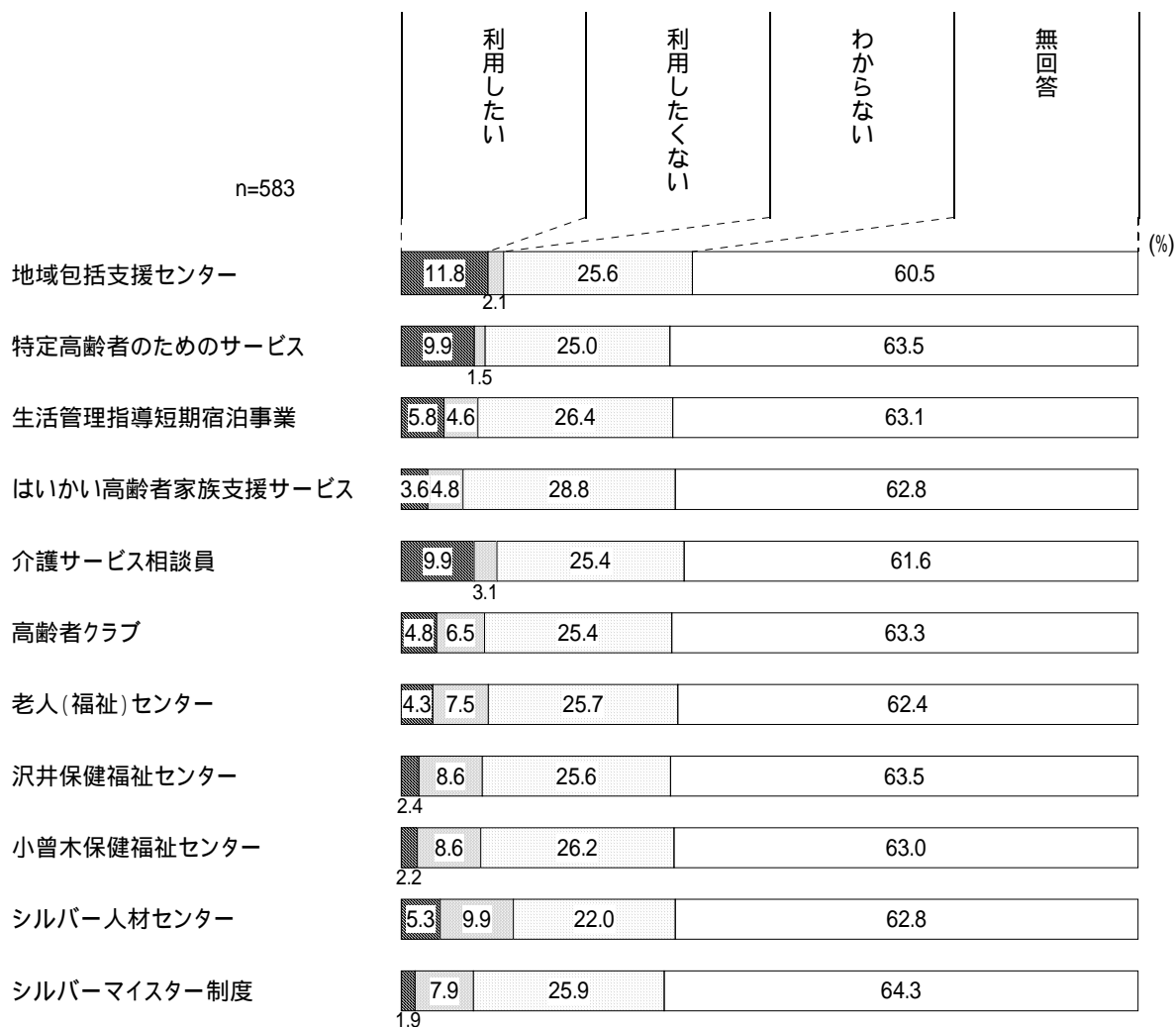


高齢者福祉サービスを利用した感想は、利用者数が少ないため参考値になるが、「大いに役立っている」との回答が多くみられる傾向にある。「あまり役に立っていない」との回答は皆無か少数であり、その中では『はいかい高齢者家族支援サービス』(20.0%)、『配食サービス事業』(19.4%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(18.2%)、『沢井保健福祉センター』(14.3%)で比較的高くなっている。

(29) 高齢者福祉サービスの今後の利用意向



第3章 在宅介護・要支援認定者調査



高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したい」割合は、『紙おむつの支給』が 24.7%で最も高く、以下、『日常生活用具の給付』(17.7%)、『在宅介護支援センター』(16.5%)、『住宅改造費の助成』(15.8%)、『訪問理美容サービス』(14.2%)の順となっている。「利用したくない」割合は、『シルバー人材センター』(9.9%)、『沢井保健福祉センター』(8.6%)、『小曾木保健福祉センター』(8.6%)で1割弱みられる。

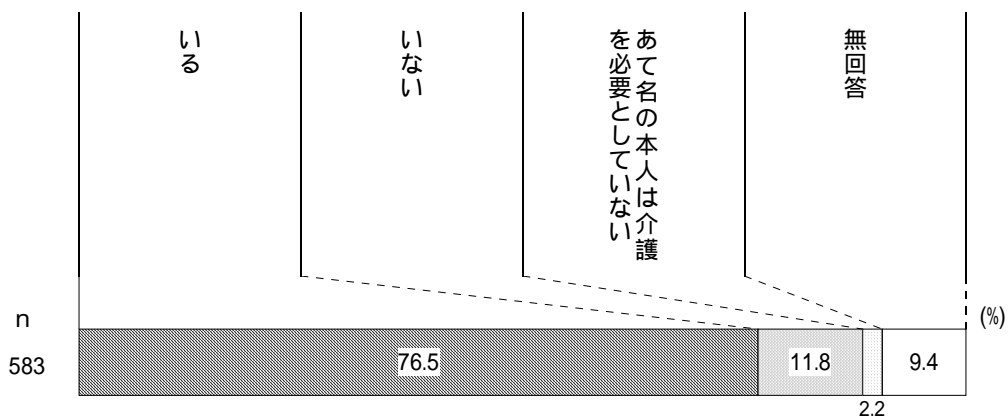
(30) 高齢者福祉サービスについての自由意見

区分	記入内容	件数
1	情報提供について	6
2	保健福祉センターについて	5
3	アンケートについて	3
4	紙おむつの支給について	2
5	未利用について	2

1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある
「その他」を除く

(31) 家族介護者の有無

問38 あて名のご本人を介護しているご家族の方はいますか。(は1つ)

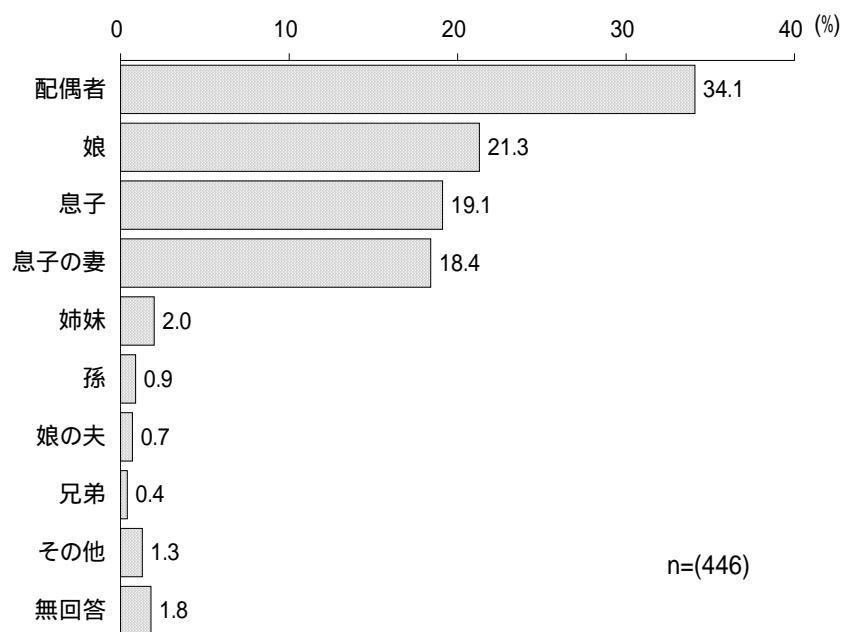


家族介護者の有無は、「いる」(76.5%)、「いない」(11.8%)、「あて名の本人は介護を必要としていない」(2.2%)となっている。

6. 介護者について

(1) 介護者の続柄

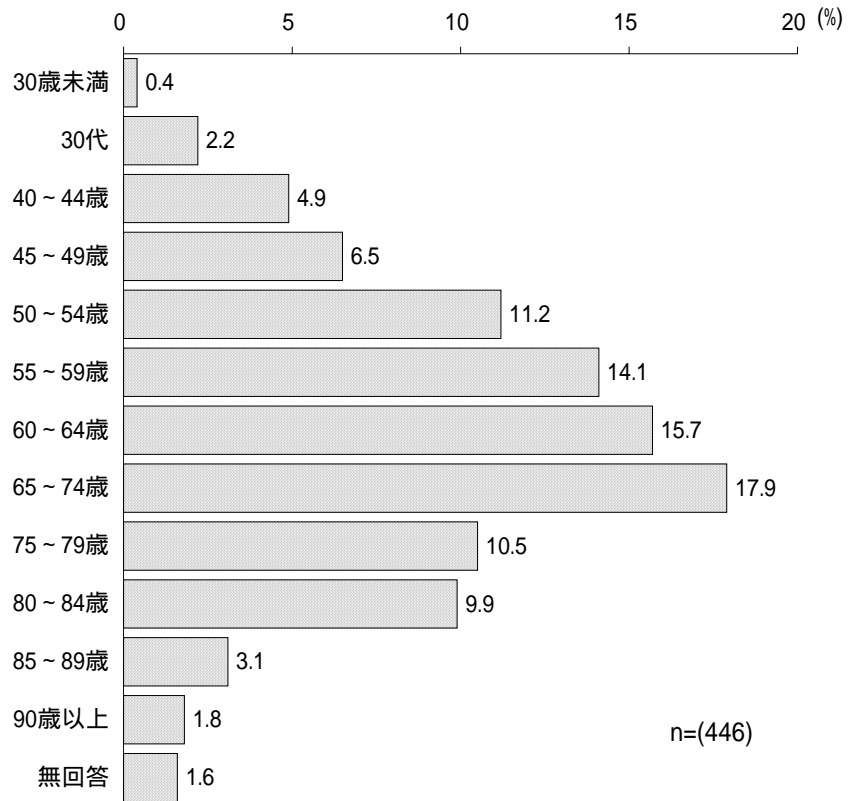
問39 主に介護している方（介護者）は、あて名のご本人（介護されている方）からみて、どのような関係の方ですか。（ は1つ）



介護者の続柄は、「配偶者」が 34.1%で最も多く、以下、「娘」(21.3%)、「息子」(19.1%)、「息子の妻」(18.4%)、「姉妹」(2.0%)の順となっている。

(2) 介護者の年齢

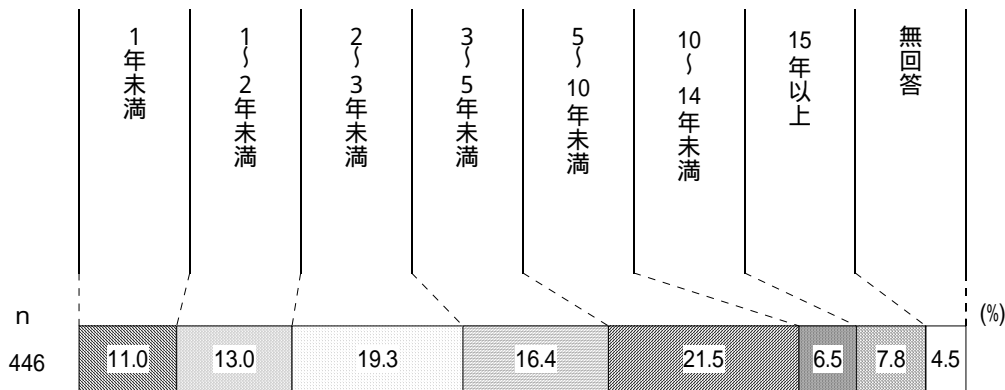
介護者の方の年齢はおいくつですか。(は1つ)



介護者の年齢は、「65～74歳」が17.9%で最も多く、以下、「60～64歳」(15.7%)、「55～59歳」(14.1%)、「50～54歳」(11.2%)、「75～79歳」(10.5%)と続き、65歳以上が4割強である。

(3) 介護期間

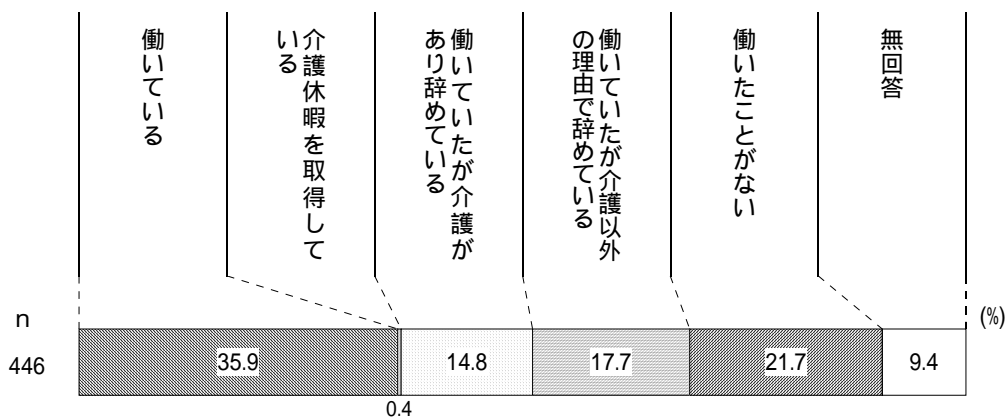
介護者の方は、どのくらいの期間介護していますか。(は1つ)



介護期間は、「5～10年未満」が21.5%で最も多く、以下、「2～3年未満」(19.3%)、「3～5年未満」(16.4%)、「1～2年未満」(13.0%)、「1年未満」(11.0%)、「15年以上」(7.8%)、「10～14年未満」(6.5%)の順となっている。

(4) 介護者の就労状況

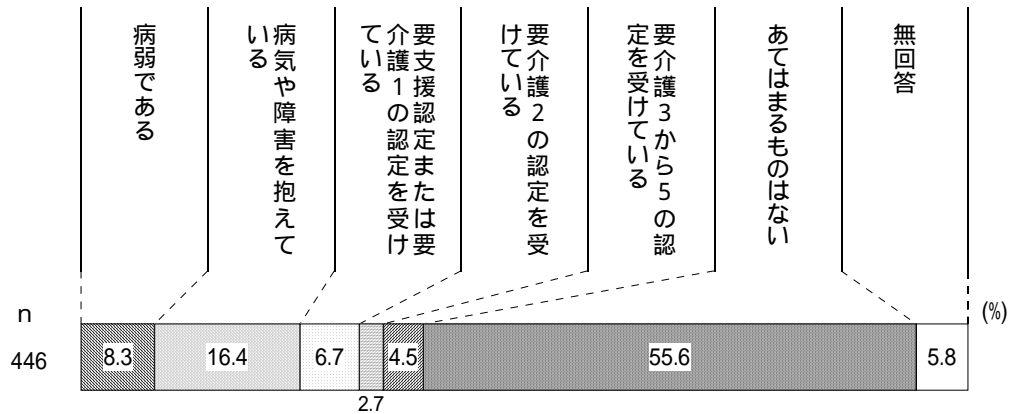
介護者の方は働いていますか。(は1つ)



介護者の就労状況は、「働いている」が35.9%で最も多く、以下、「働いたことがない」(21.7%)、「働いていたが介護以外の理由で辞めている」(17.7%)、「働いていたが介護があり辞めている」(14.8%)、「介護休暇を取得している」(0.4%)の順となっている。

(5) 介護者の健康状態

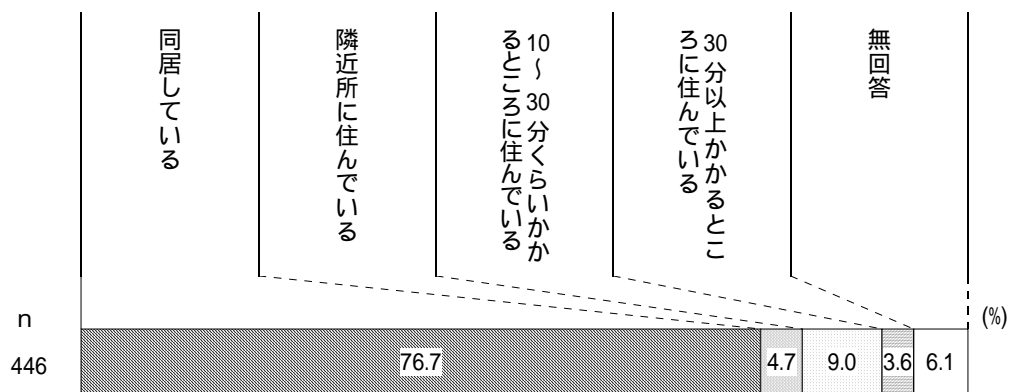
介護者の方の健康状態について、あてはまるものをお答えください。(は1つ)



介護者の健康状態は、「あてはまるものはない」が 55.6%で最も多く、以下、「病気や障害を抱えている」(16.4%)、「病弱である」(8.3%)、「要支援認定または要介護1の認定を受けている」(6.7%)の順となっている。

(6) 介護者と本人の距離

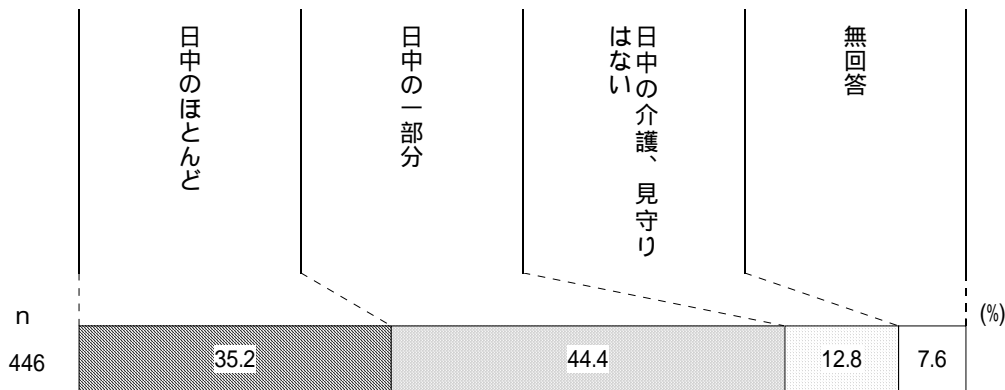
介護者の方とあて名のご本人との同別居についてお伺いします。別居している場合は、いつも通っている方法(徒歩・電車・バスなど)でどれくらいの時間がかかるか、お答えください。(は1つ)



介護者と本人の距離は、「同居している」が 76.7%で最も多く、以下、「10~30分くらいかかるところに住んでいる」(9.0%)、「隣近所に住んでいる」(4.7%)、「30分以上かかるところに住んでいる」(3.6%)の順となっている。

(7) 介護、見守りに費やす時間(日中)

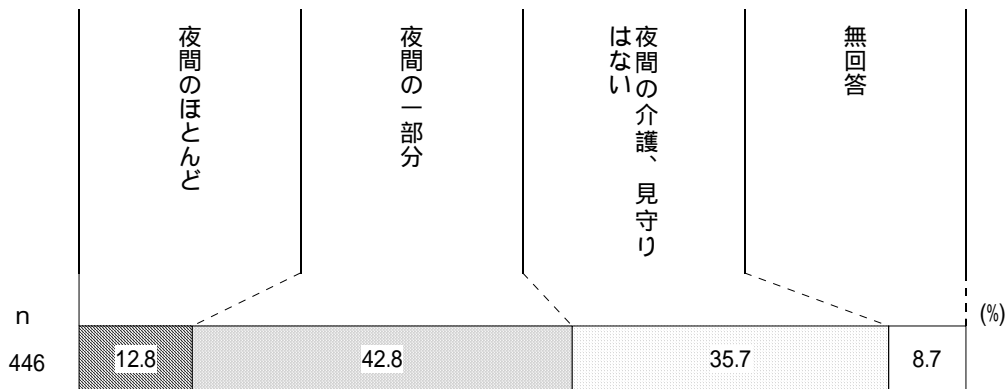
介護者の方が介護、見守りに費やしている日中の時間はどのくらいですか。(は1つ)



介護、見守りに費やす時間(日中)は、「日中の一部分」が 44.4%で最も多く、以下、「日中のほとんど」(35.2%)、「日中の介護、見守りはない」(12.8%)の順となっている。

(8) 介護、見守りに費やす時間(夜間)

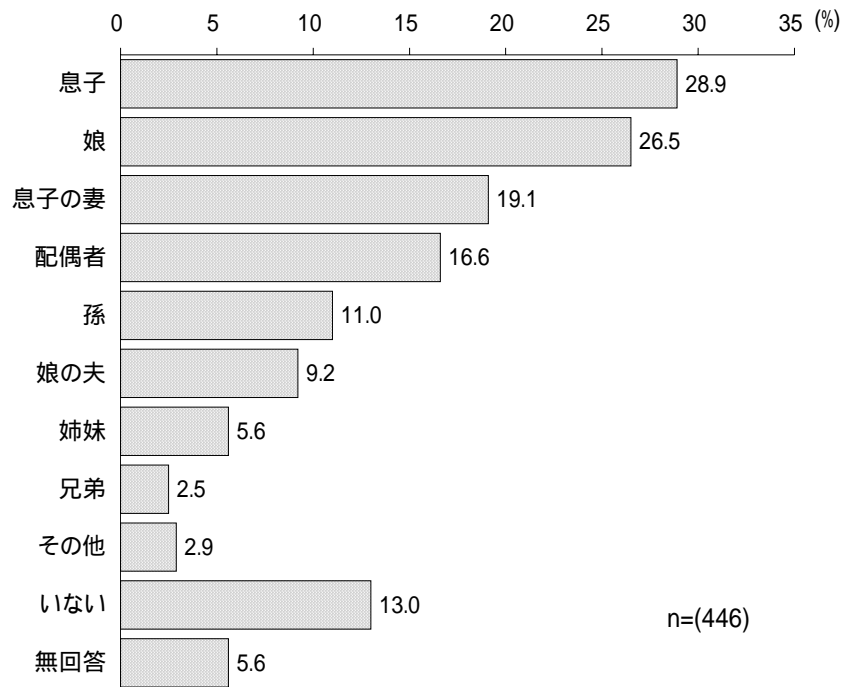
介護者の方が夜間、介護、見守りに費やしている時間はどのくらいですか。(は1つ)



介護、見守りに費やす時間(夜間)は、「夜間の一部分」が 42.8%で最も多く、以下、「夜間の介護、見守りはない」(35.7%)、「夜間のほとんど」(12.8%)の順となっている。

(9) 介護を手伝ってくれる家族

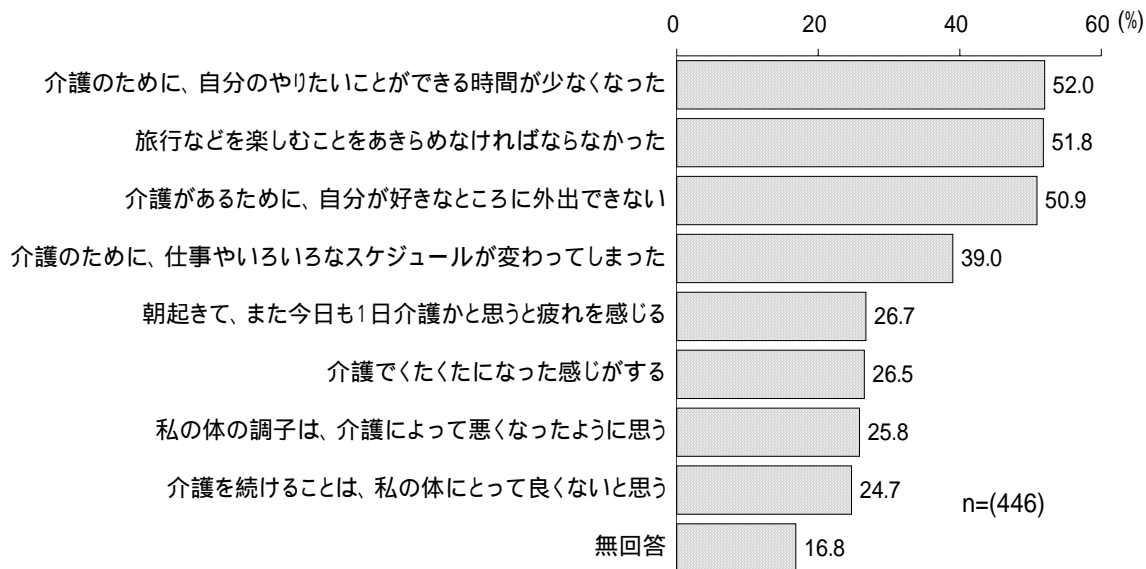
介護者以外で、あて名のご本人の介護を手伝ってくれるご家族はどなたですか。あて名のご本人との関係をお答えください。(あてはまるものすべてに)



介護を手伝ってくれる家族は、「息子」が 28.9%で最も多く、以下、「娘」(26.5%)「息子の妻」(19.1%)「配偶者」(16.6%)「孫」(11.0%)「娘の夫」(9.2%)「姉妹」(5.6%)の順となっている。また、「いない」が 13.0%みられる。

(10) 介護に際して感じるストレス

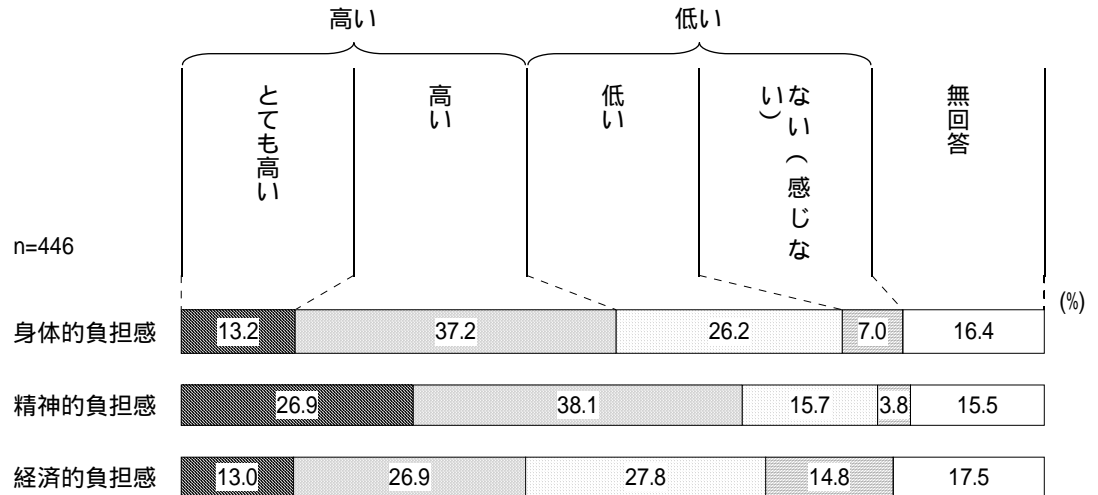
問40 介護者の方は、介護に際してストレスを感じることがありますか。次にあげる各項目について、現在、あてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに)



介護に際して感じるストレスは、「介護のために、自分のやりたいことができる時間が少なくなった」が 52.0%で最も多く、以下、「旅行などを楽しむことをあきらめなければならなかった」(51.8%)、「介護があるために、自分が好きなところに外出できない」(50.9%)、「介護のために、仕事やいろいろなスケジュールが変わってしまった」(39.0%)、「朝起きて、また今日も1日介護かと思うと疲れを感じる」(26.7%)の順となっている。

(11) 介護の負担感

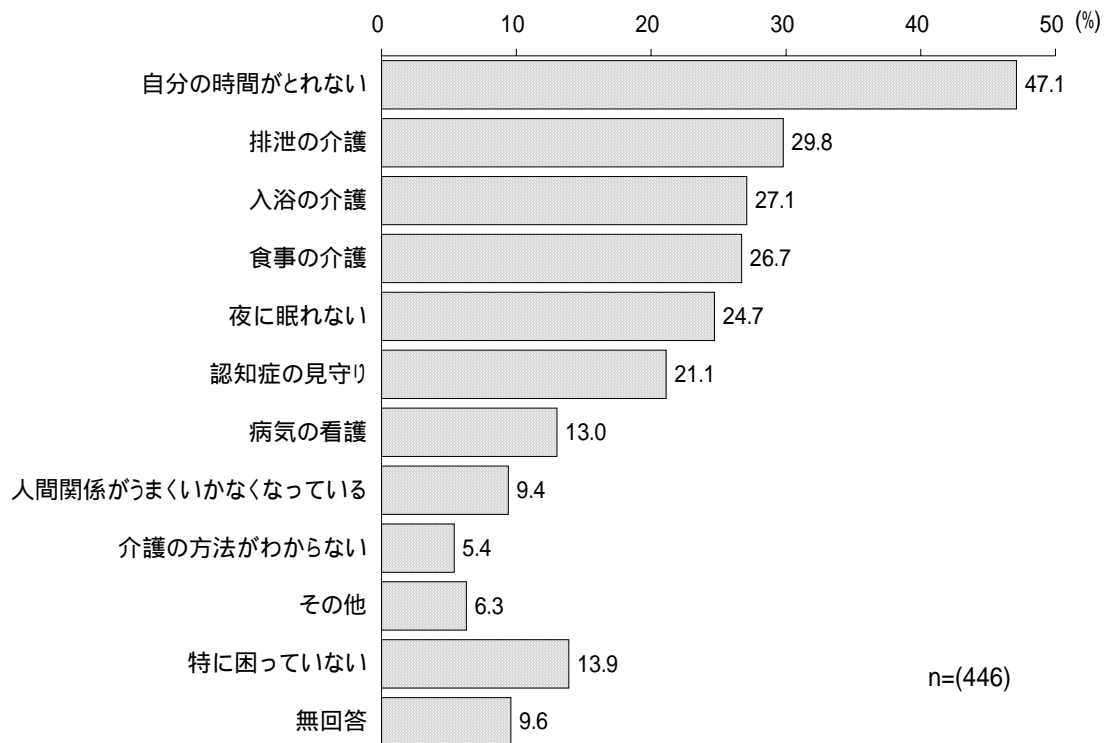
問41 介護をする上で、介護者の方が感じる負担感はどの程度ですか。次にあげる各項目について、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれは1つ)



介護の負担感が「とても高い」と「高い」を合わせた《高い》の割合は、『精神的負担感』で65.0%と最も高く、『身体的負担感』では50.4%、『経済的負担感』では39.9%となっている。

(12) 介護者が困っていること

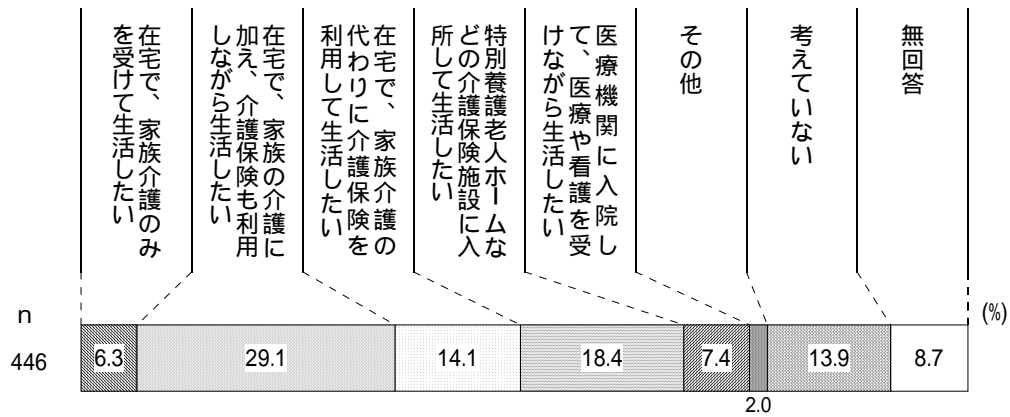
問42 介護者の方がお困りのことは何ですか。(あてはまるものすべてに)



介護者が困っていることは、「自分の時間がとれない」が 47.1%で最も多く、以下、「排泄の介護」(29.8%)、「入浴の介護」(27.1%)、「食事の介護」(26.7%)、「夜に眠れない」(24.7%)、「認知症の見守り」(21.1%)、「病気の看護」(13.0%)の順となっている。

(13) 介護者が自身に希望する介護形態

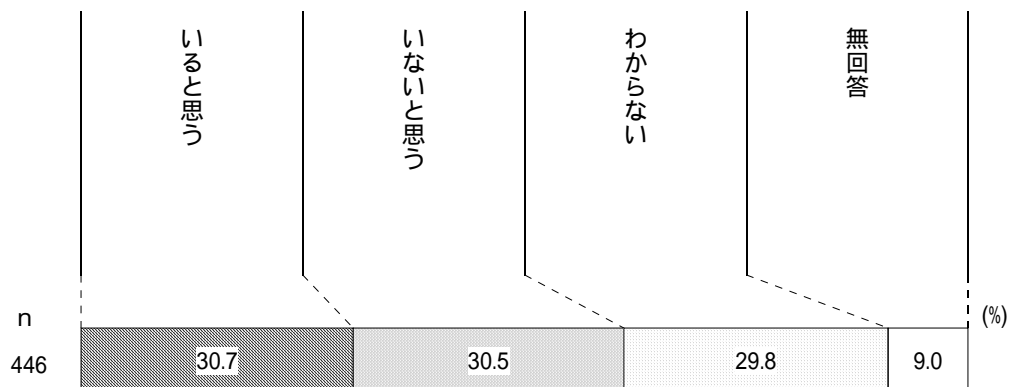
問43 今後、介護者ご自身が、介護や生活上の手助けが必要となった場合、どこで生活したいとお考えですか。(は1つ)



介護者が自身に希望する介護形態は、「在宅で、家族の介護に加え、介護保険も利用しながら生活したい」が 29.1%で最も多く、以下、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して生活したい」(18.4%)、「在宅で、家族介護の代わりに介護保険を利用して生活したい」(14.1%)の順となっている。また、「考えていない」が13.9%みられる。

(14) 将来、介護者を介護してくれる人の有無

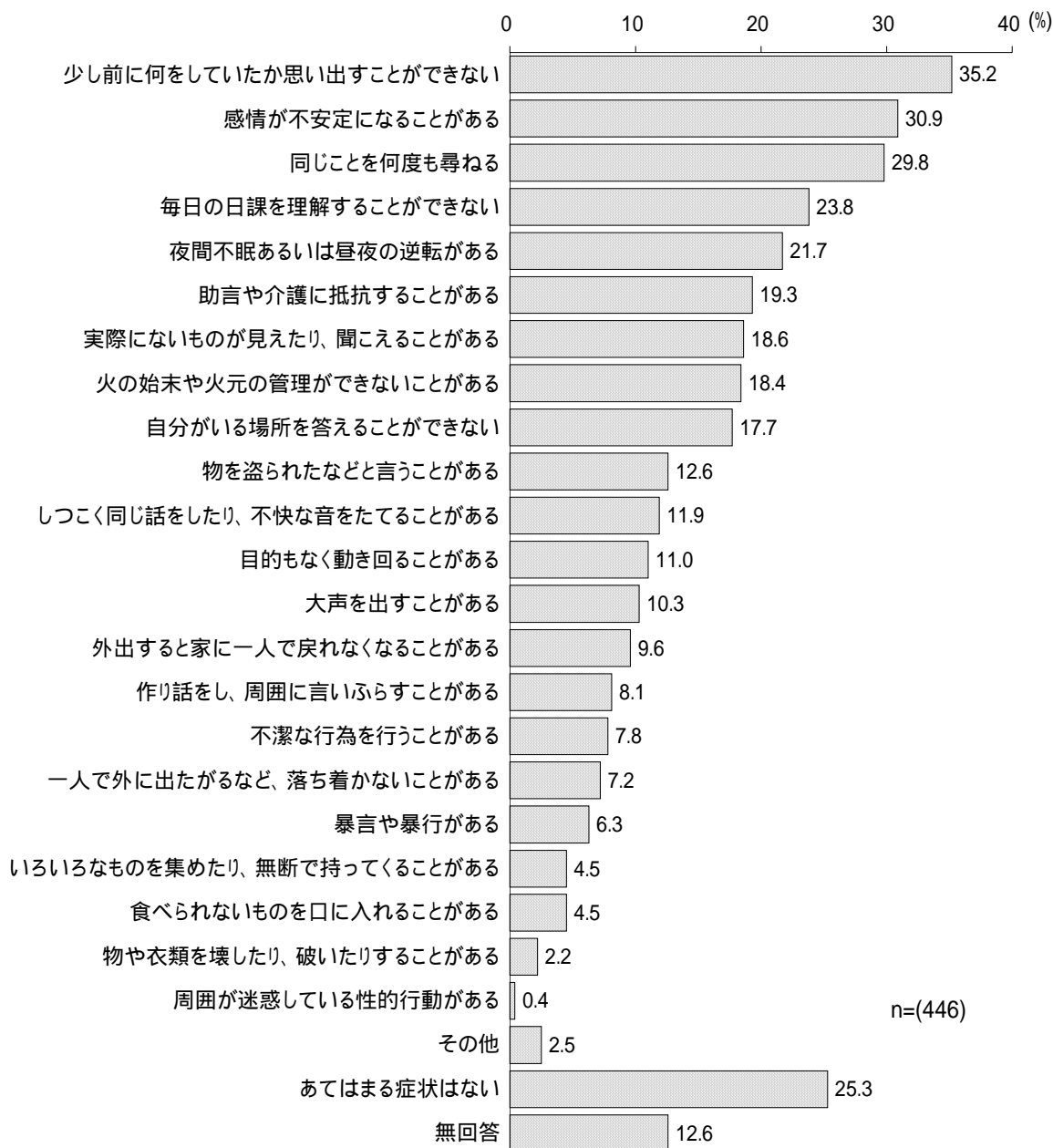
問44 将来、介護者であるあなたに介護や介助が必要となった場合についておたずねします。あなたを介護したり、生活を手助けしてくれる人はいますか。(は1つ)



将来、介護者を介護してくれる人の有無は、「いると思う」(30.7%)、「いないと思う」(30.5%)、「わからない」(29.8%)となっている。

(15) 認知症の症状

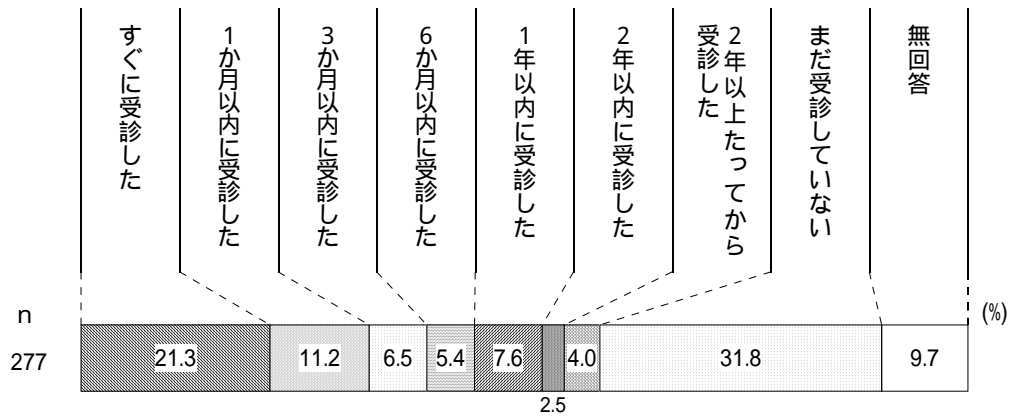
問45 - 1 あて名のご本人にあてはまる症状はありますか。(あてはまるものに)



認知症の症状は、「少し前に何をしていたか思い出すことができない」が 35.2%で最も多く、以下、「感情が不安定になることがある」(30.9%)、「同じことを何度も尋ねる」(29.8%)、「毎日の日課を理解することができない」(23.8%)、「夜間不眠あるいは昼夜の逆転がある」(21.7%)、「助言や介護に抵抗することがある」(19.3%)、「実際にはないものが見えたり、聞こえることがある」(18.6%)の順となっている。また、「あてはまる症状はない」が 25.3%みられる。

(16) 認知症を発症して受診するまでの期間

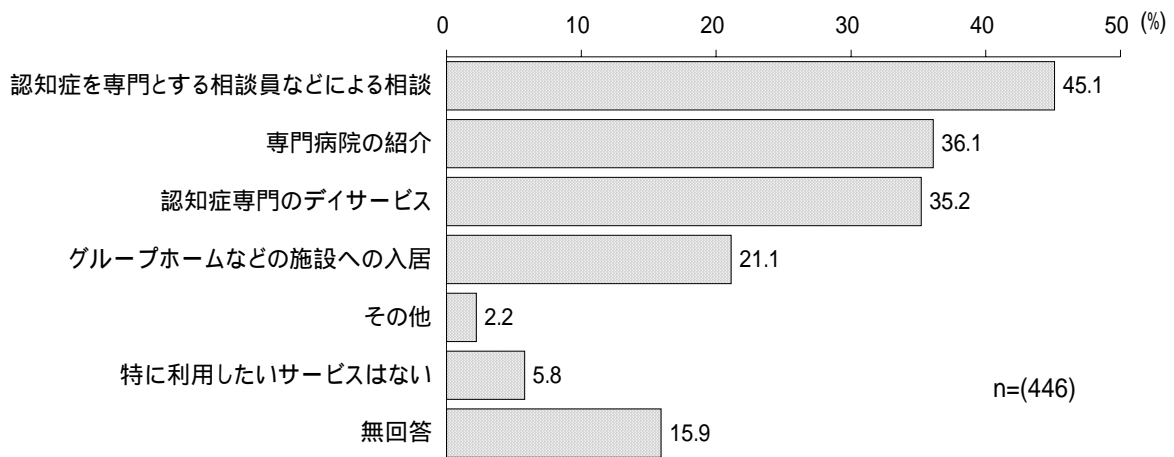
問45 - 2 前問で をつけた症状に気づいてから、その症状について医療機関に受診するまで、どれくらいの期間がありましたか。(は1つ)



認知症を発症して受診するまでの期間は、「まだ受診していない」が 31.8%で最も多く、以下、「すぐに受診した」(21.3%)、「1か月以内に受診した」(11.2%)、「1年以内に受診した」(7.6%)、「3か月以内に受診した」(6.5%)、「6か月以内に受診した」(5.4%)の順となっている。

(17) 認知症に関して利用したいサービス

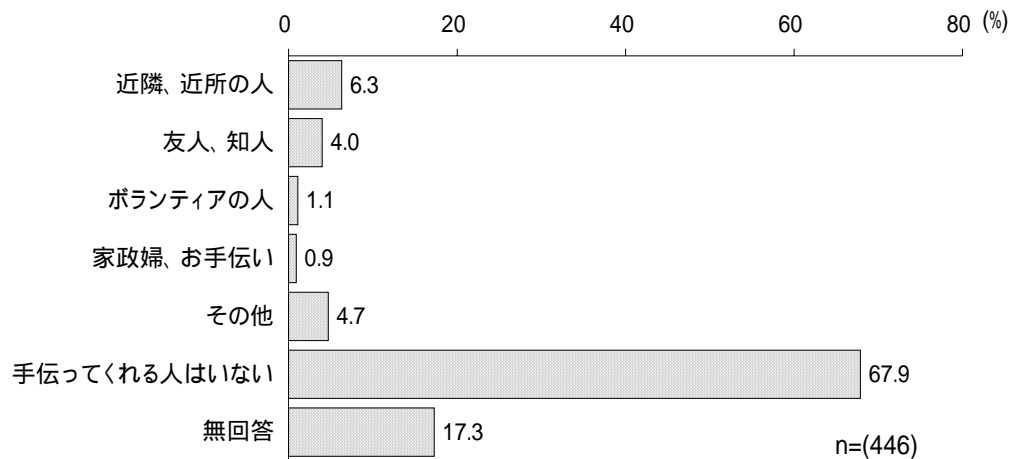
問46 あて名のご本人に、認知症の症状が出た場合、主に介護している方はどのようなサービスがあれば利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに)



認知症に関して利用したいサービスは、「認知症を専門とする相談員などによる相談」が 45.1%で最も多く、以下、「専門病院の紹介」(36.1%)、「認知症専門のデイサービス」(35.2%)、「グループホームなどの施設への入居」(21.1%)の順となっている。

(18) 家族以外で介護者を手伝ってくれる人

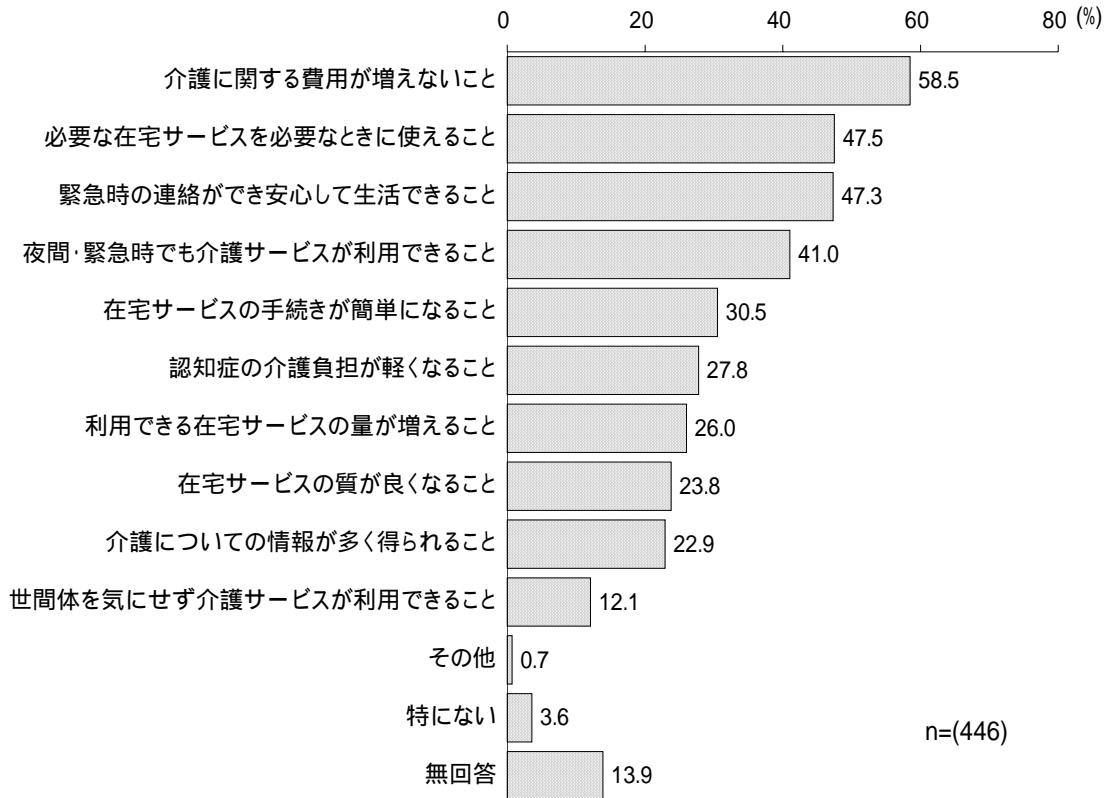
問47 ご家族以外で、また介護保険サービス以外で、主に介護している方の介護を手伝ってくれる方はいますか。(あてはまるものすべてに)



家族以外で介護者を手伝ってくれる人については、「手伝ってくれる人はいない」が 67.9%である。手伝ってくれる人の中では、「近隣、近所の人」が 6.3%で最も多く、以下、「友人、知人」(4.0%)、「ボランティアの人」(1.1%)、「家政婦、お手伝い」(0.9%)の順となっている。

(19) 在宅生活を続けるために必要なこと

問48 今後も在宅生活を続けるためには、何が必要ですか。(あてはまるものすべてに)



在宅生活を続けるために必要なことは、「介護に関する費用が増えないこと」が 58.5%で最も多く、以下、「必要な在宅サービスを必要なときに使えること」(47.5%)、「緊急時の連絡ができ安心して生活できること」(47.3%)、「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」(41.0%)、「在宅サービスの手続きが簡単になること」(30.5%)、「認知症の介護負担が軽くなること」(27.8%)、「利用できる在宅サービスの量が増えること」(26.0%)の順となっている。

7. 自由意見

問49 今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等、ご自由にご記入ください。

区分	記入内容	件数
1	サービスについて	28
2	施設入所について	25
3	金銭面の負担について	15
4	アンケートについて	12
5	情報提供について	11
6	介護保険制度について	11
7	要介護認定について	10
8	介護職等の人材について	8
9	高齢者施策について	7
10	介護保険料について	6
11	医療体制について	4
12	相談体制の充実について	3
13	交通機関の充実について	2
14	介護予防・認知症予防について	2

1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある「その他」を除く

第4章 地域支援事業対象者調査

1. 調査結果の概要

(1) 本人について

- ・現在の居住場所は、「自宅で生活している」が95.1%の大多数である。
- ・回答者は、「あて名のご本人」が84.0%の大多数である。
- ・居住地区は、「梅郷地区」が18.8%で最も多く、以下、「河辺地区」(16.0%)、「東青梅地区」(13.2%)の順となっている。
- ・家族構成は、「三人以上で64歳以下の方と同居」が39.6%で最多である。
- ・同居者は、「配偶者」「子ども」がともに53.4%で最も多く、次いで「孫」(20.3%)となっている。
- ・市内居住年数は、「20年以上」が82.6%で最多である。
- ・生活費は、「自分の年金や恩給」が63.2%で最も多く、以下、「配偶者の年金や恩給」(30.6%)、「配偶者以外の家族に扶養されている」(13.2%)の順となっている。
- ・世帯年間収入額は、「200万円～300万円未満」が22.9%で最多である。
- ・医療、保健等の手帳については、「いずれも持っていない」が63.9%である。所持している手帳の種類別の割合は、「身体障害者手帳」が11.1%で最多である。
- ・健康のために心がけていることは、「定期的に医師の診断を受ける」が72.2%で最も多く、以下、「健診を受ける」(59.0%)、「できるだけ身体を動かす」(58.3%)の順となっている。
- ・一人ではできない動作は、「浴槽に入る」が8.3%で最も多く、以下、「歩く」(7.6%)、「寝床からの起きあがり」(6.3%)、「立ちあがる」(6.3%)の順となっている。
- ・継続的に治療している病気やけがは、「高血圧」が52.8%で最も多く、以下、「眼の病気」(25.7%)、「変形性関節症」(20.1%)の順となっている。
- ・ここ3か月の健康状態は、「健康」が57.7%、「健康ではない」が42.3%である。
- ・1年前と比べた健康状態の変化は、「悪くなった」が36.8%、「良くなった」が13.2%である。
- ・かかりつけ医の有無は、「日ごろから健康状態の相談や診察をしてもらう医師がいる」が70.1%で最多である。
- ・日常生活に支障のある症状は、「ひざやひじなどの関節を動かすづらい」が46.5%で最も多く、以下、「しびれや麻痺がある」(23.6%)、「ものが見えにくい」(22.9%)の順となっている。
- ・不安や悩みの相談相手は、「同居の家族」「医師」がともに52.8%で最も多く、次いで「別居の子ども、親族など」が27.1%となっている。
- ・利用している医療器具や医的処置は、「在宅酸素」「ペースメーカー」がともに1.4%で最も多く、以下、「インシュリン注射」(0.7%)、「尿管カテーテル」(0.7%)、「人工透析」(0.7%)、「痰の吸引」(0.7%)となっている。
- ・健康を維持していく上で困っていることは、「一緒に健康づくりをする仲間がいない」が12.5%で最も多く、以下、「どこから情報を得れば良いか分からない」(11.1%)、「健康維持に関する情報が少ない」(9.7%)の順となっている。
- ・心配される精神状態は、「やる気が起こらない」が29.9%で最も多く、以下、「不安な気持ちになる」(27.1%)、「さびしいと感じる」(22.2%)の順となっている。
- ・現在、困っていることは、「掃除ができない」が18.8%で最も多く、以下、「買い物に行けな

い」(16.7%)、「外出できない」(11.1%)の順となっている。

(2) 住居について

- ・住居形態は、「一戸建て住宅(持ち家)」が82.6%で最多である。
- ・現在の住居で困っていることは、「階段の上り下りがきつい」が16.0%で最も多く、以下、「老朽化している」(14.6%)、「玄関、浴室などに段差があること」(13.2%)の順となっている。
- ・手すりの取り付けがある場所は、「階段」が49.3%で最も多く、以下、「トイレ」(34.7%)、「玄関」(16.7%)の順となっている。
- ・段差の解消がされている場所は、「部屋の入り口」が16.0%で最も多く、以下、「浴室」(11.1%)、「玄関」(8.3%)の順となっている。
- ・住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が34.7%で最多である。
- ・住宅改修の際、障害となることは、「費用の都合がつかない」が21.5%で最も多く、以下、「増改築などが構造的に無理である」(12.5%)、「どこに相談したら良いかわからない」(8.3%)の順となっている。

(3) 日常生活やお付き合いについて

- ・近所付き合いの程度は、「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」が44.4%で最多である。
- ・友人や親戚との付き合いの頻度は、「ときどきある(月に1回～年に数回程度)」が38.9%、「ある程度頻繁にある(週に1回～月に数回程度)」が30.6%である。
- ・外出頻度は、「1日1回以上」「2～3日に1回程度」がともに29.2%で最多である。
- ・参加している地域活動は、「高齢者クラブ」が20.8%で最も多く、以下、「自治会活動」(14.6%)、「趣味・文化活動」(14.6%)の順となっている。
- ・参加したい地域活動は、「スポーツクラブでの活動」が5.6%で最も多く、以下、「趣味・文化活動」(4.9%)、「高齢者クラブ」(3.5%)の順となっている。
- ・生きがいを感じるものは、「家族とのだんらん」が45.1%で最も多く、以下、「趣味」(38.9%)、「旅行」(31.9%)の順となっている。
- ・就労形態は、「自由業・自営業・家族従業」が6.3%で最も多く、以下、「臨時・パートタイマー」(2.8%)、「内職」(2.1%)、「シルバー人材センター」(2.1%)の順となっている。
- ・働いている理由は、「働くのが当たり前だから」が10件で最も多く、以下、「家計の維持・補助のため」(8件)、「健康に良いから」(8件)の順となっている。
- ・今後の就労意向は、「仕事に就くことは考えていない」が83.8%で最多である。
- ・就労しない理由は、「健康上の理由から」が52.7%で最も多く、以下、「生活するのに困らないから」(33.3%)、「子どもが生活を支えてくれるから」(9.7%)の順となっている。
- ・情報入手先は、「テレビ」が91.0%で最も多く、以下、「新聞(タウン誌を含む)」(59.7%)、「家族」(41.0%)の順となっている。
- ・福祉に配慮したまちづくりに不足していることは、「歩道等の段差の解消」が42.4%で最も多く、以下、「交通機関のバリアフリー化」(27.8%)、「公園、自治会館等のバリアフリー化」

(16.0%)の順となっている。

- ・成年後見制度の周知度は、「知らない」が54.2%で最多である。
- ・地域福祉権利擁護事業の周知度は、「知らない」が56.3%で最多である。

(4) 生活習慣改善について

- ・食生活を改善するために必要なことは、「家族等の協力・助け(食事を作る等)」が41.7%で最も多く、以下、「食生活改善のための知識」(31.9%)、「楽しみながら取り組めること」(22.2%)の順となっている。
- ・運動習慣を改善するために必要なことは、「楽しみながら取り組めること」が35.4%で最も多く、以下、「家族の協力・助け」(28.5%)、「一緒に取り組む仲間」(26.4%)の順となっている。
- ・健康維持のためにお金を使いたいことは、「食品の素材」が37.5%で最も多く、以下、「宿泊を兼ねた静養や療養など」(27.1%)、「サプリメント」(16.7%)の順となっている。
- ・介護予防事業への参加は、いずれも「利用したことはない」が7割強である。「以前利用していた」は『機能訓練』で5.6%、「現在利用している」は『介護予防通所支援事業』で4.2%、『高齢者筋力向上トレーニング事業』『介護予防訪問援助事業』で3.5%みられる。
- ・事業内容の満足度は、《満足》が17件、《不満》が7件である。
- ・事業を利用することとなった主なきっかけは、「基本健康診査」が8件で最も多く、以下、「医師等の専門家からの指導」(7件)、「要介護・要支援認定が非該当となった」(3件)の順となっている。
- ・サービスを利用するようになって変わったことは、「一緒に参加する仲間ができた」が8件で最も多く、以下、「食事が楽しくなった」(3件)、「自分もやればできる、という自信がついた」(3件)の順となっている。
- ・そのほかに事業利用で感じたことは、「継続して利用できるようにしてほしいと思った」が12件で最も多く、以下、「地域の人たちと知り合う機会ができた」(7件)、「地域包括支援センターの事業や職員の活動などを初めて知った」(5件)、「必要性は感じていても自分ひとりでは実行できないことを学べた」(5件)の順となっている。
- ・利用終了後の介護予防の継続は、「自分でできる範囲で運動などを継続している」(7件)、「特に何もしていない」(5件)となっている。
- ・サービスを利用しない理由は、「自分で健康管理をこころがけている」が36.9%で最も多く、以下、「利用するほど悪いとは思わない」(30.6%)、「できるだけ他人の世話になりたくない」(22.5%)の順となっている。
- ・参加したい介護予防の活動は、「転倒を予防するための軽い体操」が34.7%で最も多く、以下、「筋力を向上させるための運動」(31.3%)、「認知症を予防するための知的な活動」(25.7%)の順となっている。

(5) 介護保険などのサービスについて

- ・現在の要介護度は、「認定申請はしていない」が69.4%で最多である。
- ・認定結果に対する気持ちは、《納得している》が9件、《納得していない》が4件である。
- ・認定申請をしていない理由は、「現在は健康なので、認定を受ける必要がない」が63.0%で最

第4章 地域支援事業対象者調査

も多く、以下、「どんなサービスがあるのか、よくわからないから」(14.0%)、「申請の手続き方法や、内容がよくわからないので」(13.0%)の順となっている。

- ・介護保険料の負担については、「収入が少ないので、できれば払いたくない」が27.1%、「相互扶助による保険制度なので、支払うことは仕方がない」が22.2%となっている。
- ・保険料と介護サービスのあり方については、「どちらともいえない」が41.7%で最多である。
- ・夜間対応型訪問介護の利用意向は、「利用したい」が59.0%、「利用したくない」が32.0%である。
- ・今後の希望介護形態は、「主に介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい」が38.9%、「主に家族に介護してもらいながら、できる限り在宅で暮らしたい」が31.9%となっている。
- ・利用したい施設は、「特別養護老人ホーム」が20.1%で最も多く、以下、「介護療養型医療施設」(16.0%)、「老人保健施設」(13.2%)の順となっている。
- ・施設などを利用したい理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」が61.9%で最も多く、以下、「専門的な介護やお世話が受けられるから」(44.4%)、「24時間介護やお世話が受けられるから」(39.7%)の順となっている。
- ・高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したことがある」割合は、『シルバー人材センター』が13.2%で最も高く、以下、『地域包括支援センター』(10.4%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(9.7%)、『高齢者クラブ』(9.7%)の順となっている。「知っているが利用していない」割合は、『老人(福祉)センター』(32.6%)、『配食サービス事業』(29.9%)、『シルバー人材センター』(27.8%)で3割前後と高い。「知らなかった」割合は、『家具転倒防止器具給付事業』(41.7%)、『はいかい高齢者家族支援サービス』(41.0%)、『高齢者福祉電話の貸与』(38.2%)、『高齢者住宅事業』(38.2%)で4割前後と高くなっている。
- ・高齢者福祉サービスを利用した感想は、利用者数が少ないため参考値になるが、「大いに役立っている」との回答が多くみられる傾向にある。「あまり役に立っていない」との回答は皆無か少数であり、その中では『介護サービス相談員』(25.0%)で比較的高くなっている。
- ・高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したい」割合は、『緊急通報システム』が34.7%で最も高く、以下、『火災安全システム』(31.3%)、『紙おむつの支給』(25.7%)の順となっている。「利用したくない」割合は、『シルバー人材センター』(11.8%)、『シルバーマイスター制度』(9.7%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(9.0%)で1割前後みられる。
- ・家族介護者の有無は、「あて名の本人は介護を必要としていない」が35.4%で最も多く、以下、「いる」(18.8%)、「いない」(17.4%)の順となっている。

(6) 介護者について

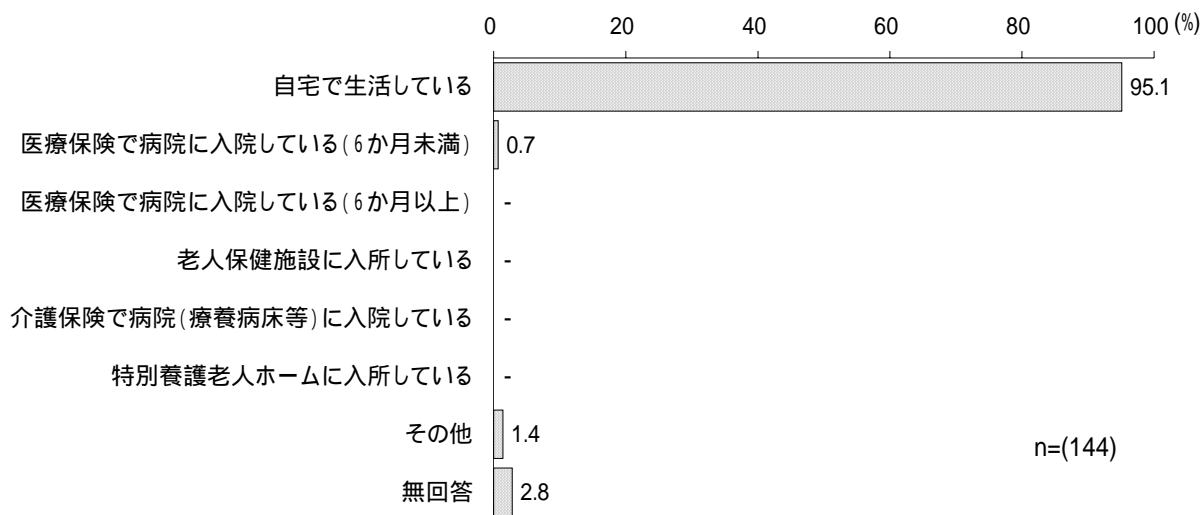
- ・介護者の続柄は、「配偶者」が12件で最も多く、以下、「息子」(6件)、「息子の妻」(4件)、「娘」(4件)の順となっている。
- ・介護者の年齢は、「50~54歳」「75~79歳」がともに7件で最多である。
- ・介護期間は、「1~2年未満」「2~3年未満」「3~5年未満」「15年以上」が各4件で最多である。
- ・介護者の就労状況は、「働いている」が9件で最多である。

- ・介護者の健康状態は、「あてはまるものはない」が11件で最多である。
- ・介護者と本人の距離は、「同居している」が23件で最多である。
- ・介護、見守りに費やす時間（日中）は、「日中の一部分」が10件で最も多く、以下、「日中のほとんど」（8件）、「日中の介護、見守りはない」（5件）の順となっている。
- ・介護、見守りに費やす時間（夜間）は、「夜間の介護、見守りはない」が14件で最も多く、以下、「夜間の一部分」（5件）、「夜間のほとんど」（4件）の順となっている。
- ・介護を手伝ってくれる家族は、「息子」が7件で最も多く、以下、「配偶者」（6件）、「娘」（6件）の順となっている。
- ・介護に際して感じるストレスは、「介護のために、自分のやりたいことができる時間が少なくなった」が10件で最も多く、以下、「介護のために、仕事やいろいろなスケジュールが変わってしまった」（8件）、「介護があるために、自分が好きなところに外出できない」（7件）、「旅行などを楽しむことをあきらめなければならなかった」（7件）の順となっている。
- ・介護の負担感が「とても高い」と「高い」を合わせた《高い》の割合は、『精神的負担感』で55.5%と最も高く、『身体的負担感』では44.4%、『経済的負担感』では40.7%となっている。
- ・介護者が困っていることは、「自分の時間がとれない」が7件で最も多く、以下、「食事の介護」（6件）、「入浴の介護」（5件）、「病気の看護」（5件）の順となっている。
- ・介護者が自身に希望する介護形態は、「在宅で、家族の介護に加え、介護保険も利用しながら生活したい」が9件で最多である。
- ・将来、介護者を介護してくれる人の有無は、「いると思う」（9件）、「いないと思う」（6件）、「わからない」（5件）となっている。
- ・認知症の症状は、「少し前に何をしていたか思い出すことができない」が7件で最も多く、以下、「同じことを何度も尋ねる」（6件）、「感情が不安定になることがある」（5件）の順となっている。
- ・認知症を発症して受診するまでの期間は、「まだ受診していない」が7件で最多である。
- ・認知症に関して利用したいサービスは、「専門病院の紹介」が11件で最も多く、以下、「認知症を専門とする相談員などによる相談」（10件）、「認知症専門のデイサービス」（8件）の順となっている。
- ・家族以外で介護者を手伝ってくれる人は、「家政婦、お手伝い」（1件）、「その他」（1件）となっている。
- ・在宅生活を続けるために必要なことは、「必要な在宅サービスを必要なときに使えること」が18件で最も多く、以下、「介護に関する費用が増えないこと」（14件）、「利用できる在宅サービスの量が増えること」（13件）、「在宅サービスの手続きが簡単になること」（13件）の順となっている。

2. 本人について

(1) 現在の居住場所

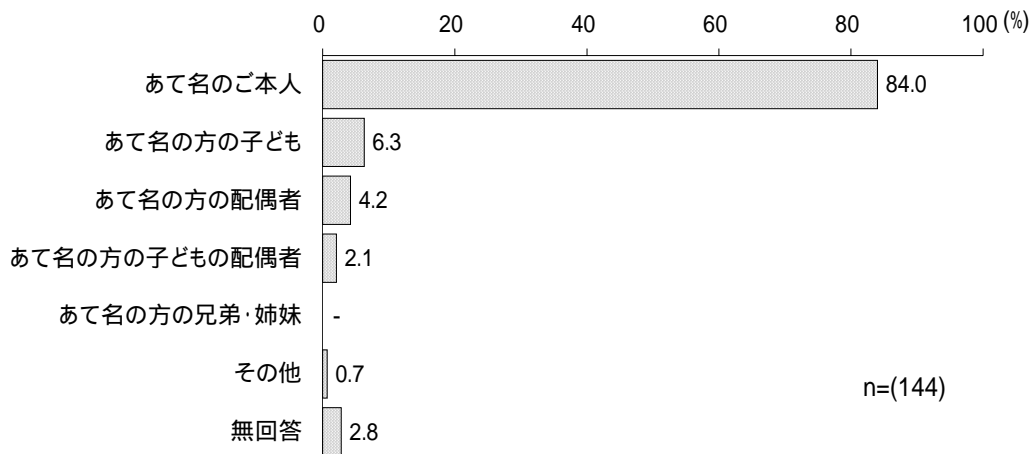
問1 あなた(あて名ご本人)は、現在どちらにいらっしゃいますか。(は1つ)



現在の居住場所は、「自宅で生活している」が95.1%の大多数である。

(2) 回答者

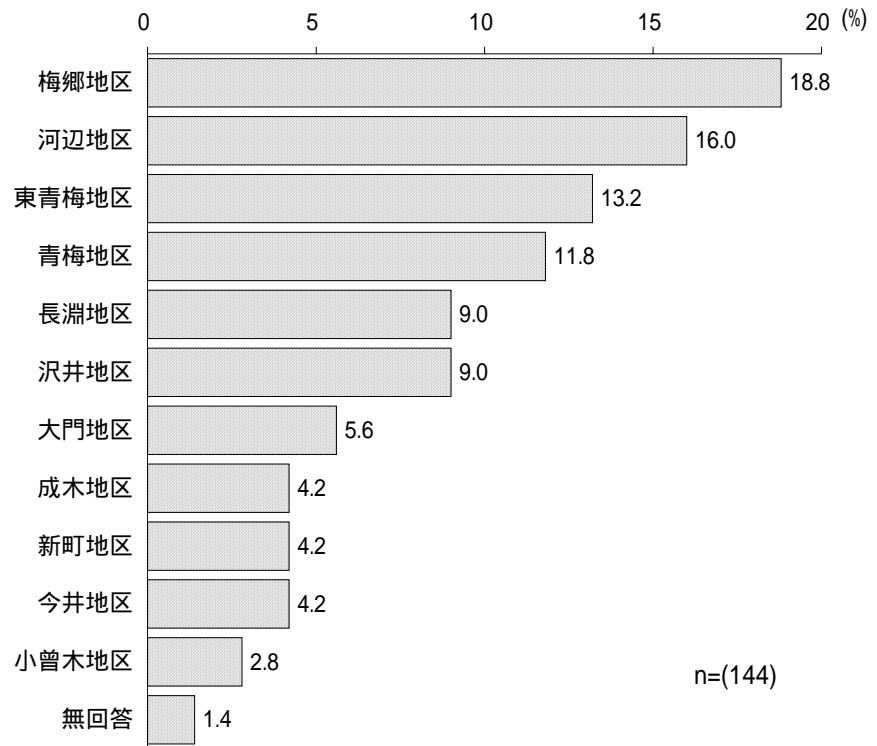
問2 この調査票に答えている方はどなたですか。(は1つ)



回答者は、「あて名のご本人」が84.0%の大多数である。

(3) 居住地区

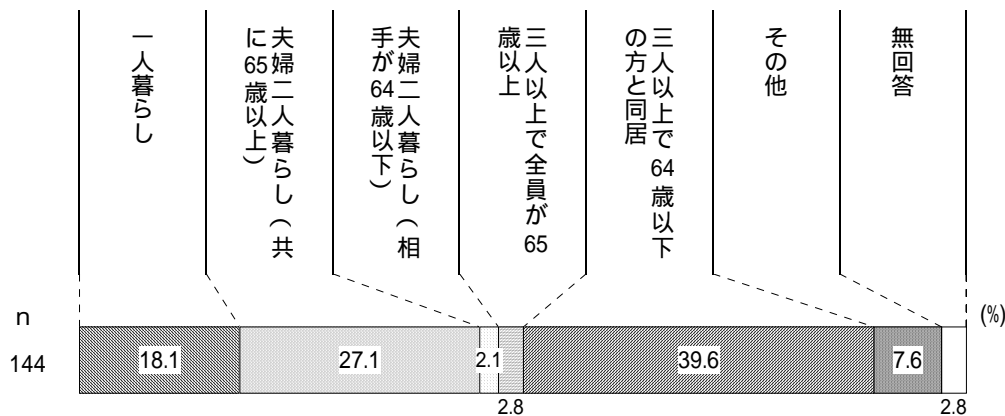
問3 あて名のご本人がお住まいの地区はどちらですか。(は1つ)



居住地区は、「梅郷地区」が 18.8%で最も多く、以下、「河辺地区」(16.0%)、「東青梅地区」(13.2%)、「青梅地区」(11.8%)、「長淵地区」(9.0%)、「沢井地区」(9.0%)、「大門地区」(5.6%)の順となっている。

(4) 家族構成

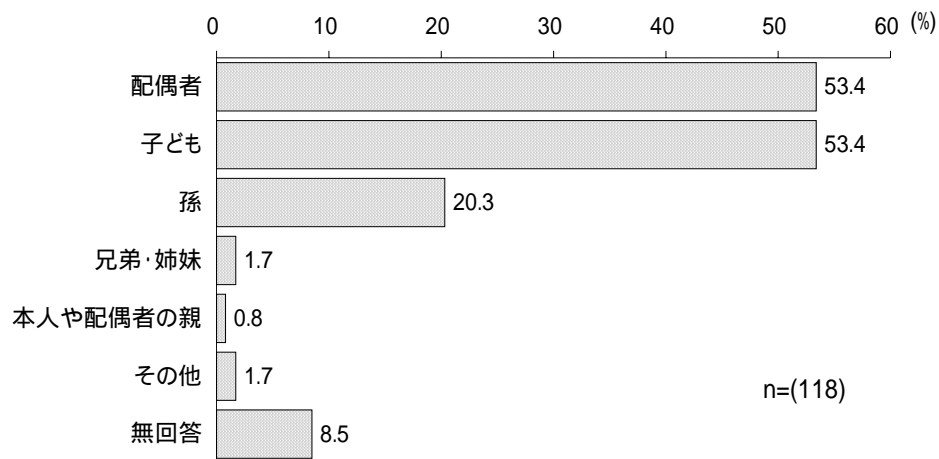
問4-1 あなた(あて名ご本人)の同居者(ご家族)の構成をお答えください。(は1つ)



家族構成は、「三人以上で64歳以下の方と同居」が39.6%で最も多く、以下、「夫婦二人暮らし(共に65歳以上)」(27.1%)、「一人暮らし」(18.1%)、「三人以上で全員が65歳以上」(2.8%)、「夫婦二人暮らし(相手が64歳以下)」(2.1%)の順となっている。

(5) 同居者

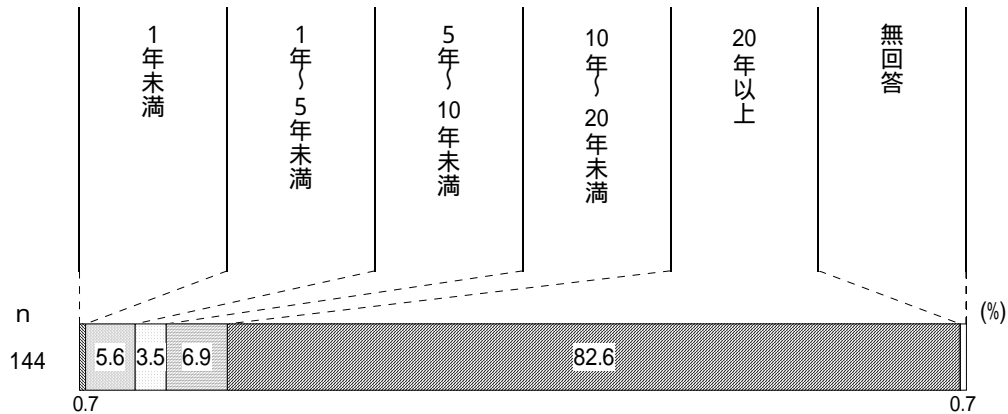
問4-2 (一人暮らし以外の方に)あなた(あて名ご本人)は、現在どなたと一緒に住まいですか。(あてはまるものすべてに)



同居者は、「配偶者」「子ども」がともに53.4%で最も多く、以下、「孫」(20.3%)、「兄弟・姉妹」(1.7%)、「本人や配偶者の親」(0.8%)の順となっている。

(6) 市内居住年数

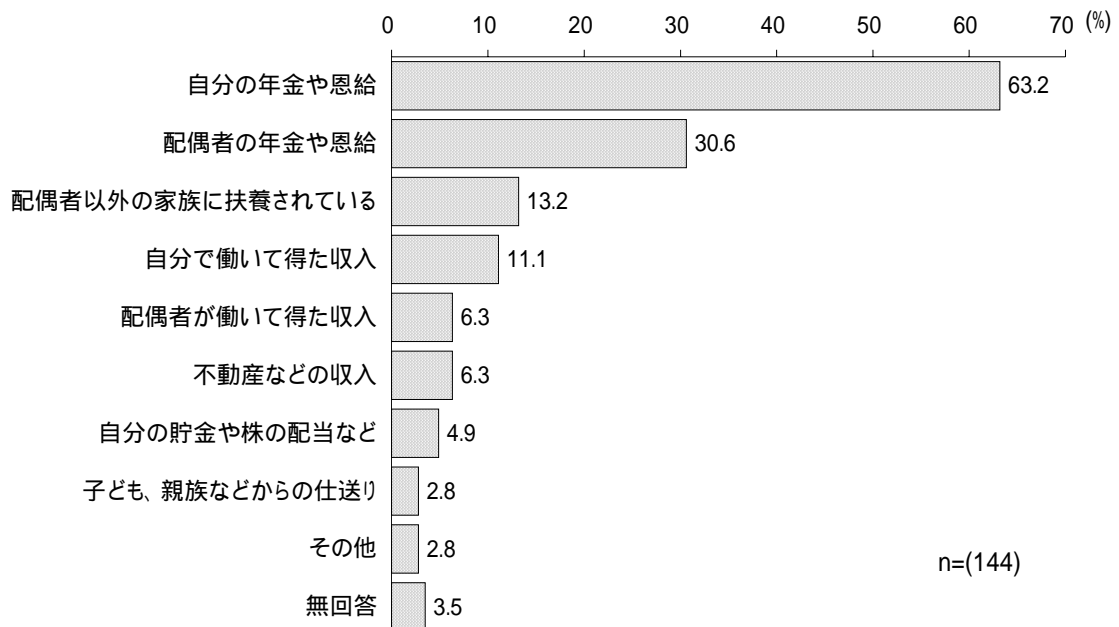
問5 あなた(あて名ご本人)は青梅市に住んで何年になりますか。(は1つ)



市内居住年数は、「20年以上」が82.6%で最も多く、以下、「10年～20年未満」(6.9%)、「1年～5年未満」(5.6%)、「5年～10年未満」(3.5%)、「1年未満」(0.7%)の順となっている。

(7) 生活費

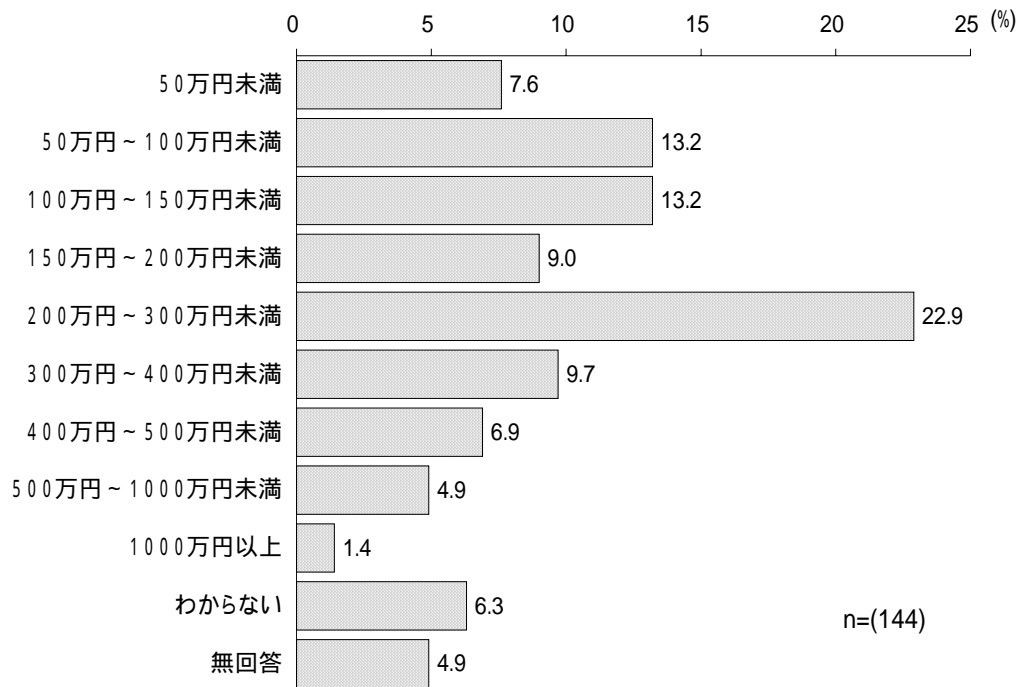
問6 あなた(あて名ご本人)の日常の生活費はどのようにしてまかなわれていますか。(あてはまるものすべてに)



生活費は、「自分の年金や恩給」が63.2%で最も多く、以下、「配偶者の年金や恩給」(30.6%)、「配偶者以外の家族に扶養されている」(13.2%)、「自分で働いて得た収入」(11.1%)、「配偶者が働いて得た収入」(6.3%)、「不動産などの収入」(6.3%)の順となっている。

(8) 世帯年間収入額

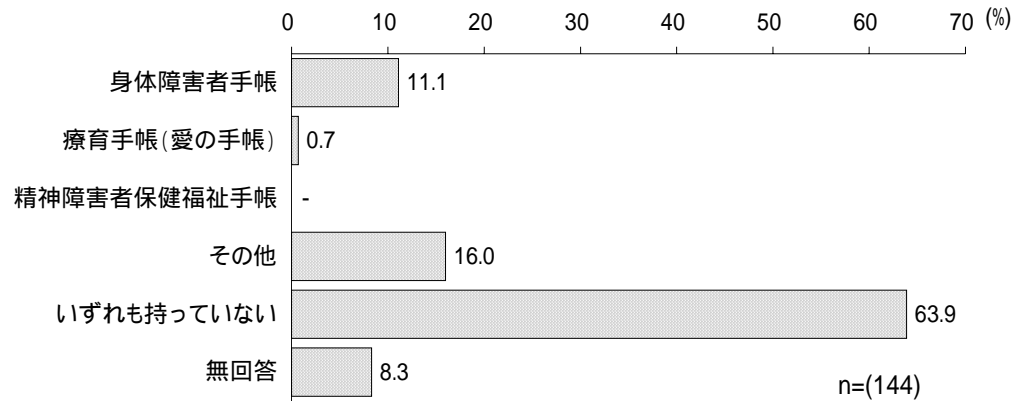
問7 あなた(あて名ご本人)の世帯の年間収入の合計額はどのくらいですか。(は1つ)



世帯年間収入額は、「200万円～300万円未満」が22.9%で最も多く、以下、「50万円～100万円未満」(13.2%)、「100万円～150万円未満」(13.2%)、「300万円～400万円未満」(9.7%)、「150万円～200万円未満」(9.0%)、「50万円未満」(7.6%)の順となっている。

(9) 所持している手帳の種類

問8 あなた(あて名ご本人)は、次にあげる医療、保健等の手帳をお持ちですか。(あてはまるものすべてに)

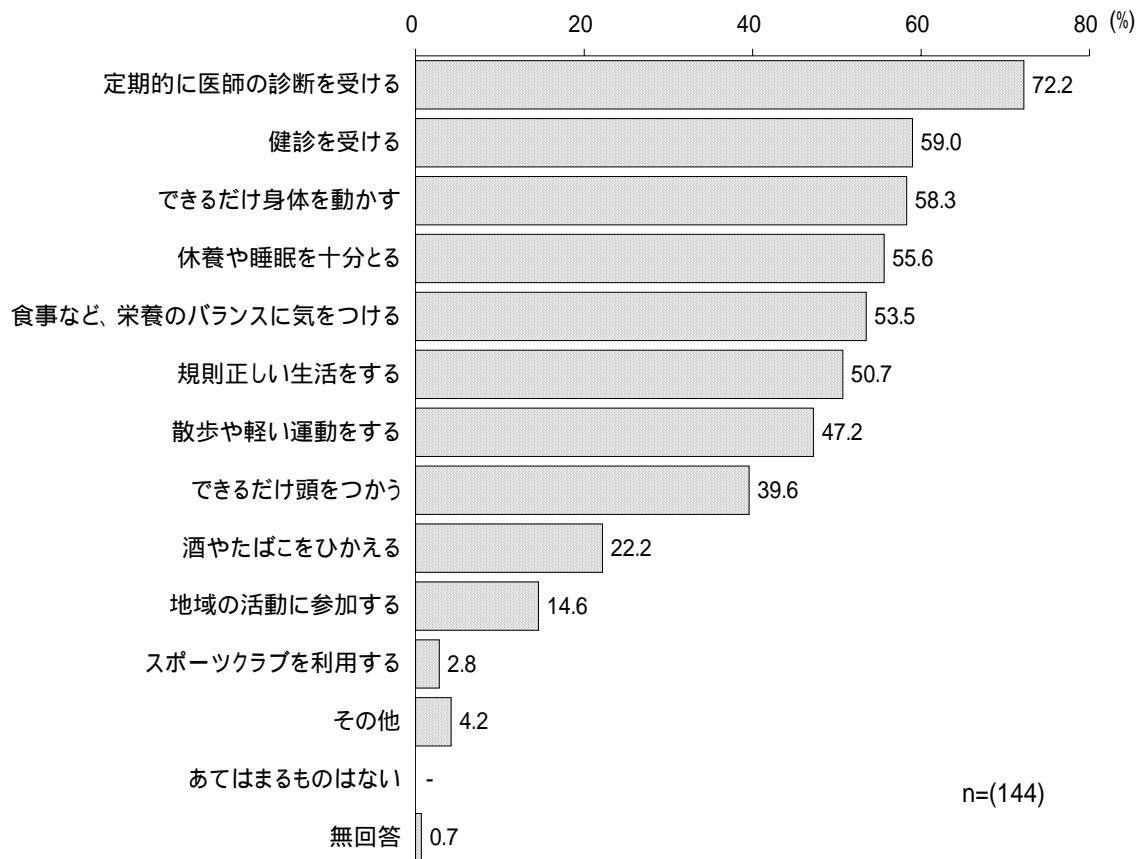


医療、保健等の手帳については、「いずれも持っていない」が 63.9%である。所持している手帳の種類別の割合は、「身体障害者手帳」(11.1%)、「療育手帳(愛の手帳)」(0.7%)となっている。

その他の内容は、「国民健康保険・健康手帳・医療受給者証」(10件)、「介護保険」(4件)、「老人保健・高齢者手帳」(2件)などとなっている。

(10) 健康のために心がけていること

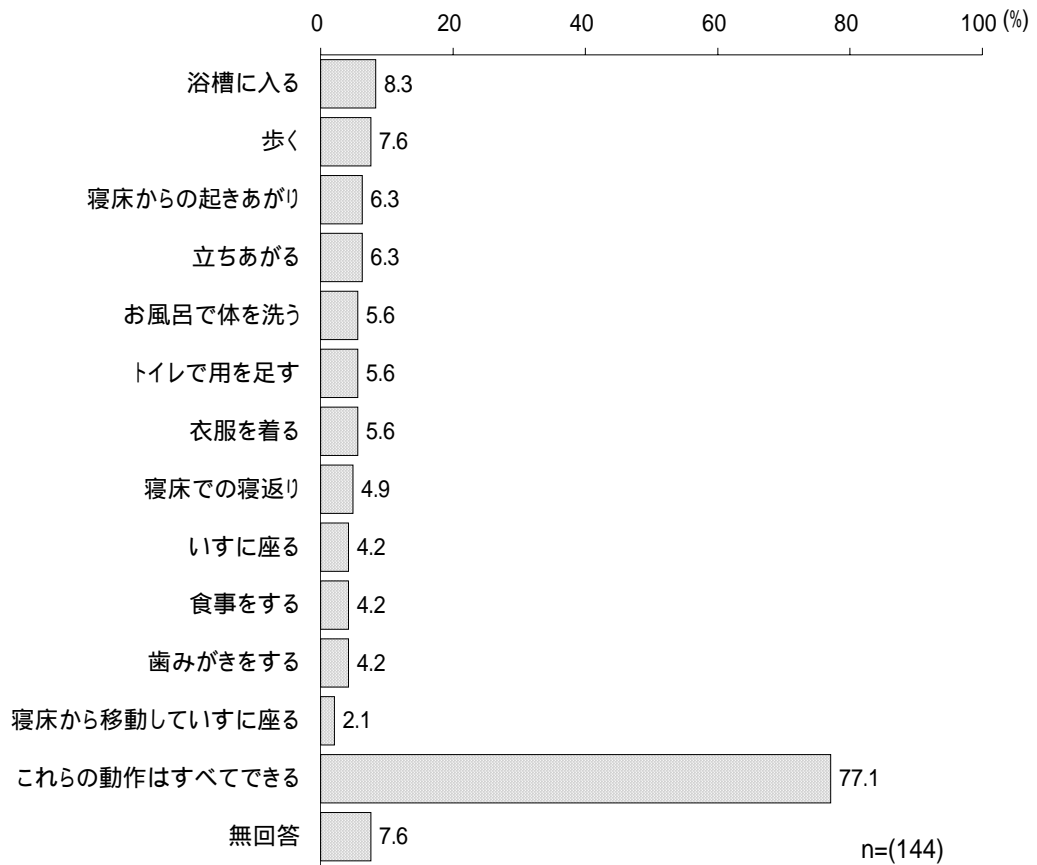
問9 あなた(あて名ご本人)は、健康状態を維持・向上するためにふだんから心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに)



健康のために心がけていることは、「定期的な医師の診断を受ける」が 72.2%で最も多く、以下、「健診を受ける」(59.0%)、「できるだけ身体を動かす」(58.3%)、「休養や睡眠を十分とる」(55.6%)、「食事など、栄養のバランスに気をつける」(53.5%)、「規則正しい生活をする」(50.7%)、「散歩や軽い運動をする」(47.2%)の順となっている。

(11) 一人でできない動作

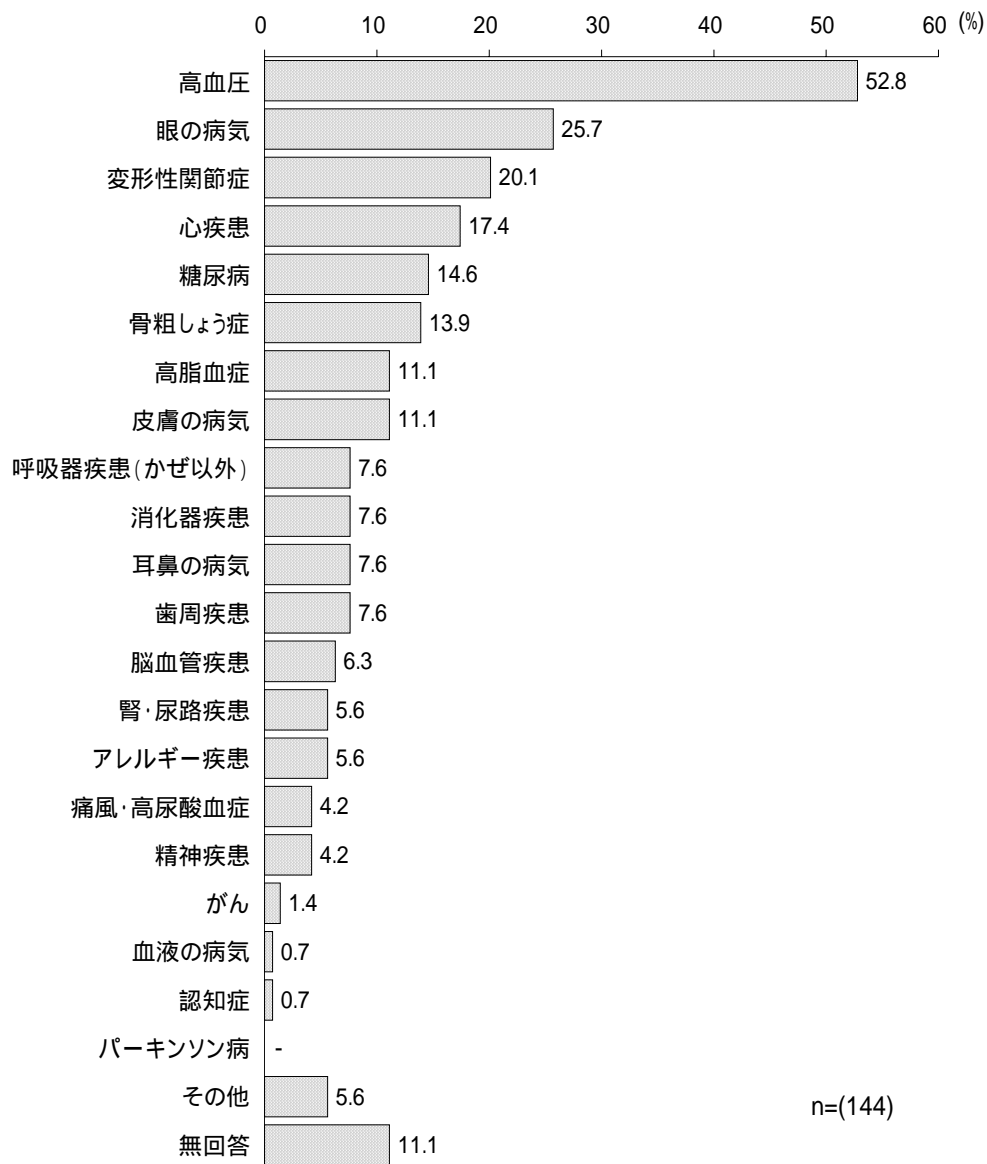
問10 あなた(あて名ご本人)が一人でできない動作はありますか。(あてはまるものすべてに)



一人でできない動作については、「これらの動作はすべてできる」が 77.1%である。一人でできない動作の中では、「浴槽に入る」が 8.3%で最も多く、以下、「歩く」(7.6%)、「寝床からの起きあがり」(6.3%)、「立ちあがる」(6.3%)、「お風呂で体を洗う」(5.6%)、「トイレで用を足す」(5.6%)、「衣服を着る」(5.6%)の順となっている。

(12) 継続的に治療している病気やけが

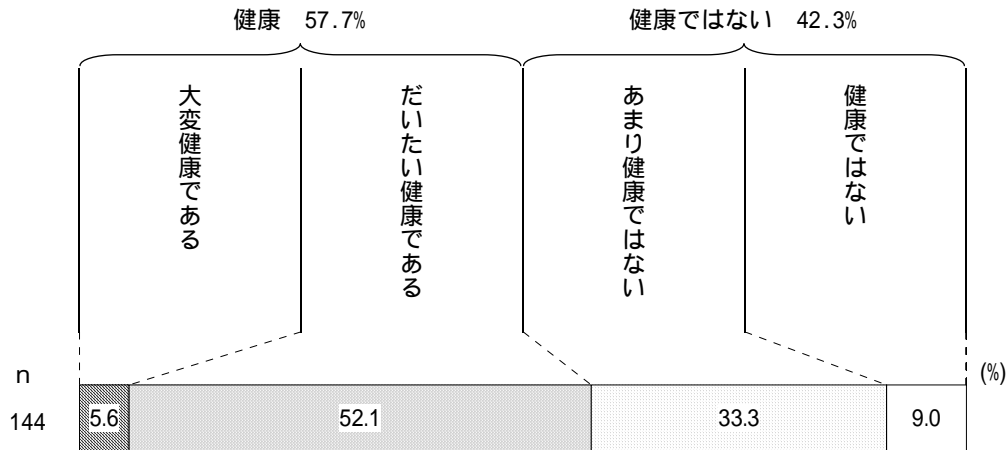
問11 あなた（あて名ご本人）は現在、継続的に治療している病気やけがはありますか。
（あてはまるものすべてに ）



継続的に治療している病気やけがは、「高血圧」が 52.8%で最も多く、以下、「眼の病気」（25.7%）、「変形性関節症」（20.1%）、「心疾患」（17.4%）、「糖尿病」（14.6%）、「骨粗しょう症」（13.9%）、「高脂血症」（11.1%）、「皮膚の病気」（11.1%）の順となっている。

(13) ここ3か月の健康状態

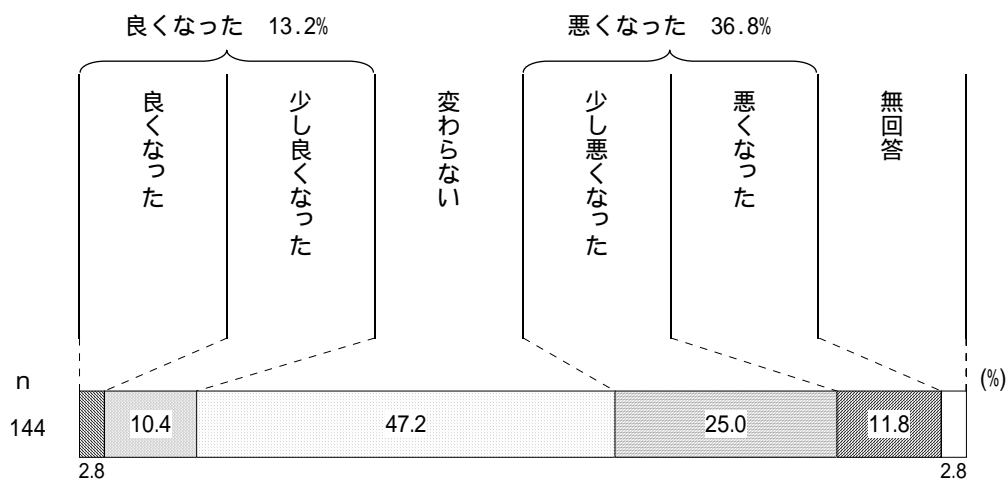
問12 あなた(あて名ご本人)のここ3か月の健康状態について、お知らせください。
(は1つ)



ここ3か月の健康状態は、「だいたい健康である」が52.1%で最も多く、これに「大変健康である」(5.6%)を合わせると、57.7%が《健康》と回答している。一方、「あまり健康ではない」(33.3%)と「健康ではない」(9.0%)を合わせた《健康ではない》は42.3%である。

(14) 1年前と比べた健康状態の変化

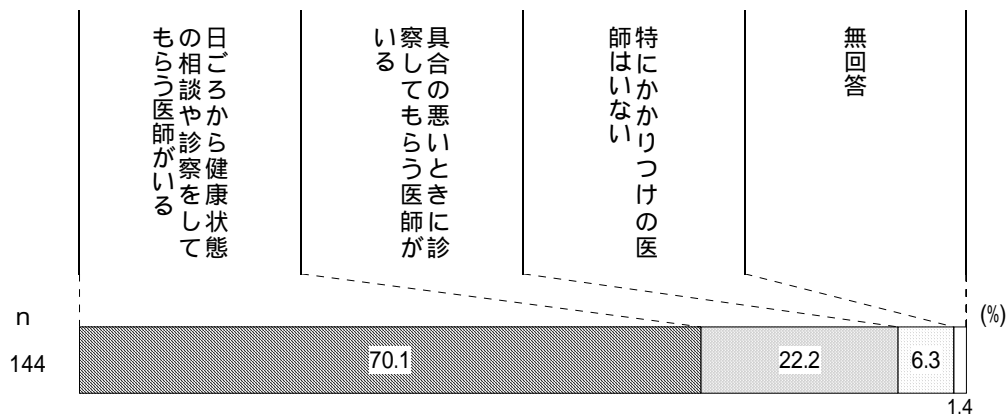
問13 1年前と比べて、あなた(あて名ご本人)の健康状態はどのように変化しましたか。(は1つ)



1年前と比べた健康状態の変化は、「変わらない」が47.2%で最も多い。「少し悪くなった」(25.0%)と「悪くなった」(11.8%)を合わせた《悪くなった》は36.8%で、「少し良くなった」(10.4%)と「良くなった」(2.8%)を合わせた《良くなった》(13.2%)を上回っている。

(15) かかりつけ医の有無

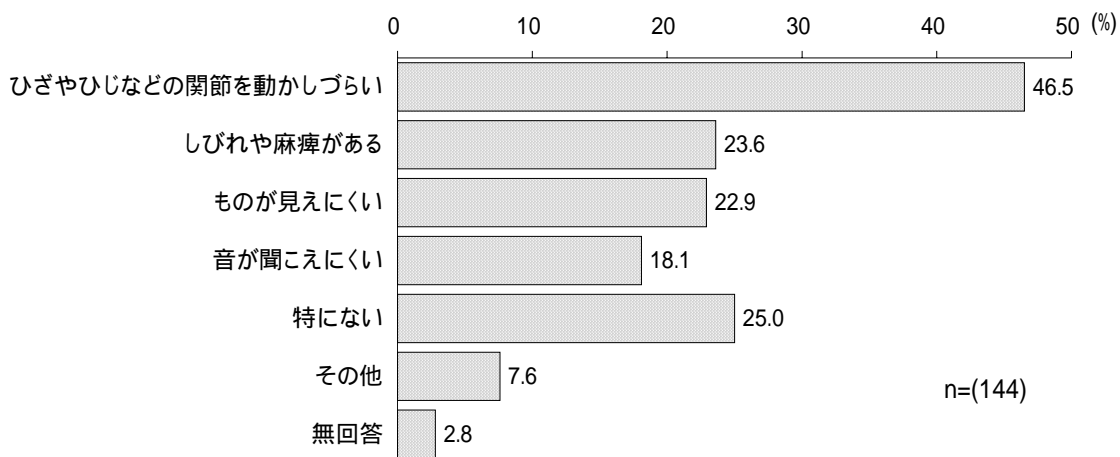
問14 あなた（あて名ご本人）はふだんから治療を受けたり、日常の健康について相談することができるかかりつけの医師はいますか。（は1つ）



かかりつけ医の有無は、「日ごろから健康状態の相談や診察をしてもらう医師がいる」(70.1%)、「具合の悪いときに診察してもらう医師がいる」(22.2%)、「特にかかりつけの医師はいない」(6.3%)となっている。

(16) 日常生活に支障のある症状

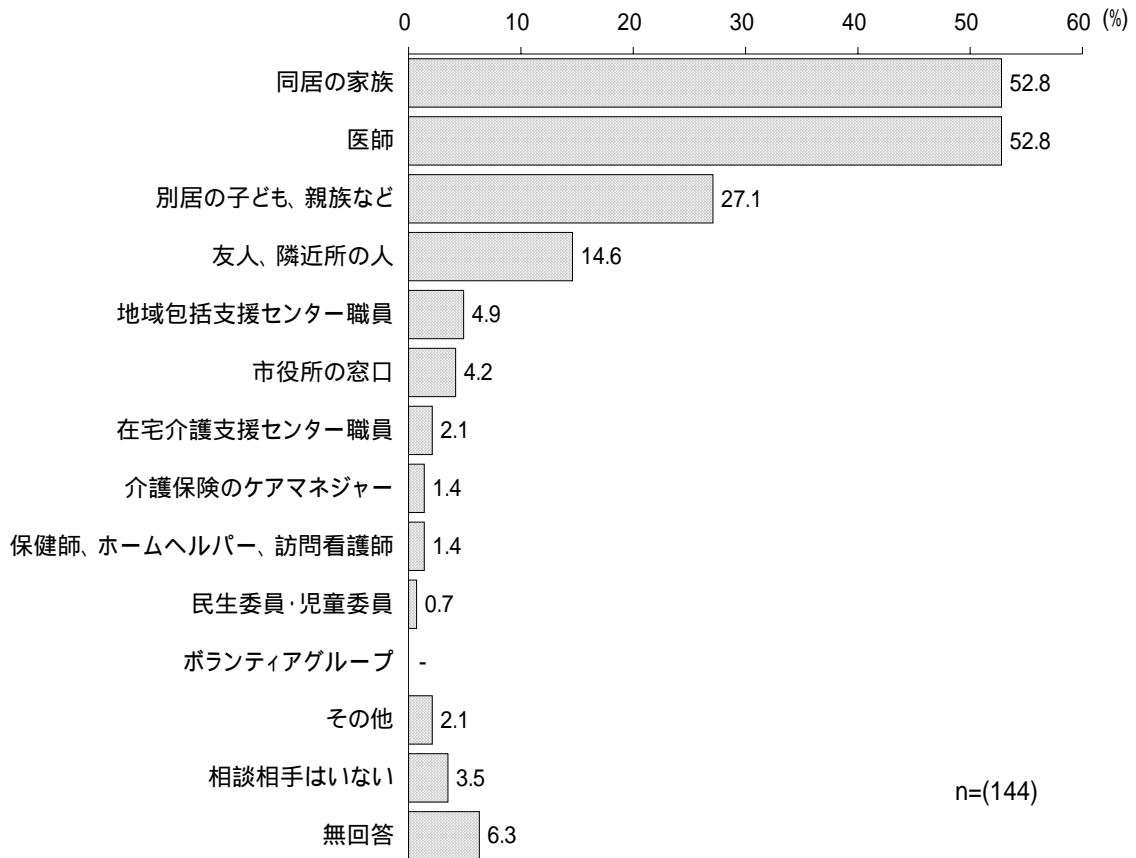
問15 あなた（あて名ご本人）には、日常生活に支障のある次のような症状がありますか。（あてはまるものすべてに ）



日常生活に支障のある症状は、「ひざやひじなどの関節を動かさづらい」が46.5%で最も多く、以下、「しびれや麻痺がある」(23.6%)、「ものが見えにくい」(22.9%)、「音が聞こえにくい」(18.1%)の順となっている。また、「特にない」が25.0%みられる。

(17) 不安や悩みの相談相手

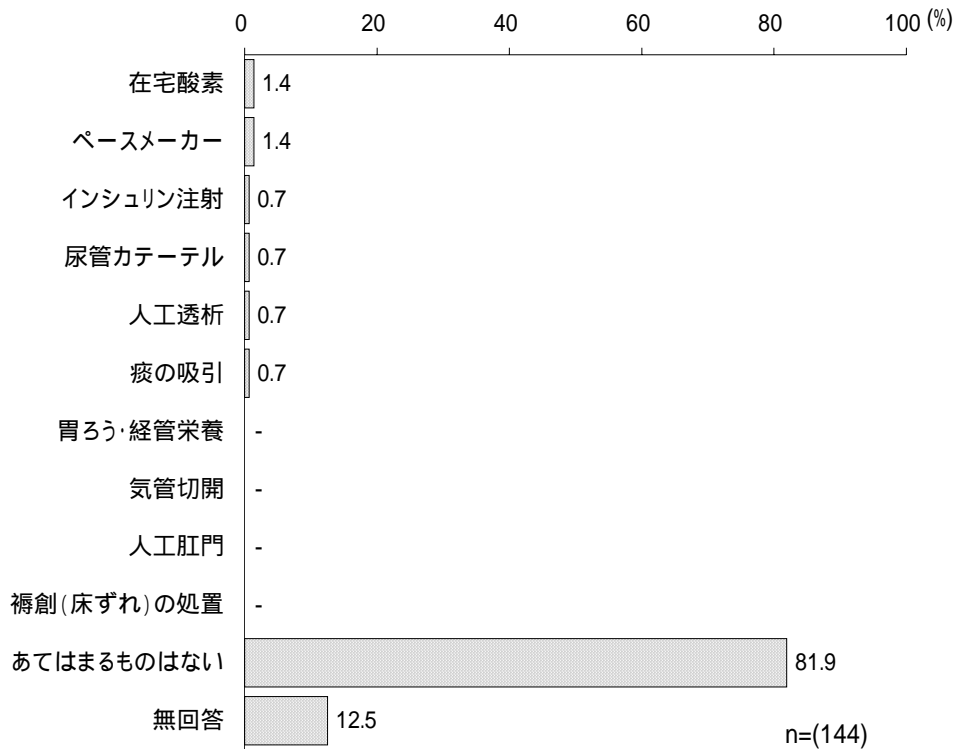
問16 あなた(あて名ご本人)に、健康や福祉についての不安や悩みを誰(どちら)に相談していますか。(あてはまるものすべてに)



不安や悩みの相談相手は、「同居の家族」「医師」がともに 52.8%で最も多く、以下、「別居の子ども、親族など」(27.1%)、「友人、隣近所の人」(14.6%)、「地域包括支援センター職員」(4.9%)、「市役所の窓口」(4.2%)、「在宅介護支援センター職員」(2.1%)の順となっている。

(18) 利用している医療器具や医的処置

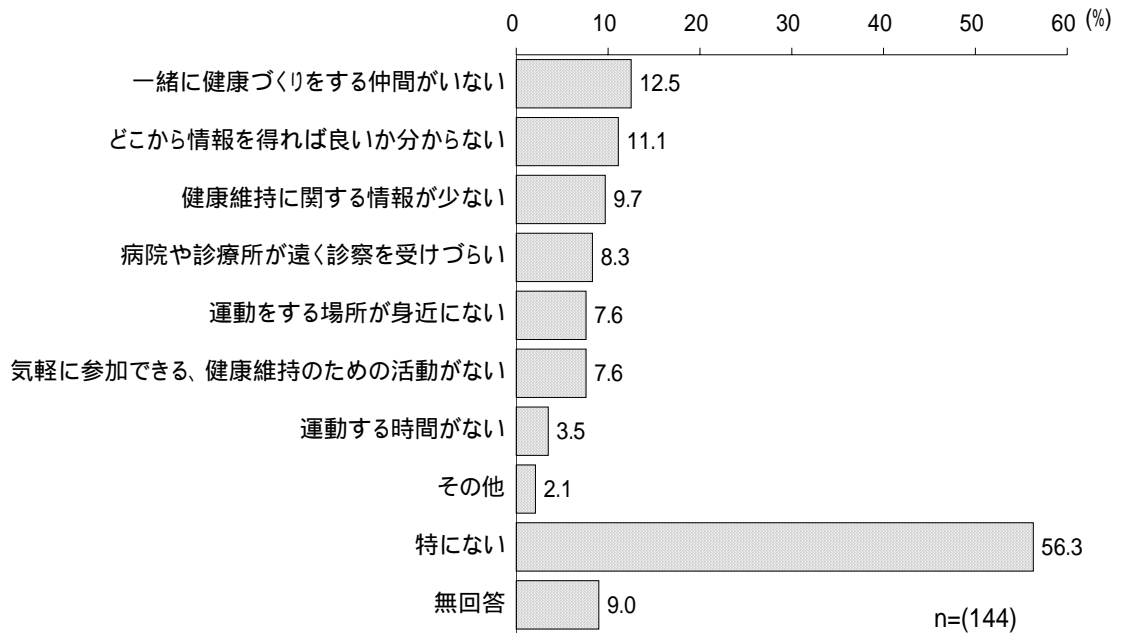
問17 あなた(あて名ご本人)は、現在、次にあげのような医療器具を利用したり、医的処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに)



利用している医療器具や医的処置については、「あてはまるものはない」が 81.9%の大多数である。利用している医療器具や医的処置の中では、「在宅酸素」「ペースメーカー」がともに 1.4%で最も多く、以下、「インシュリン注射」(0.7%)、「尿管カテーテル」(0.7%)、「人工透析」(0.7%)、「痰の吸引」(0.7%)となっている。

(19) 健康を維持していく上で困っていること

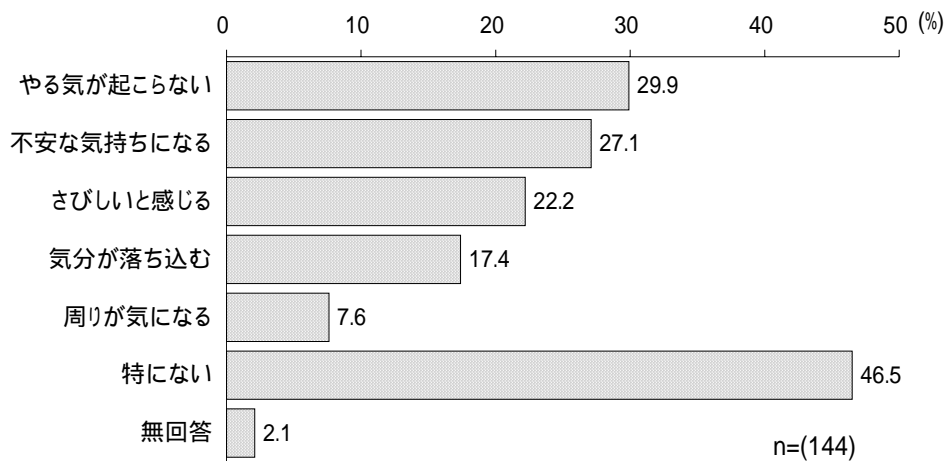
問18 健康を維持していく上で、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに)



健康を維持していく上で困っていることについては、「特にない」が 56.3%である。困っていることの中では、「一緒に健康づくりをする仲間がない」が 12.5%で最も多く、以下、「どこから情報を得れば良いか分からない」(11.1%)、「健康維持に関する情報が少ない」(9.7%)、「病院や診療所が遠く診察を受けづらい」(8.3%)の順となっている。

(20) 心配される精神状態

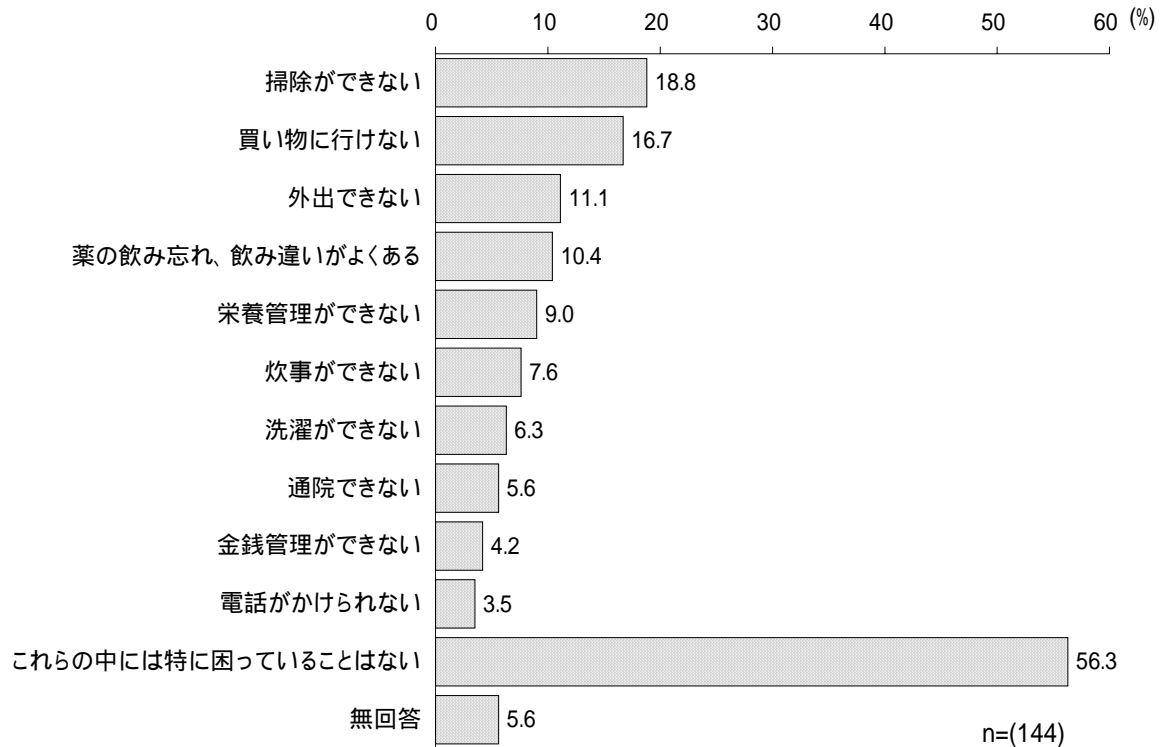
問19 あなた(あて名ご本人)は、次のような気持ちになることがよくありますか。(あてはまるものすべてに)



心配される精神状態については、「特にない」が 46.5%である。心配される精神状態の中では、「やる気が起こらない」が 29.9%で最も多く、以下、「不安な気持ちになる」(27.1%)、「さびしいと感じる」(22.2%)、「気分が落ち込む」(17.4%)、「周りが気になる」(7.6%)の順となっている。

(21) 現在、困っていること

問20 あなた（あて名ご本人）が現在、困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに ）

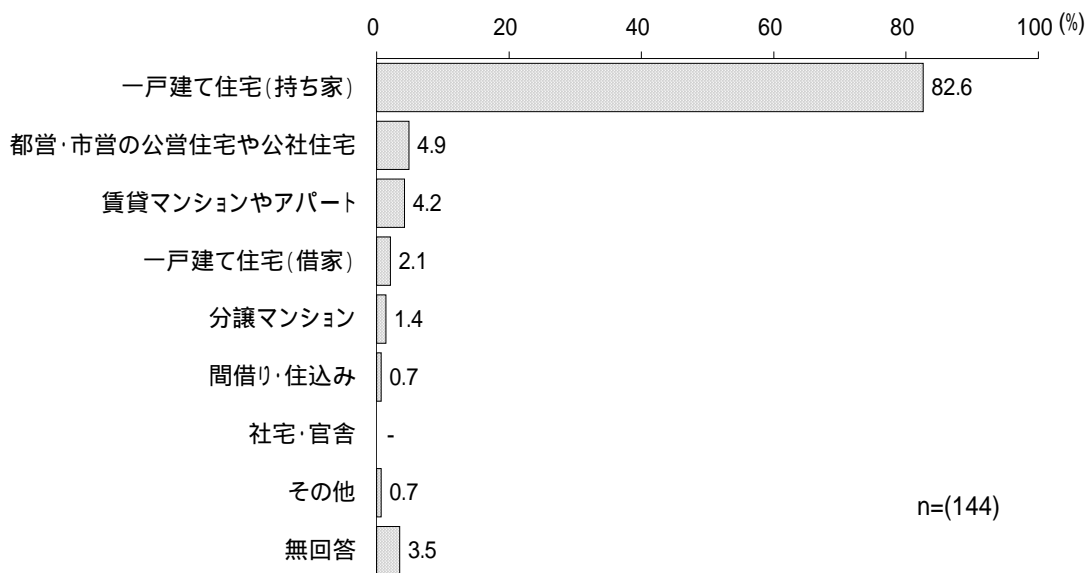


現在、困っていることについては、「これらの中には特に困っていることはない」が 56.3%である。困っていることの中では、「掃除ができない」が 18.8%で最も多く、以下、「買い物に行けない」(16.7%)、「外出できない」(11.1%)、「薬の飲み忘れ、飲み違いがよくある」(10.4%)、「栄養管理ができない」(9.0%)、「炊事ができない」(7.6%)の順となっている。

3. 住居について

(1) 住居形態

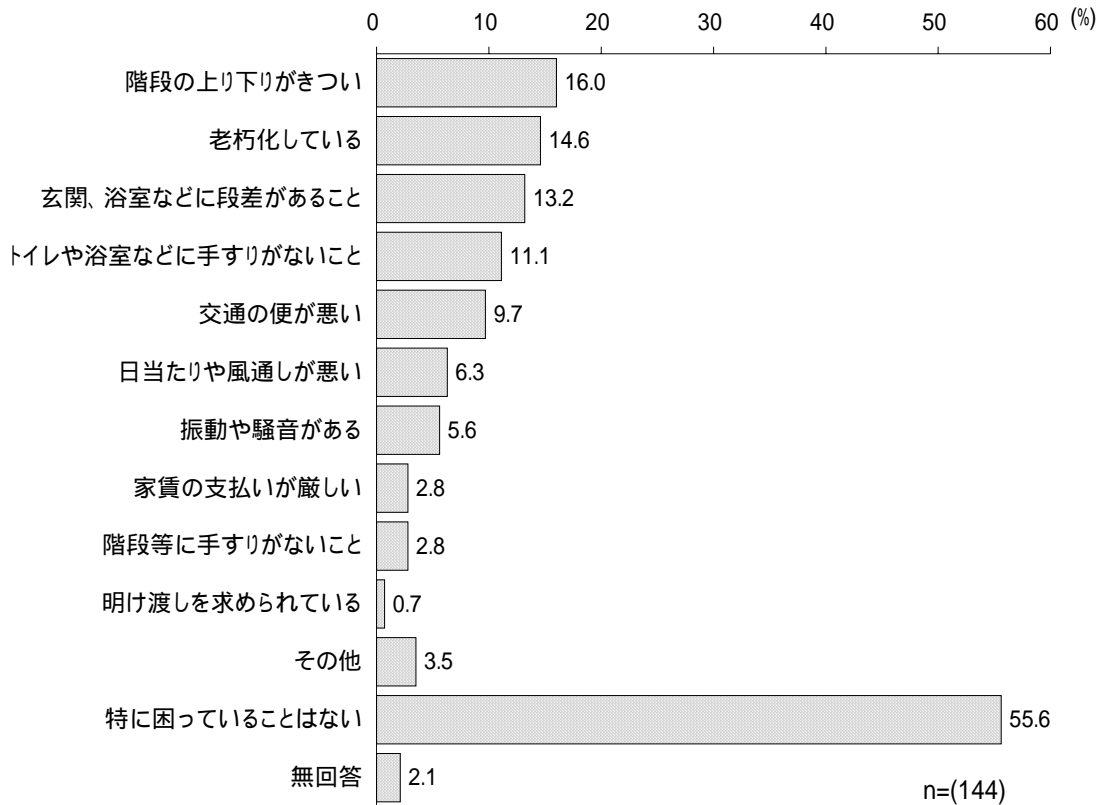
問21 あなた（あて名ご本人）の自宅はどのような種類の住宅ですか。現在、老人保健施設に入所している方および介護療養型医療施設や病院に入院中の方は、戻る予定のご自宅についてお答えください。（ は1つ）



住居形態は、「一戸建て住宅（持ち家）」が 82.6%で最も多く、以下、「都営・市営の公営住宅や公社住宅」（4.9%）、「賃貸マンションやアパート」（4.2%）、「一戸建て住宅（借家）」（2.1%）、「分譲マンション」（1.4%）、「間借り・住込み」（0.7%）の順となっている。

(2) 現在の住居で困っていること

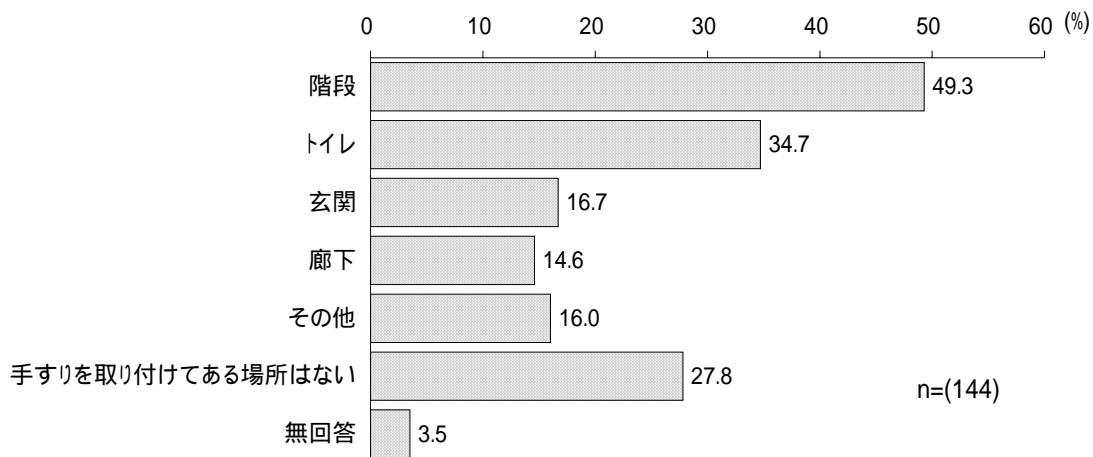
問22 あなた（あて名ご本人）が現在のお住まいで、困っていることをお答えください。
（あてはまるものすべてに ）



現在の住居で困っていることについては、「特に困っていることはない」が 55.6%である。困っていることの中では、「階段の上り下りがきつい」が 16.0%で最も多く、以下、「老朽化している」(14.6%)、「玄関、浴室などに段差があること」(13.2%)、「トイレや浴室などに手すりがないこと」(11.1%)、「交通の便が悪い」(9.7%)の順となっている。

(3) 手すりの取り付けがある場所

問23 あなた（あて名ご本人）のお住まいで手すりの取り付けがある場所がありますか。
（あてはまるものすべてに ）

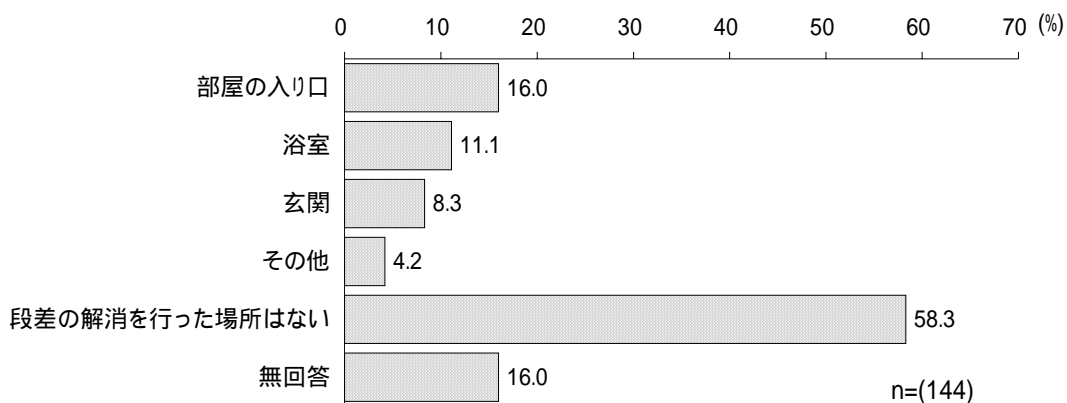


手すりの取り付けがある場所は、「階段」が 49.3%で最も多く、以下、「トイレ」(34.7%)、「玄関」(16.7%)、「廊下」(14.6%)となっている。また、「手すりを取り付けがある場所はない」が 27.8%みられる。

その他の内容は、「浴室」(19件)、「勝手口」(2件)などとなっている。

(4) 段差の解消がされている場所

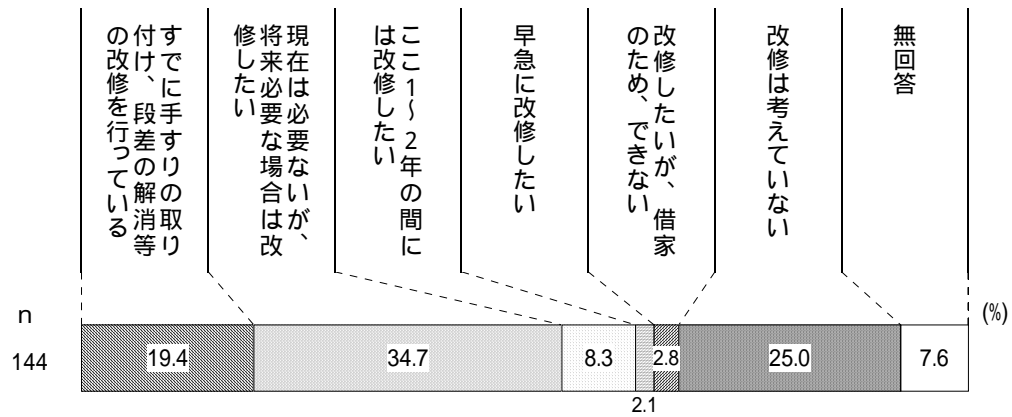
問24 あなた（あて名ご本人）のお住まいで段差の解消（スロープの設置等）がされている場所がありますか。（あてはまるものすべてに ）



段差の解消については、「段差の解消を行った場所はない」が 58.3%である。段差の解消がされている場所の中では、「部屋の入り口」が 16.0%で最も多く、以下、「浴室」(11.1%)、「玄関」(8.3%)の順となっている。

(5) 住宅改修の必要性

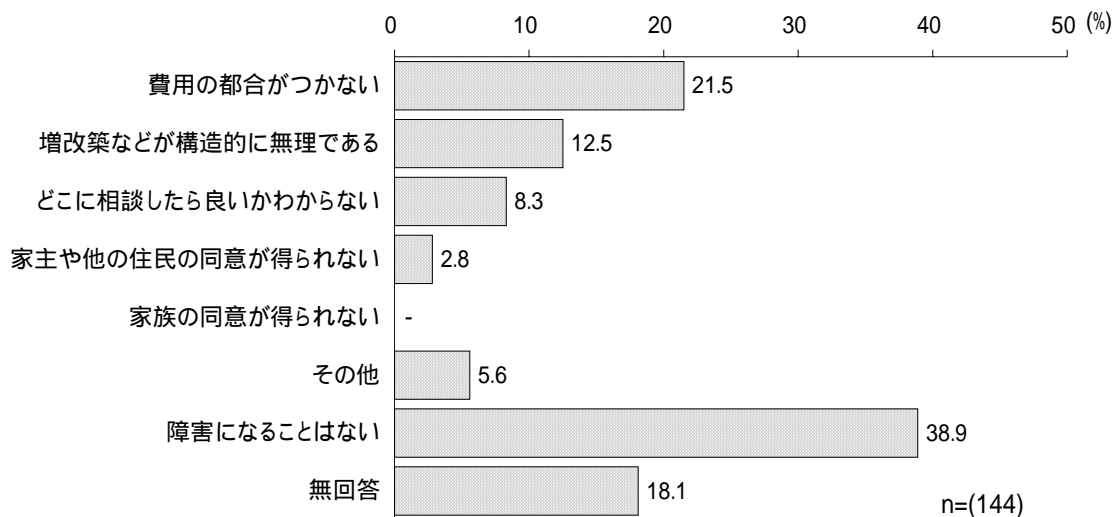
問25 あなた(あて名ご本人)のお住まいで、手すりの取り付け、段差の解消等、住宅改修の必要性についてどのようにお考えですか。(は1つ)



住宅改修の必要性は、「現在は必要ないが、将来必要な場合は改修したい」が 34.7%で最も多く、以下、「改修は考えていない」(25.0%)、「すでに手すりの取り付け、段差の解消等の改修を行っている」(19.4%)、「ここ1～2年の間には改修したい」(8.3%)、「改修したいが、借家のため、できない」(2.8%)、「早急に改修したい」(2.1%)の順となっている。

(6) 住宅改修の際、障害となること

問26 お住まいを改善する際に、障害となることはありますか。(あてはまるものすべてに)

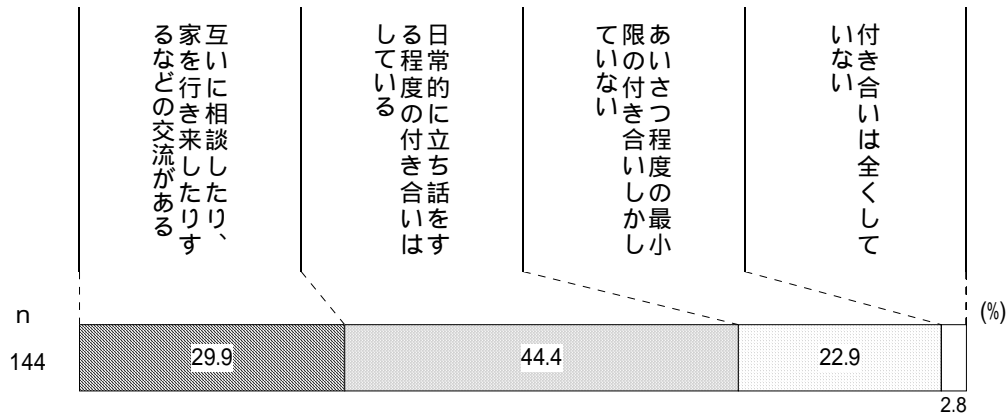


住宅改修の際、障害となることについては、「障害になることはない」が 38.9%である。障害の中では、「費用の都合がつかない」が 21.5%で最も多く、以下、「増改築などが構造的に無理である」(12.5%)、「どこに相談したら良いかわからない」(8.3%)、「家主や他の住民の同意が得られない」(2.8%)の順となっている。

4. 日常の生活やお付き合いについて

(1) 近所付き合いの程度

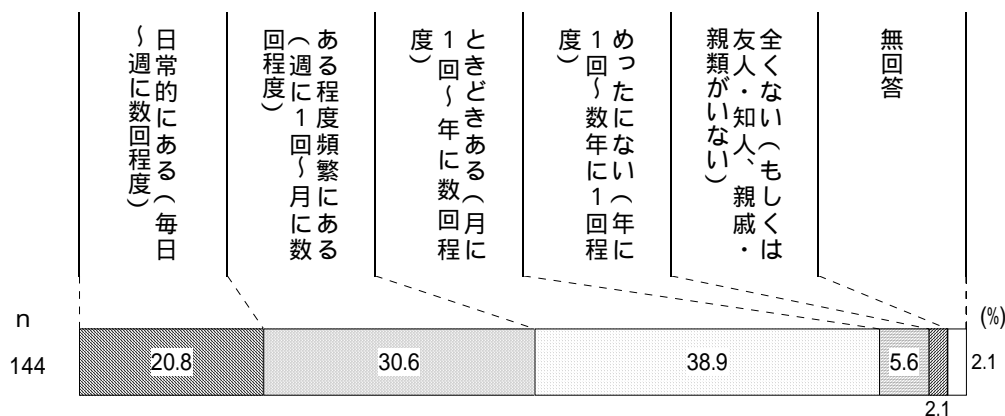
問27 あなた(あて名ご本人)はご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。
(は1つ)



近所付き合いの程度は、「日常的に立ち話をしている程度の付き合いはしている」が44.4%で最も多く、以下、「互いに相談したり、家を行き来したりするなどの交流がある」(29.9%)、「あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない」(22.9%)、「付き合いは全くしていません」(2.8%)の順となっている。

(2) 友人や親戚との付き合いの頻度

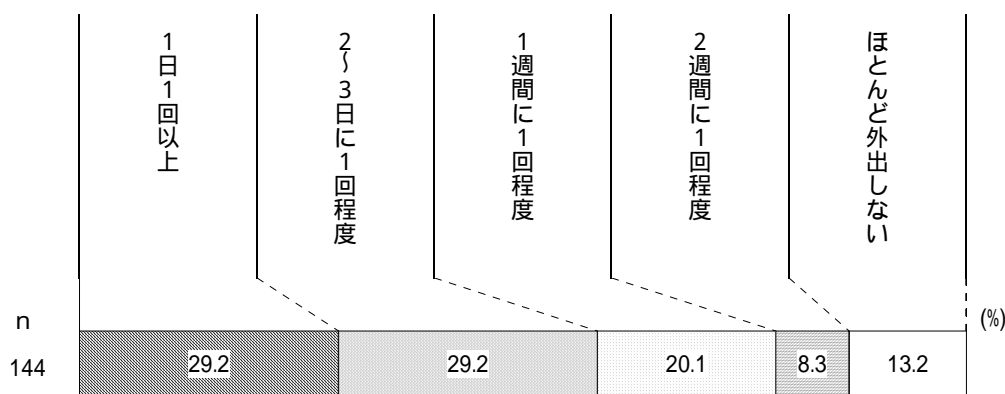
問28 あなた(あて名ご本人)は友人・知人や親戚・親類とどのくらいの頻度でお付き合いをしていますか。(は1つ)



友人や親戚との付き合いの頻度は、「ときどきある(月に1回〜年に数回程度)」が38.9%で最も多く、以下、「ある程度頻繁にある(週に1回〜月に数回程度)」(30.6%)、「日常的にある(毎日〜週に数回程度)」(20.8%)、「めったにない(年に1回〜数年に1回程度)」(5.6%)、「全くない(もしくは友人・知人、親戚・親類がない)」(2.1%)の順となっている。

(3) 外出頻度

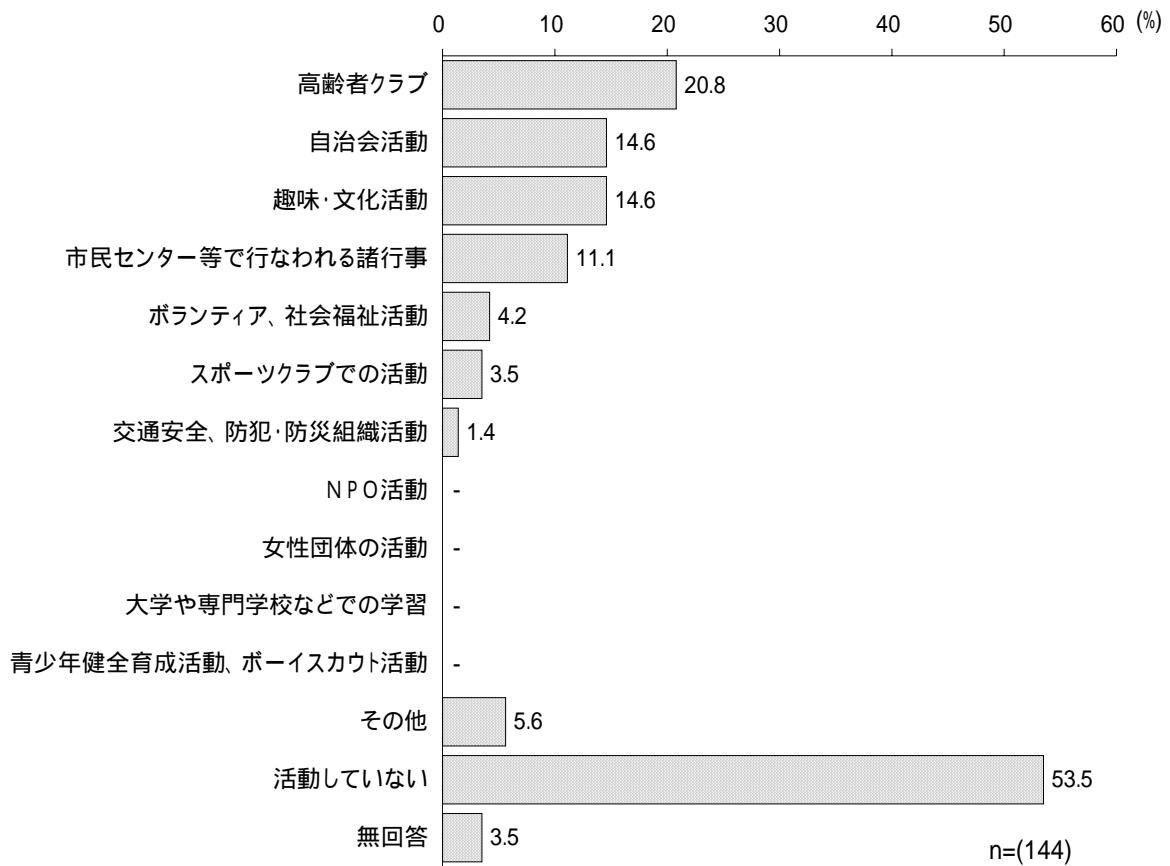
問29 あなた(あて名ご本人)は、散歩や買い物など、どのくらいの頻度で外出していますか。(は1つ)



問29 外出頻度は、「1日1回以上」「2〜3日に1回程度」がともに29.2%で最も多く、以下、「1週間に1回程度」(20.1%)、「ほとんど外出しない」(13.2%)、「2週間に1回程度」(8.3%)の順となっている。

(4) 参加している地域活動

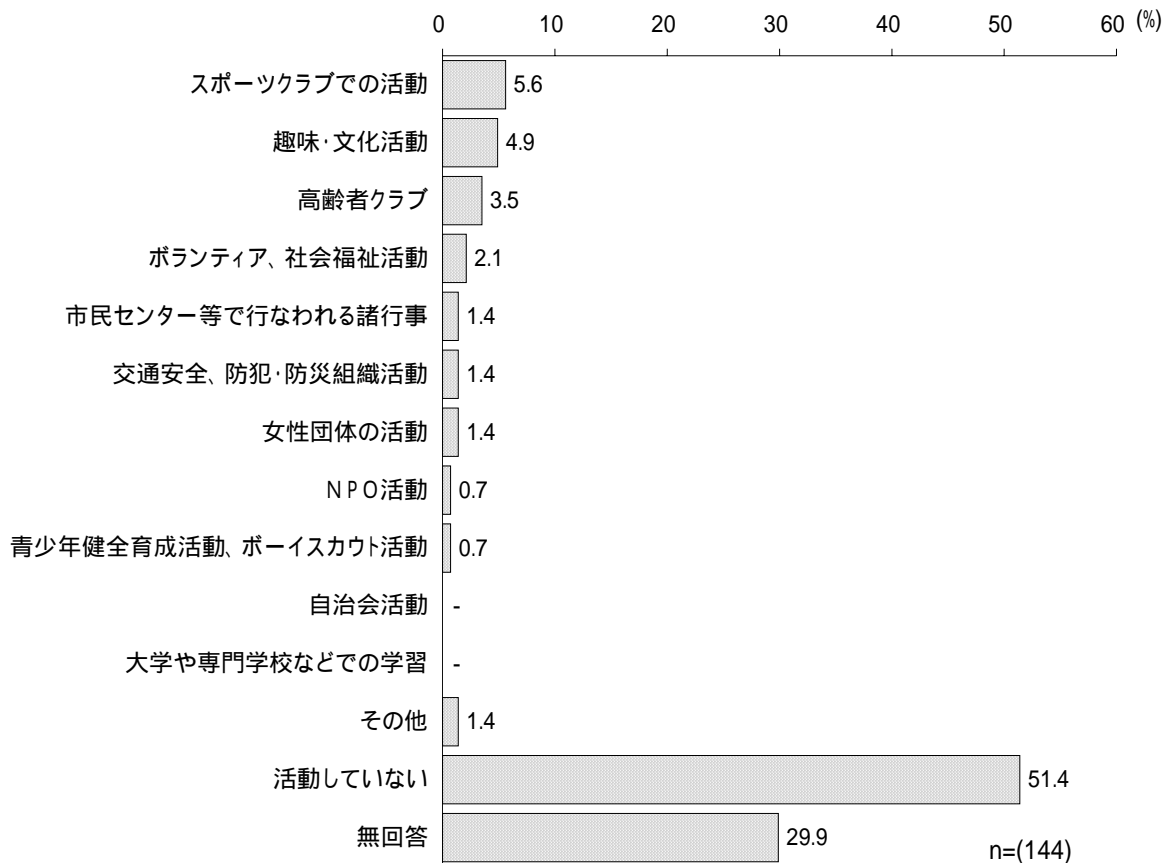
問30 あなた(あて名ご本人)は、地域でどのような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに)



地域活動については、「活動していない」が 53.5%である。参加している活動の中では、「高齢者クラブ」が 20.8%で最も多く、以下、「自治会活動」(14.6%)、「趣味・文化活動」(14.6%)、「市民センター等で行なわれる諸行事」(11.1%)、「ボランティア、社会福祉活動」(4.2%)、「スポーツクラブでの活動」(3.5%)、「交通安全、防犯・防災組織活動」(1.4%)の順となっている。

(5) 参加したい地域活動

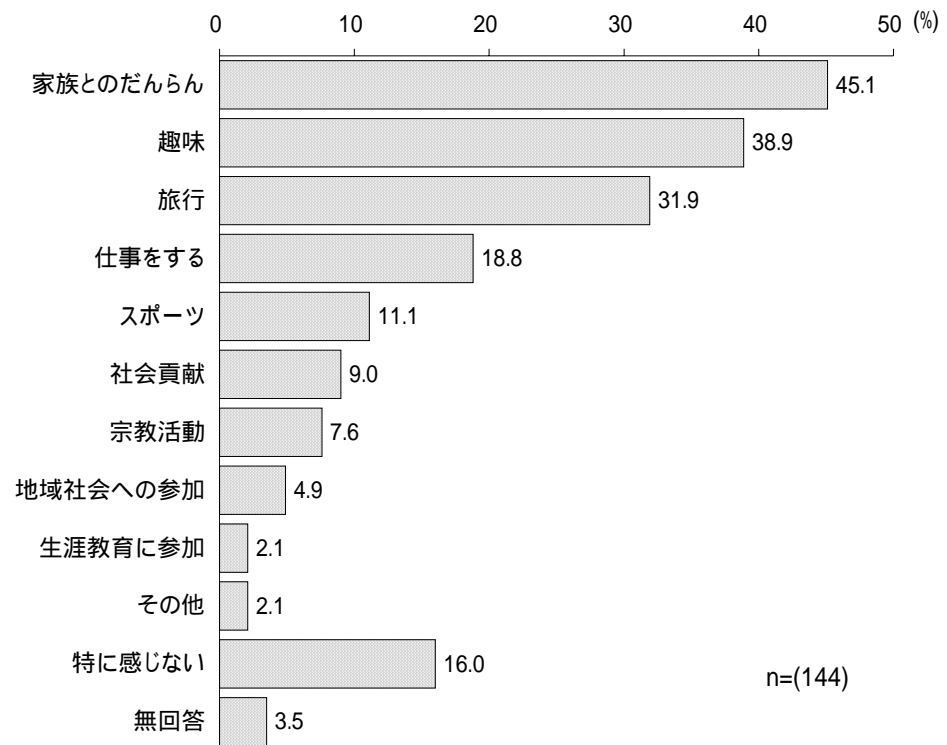
問31 あなた(あて名ご本人)は、今後、参加を希望される活動はありますか。現在なさっている活動を除いてお答えください。(あてはまるものすべてに)



地域活動については、「活動していない」が 51.4%である。参加したい活動の中では、「スポーツクラブでの活動」が 5.6%で最も多く、以下、「趣味・文化活動」(4.9%)、「高齢者クラブ」(3.5%)、「ボランティア、社会福祉活動」(2.1%)、「市民センター等で行なわれる諸行事」(1.4%)、「交通安全、防犯・防災組織活動」(1.4%)、「女性団体の活動」(1.4%)の順となっている。

(6) 生きがいを感じるもの

問32 あなた(あて名ご本人)にとって、どんなことをしているときに生きがいを感じますか。(あてはまるものすべてに)

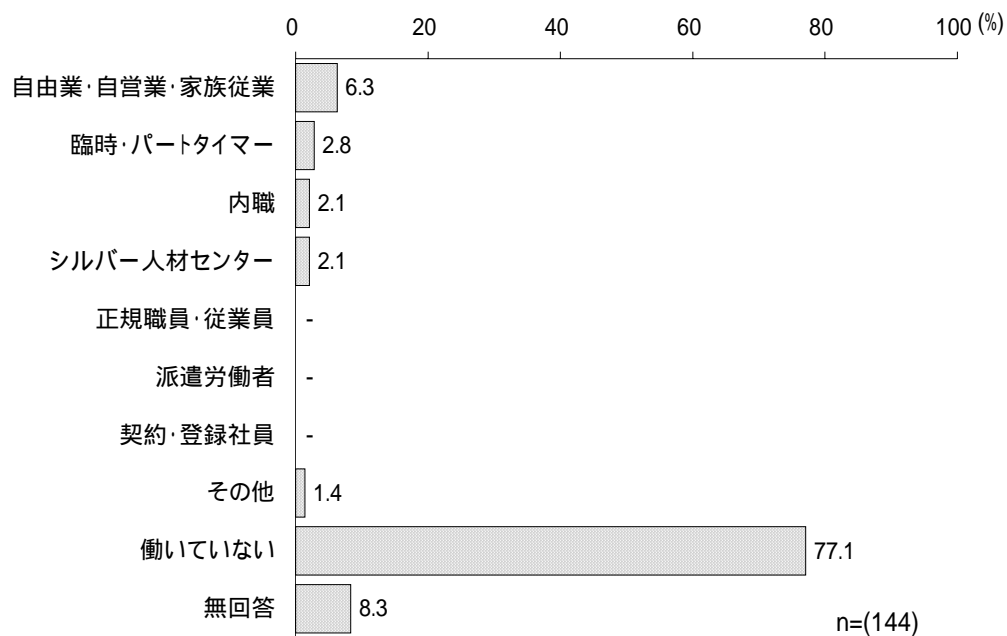


生きがいを感じるものは、「家族とのだんらん」が45.1%で最も多く、以下、「趣味」(38.9%)、「旅行」(31.9%)、「仕事をする」(18.8%)、「スポーツ」(11.1%)、「社会貢献」(9.0%)の順となっている。また、「特に感じない」が16.0%みられる。

(7) 就労形態

問33 就業・就労の状況についてお伺いします。

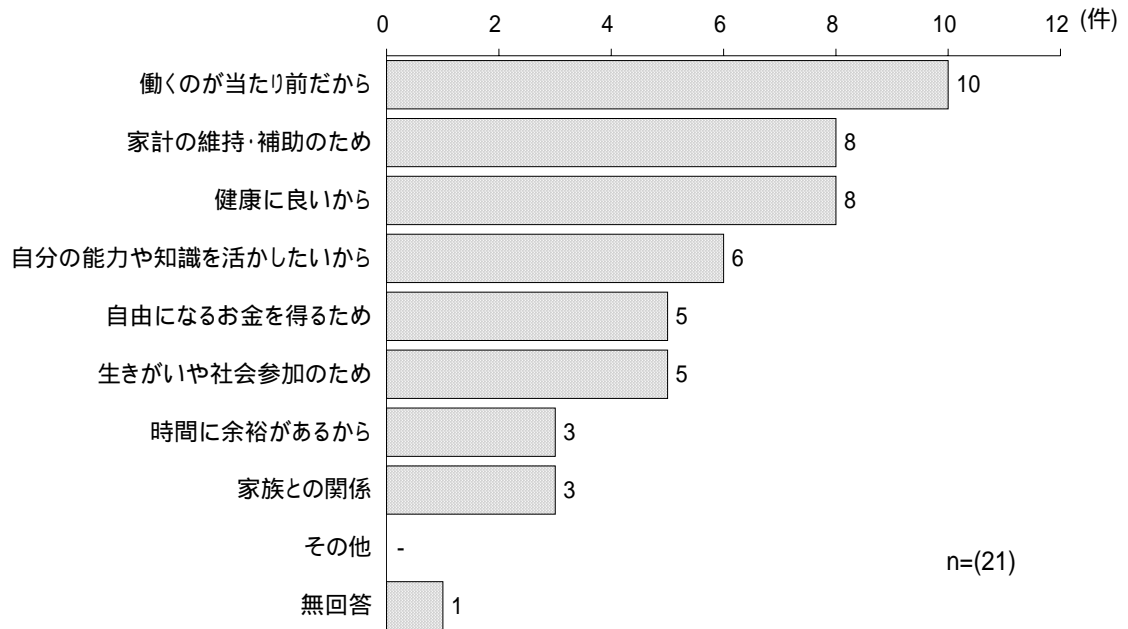
あなた(あて名ご本人)はふだん、次に掲げるような収入を伴う仕事(パート・アルバイトを含む)をしていますか。(は1つ)



就労状況については、「働いていない」が 77.1%である。就労形態は、「自由業・自営業・家族従業」が 6.3%で最も多く、以下、「臨時・パートタイマー」(2.8%)、「内職」(2.1%)、「シルバー人材センター」(2.1%)の順となっている。

(8) 働いている理由

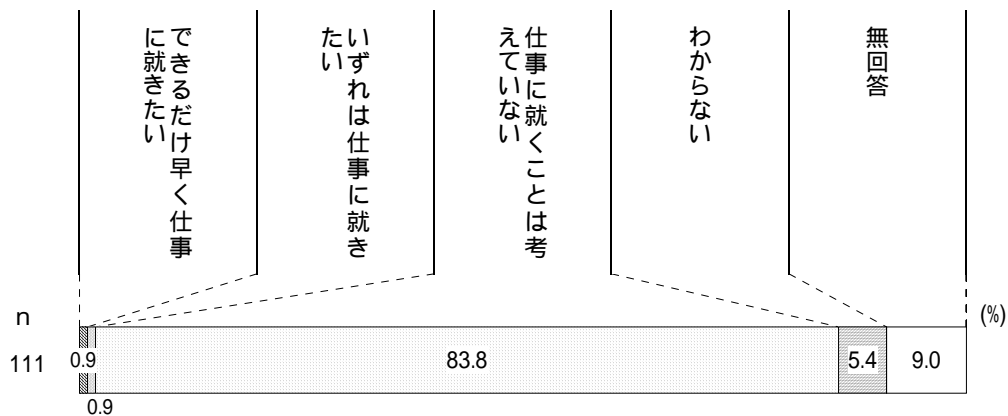
働いている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



働いている理由は、「働くのが当たり前だから」が10件で最も多く、以下、「家計の維持・補助のため」(8件)、「健康に良いから」(8件)、「自分の能力や知識を活かしたいから」(6件)、「自由になるお金を得るため」(5件)、「生きがいや社会参加のため」(5件)の順となっている。

(9) 今後の就労意向

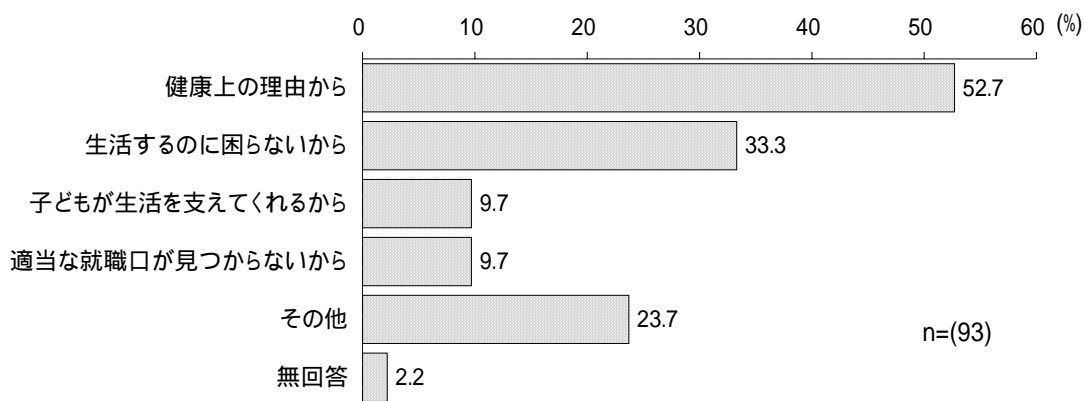
(問33 で「働いていない」に つけた方にお伺いします)
 今後仕事に就くことについてどのようにお考えですか。(は1つ)



今後の就労意向は、「仕事に就くことは考えていない」が 83.8%で最も多く、以下、「わからない」(5.4%)、「できるだけ早く仕事に就きたい」(0.9%)、「いずれは仕事に就きたい」(0.9%)の順となっている。

(10) 就労しない理由

(前問 で「仕事に就くことは考えていない」に つけた方にお伺いします)
 仕事に就くことを考えていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

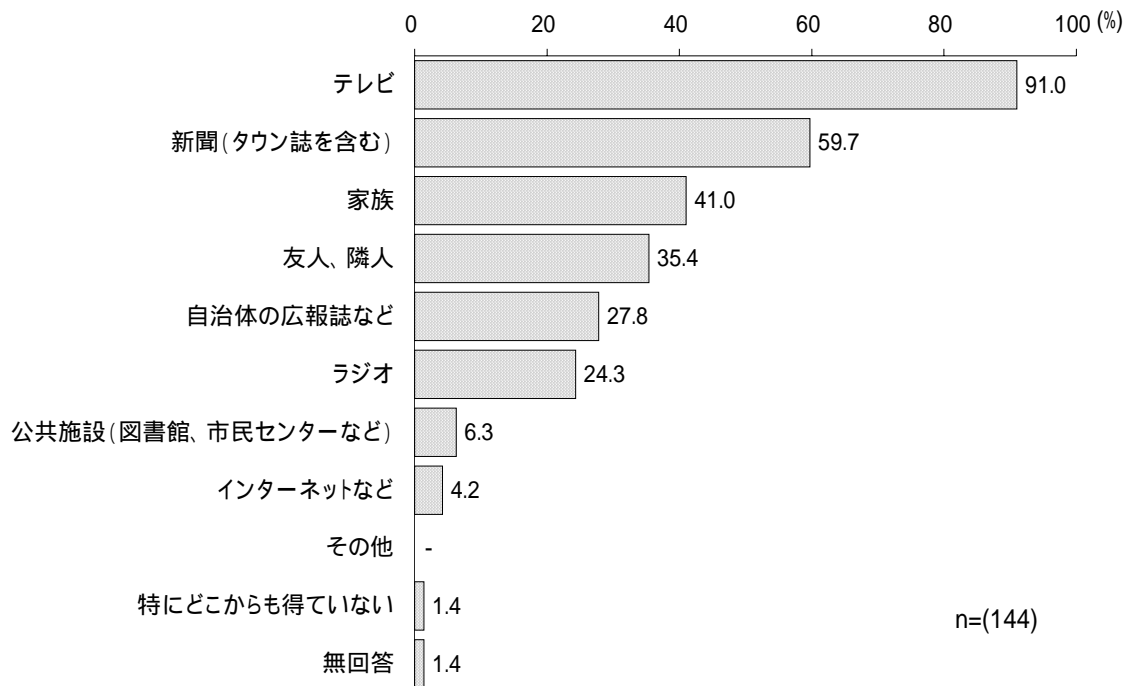


就労しない理由は、「健康上の理由から」が 52.7%で最も多く、以下、「生活するのに困らないから」(33.3%)、「子どもが生活を支えてくれるから」(9.7%)、「適当な就職口が見つからないから」(9.7%)の順となっている。

その他の内容は、「高齢だから」(13件)、「家族の介護をしている」(2件)、「家業が忙しい」(1件)、「趣味で忙しい」(1件)などとなっている。

(11) 情報入手先

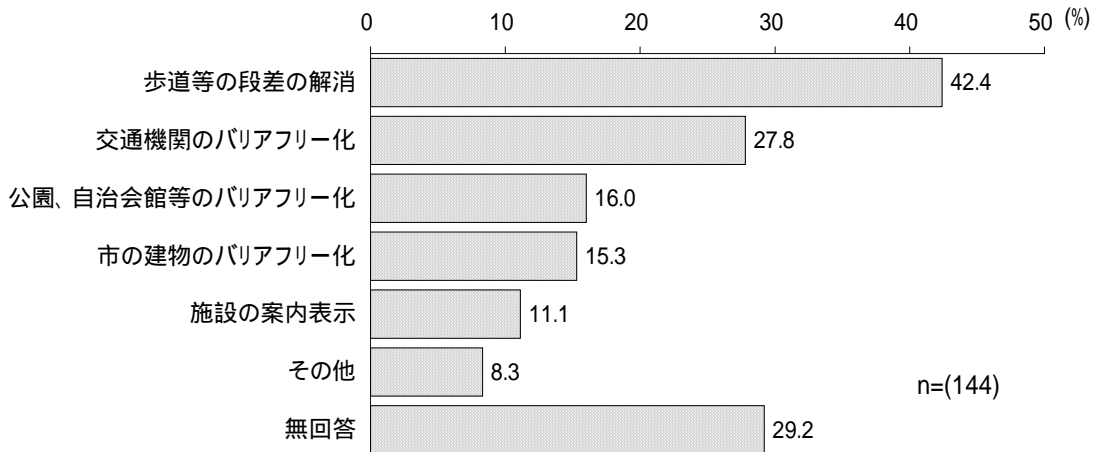
問34 日常生活を送る上で、どのようなところから情報を入手していますか。(あてはまるものすべてに)



情報入手先は、「テレビ」が 91.0%で最も多く、以下、「新聞(タウン誌を含む)」(59.7%)、「家族」(41.0%)、「友人、隣人」(35.4%)、「自治体の広報誌など」(27.8%)、「ラジオ」(24.3%)、「公共施設(図書館、市民センターなど)」(6.3%)の順となっている。

(12) 福祉に配慮したまちづくりに不足していること

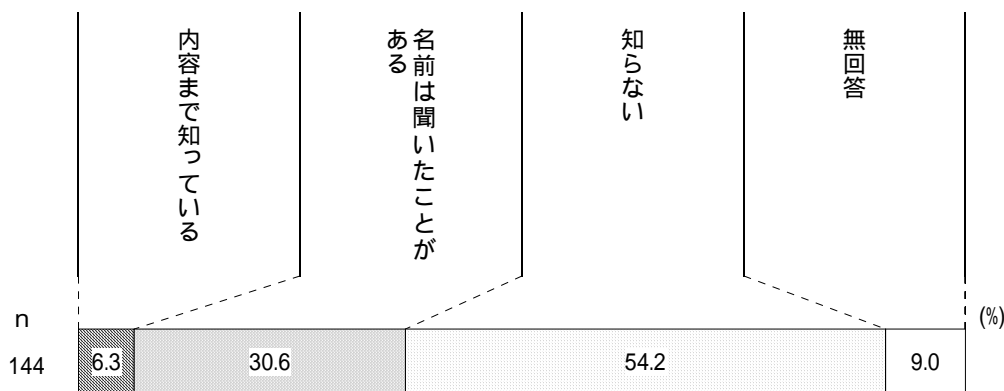
問35 あなた(あて名ご本人)は、福祉に配慮したまちづくりを進める上で、お住まいの地域で不足していることは何だと思われますか。(あてはまるものすべてに)



福祉に配慮したまちづくりに不足していることは、「歩道等の段差の解消」が 42.4%で最も多く、以下、「交通機関のバリアフリー化」(27.8%)、「公園、自治会館等のバリアフリー化」(16.0%)、「市の建物のバリアフリー化」(15.3%)の順となっている。

(13) 成年後見制度の周知度

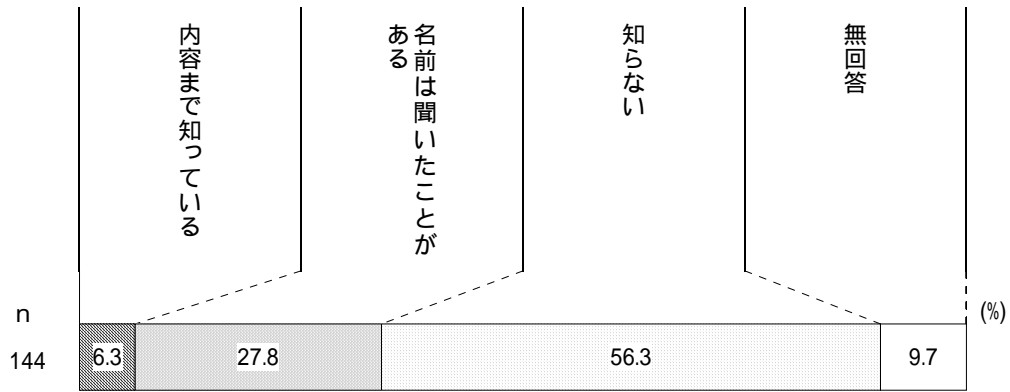
問36 本人の判断力が衰えたり、なくなった場合に、本人の権利が擁護され、本人の意思や判断能力が反映されるように、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業がスタートしています。あなた(あて名のご本人)は、この制度をご存知ですか。次の各問にお答えください。
 成年後見制度(従来の禁治産・準禁治産制度を「補助」「補佐」「後見」の制度に改まる新たな制度として平成12年4月から施行されている。)(は1つ)



成年後見制度の周知度は、「知らない」が 54.2%で最も多く、以下、「名前は聞いたことがある」(30.6%)、「内容まで知っている」(6.3%)の順となっている。

(14) 地域福祉権利擁護事業の周知度

地域福祉権利擁護事業（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などの判断能力が不十分な方が自立した生活が送れるよう、その者の権利を擁護する事業で、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスがある）(は1つ)

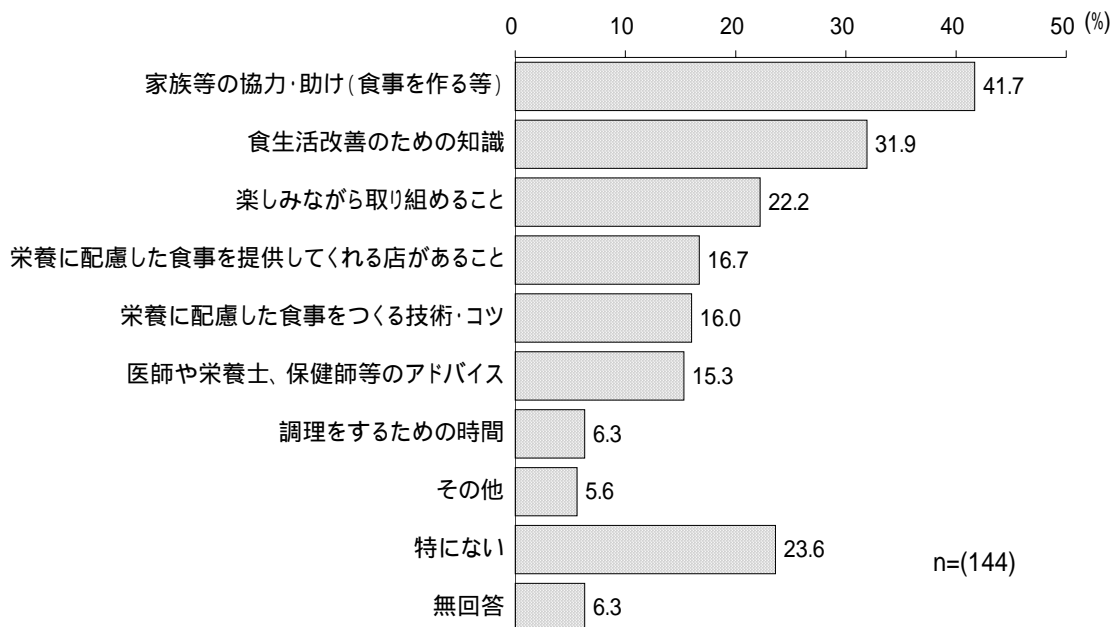


地域福祉権利擁護事業の周知度は、「知らない」が 56.3%で最も多く、以下、「名前は聞いたことがある」(27.8%)、「内容まで知っている」(6.3%)の順となっている。

5. 生活習慣改善について

(1) 食生活を改善するために必要なこと

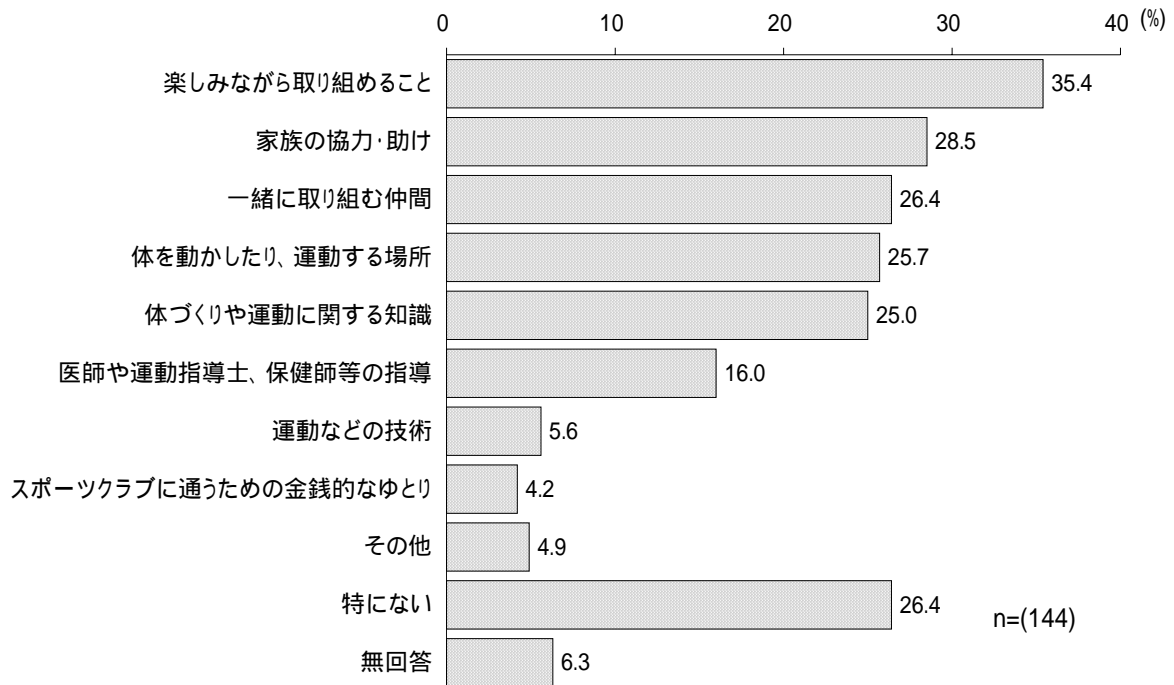
問37 あなた(あて名ご本人)は、食生活を改善するために必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに)



食生活を改善するために必要なことは、「家族等の協力・助け(食事を作る等)」が41.7%で最も多く、以下、「食生活改善のための知識」(31.9%)、「楽しみながら取り組めること」(22.2%)、「栄養に配慮した食事を提供してくれる店があること」(16.7%)、「栄養に配慮した食事をつくる技術・コツ」(16.0%)の順となっている。また、「特にない」が23.6%みられる。

(2) 運動習慣を改善するために必要なこと

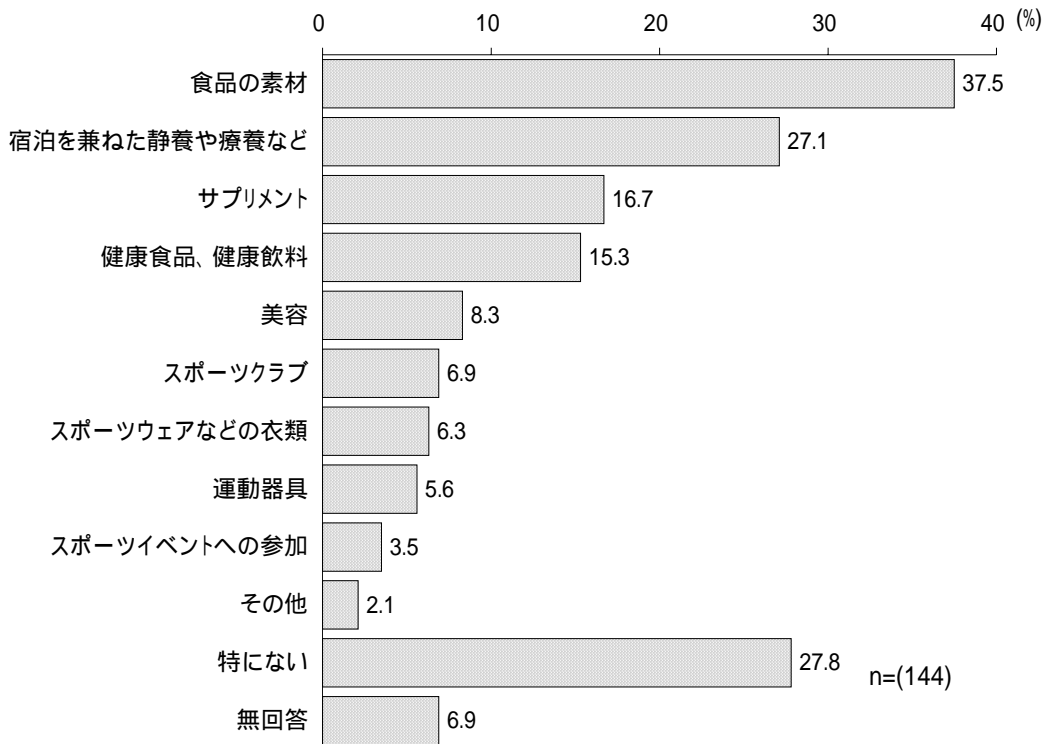
問38 あなた(あて名ご本人)は、運動習慣を改善するために必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに)



運動習慣を改善するために必要なことは、「楽しみながら取り組めること」が 35.4%で最も多く、以下、「家族の協力・助け」(28.5%)、「一緒に取り組む仲間」(26.4%)、「体を動かしたり、運動する場所」(25.7%)、「体づくりや運動に関する知識」(25.0%)、「医師や運動指導士、保健師等の指導」(16.0%)の順となっている。また、「特にない」が26.4%みられる。

(3) 健康維持のためにお金を使いたいこと

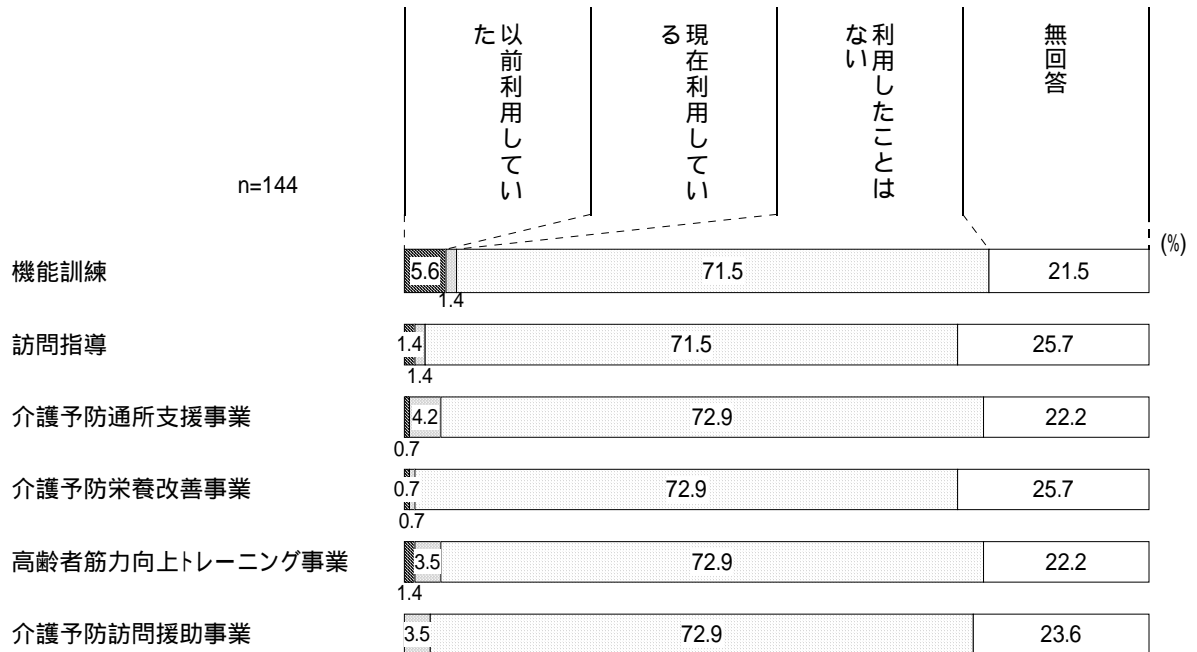
問39 あなた(あて名ご本人)は今後、ご自身の健康維持・増進などのためにお金を使うとしたら、どのようなことに使いたいですか。(あてはまるものすべてに)



健康維持のためにお金を使いたいことは、「食品の素材」が 37.5%で最も多く、以下、「宿泊を兼ねた静養や療養など」(27.1%)、「サプリメント」(16.7%)、「健康食品、健康飲料」(15.3%)、「美容」(8.3%)、「スポーツクラブ」(6.9%)、「スポーツウェアなどの衣類」(6.3%)の順となっている。また、「特にない」が 27.8%みられる。

(4) 介護予防事業への参加

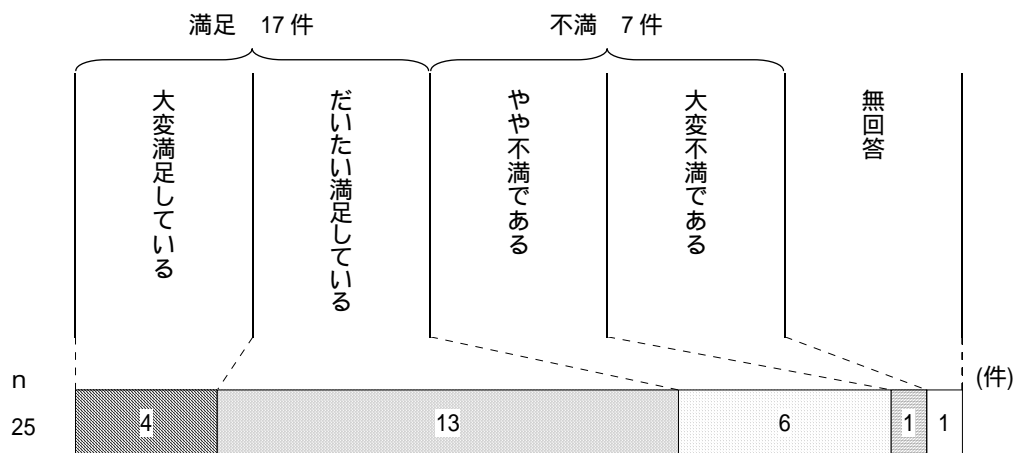
問40 あなた(あて名ご本人)は、この1年間に、以下の事業に参加されましたか。(各事業について、は1つ)



介護予防事業への参加は、いずれも「利用したことはない」が7割強である。「以前利用していた」は『機能訓練』で5.6%、「現在利用している」は『介護予防通所支援事業』で4.2%、『高齢者筋力向上トレーニング事業』『介護予防訪問援助事業』で3.5%みられる。

(5) 事業内容の満足度

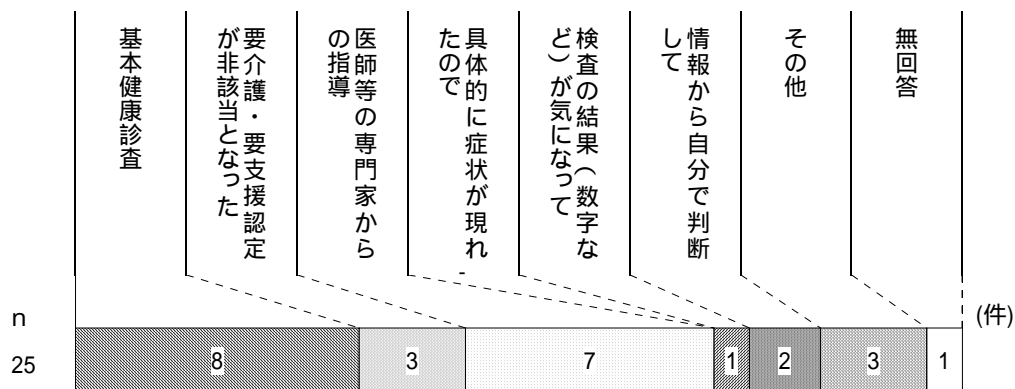
(問40で「以前利用していた」、「現在利用している」とお答えの方にお伺いします。)
 問41 あなた(あて名ご本人)は利用した事業の内容に満足していますか。(は1つ)



事業内容の満足度は、「だいたい満足している」が13件で最も多く、これに「大変満足している」(4件)を合わせると、17件が《満足》と回答している。一方、「やや不満である」(6件)と「大変不満である」(1件)を合わせた《不満》は7件である。

(6) 事業を利用することとなった主なきっかけ

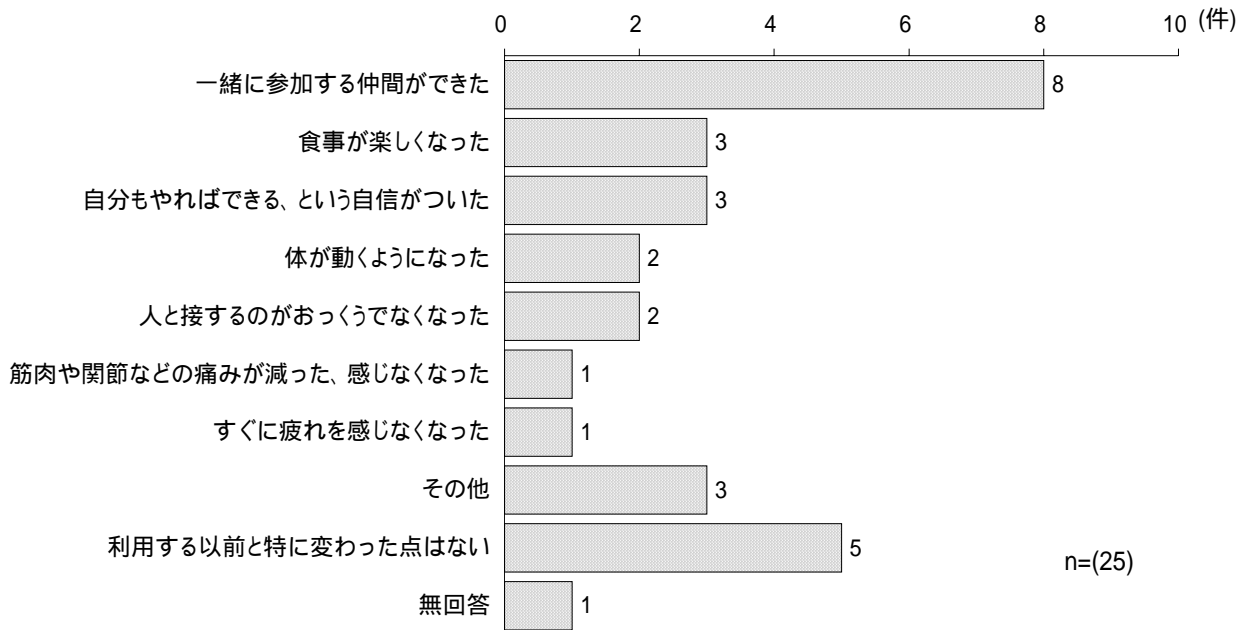
問42 利用することとなった主なきっかけは何ですか。(は1つ)



事業を利用することとなった主なきっかけは、「基本健康診査」が8件で最も多く、以下、「医師等の専門家からの指導」(7件)、「要介護・要支援認定が非該当となった」(3件)、「情報から自分で判断して」(2件)の順となっている。

(7) サービスを利用するようになって変わったこと

問43 あなた（あて名ご本人）は、サービスを利用するようになって変わったことはありますか。（あてはまるものすべてに ）

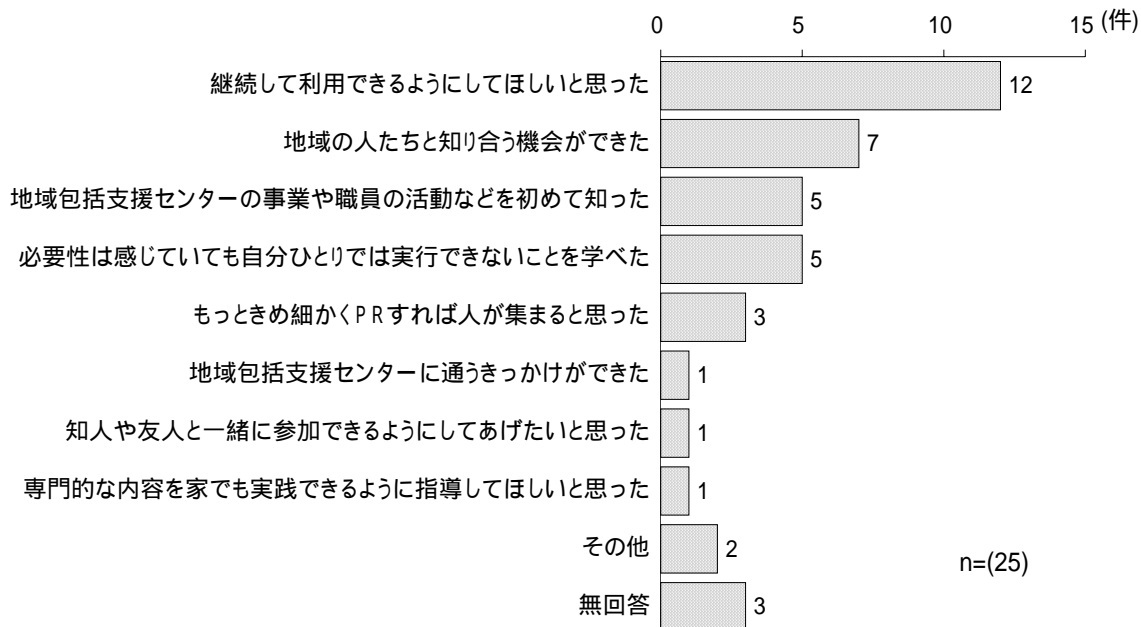


サービスを利用するようになって変わったことは、「一緒に参加する仲間ができた」が8件で最も多く、以下、「食事が楽しくなった」(3件)、「自分もやればできる、という自信がついた」(3件)、「体が動くようになった」(2件)、「人と接するのがおっくうでなくなった」(2件)の順となっている。また、「利用する以前と特に変わった点はない」が5件みられる。

その他の内容は、「体調が悪く中止」「していただくので、家中を片付けられる」「筋肉痛で通えなくなった」となっている。

(8) そのほかに事業利用で感じたこと

問44 そのほか、お気づきになったこと、お感じになったことはありますか。(あてはまるものすべてに)

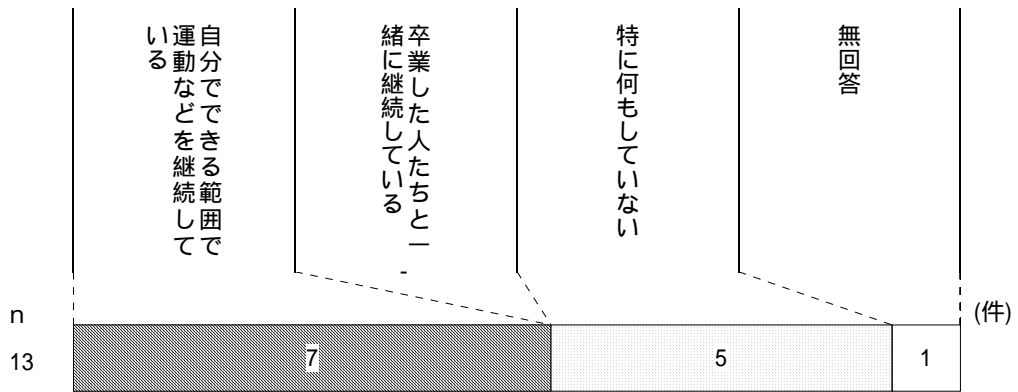


そのほかに事業利用で感じたことは、「継続して利用できるようにしてほしいと思った」が12件で最も多く、以下、「地域の人たちと知り合う機会ができた」(7件)、「地域包括支援センターの事業や職員の活動などを初めて知った」(5件)、「必要性は感じていても自分ひとりでは実行できないことを学べた」(5件)、「もっときめ細かくPRすれば人が集まると思った」(3件)の順となっている。

(9) 利用終了後の介護予防の継続

(問40で「以前利用していた」とお答えの方にお伺いします。)

問45 あなた(あて名ご本人)は、利用終了後はどのようにされていますか。(は1つ)

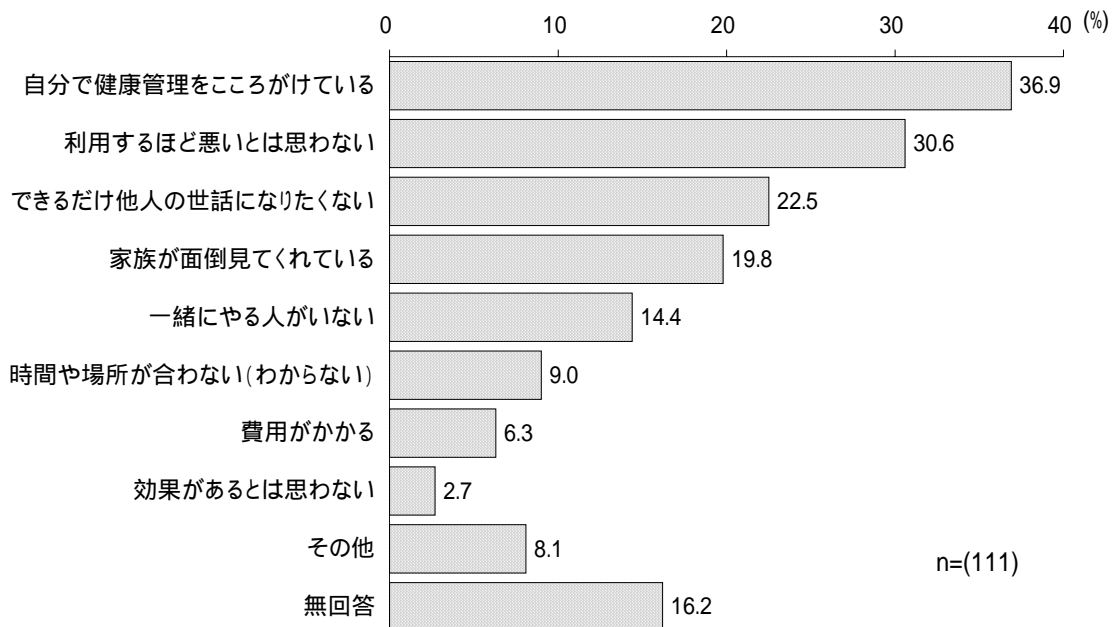


利用終了後の介護予防の継続は、「自分でできる範囲で運動などを継続している」(7件)、「特に何もしていない」(5件)となっている。

(10) サービスを利用しない理由

(問40で「利用したことはない」とお答えの方にお伺いします。)

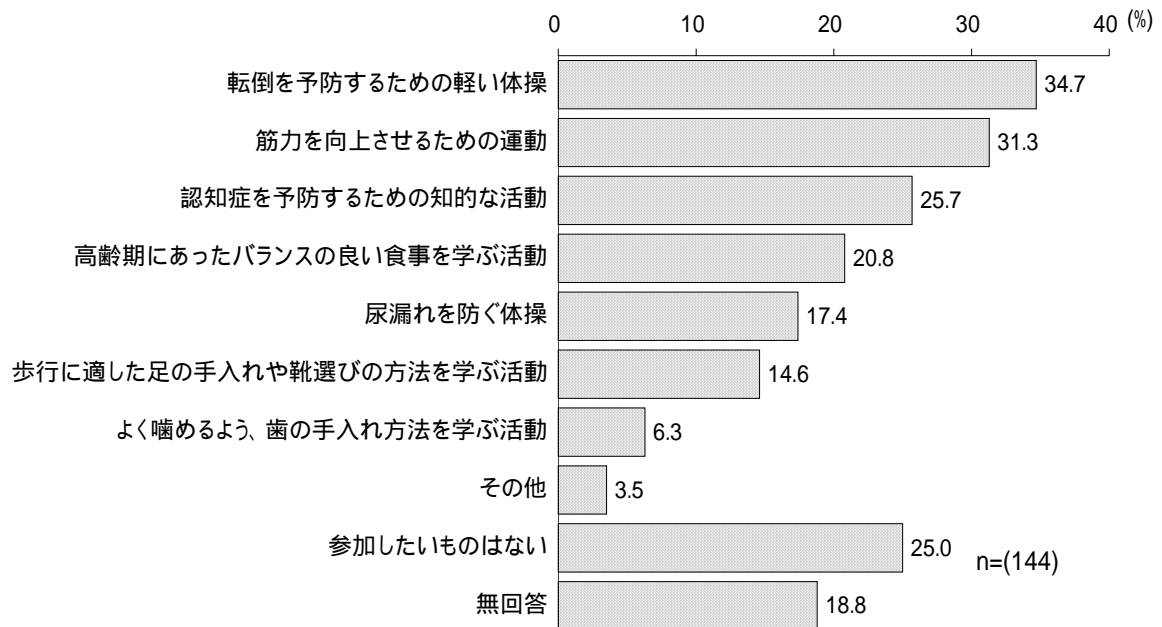
問46 これらのサービスを利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



サービスを利用しない理由は、「自分で健康管理をこころがけている」が 36.9%で最も多く、以下、「利用するほど悪いとは思わない」(30.6%)、「できるだけ他人の世話になりたくない」(22.5%)、「家族が面倒見ている」(19.8%)、「一緒にやる人がいない」(14.4%)の順となっている。

(11) 参加したい介護予防の活動

問47 以下のような活動への参加を促された場合、参加したいと思うものをお答えください。(あてはまるものすべてに)

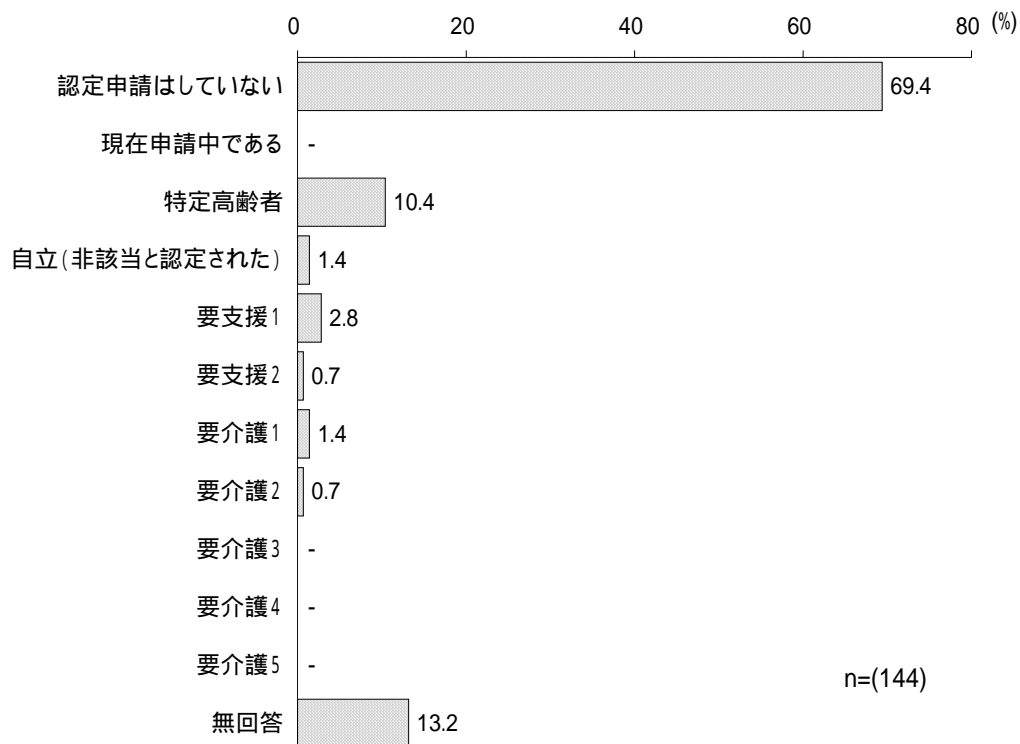


参加したい介護予防の活動は、「転倒を予防するための軽い体操」が 34.7%で最も多く、以下、「筋力を向上させるための運動」(31.3%)、「認知症を予防するための知的な活動」(25.7%)、「高齢期にあったバランスの良い食事を学ぶ活動」(20.8%)、「尿漏れを防ぐ体操」(17.4%)の順となっている。また、「参加したいものはない」が 25.0%みられる。

6. 介護保険などのサービスについて

(1) 現在の要介護度

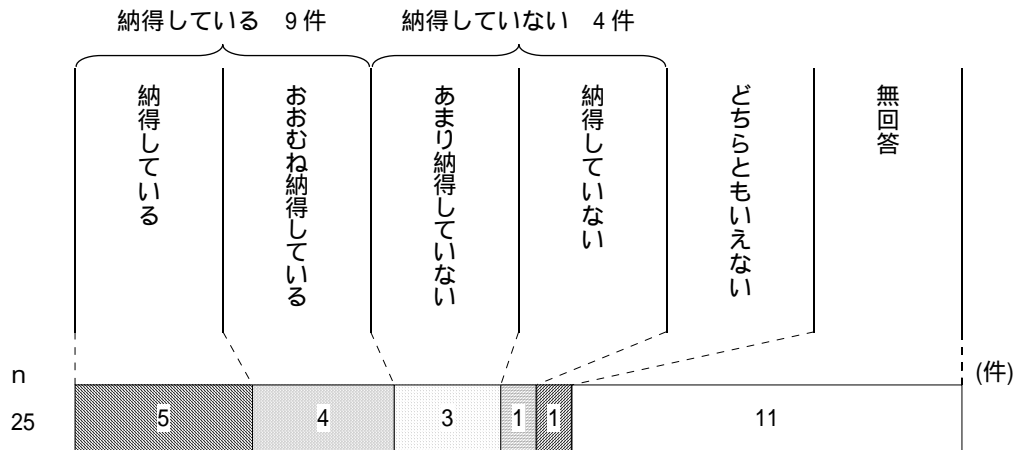
問48 - 1 あなた（あて名ご本人）は、介護保険の要介護・要支援認定を申請しましたか。認定を受けている場合は、現在の要介護度をお答えください。（ は1つ）



現在の要介護度は、「認定申請はしていない」が 69.4%で最も多く、以下、「特定高齢者」(10.4%)、「要支援1」(2.8%)、「自立(非該当と認定された)」(1.4%)、「要介護1」(1.4%)、「要支援2」(0.7%)、「要介護2」(0.7%)の順となっている。

(2) 認定結果に対する気持ち

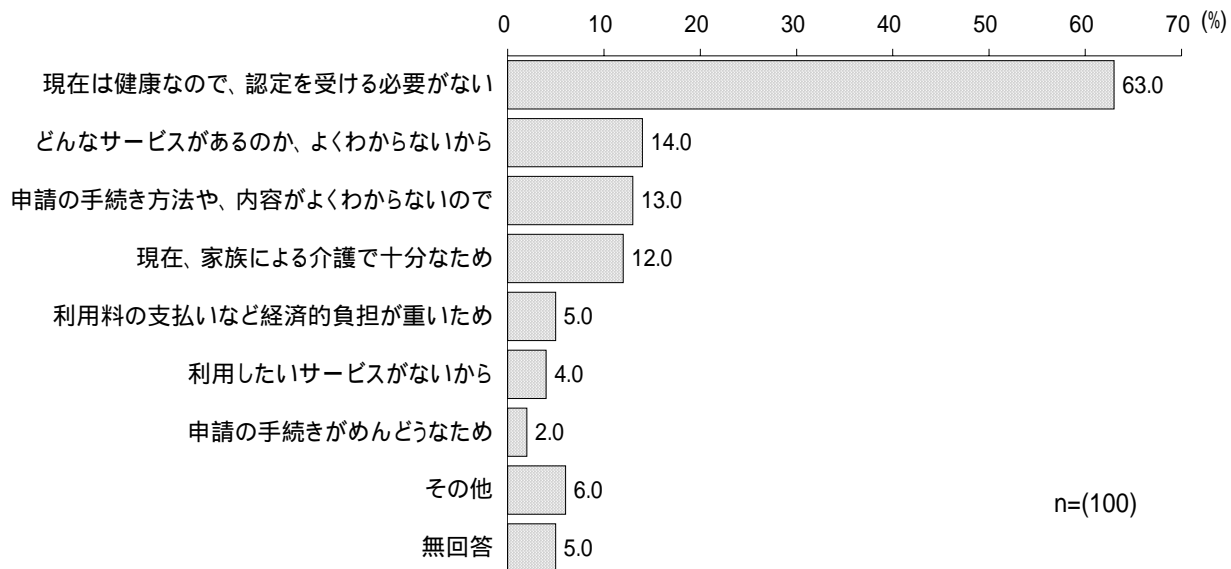
問48 - 2 前問で「認定申請はしていない」「現在申請中である」以外に つけられた方におたずねします。認定結果について納得されていますか。(は1つ)



認定結果に対する気持ちは、「納得している」が5件で最も多く、これに「おおむね納得している」(4件)を合わせると、9件が《納得している》と回答している。一方、「あまり納得していない」(3件)と「納得していない」(1件)を合わせた《納得していない》は4件である。

(3) 認定申請をしていない理由

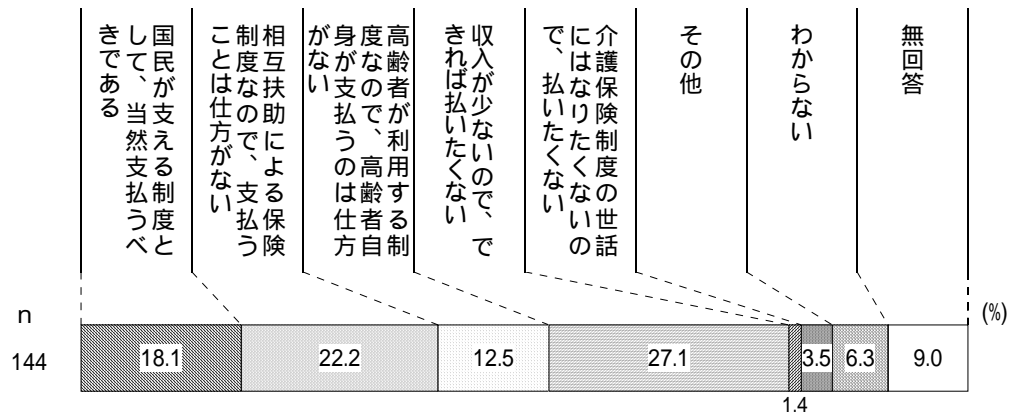
問48 - 3 問48 - 1で「認定申請はしていない」に つけられた方におたずねします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



認定申請をしていない理由は、「現在は健康なので、認定を受ける必要がない」が 63.0%で最も多く、以下、「どんなサービスがあるのか、よくわからないから」(14.0%)、「申請の手続き方法や、内容がよくわからないので」(13.0%)、「現在、家族による介護で十分なため」(12.0%)、「利用料の支払いなど経済的負担が重いため」(5.0%)の順となっている。

(4) 介護保険料の負担について

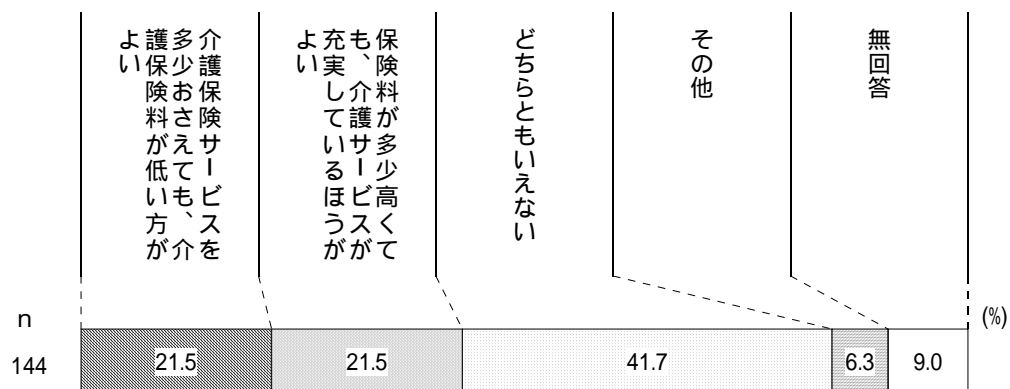
問49 あなた(あて名ご本人)は現在支払っている介護保険料の負担について、どのように思われますか。(は1つ)



介護保険料の負担については、「収入が少ないので、できれば払いたくない」が 27.1%で最も多く、以下、「相互扶助による保険制度なので、支払うことは仕方がない」(22.2%)、「国民が支える制度として、当然支払うべきである」(18.1%)、「高齢者が利用する制度なので、高齢者自身が支払うのは仕方がない」(12.5%)の順となっている。

(5) 保険料と介護サービスのあり方について

問50 介護保険制度において65歳以上の方からいただいている保険料は、青梅市では、基準月額3,600円です。この保険料と介護サービスのあり方について、あなた(あて名ご本人)のお考えに近いものはどれですか。(は1つ)

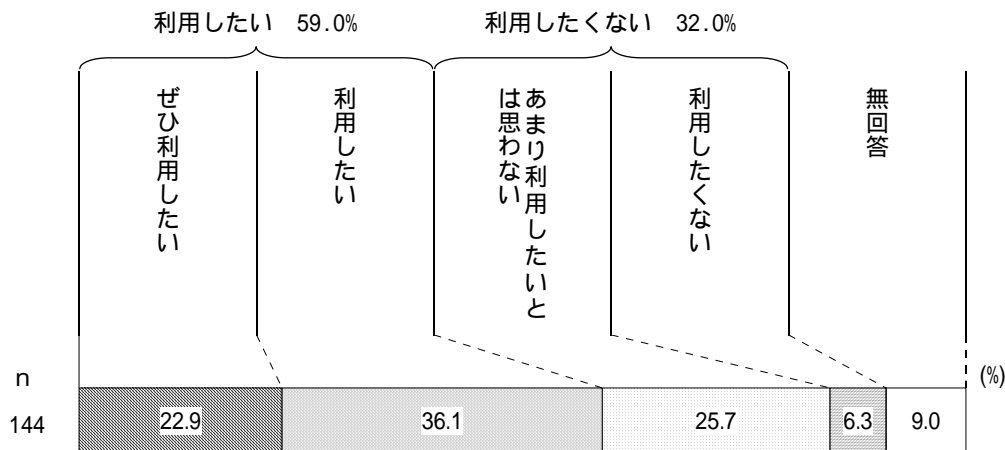


保険料と介護サービスのあり方については、「どちらともいえない」が 41.7%で最も多く、以下、「介護保険サービスを多少おさえても、介護保険料が低い方がよい」(21.5%)、「保険料が多少高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」(21.5%)の順となっている。

(6) 夜間対応型訪問介護の利用意向

問51 現在青梅市で行われていないサービスですが、将来必要になった場合、サービスを提供してくれる介護保険の事業所が身近な地域にあったら、あなた(あて名ご本人)は利用を希望しますか。

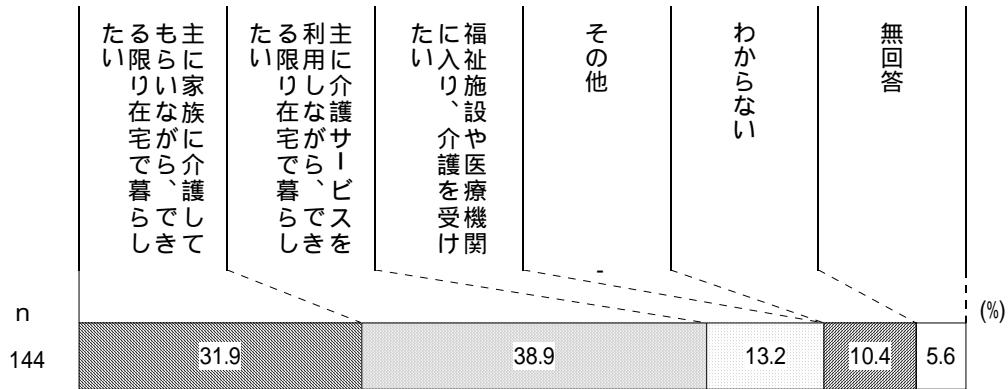
夜間対応型訪問介護 一晩に1回、ホームヘルプ(訪問介護)を受けられるほか、夜間の緊急時に通報すれば訪問介護を受けられるサービスです。(は1つ)



夜間対応型訪問介護の利用意向は、「利用したい」が 36.1%で最も多く、これに「ぜひ利用したい」(22.9%)を合わせると、59.0%が《利用したい》と回答している。一方、「あまり利用したいとは思わない」(25.7%)と「利用したくない」(6.3%)を合わせた《利用したくない》は 32.0%である。

(7) 今後の希望介護形態

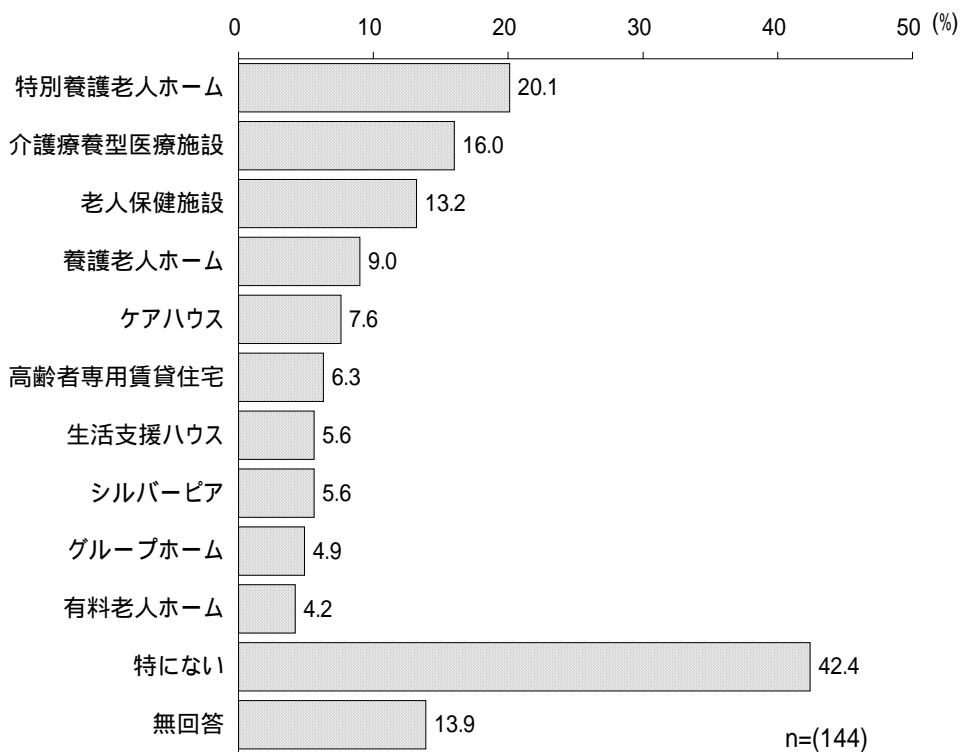
問52 今後の介護について、あなた（あて名ご本人）はどのような希望をお持ちですか。現在、介護を必要としていない方は、介護が必要になった場合を想定してお答えください。（は1つ）



今後の希望介護形態は、「主に介護サービスを利用しながら、できる限り在宅で暮らしたい」が 38.9%で最も多く、以下、「主に家族に介護してもらいながら、できる限り在宅で暮らしたい」（31.9%）、「福祉施設や医療機関に入り、介護を受けたい」（13.2%）、「わからない」（10.4%）の順となっている。

(8) 利用したい施設

問53-1 あなた(あて名ご本人)が、申込みをしている施設、もしくは、今後、利用したい施設などがありますか。下の一覧表を参考にして、お答えください。(あてはまるものすべてに)

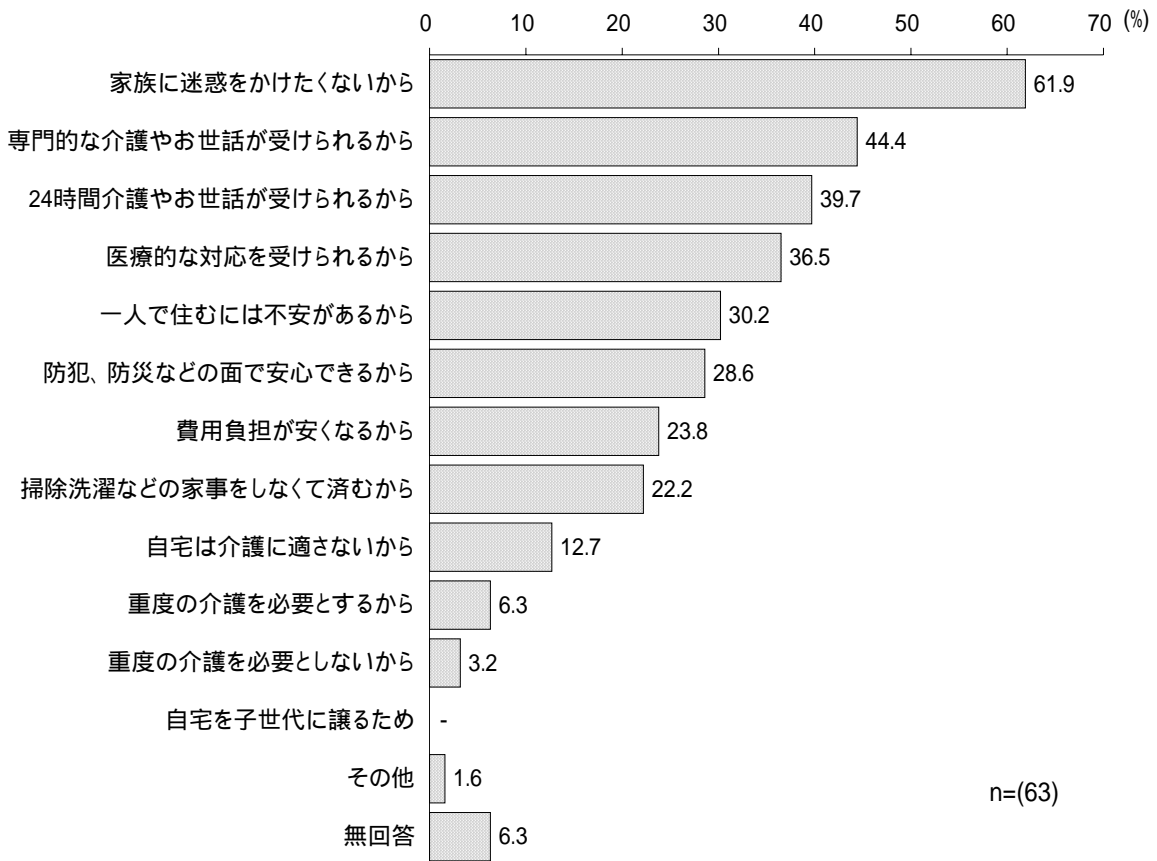


利用したい施設については、「特にない」が 42.4%である。利用したい施設の中では、「特別養護老人ホーム」が 20.1%で最も多く、以下、「介護療養型医療施設」(16.0%)、「老人保健施設」(13.2%)、「養護老人ホーム」(9.0%)、「ケアハウス」(7.6%)の順となっている。

(9) 施設などを利用したい理由

(前問53-1で、いずれかの施設に つけた方におたずねします)

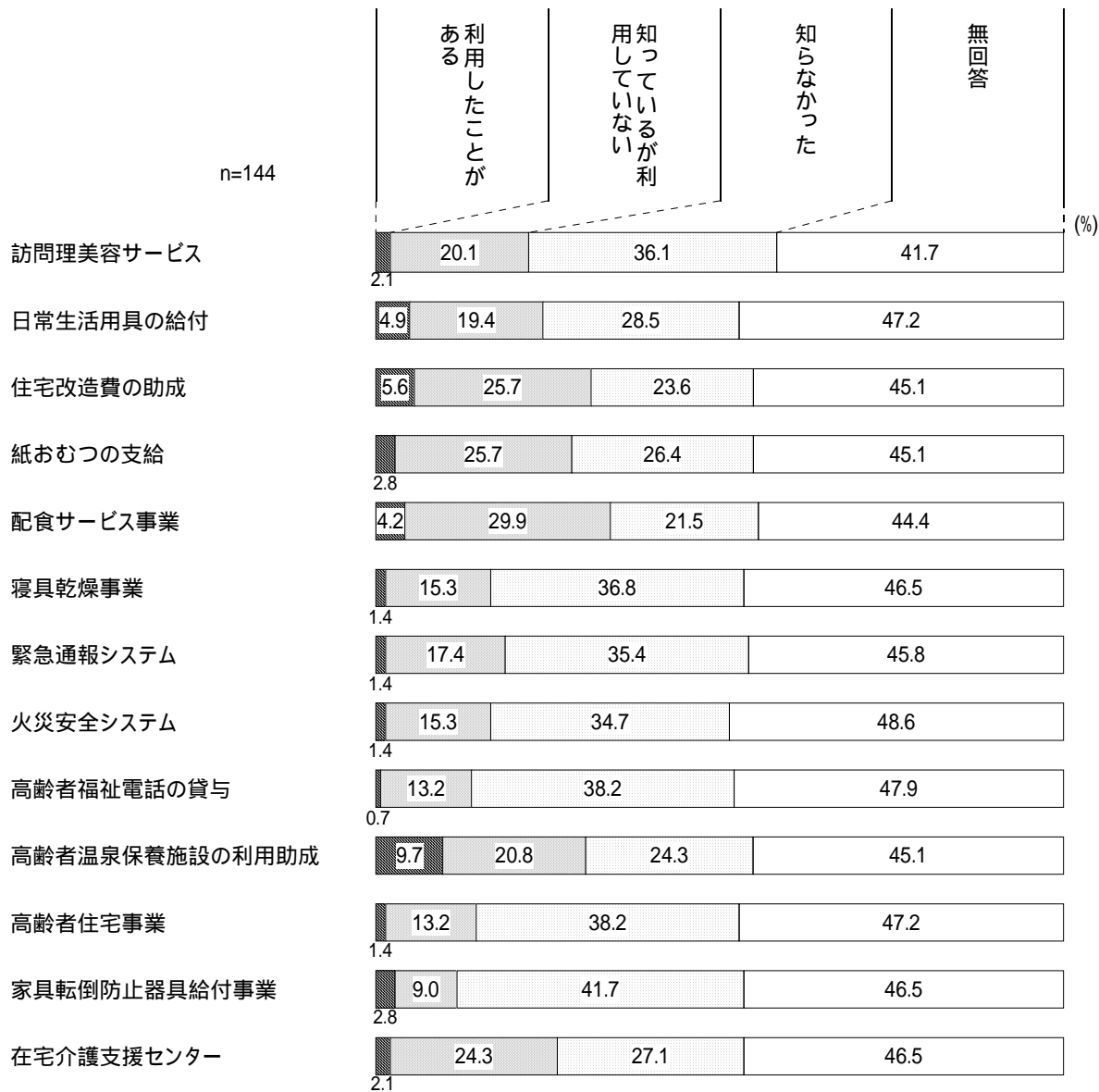
問53-2 このような施設などを利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

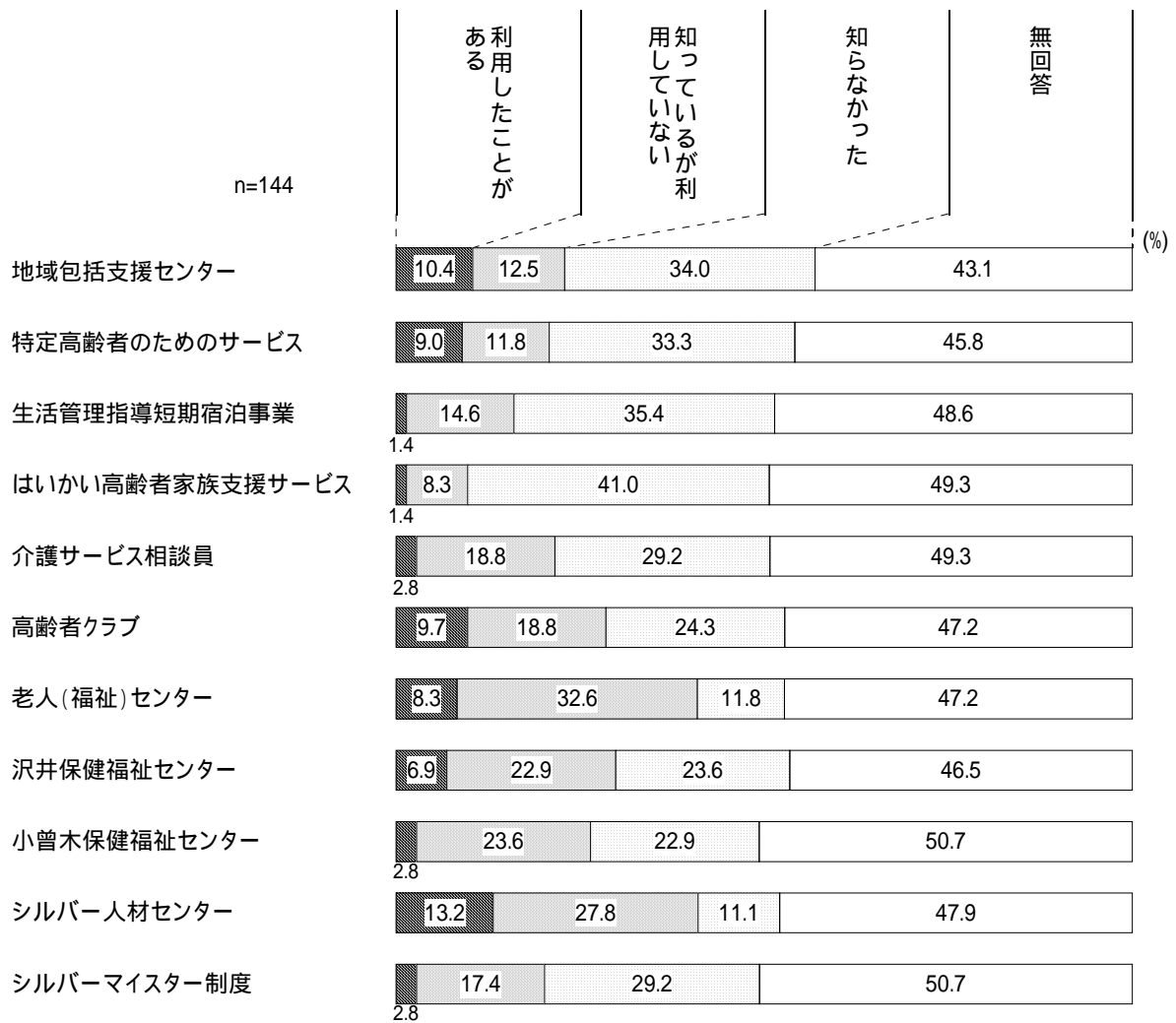


施設などを利用したい理由は、「家族に迷惑をかけたくないから」が 61.9%で最も多く、以下、「専門的な介護やお世話が受けられるから」(44.4%)、「24 時間介護やお世話が受けられるから」(39.7%)、「医療的な対応を受けられるから」(36.5%)、「一人で住むには不安があるから」(30.2%)、「防犯、防災などの面で安心できるから」(28.6%)の順となっている。

(10) 高齢者福祉サービスの利用状況

問54 高齢者福祉サービスの各事業について、利用状況、利用した感想、今後の利用意向の各項目ごとに、該当するものを選んでください。(それぞれは1つ)

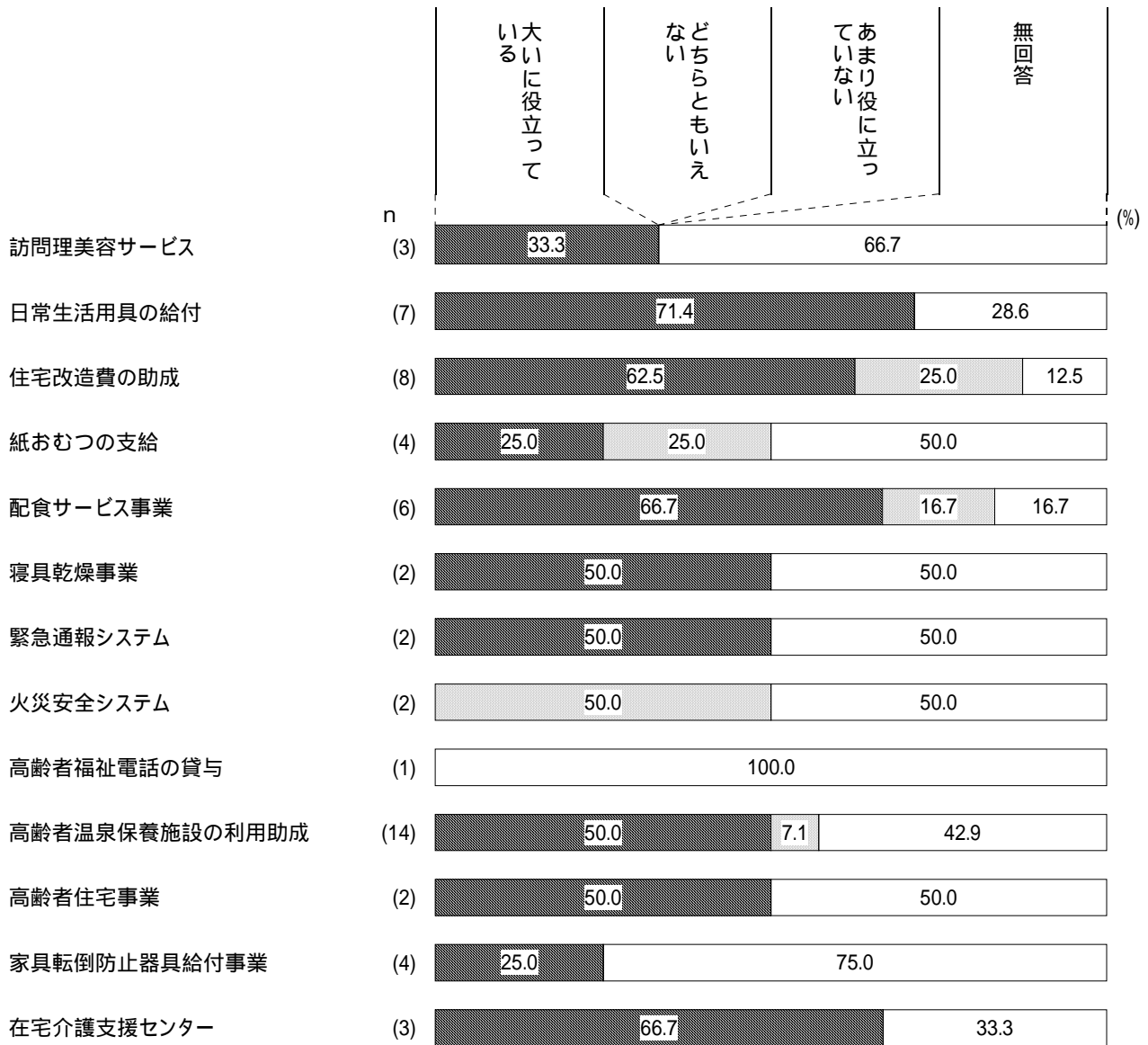


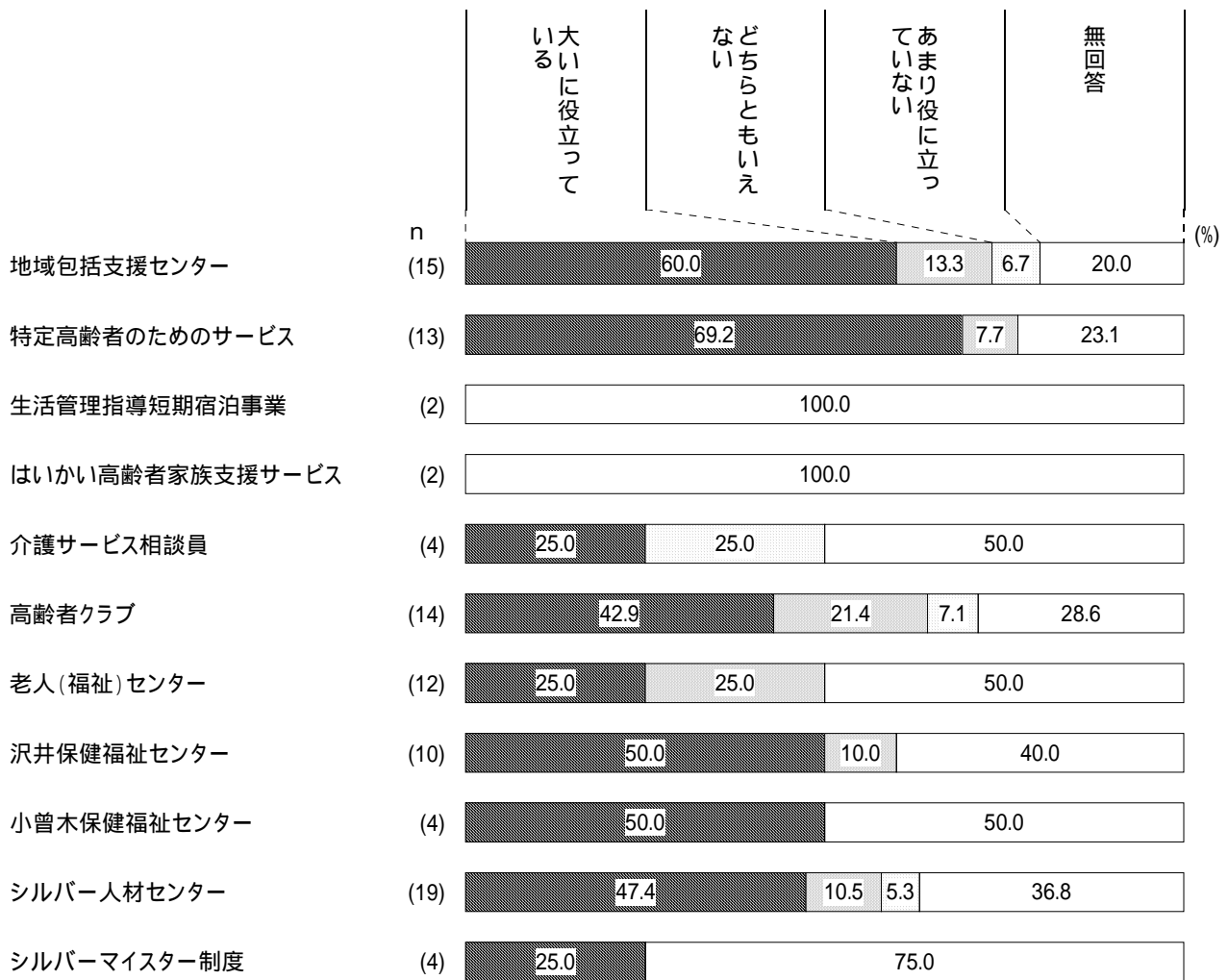


高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したことがある」割合は、『シルバー人材センター』が 13.2%で最も高く、以下、『地域包括支援センター』（10.4%）、『高齢者温泉保養施設の利用助成』（9.7%）、『高齢者クラブ』（9.7%）、『特定高齢者のためのサービス』（9.0%）の順となっている。「知っているが利用していない」割合は、『老人（福祉）センター』（32.6%）、『配食サービス事業』（29.9%）、『シルバー人材センター』（27.8%）で3割前後と高い。「知らなかった」割合は、『家具転倒防止器具給付事業』（41.7%）、『はいかい高齢者家族支援サービス』（41.0%）、『高齢者福祉電話の貸与』（38.2%）、『高齢者住宅事業』（38.2%）で4割前後と高くなっている。

第4章 地域支援事業対象者調査

(11) 高齢者福祉サービスを利用した感想

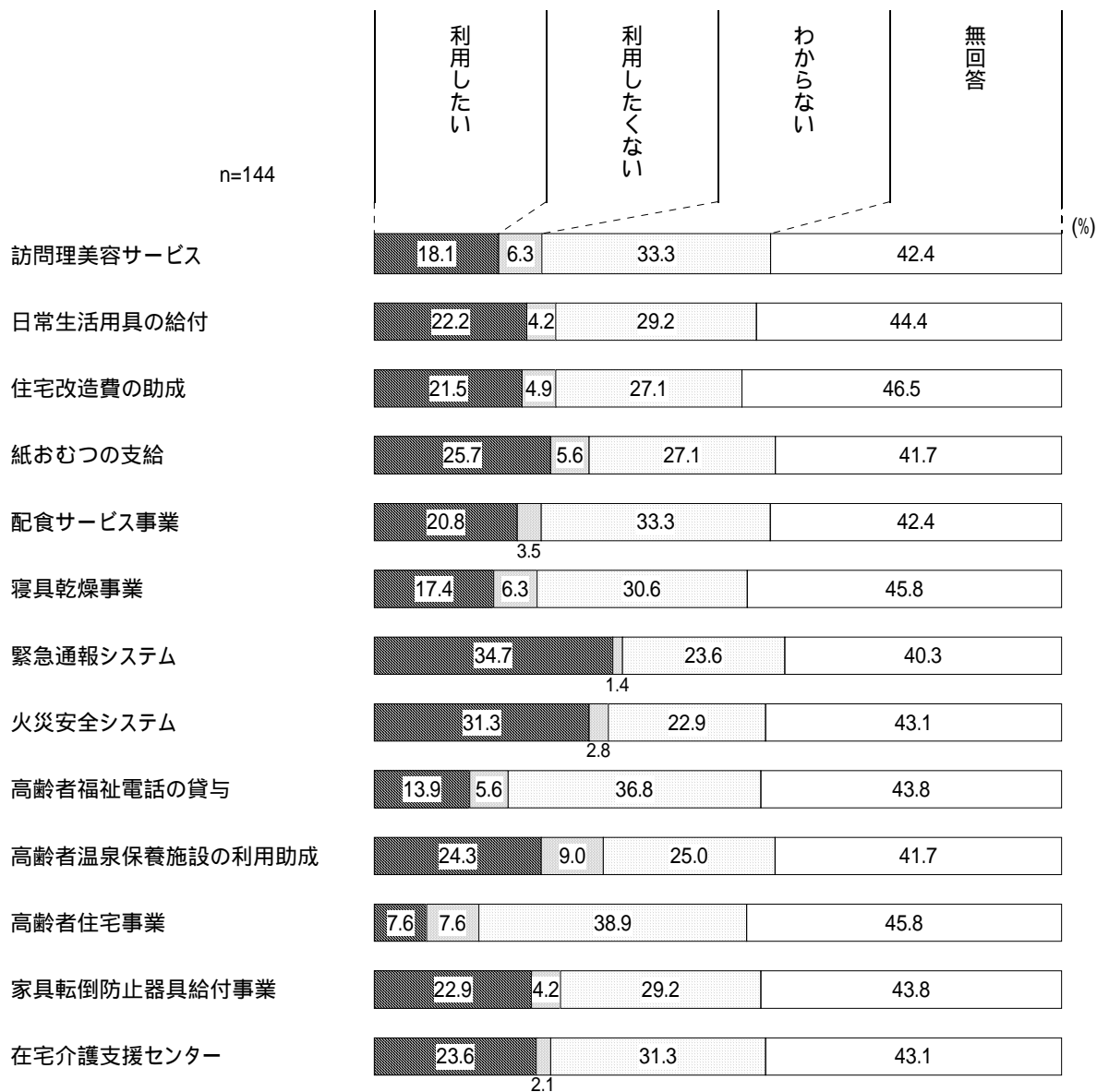


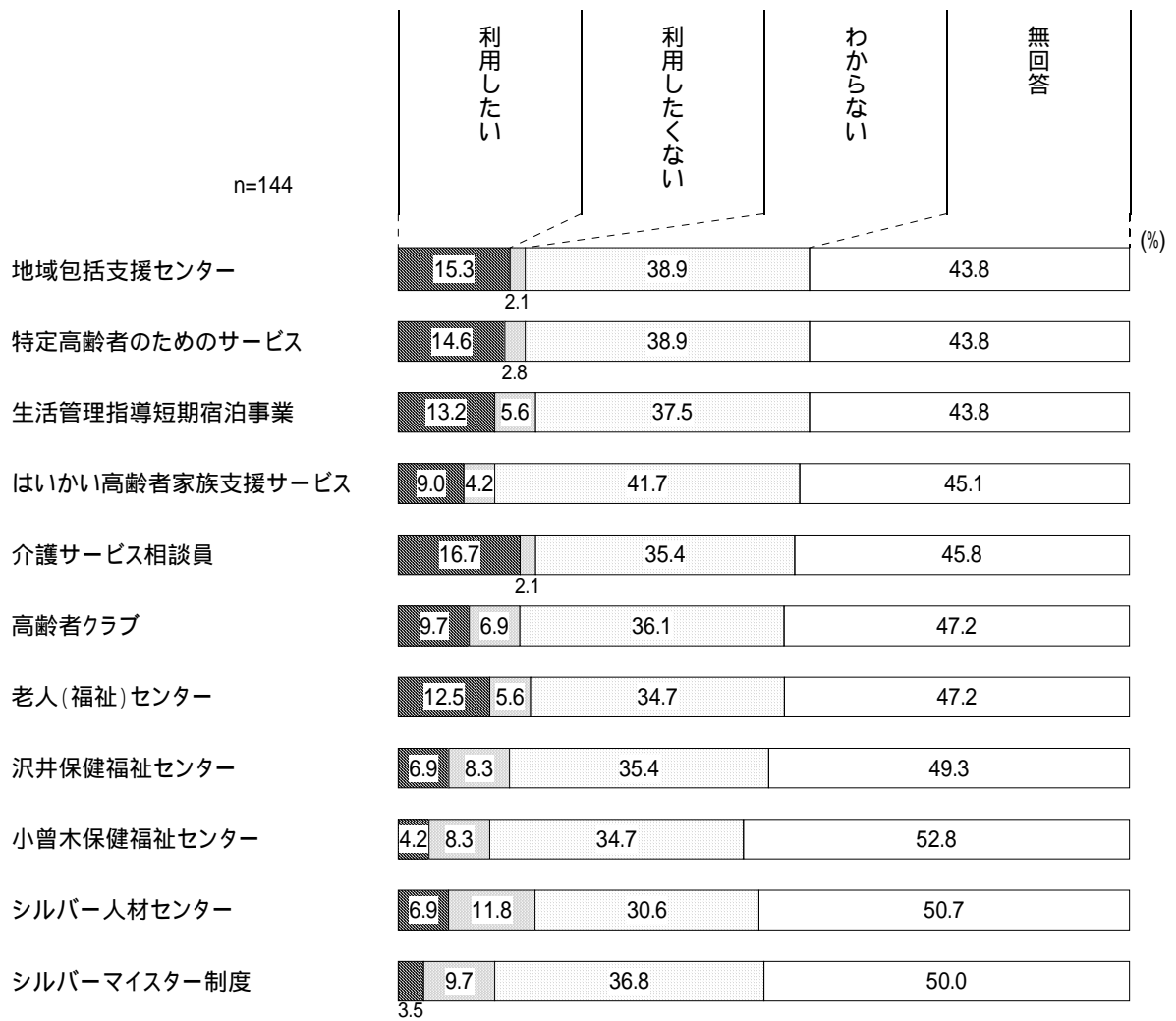


高齢者福祉サービスを利用した感想は、利用者数が少ないため参考値になるが、「大いに役立っている」との回答が多くみられる傾向にある。「あまり役に立っていない」との回答は皆無か少数であり、その中では『介護サービス相談員』(25.0%)で比較的高くなっている。

第4章 地域支援事業対象者調査

(12) 高齢者福祉サービスの今後の利用意向





高齢者福祉サービスの各事業について、「利用したい」割合は、『緊急通報システム』が 34.7%で最も高く、以下、『火災安全システム』(31.3%)、『紙おむつの支給』(25.7%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(24.3%)の順となっている。「利用したくない」割合は、『シルバー人材センター』(11.8%)、『シルバーマイスター制度』(9.7%)、『高齢者温泉保養施設の利用助成』(9.0%)で1割前後みられる。

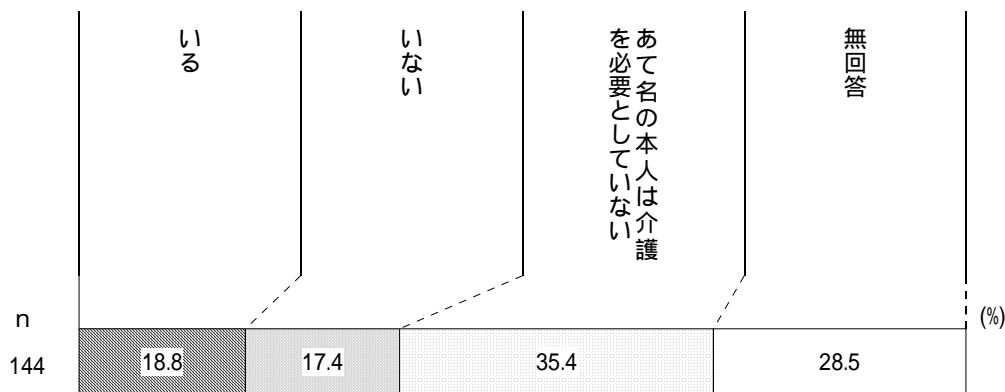
(13) 高齢者福祉サービスの利用についての自由意見

区分	記入内容	件数
1	金銭面の負担について	2
2	利用制限について	2
3	情報提供について	2
4	施設の充実について	2

1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある
「その他」を除く

(14) 家族介護者の有無

問55 あて名のご本人を介護しているご家族の方はいますか。(は1つ)

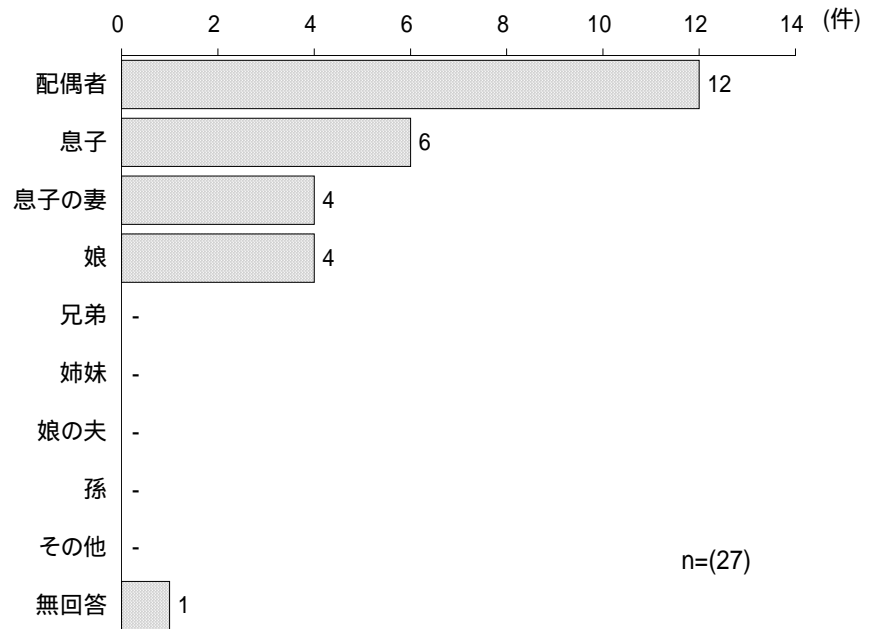


家族介護者の有無は、「あて名の本人は介護を必要としていない」が 35.4%で最も多く、以下、「いる」(18.8%)、「いない」(17.4%)の順となっている。

7. 介護者について

(1) 介護者の続柄

問56 主に介護している方（介護者）は、あて名のご本人（介護されている方）からみて、どのような関係の方ですか。（ は1つ）

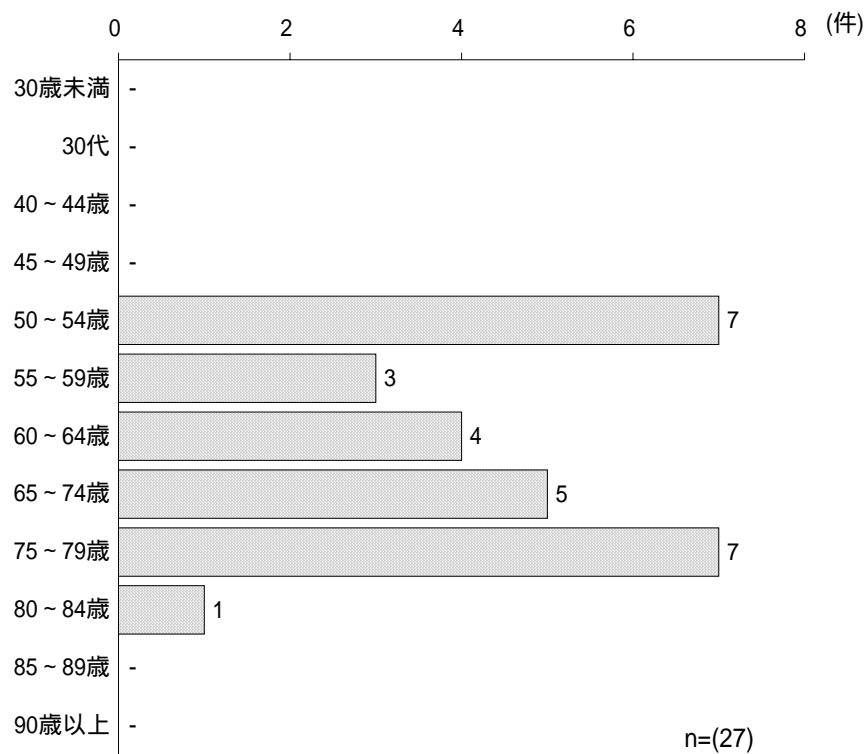


介護者の続柄は、「配偶者」が 12 件で最も多く、以下、「息子」(6 件)、「息子の妻」(4 件)、「娘」(4 件)の順となっている。

第4章 地域支援事業対象者調査

(2) 介護者の年齢

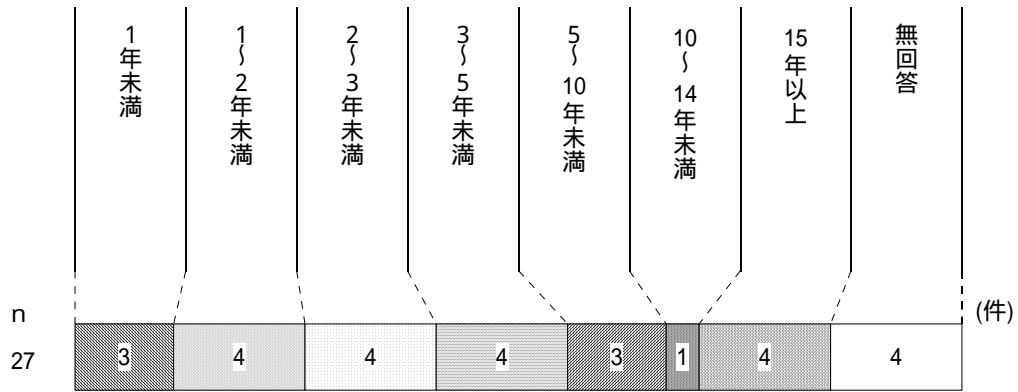
介護者の方の年齢はおいくつですか。(は1つ)



介護者の年齢は、「50～54歳」「75～79歳」がともに7件で最も多く、以下、「65～74歳」(5件)、「60～64歳」(4件)、「55～59歳」(3件)、「80～84歳」(1件)の順となっている。

(3) 介護期間

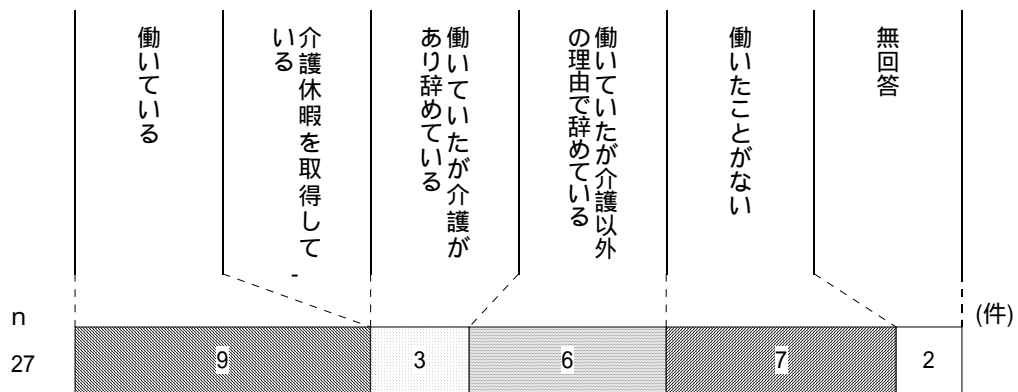
介護者の方は、どのくらいの期間介護していますか。(は1つ)



介護期間は、「1～2年未満」「2～3年未満」「3～5年未満」「15年以上」が各4件で最も多く、以下、「1年未満」(3件)、「5～10年未満」(3件)、「10～14年未満」(1件)の順となっている。

(4) 介護者の就労状況

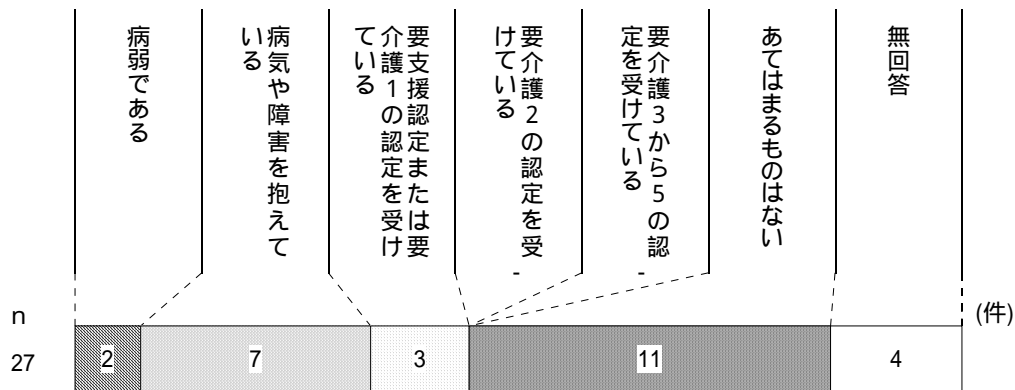
介護者の方は働いていますか。(は1つ)



介護者の就労状況は、「働いている」が9件で最も多く、以下、「働いたことがない」(7件)、「働いていたが介護以外の理由で辞めている」(6件)、「働いていたが介護があり辞めている」(3件)の順となっている。

(5) 介護者の健康状態

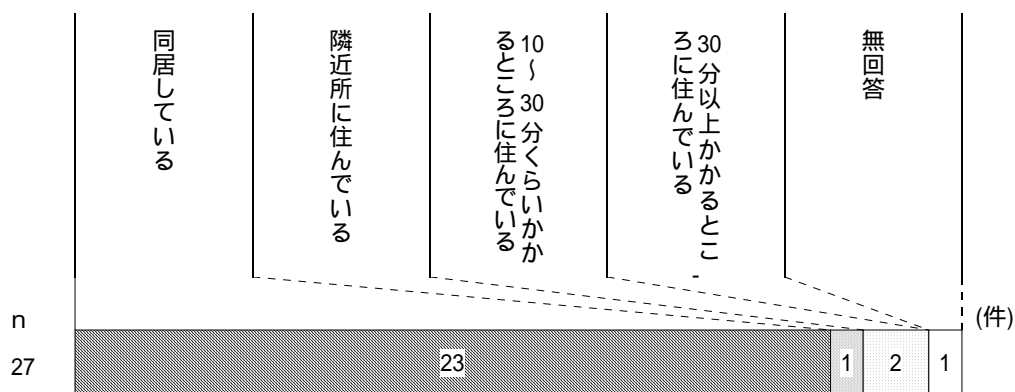
介護者の方の健康状態について、あてはまるものをお答えください。(は1つ)



介護者の健康状態は、「あてはまるものはない」が 11 件で最も多く、以下、「病気や障害を抱えている」(7 件)、「要支援認定または要介護1の認定を受けている」(3 件)、「病弱である」(2 件)の順となっている。

(6) 介護者と本人の距離

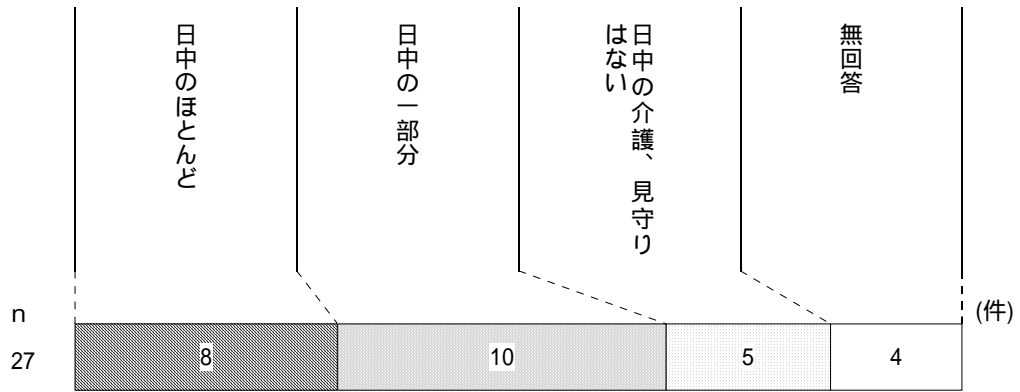
介護者の方とあて名のご本人との同別居についてお伺いします。別居している場合は、いつも通っている方法(徒歩・電車・バスなど)でどれくらいの時間がかかるか、お答えください。(は1つ)



介護者と本人の距離は、「同居している」が 23 件で最も多く、以下、「10～30 分くらいかかるところに住んでいる」(2 件)、「隣近所に住んでいる」(1 件)の順となっている。

(7) 介護、見守りに費やす時間(日中)

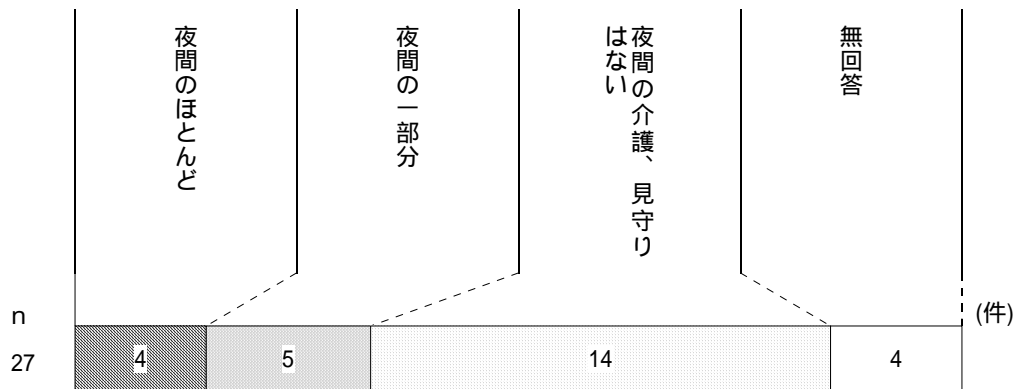
介護者の方が介護、見守りに費やしている日中の時間はどのくらいですか。(は1つ)



介護、見守りに費やす時間(日中)は、「日中の一部分」が10件で最も多く、以下、「日中のほとんど」(8件)、「日中の介護、見守りはない」(5件)の順となっている。

(8) 介護、見守りに費やす時間(夜間)

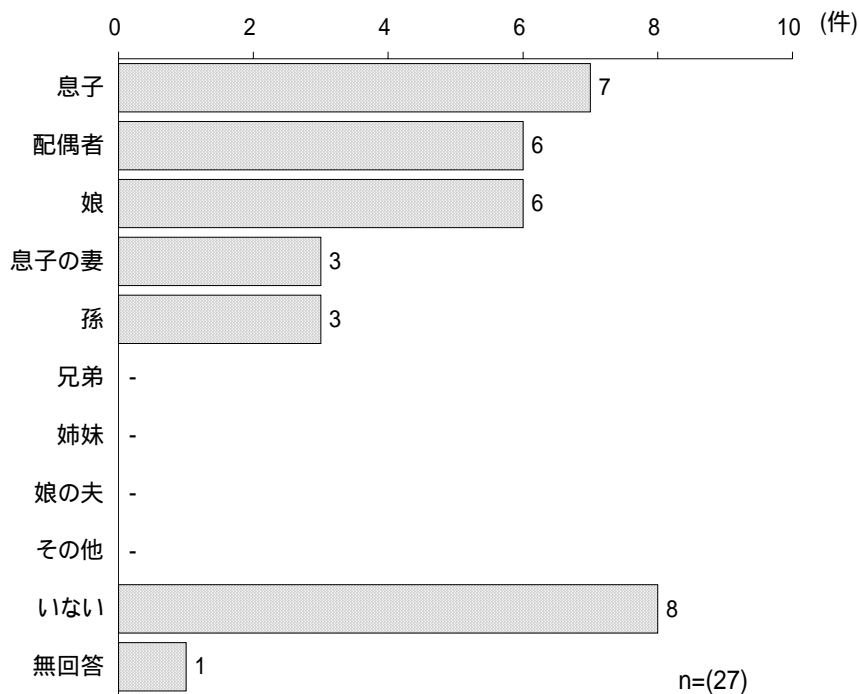
介護者の方が夜間、介護、見守りに費やしている時間はどのくらいですか。(は1つ)



介護、見守りに費やす時間(夜間)は、「夜間の介護、見守りはない」が14件で最も多く、以下、「夜間の一部分」(5件)、「夜間のほとんど」(4件)の順となっている。

(9) 介護を手伝ってくれる家族

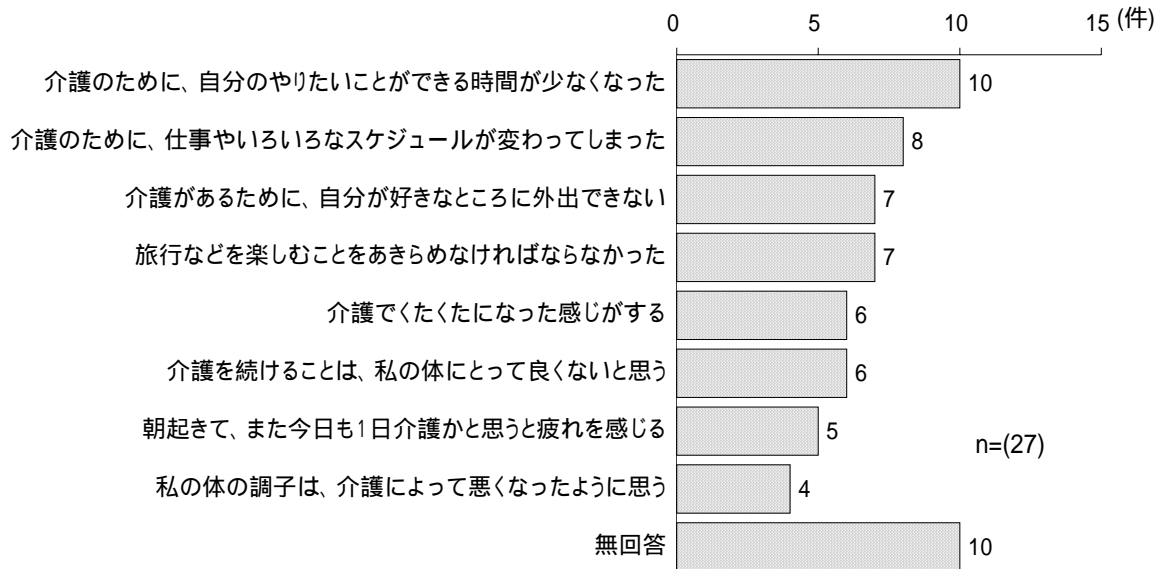
介護者以外で、あて名のご本人の介護を手伝ってくれるご家族はどなたですか。あて名のご本人との関係をお答えください。(あてはまるものすべてに)



介護を手伝ってくれる家族は、「いない」が8件である。手伝ってくれる家族の中では、「息子」が7件で最も多く、以下、「配偶者」(6件)、「娘」(6件)、「息子の妻」(3件)、「孫」(3件)の順となっている。

(10) 介護に際して感じるストレス

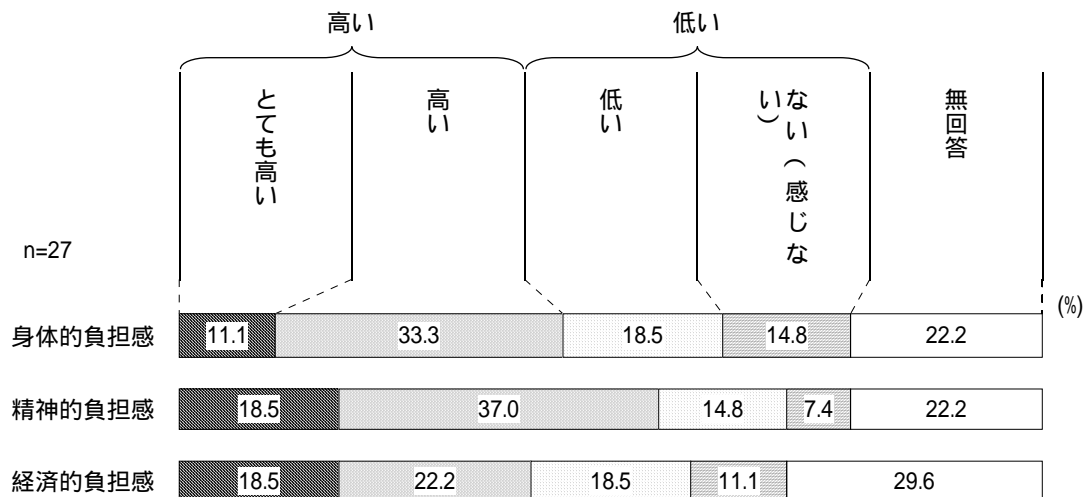
問57 介護者の方は、介護に際してストレスを感じることがありますか。次にあげる各項目について、現在、あてはまるものをお選びください。(あてはまるものすべてに)



介護に際して感じるストレスは、「介護のために、自分のやりたいことができる時間が少なくなった」が10件で最も多く、以下、「介護のために、仕事やいろいろなスケジュールが変わってしまった」(8件)、「介護があるために、自分が好きなところに外出できない」(7件)、「旅行などを楽しむことをあきらめなければならなかった」(7件)の順となっている。

(11) 介護の負担感

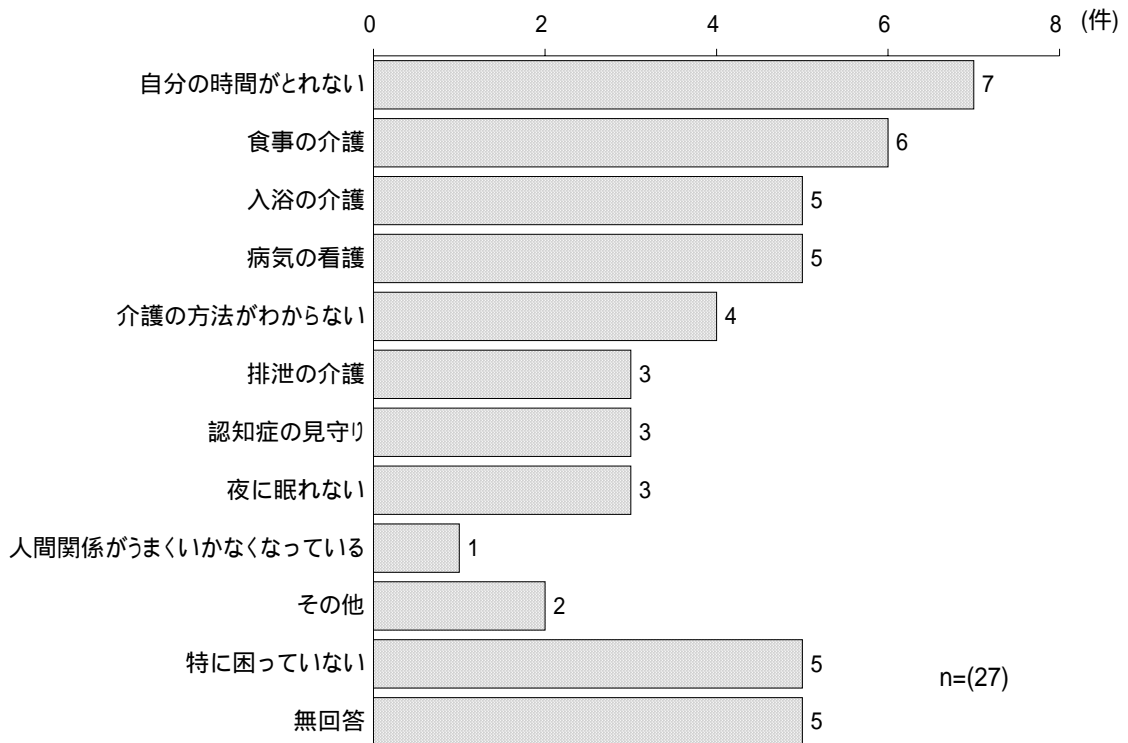
問58 介護をする上で、介護者の方が感じる負担感はどの程度ですか。次にあげる各項目について、それぞれあてはまるものを選んでください。(それぞれは1つ)



介護の負担感が「とても高い」と「高い」を合わせた《高い》の割合は、『精神的負担感』で55.5%と最も高く、『身体的負担感』では44.4%、『経済的負担感』では40.7%となっている。

(12) 介護者が困っていること

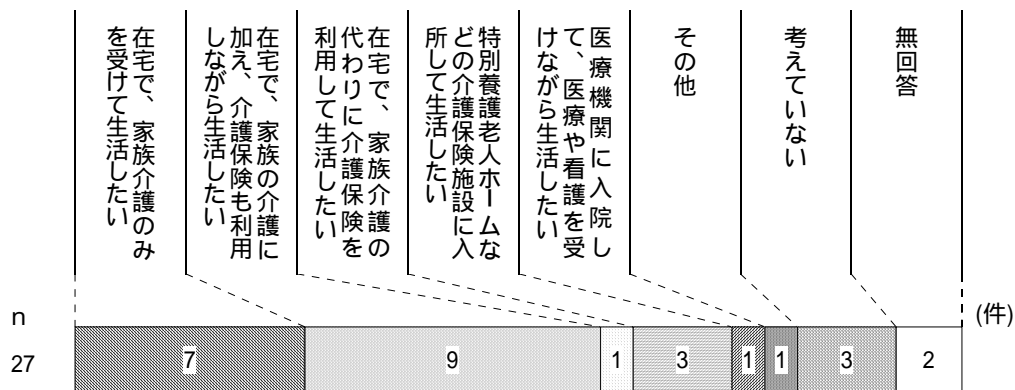
問59 介護者の方がお困りのことは何ですか。(あてはまるものすべてに)



介護者が困っていることは、「自分の時間がとれない」が7件で最も多く、以下、「食事の介護」(6件)、「入浴の介護」(5件)、「病気の看護」(5件)、「介護の方法がわからない」(4件)、「排泄の介護」(3件)、「認知症の見守り」(3件)、「夜に眠れない」(3件)の順となっている。また、「特に困っていない」が5件みられる。

(13) 介護者が自身に希望する介護形態

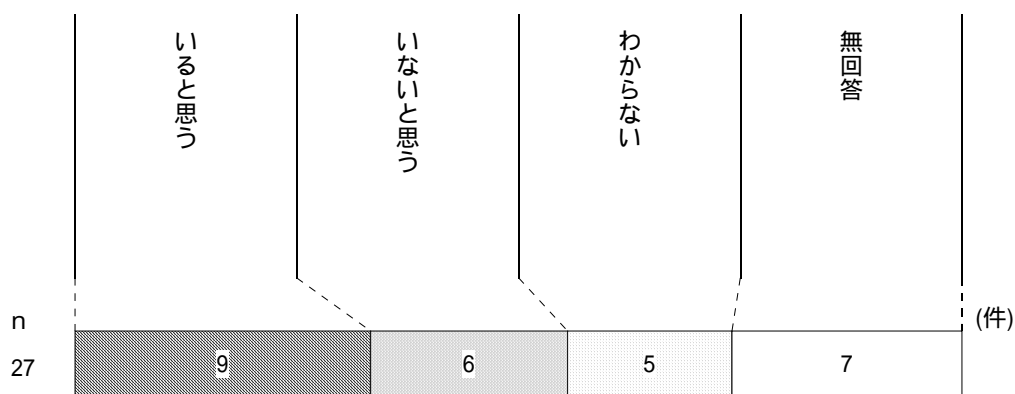
問60 今後、介護者ご自身が、介護や生活上の手助けが必要となった場合、どこで生活したいとお考えですか。(は1つ)



介護者が自身に希望する介護形態は、「在宅で、家族の介護に加え、介護保険も利用しながら生活したい」が9件で最も多く、以下、「在宅で、家族介護のみを受けて生活したい」(7件)、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所して生活したい」(3件)の順となっている。また、「考えていない」が3件みられる。

(14) 将来、介護者を介護してくれる人の有無

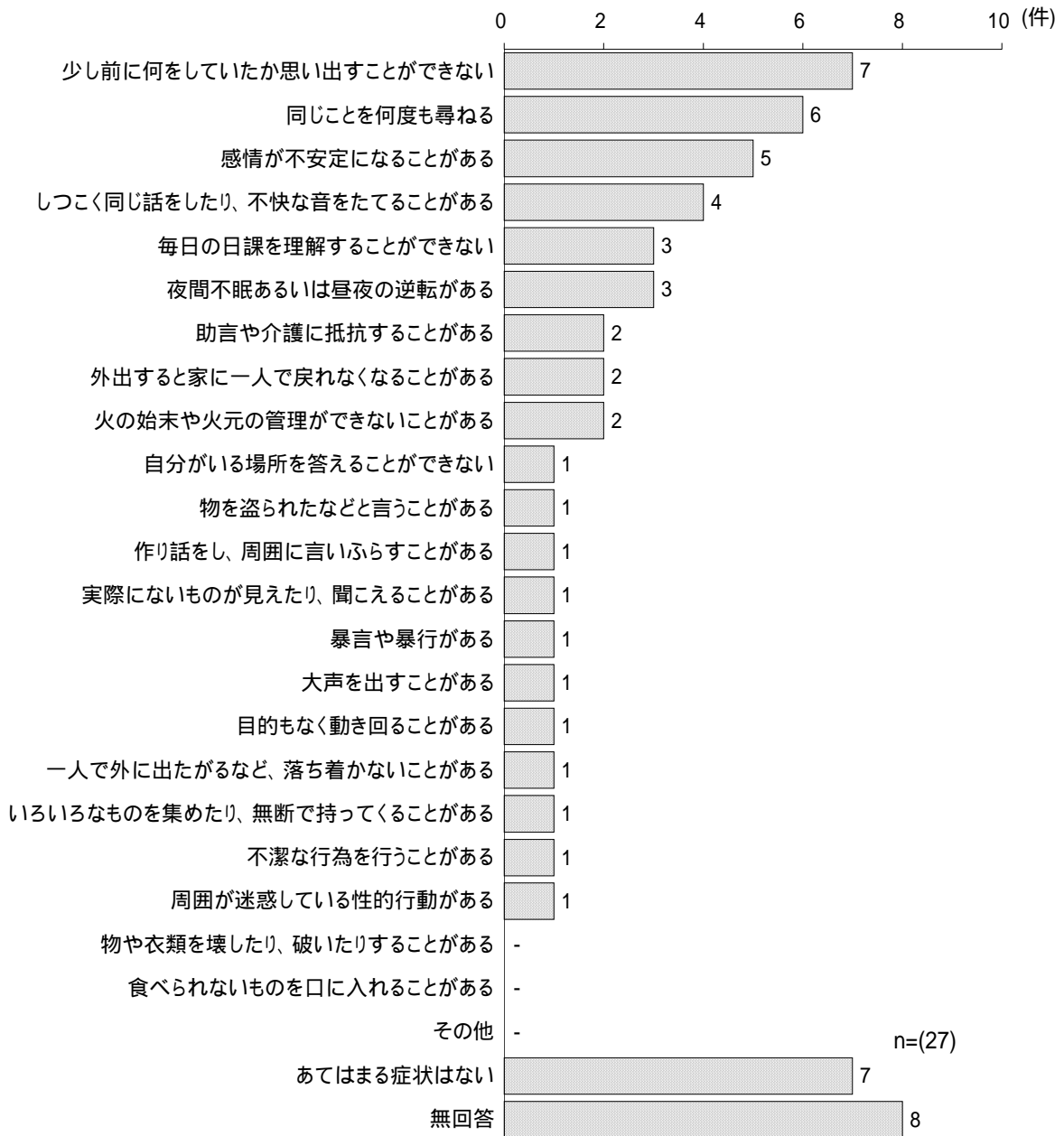
問61 将来、介護者であるあなたに介護や介助が必要となった場合についておたずねします。あなたを介護したり、生活を手助けしてくれる人はいますか。(は1つ)



将来、介護者を介護してくれる人の有無は、「いると思う」(9件)、「いないと思う」(6件)、「わからない」(5件)となっている。

(15) 認知症の症状

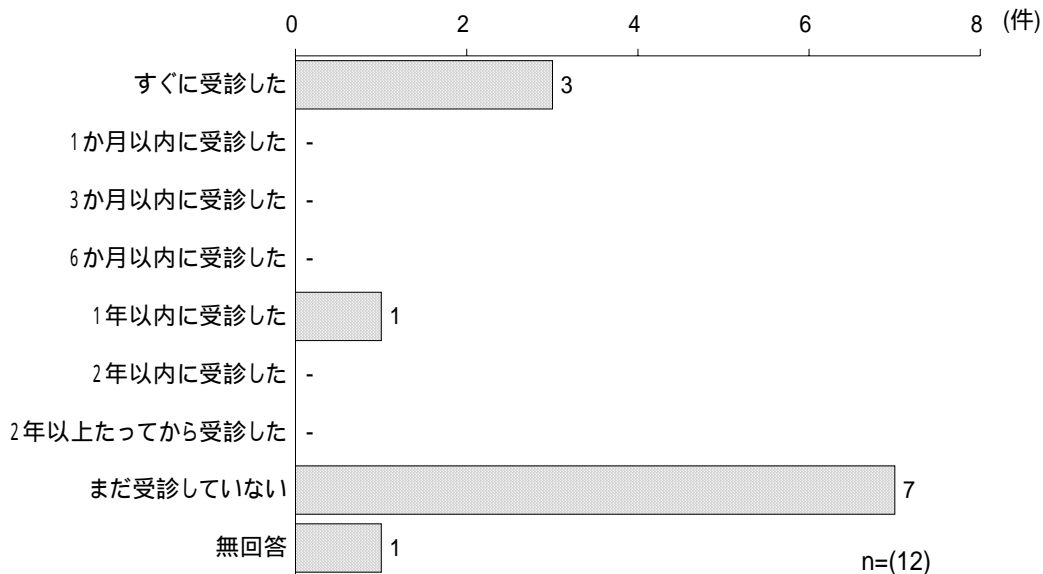
問62 - 1 あて名のご本人にあてはまる症状はありますか。(あてはまるものに)



認知症の症状は、「少し前に何をしていたか思い出すことができない」が7件で最も多く、以下、「同じことを何度も尋ねる」(6件)、「感情が不安定になることがある」(5件)、「しつこく同じ話をしたり、不快な音をたてることがある」(4件)、「毎日の日課を理解することができない」(3件)、「夜間不眠あるいは昼夜の逆転がある」(3件)の順となっている。また、「あてはまる症状はない」が7件みられる。

(16) 認知症を発症して受診するまでの期間

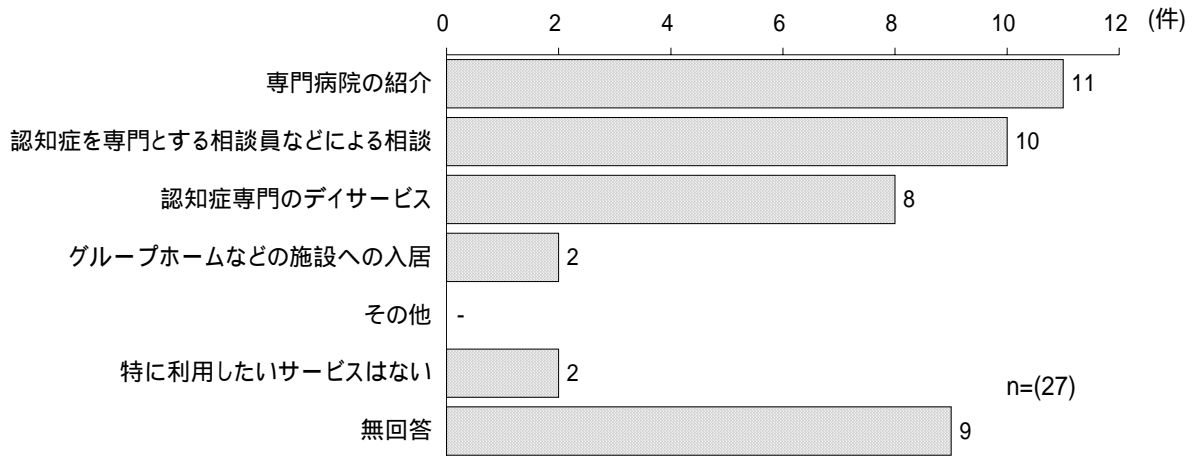
問62 - 2 前問で をつけた症状に気づいてから、その症状について医療機関に受診するまで、どれくらいの期間がありましたか。(は1つ)



認知症を発症して受診するまでの期間は、「まだ受診していない」が7件で最も多く、以下、「すぐに受診した」(3件)、「1年以内に受診した」(1件)の順となっている。

(17) 認知症に関して利用したいサービス

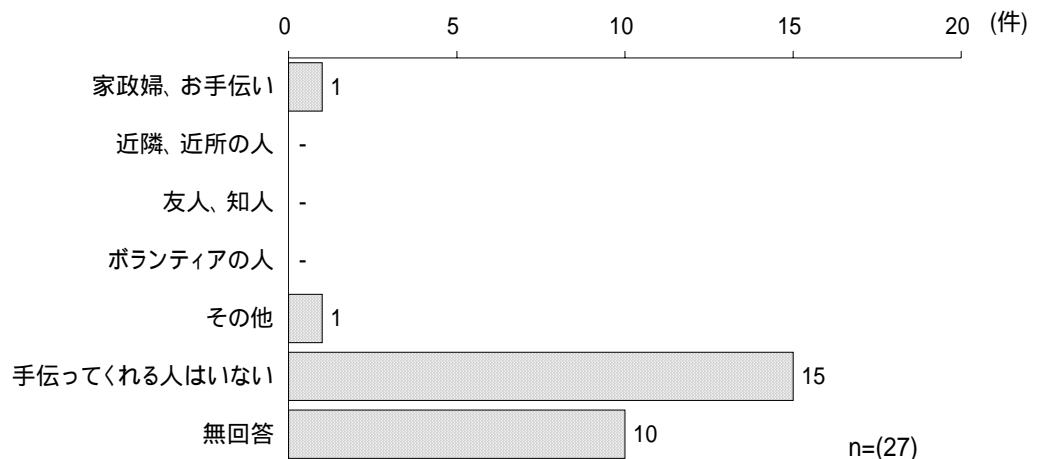
問63 あて名のご本人に、認知症の症状が出た場合、主に介護している方はどのようなサービスがあれば利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに)



認知症に関して利用したいサービスは、「専門病院の紹介」が 11 件で最も多く、以下、「認知症を専門とする相談員などによる相談」(10 件)、「認知症専門のデイサービス」(8 件)、「グループホームなどの施設への入居」(2 件)の順となっている。

(18) 家族以外で介護者を手伝ってくれる人

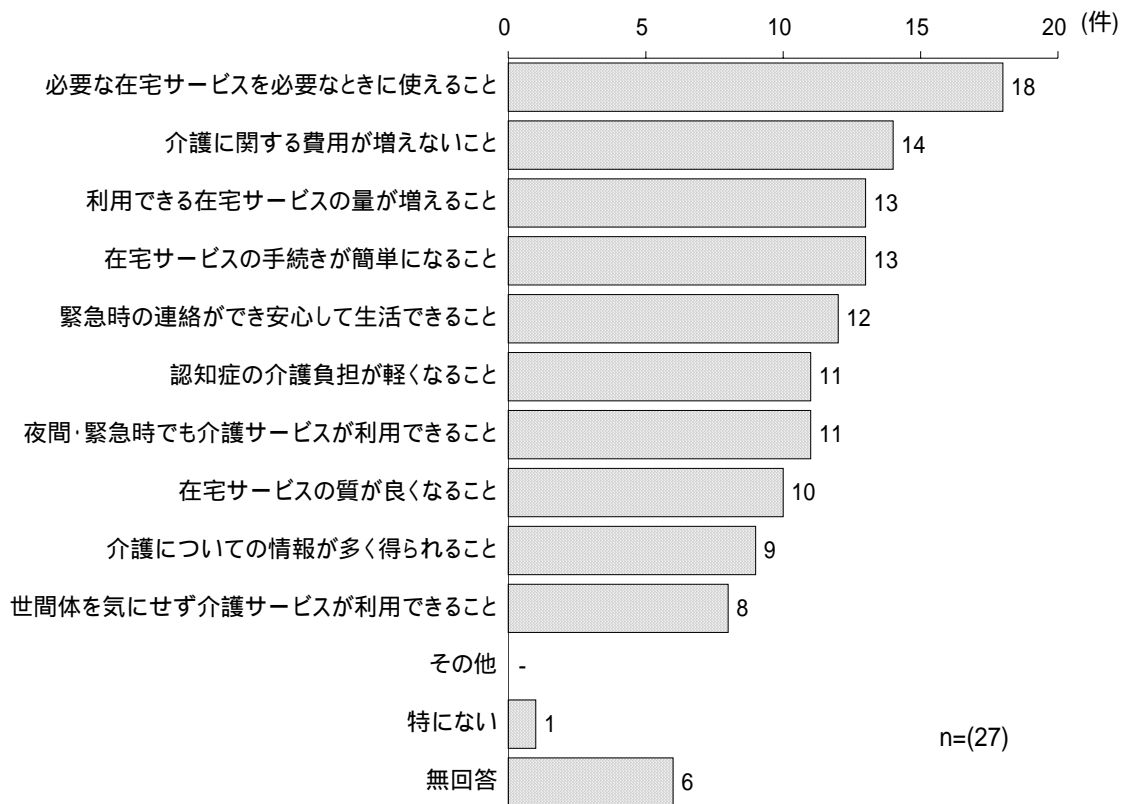
問64 ご家族以外で、また介護保険サービス以外で、主に介護している方の介護を手伝ってくれる方はいますか。(あてはまるものすべてに)



家族以外で介護者を手伝ってくれる人は、「手伝ってくれる人はいない」(15 件)、「家政婦、お手伝い」(1 件)、「その他」(1 件)となっている。

(19) 在宅生活を続けるために必要なこと

問65 今後も在宅生活を続けるためには、何が必要ですか。(あてはまるものすべてに)



在宅生活を続けるために必要なことは、「必要な在宅サービスを必要なときに使えること」が18件で最も多く、以下、「介護に関する費用が増えないこと」(14件)、「利用できる在宅サービスの量が増えること」(13件)、「在宅サービスの手続きが簡単になること」(13件)、「緊急時の連絡ができ安心して生活できること」(12件)の順となっている。

8. 自由意見

問66 今後の青梅市の高齢者施策についてのご意見等、ご自由にご記入ください。

区分	記入内容	件数
1	施設入所について	9
2	介護保険料について	4
3	介護保険制度について	4
4	金銭面の負担について	4
5	医療体制について	3
6	情報提供について	3

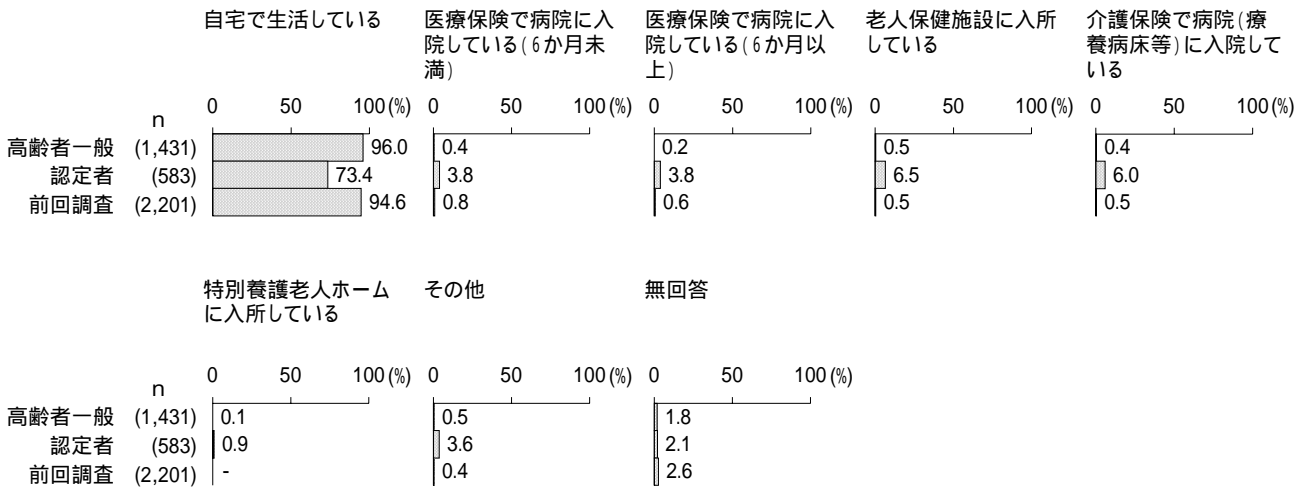
1 調査票に複数の記入内容がある場合、複数でカウントしてある「その他」を除く

〔参考〕 調査間比較・経年比較

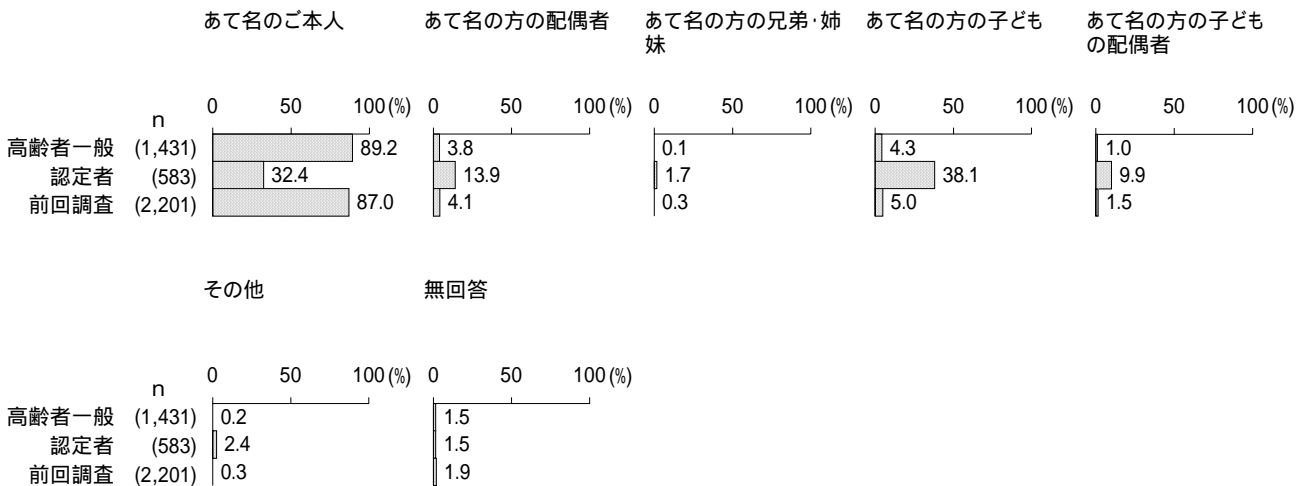
前回調査と共通する項目のみ比較している

1. 本人について

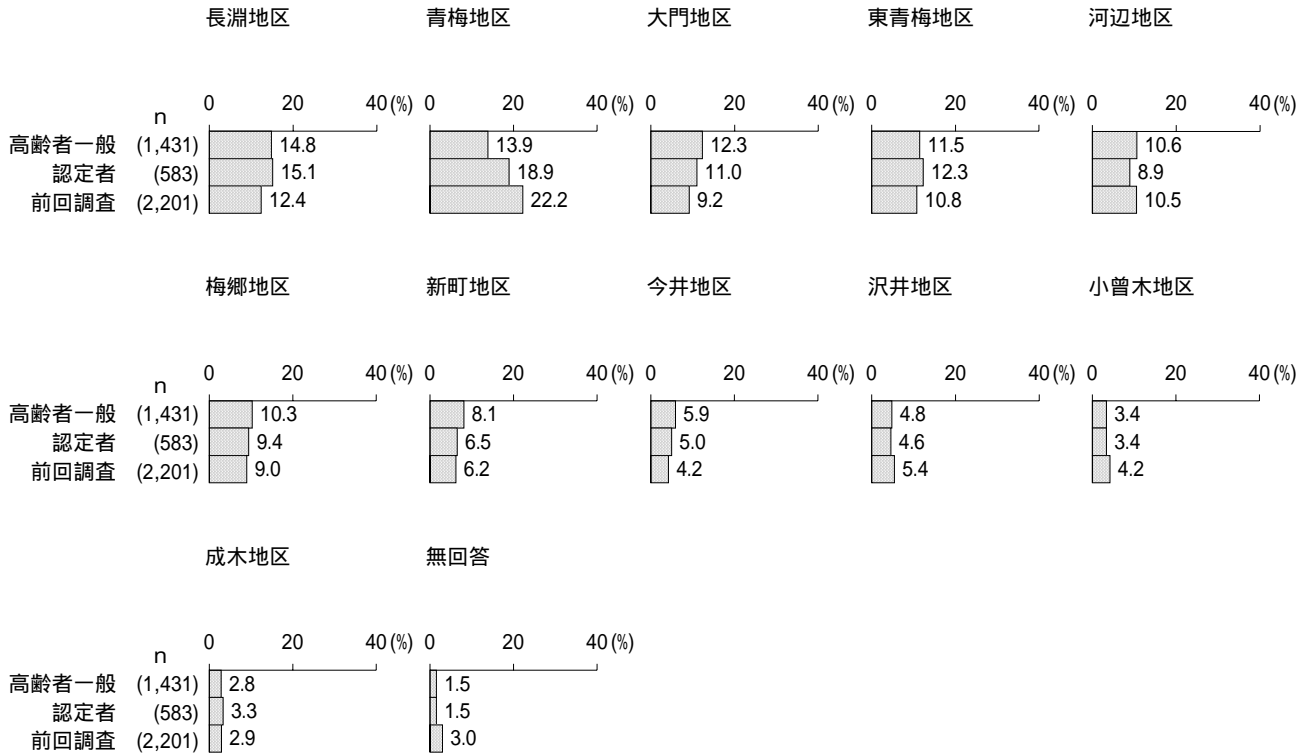
(1) 現在の居住場所



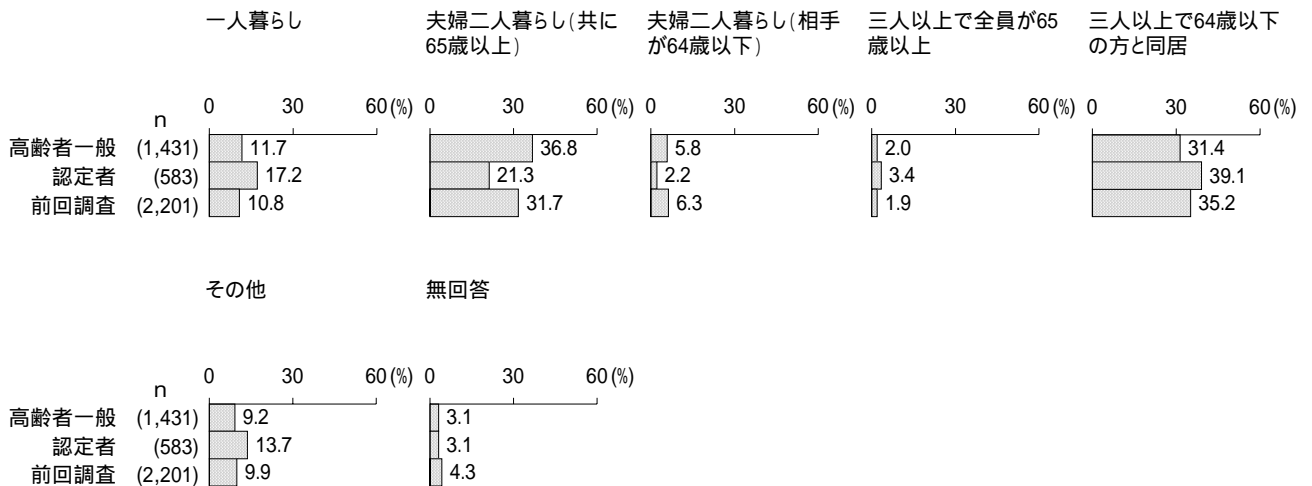
(2) 回答者



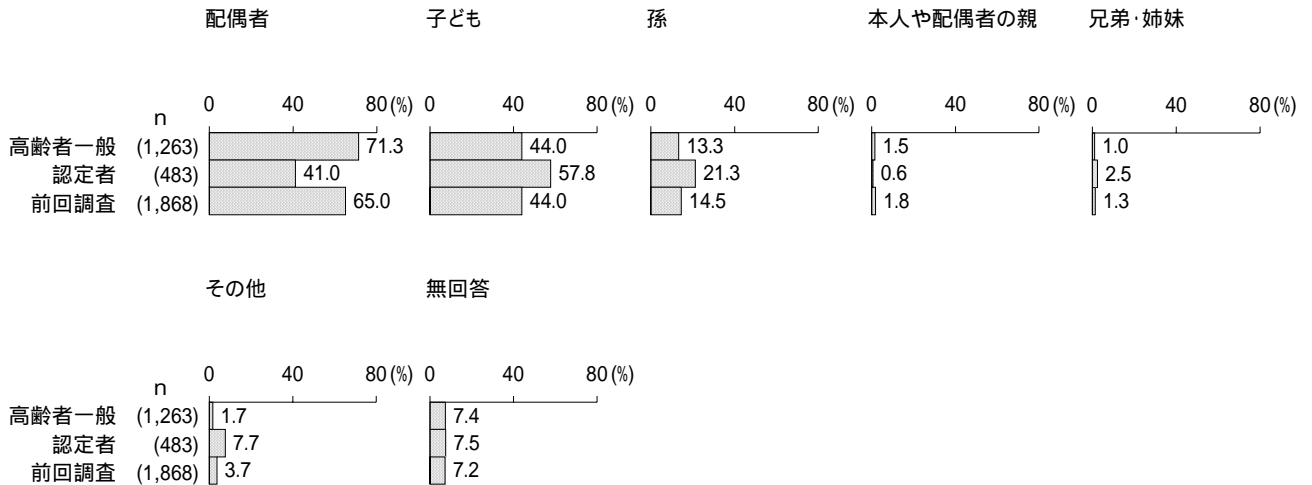
(3) 居住地区



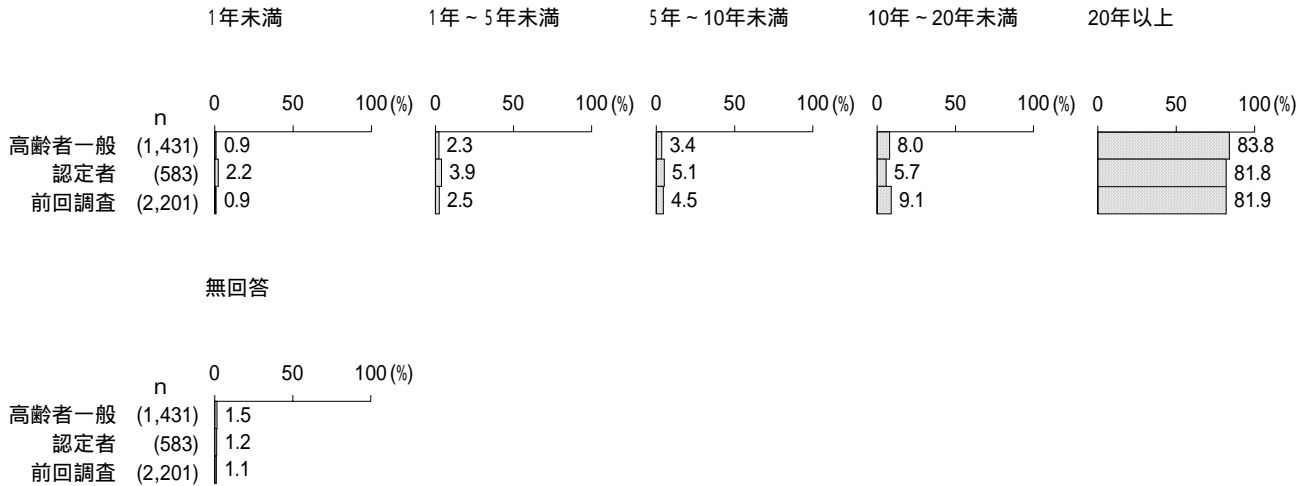
(4) 家族構成



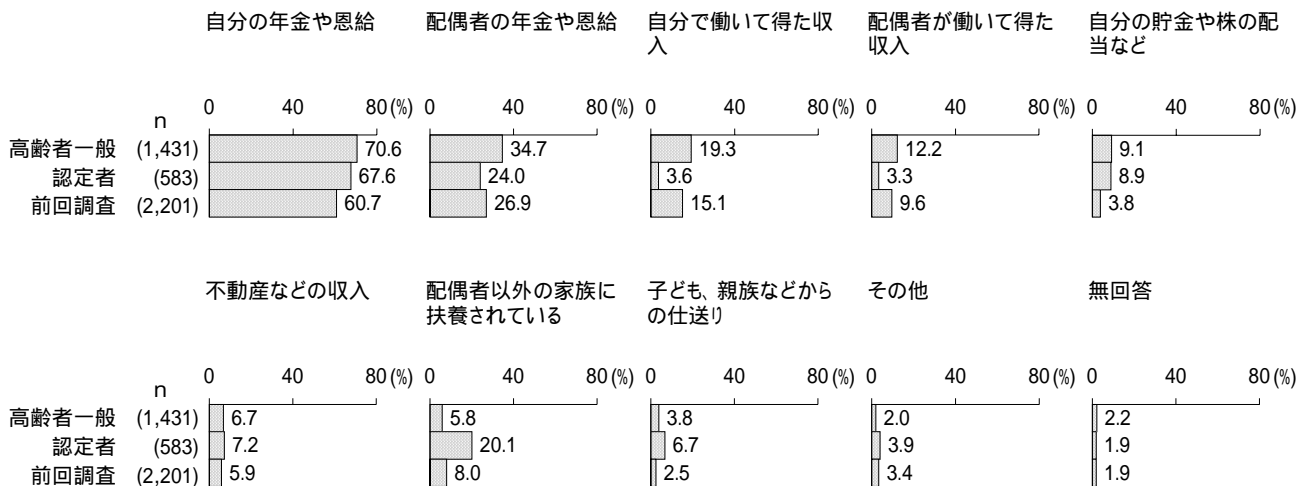
(5) 同居者



(6) 市内居住年数

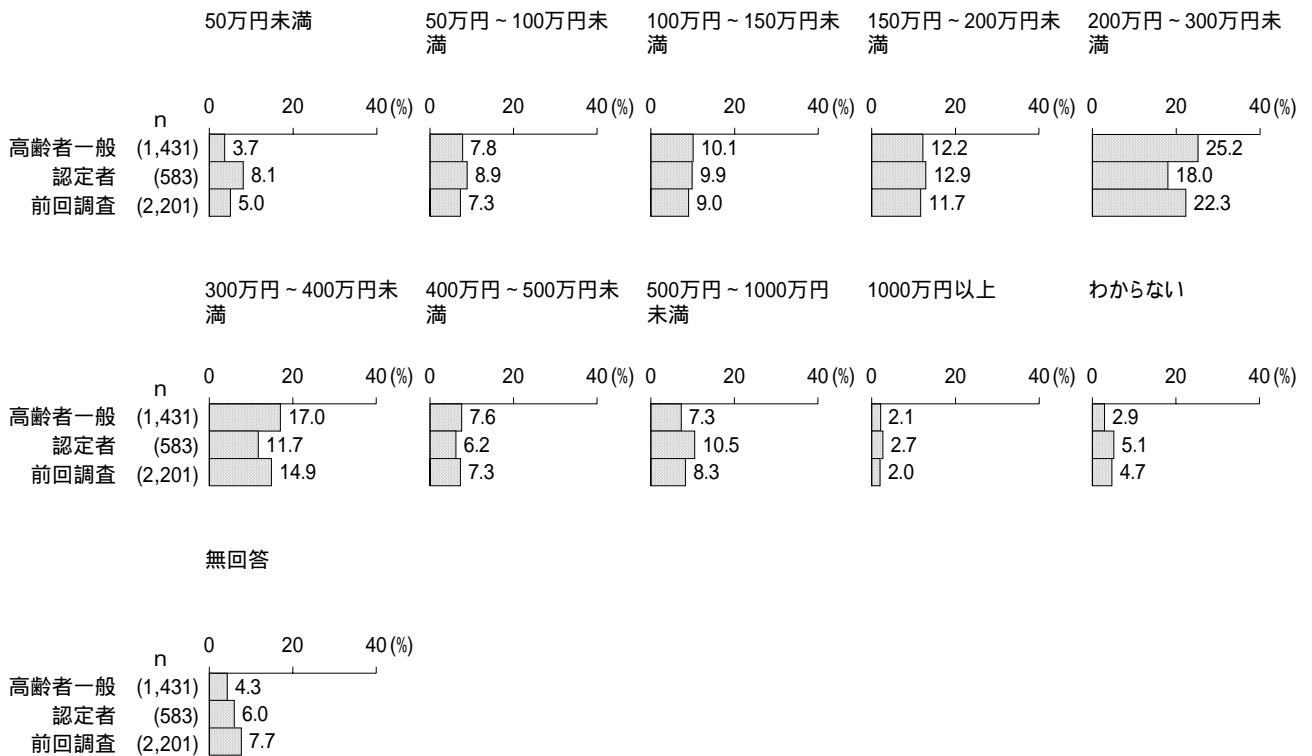


(7) 生活費

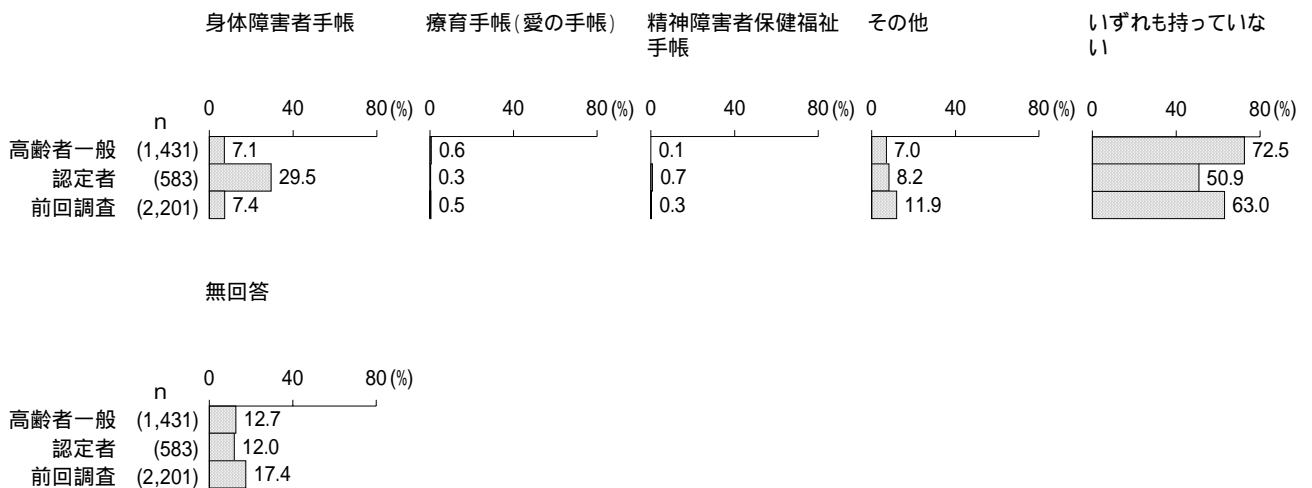


〔参考〕調査間比較・経年比較

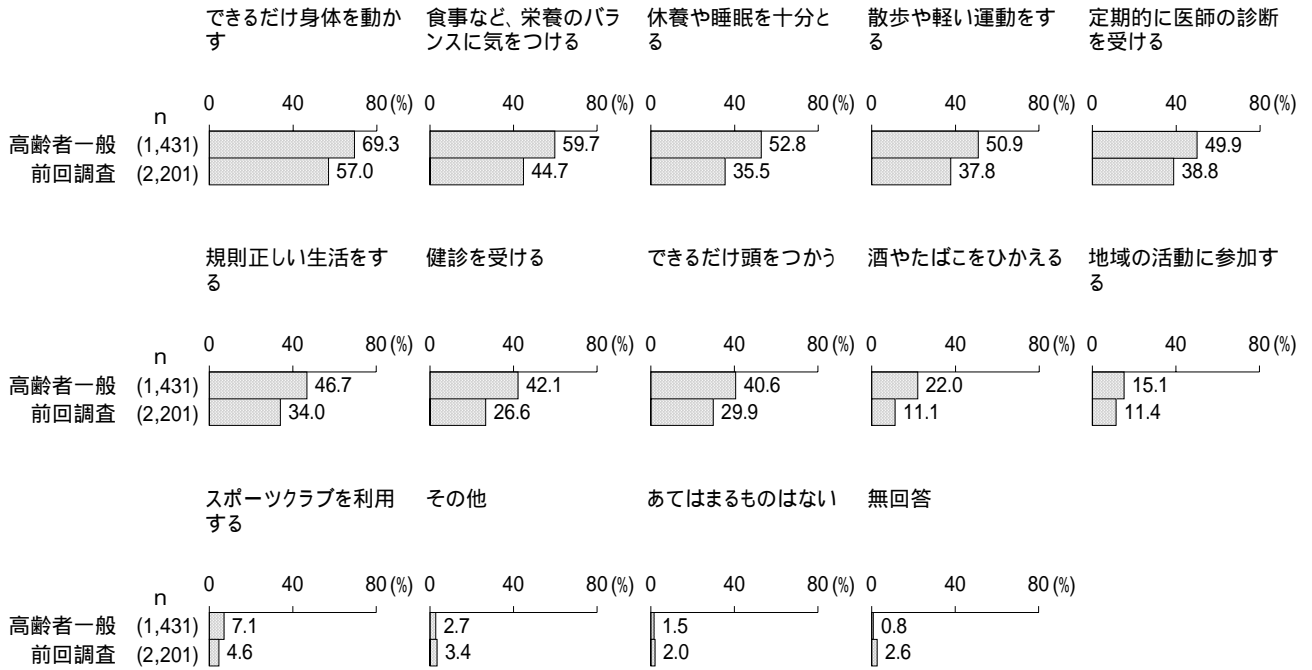
(8) 世帯年間収入額



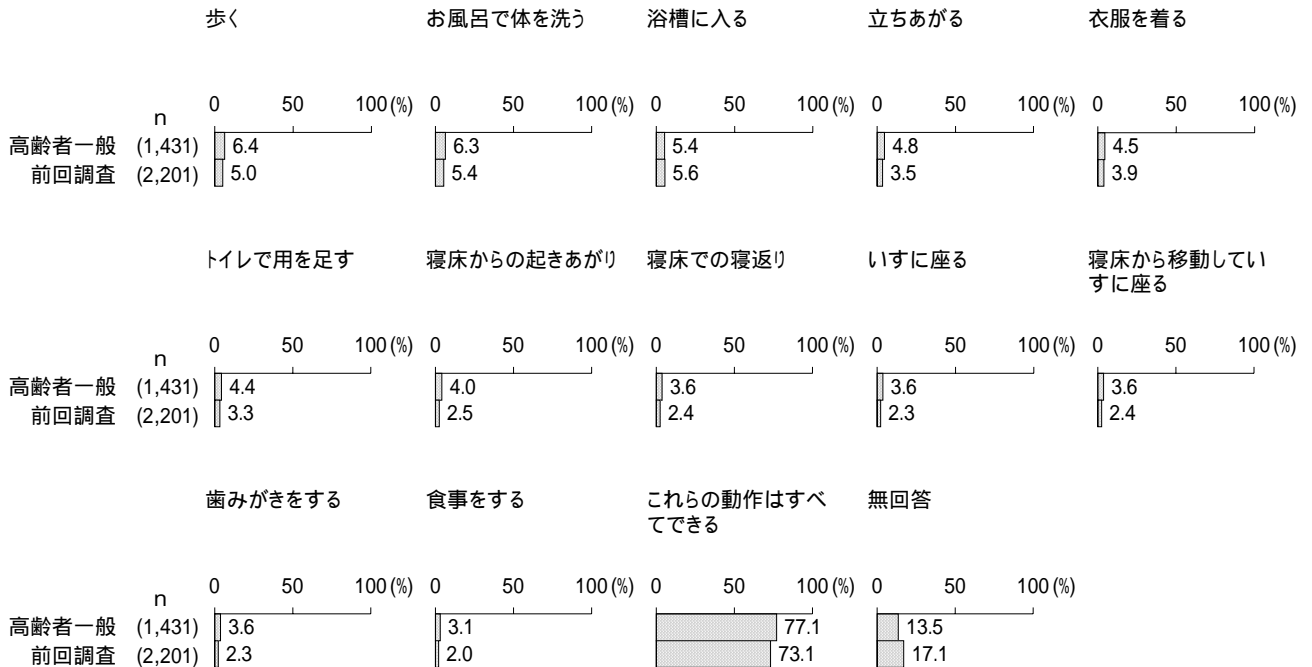
(9) 所持している手帳の種類



(10) 健康のために心がけていること

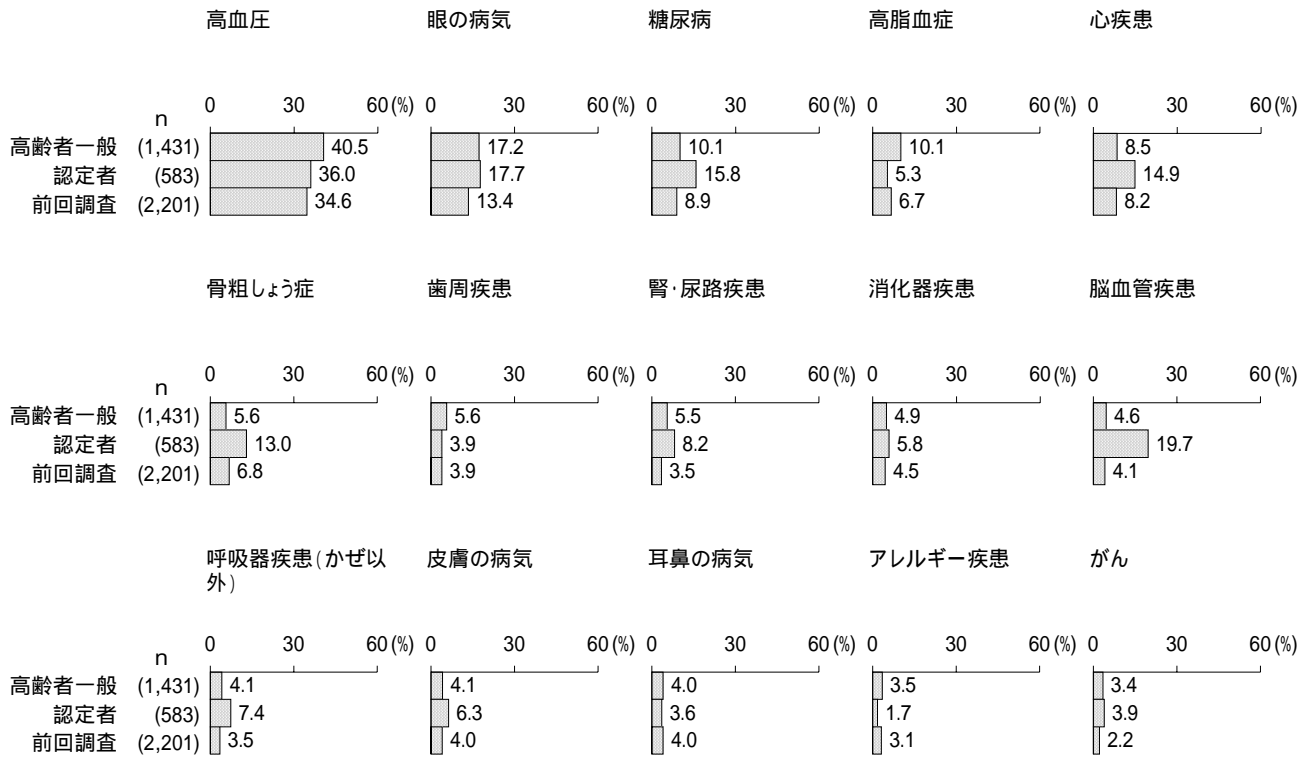


(11) 一人でできない動作

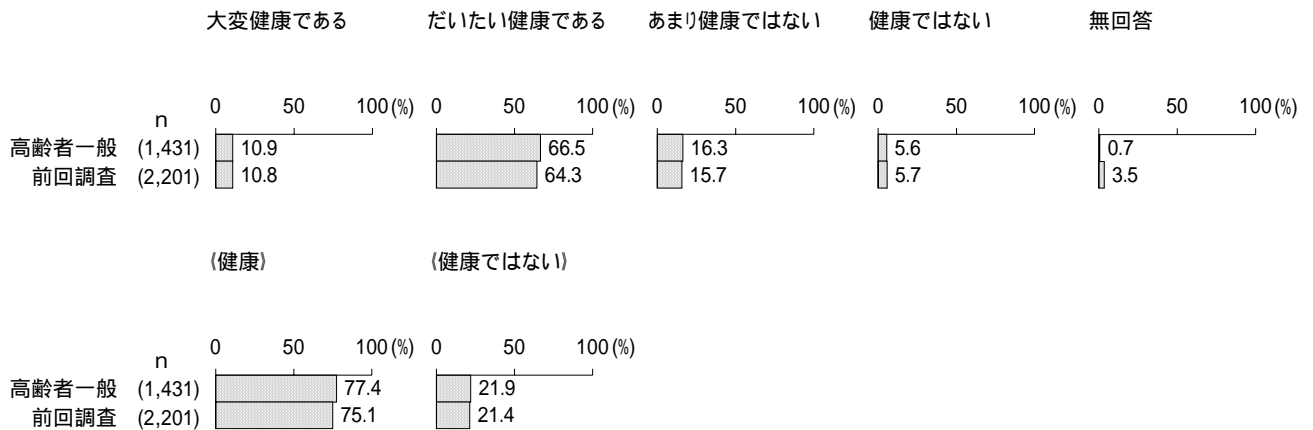


〔参考〕調査間比較・経年比較

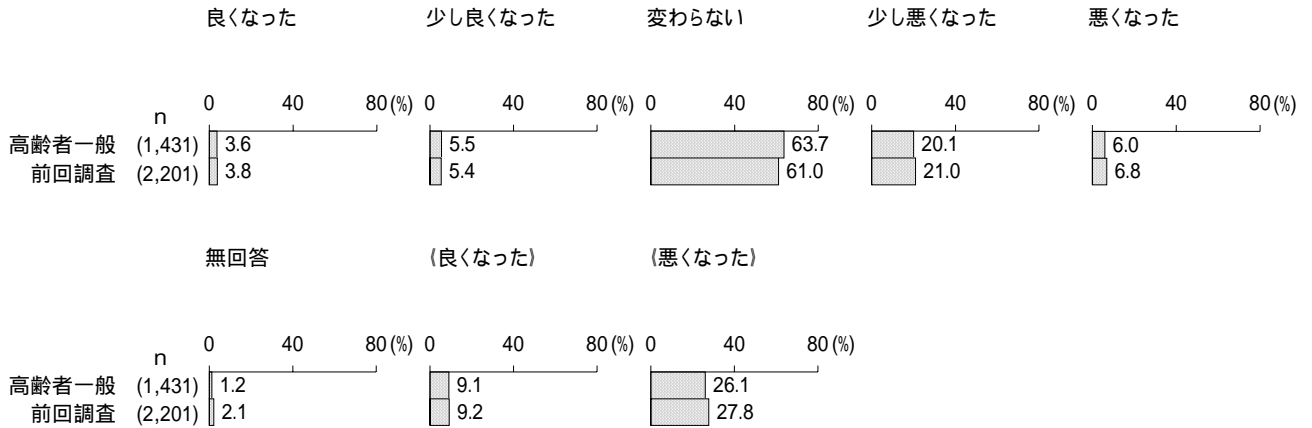
(12) 継続的に治療している病気やけが(上位15位)



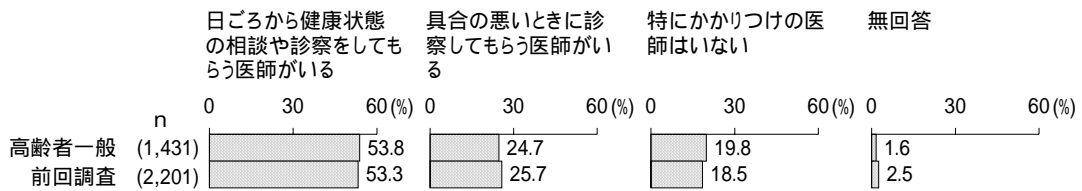
(13) ここ3か月の健康状態



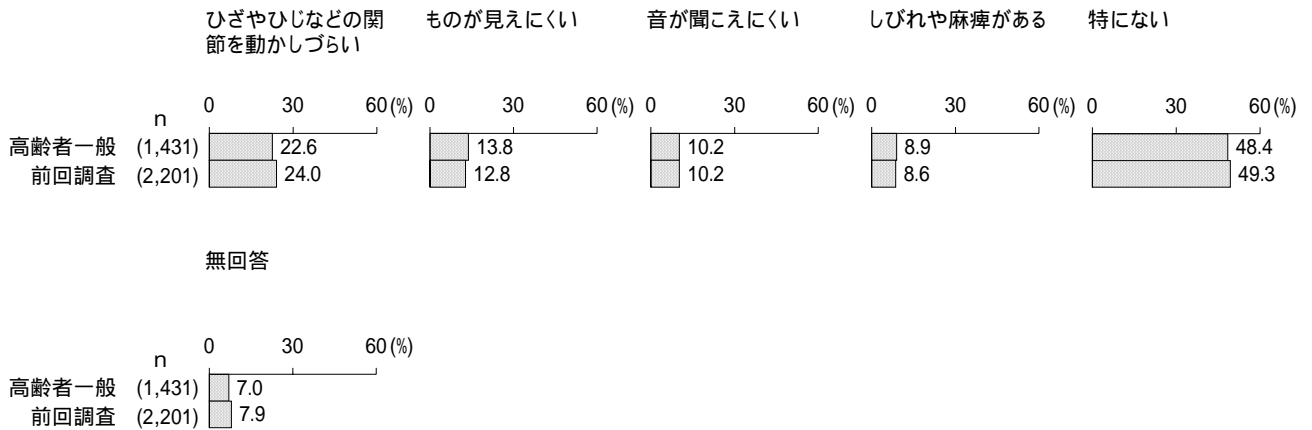
(14) 1年前と比べた健康状態の変化



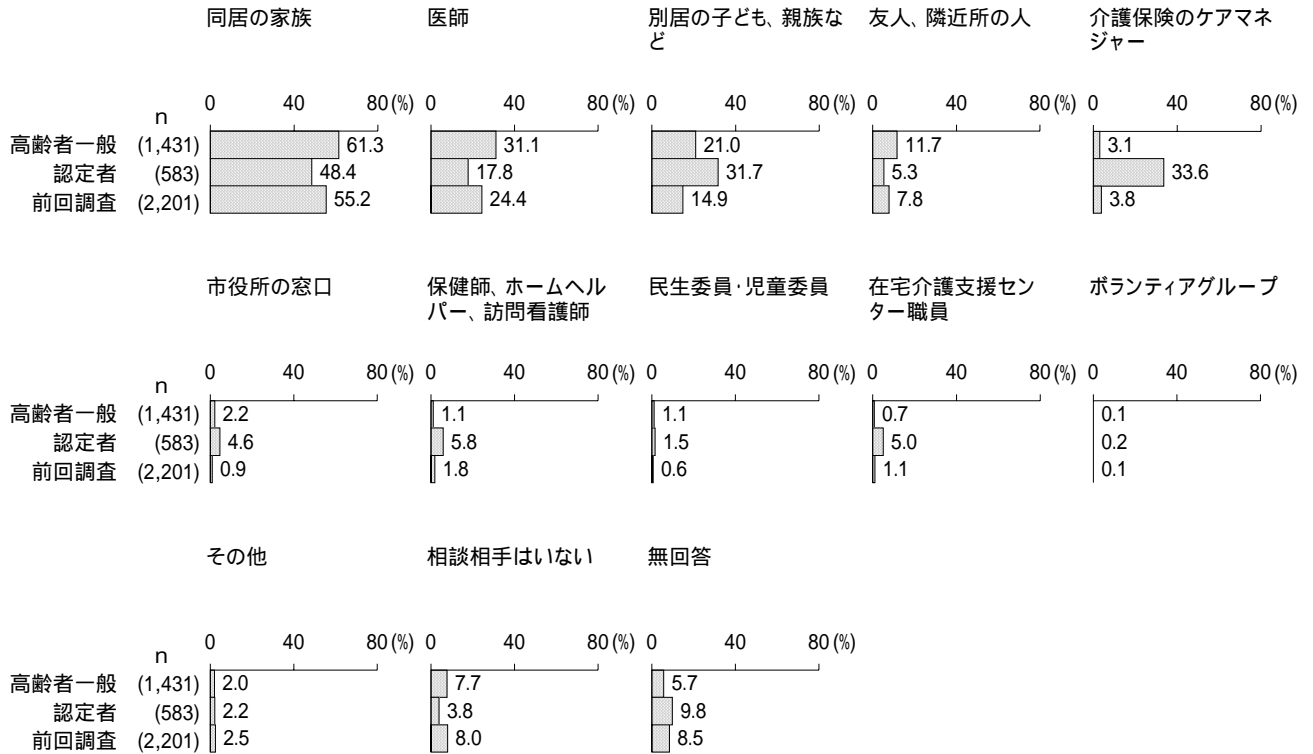
(15) かかりつけ医の有無



(16) 日常生活に支障のある症状



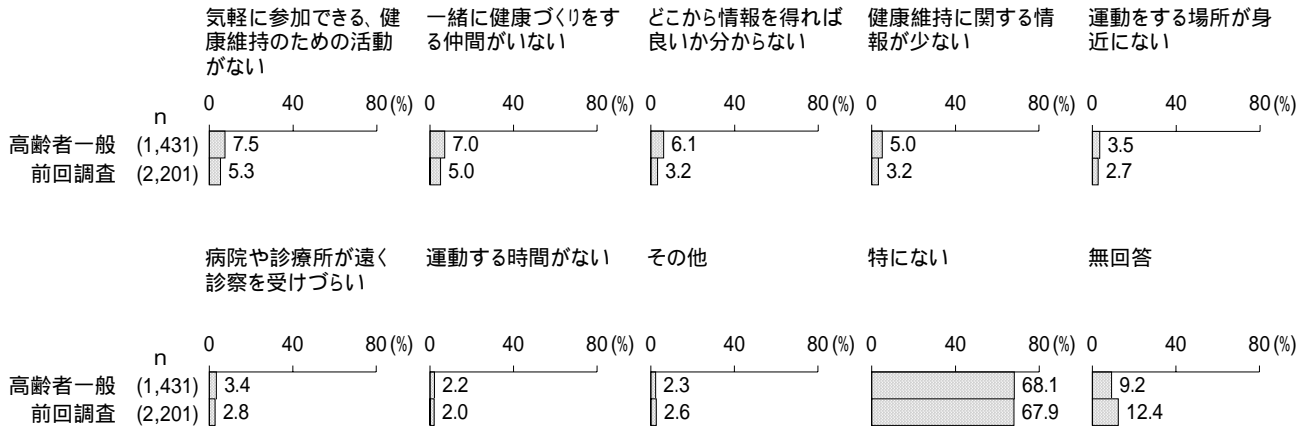
(17) 不安や悩みの相談相手



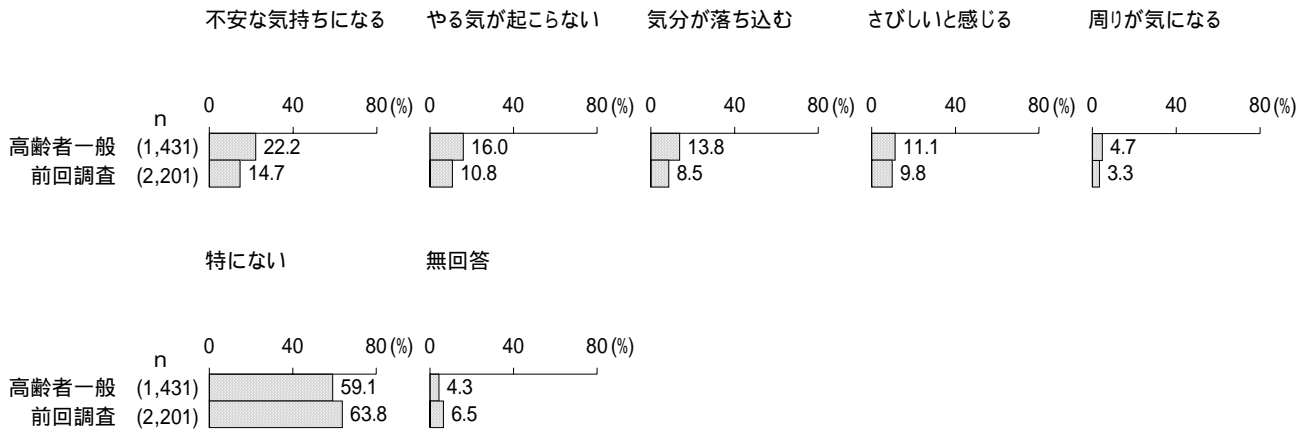
(18) 利用している医療器具や医的処置



(19) 健康を維持していく上で困っていること

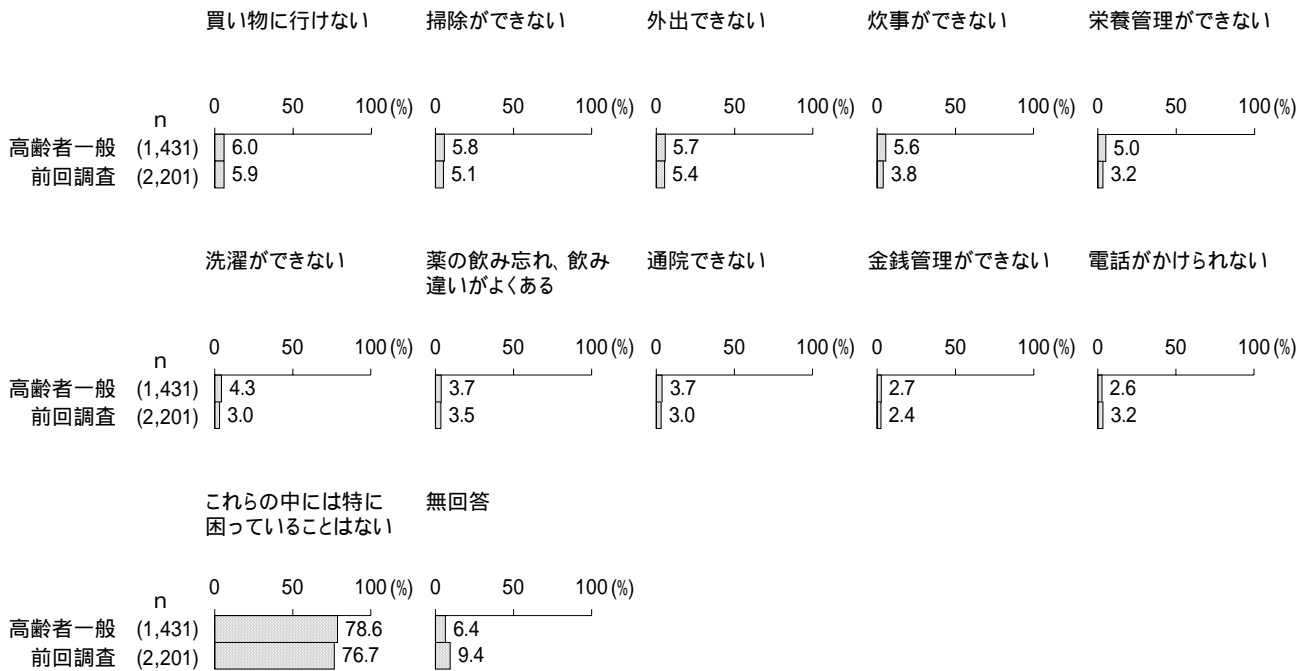


(20) 心配される精神状態



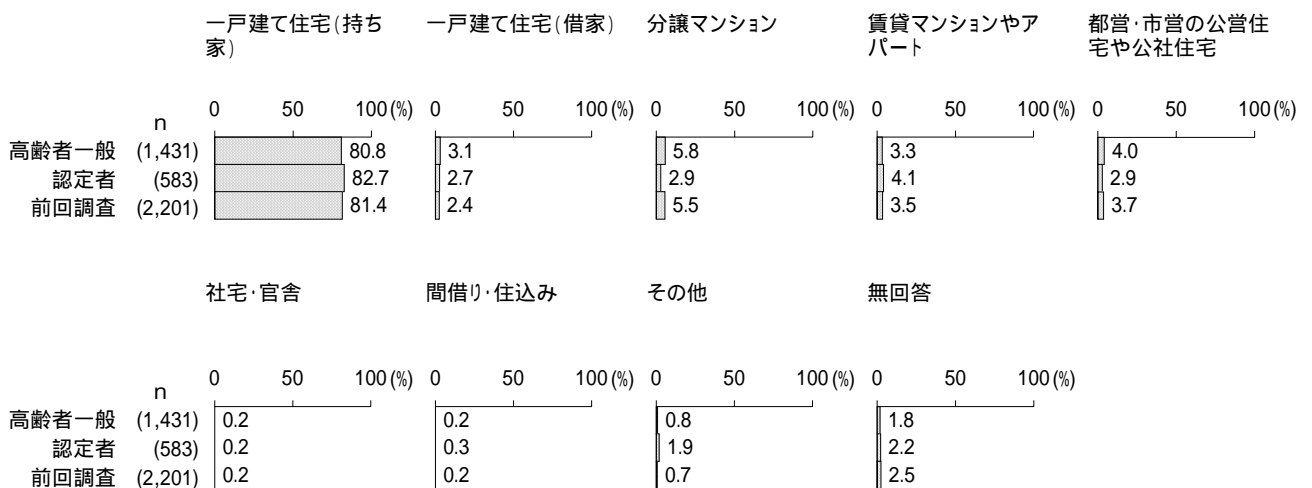
〔参考〕調査間比較・経年比較

(21) 現在、困っていること

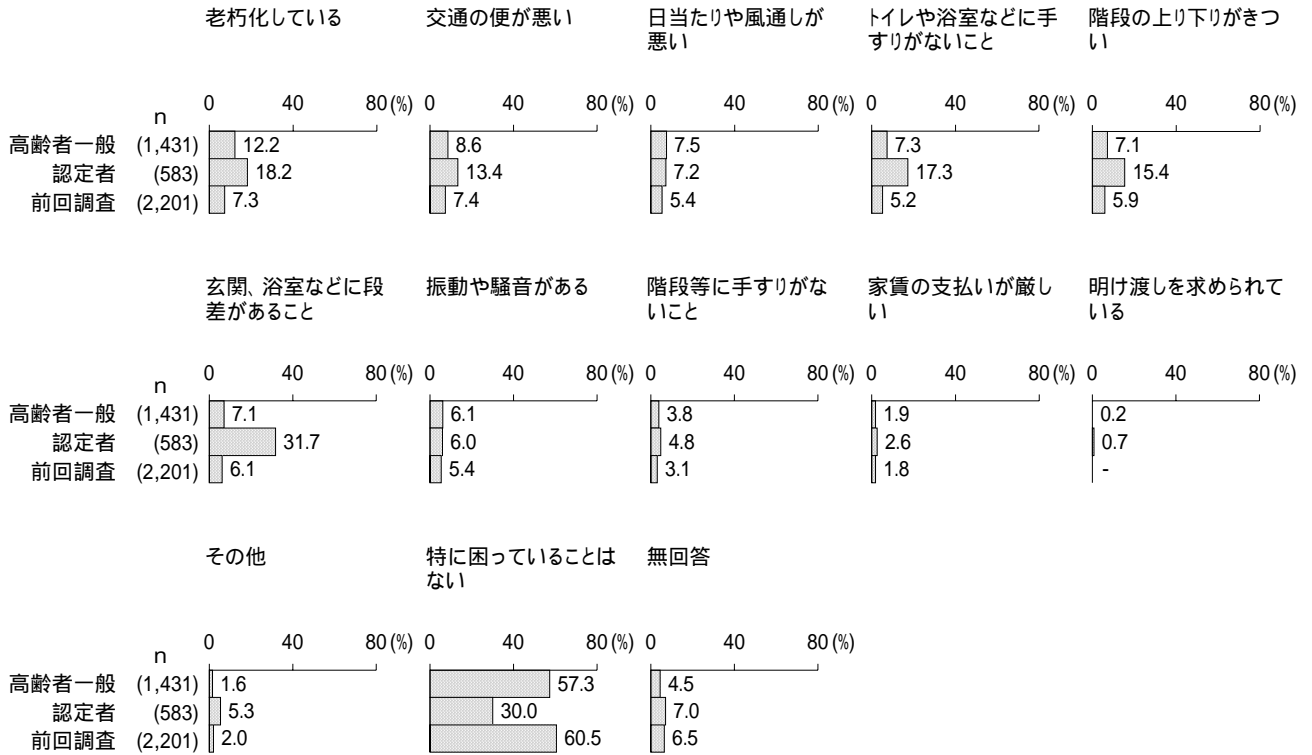


2. 住居について

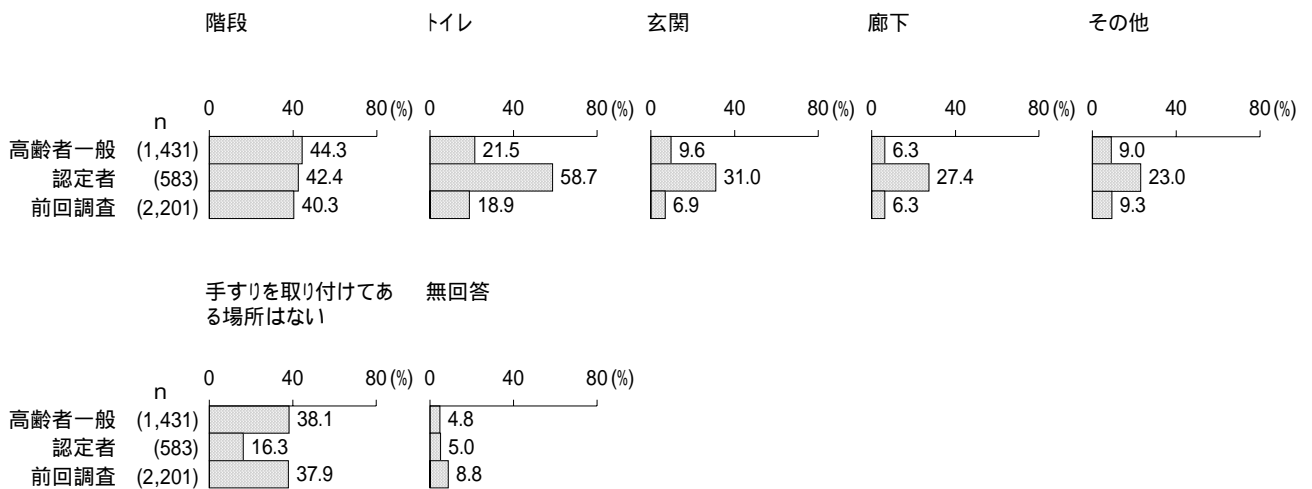
(1) 住居形態



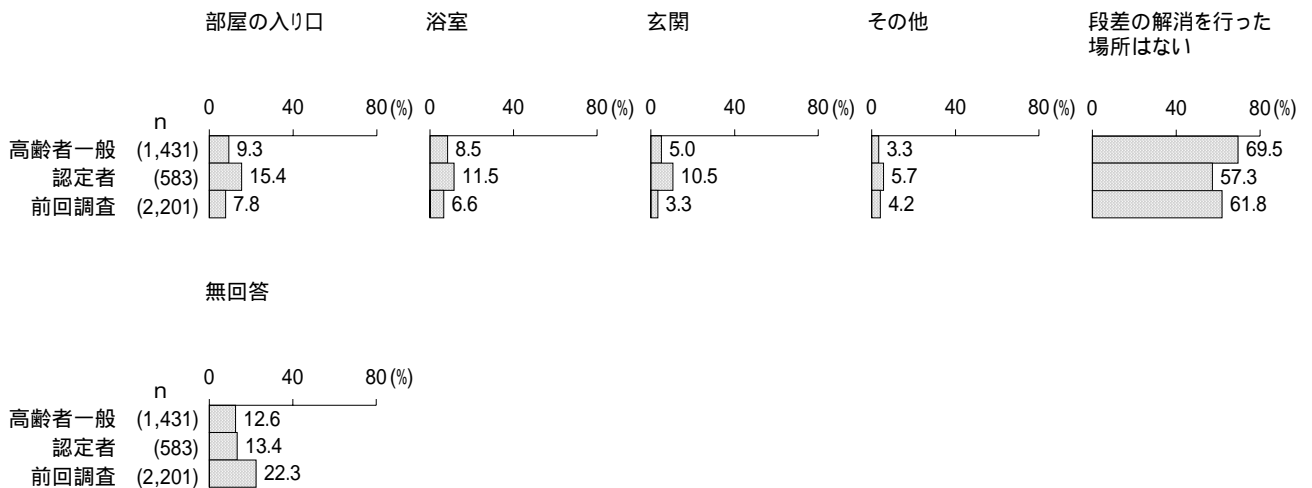
(2) 現在の住居で困っていること



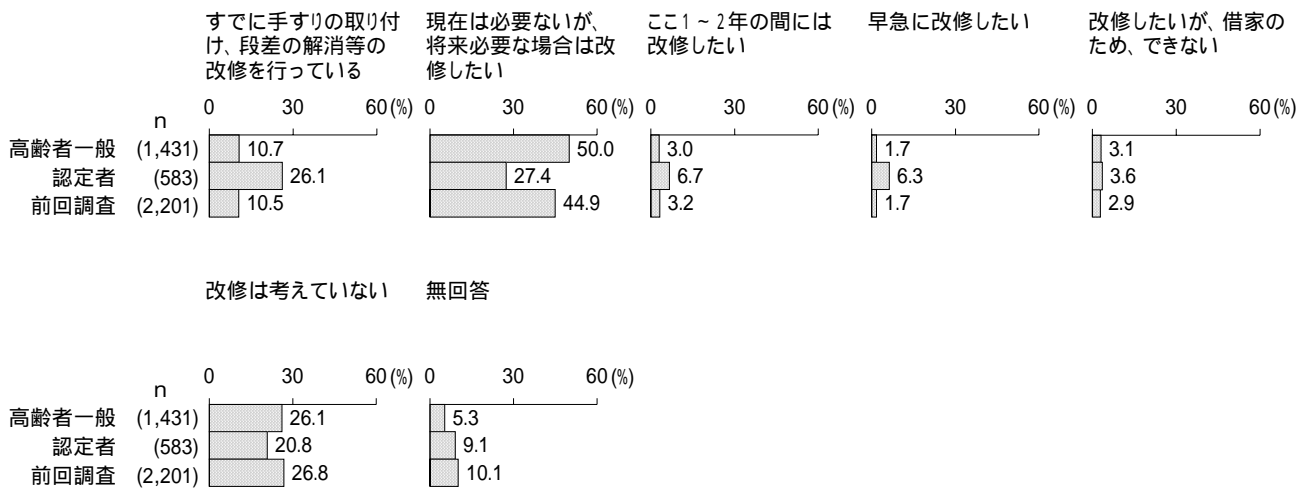
(3) 手すりの取り付けがある場所



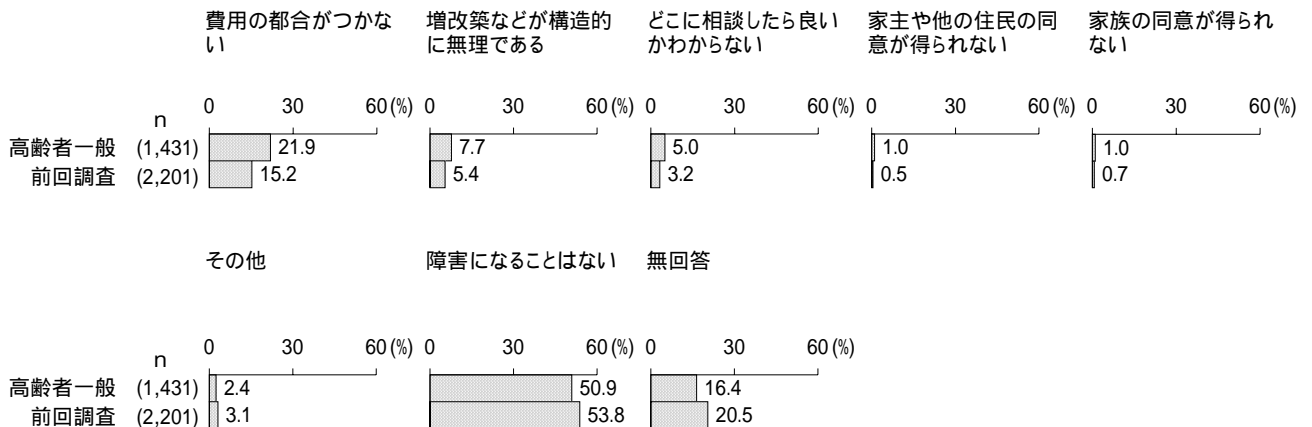
(4) 段差の解消がされている場所



(5) 住宅改修の必要性

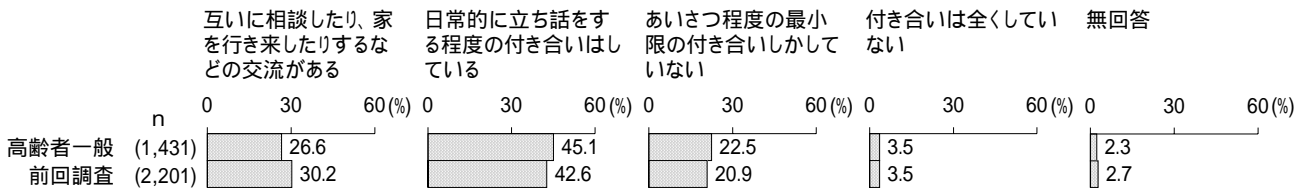


(6) 住宅改修の際、障害となること

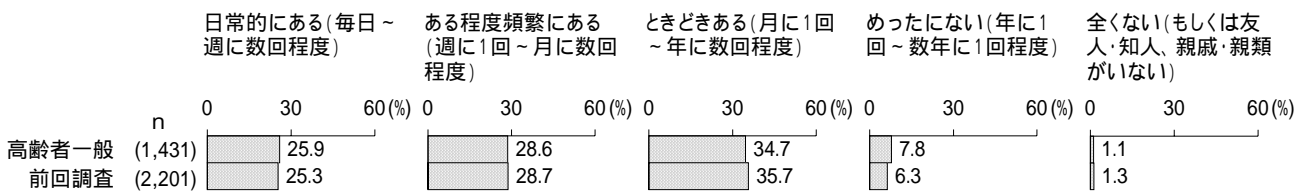


3. 日常生活やお付き合いについて

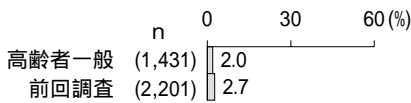
(1) 近所付き合いの程度



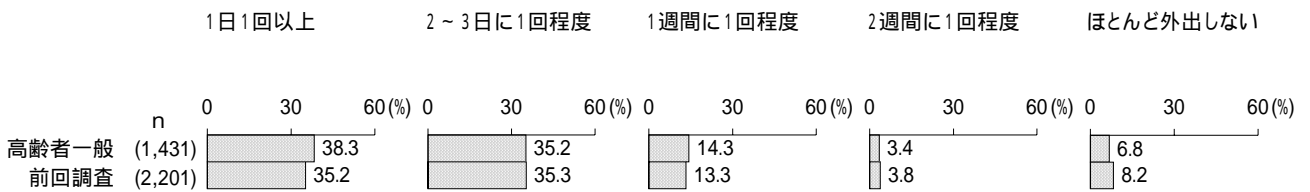
(2) 友人や親戚との付き合いの頻度



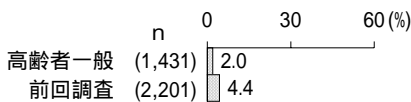
無回答



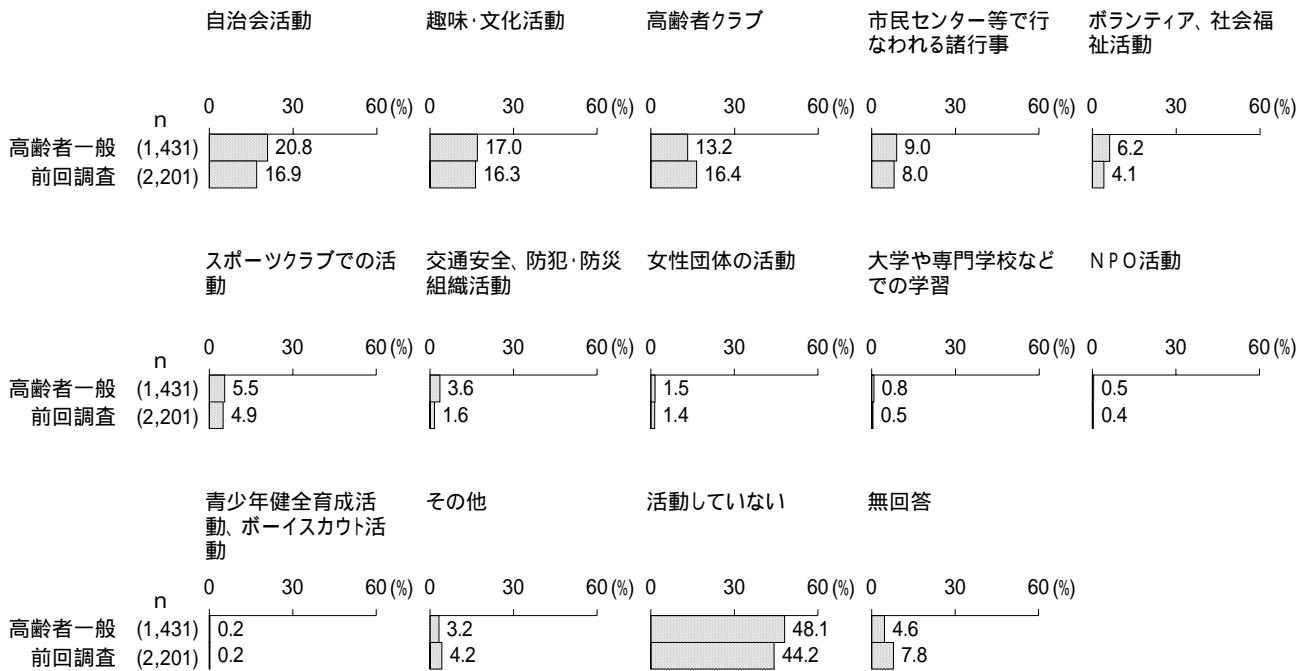
(3) 外出頻度



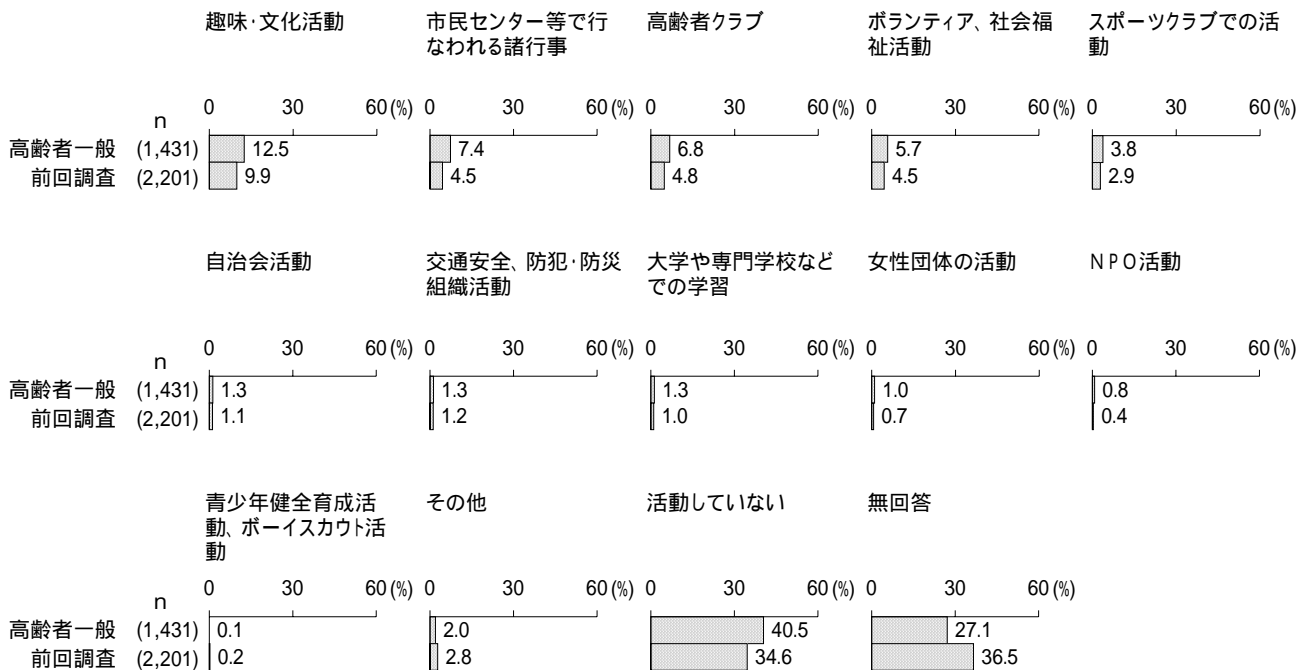
無回答



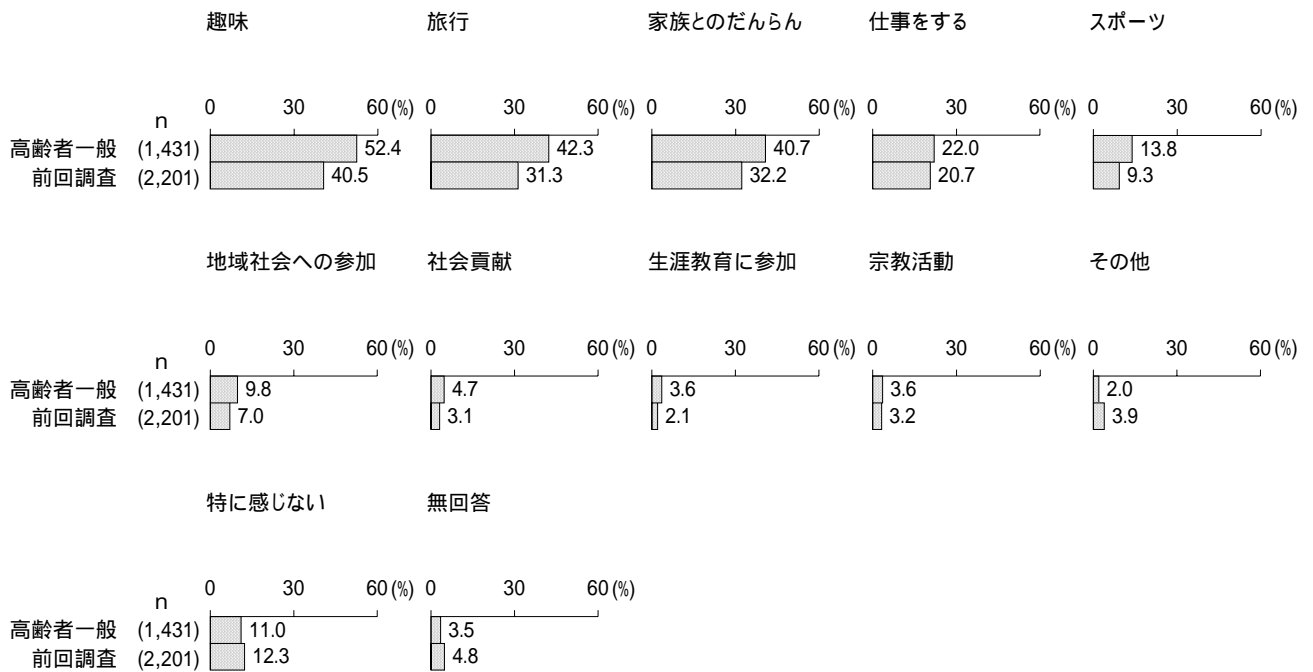
(4) 参加している地域活動



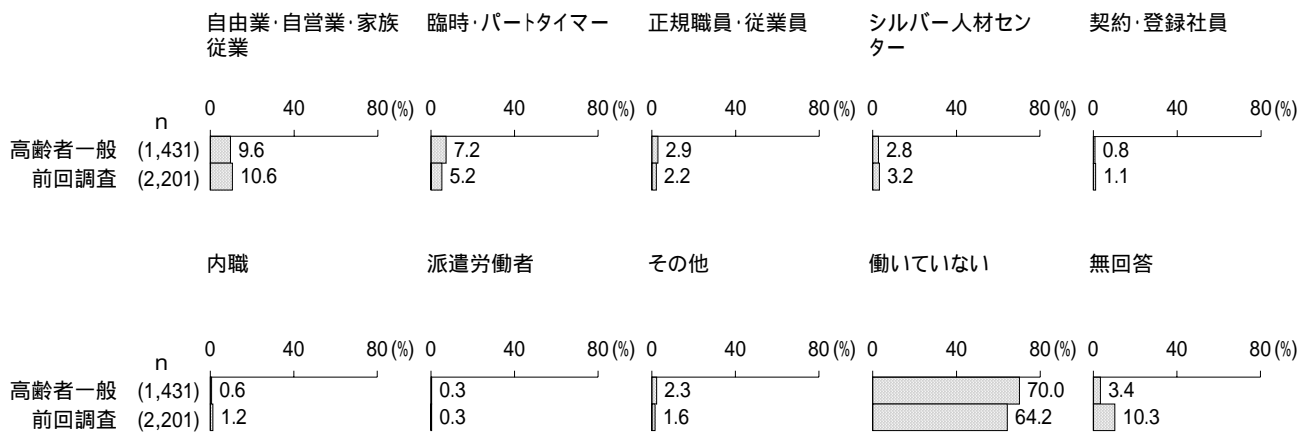
(5) 参加したい地域活動



(6) 生きがいを感じるもの

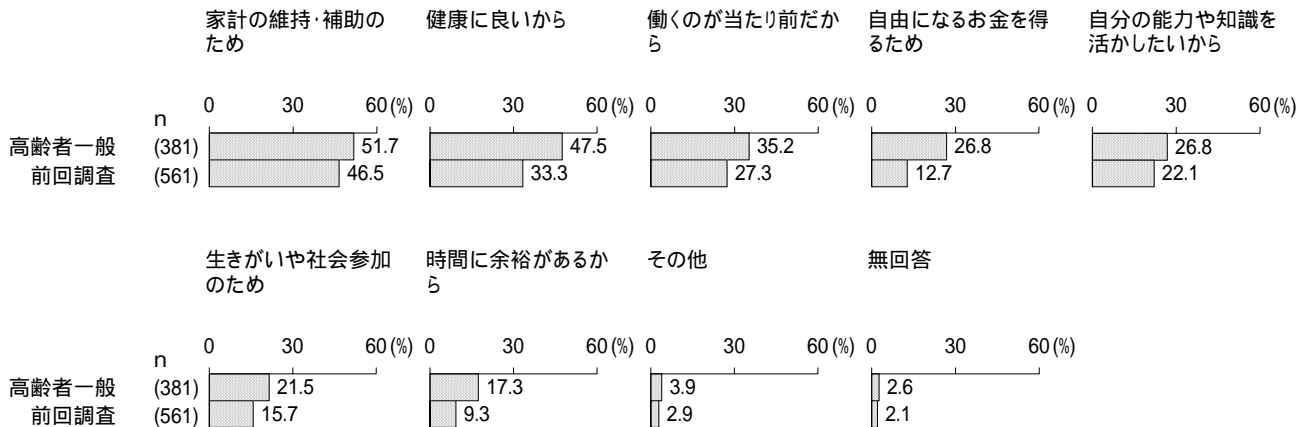


(7) 就労形態

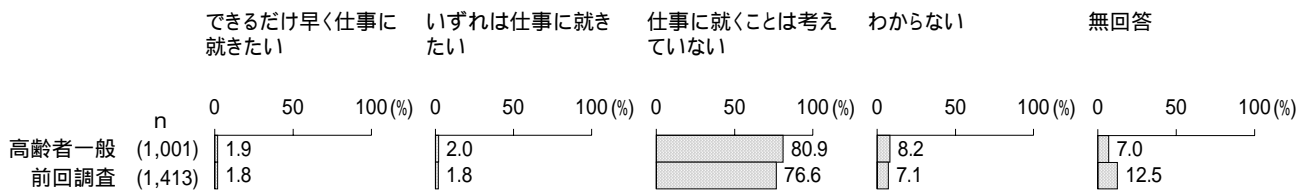


〔参考〕調査間比較・経年比較

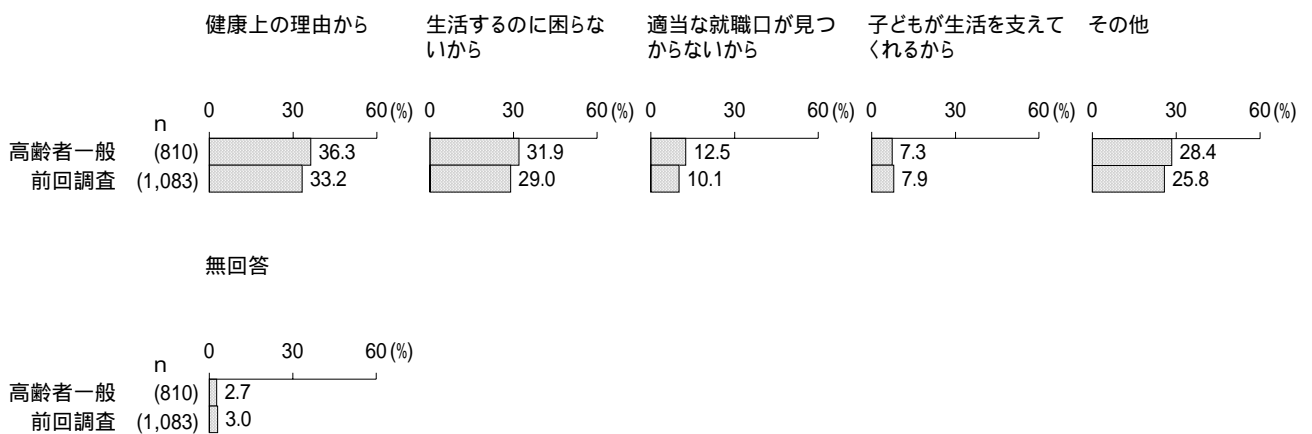
(8) 働いている理由



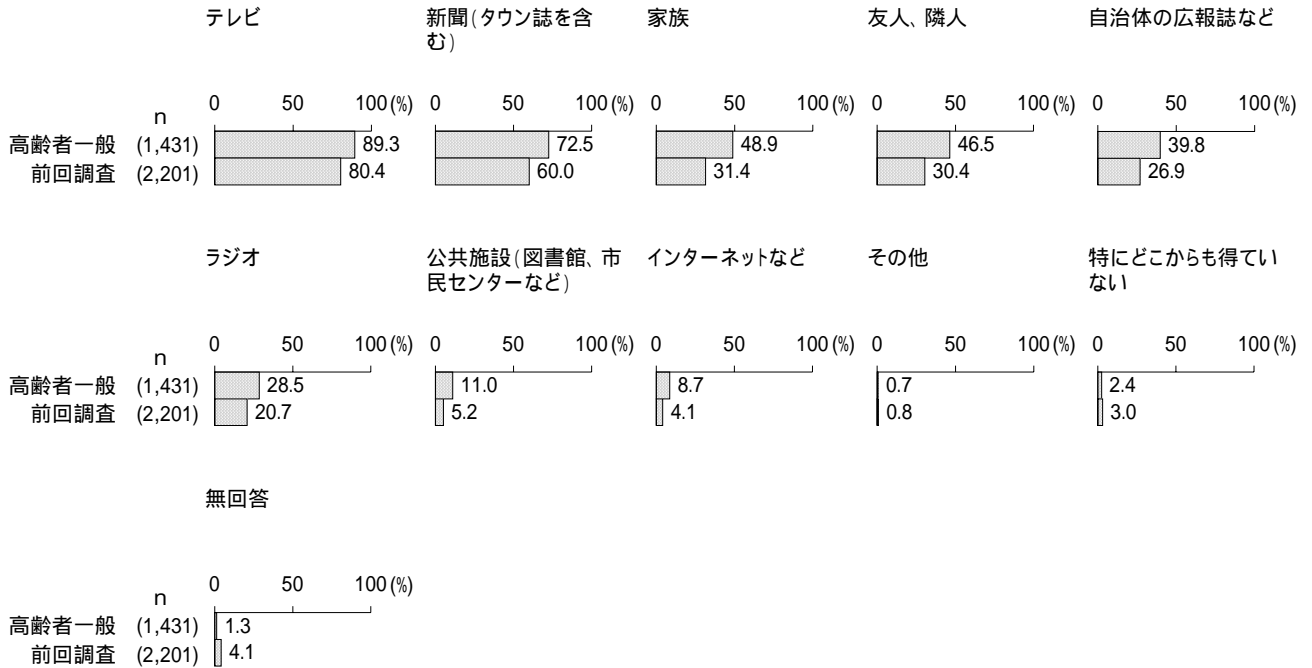
(9) 今後の就労意向



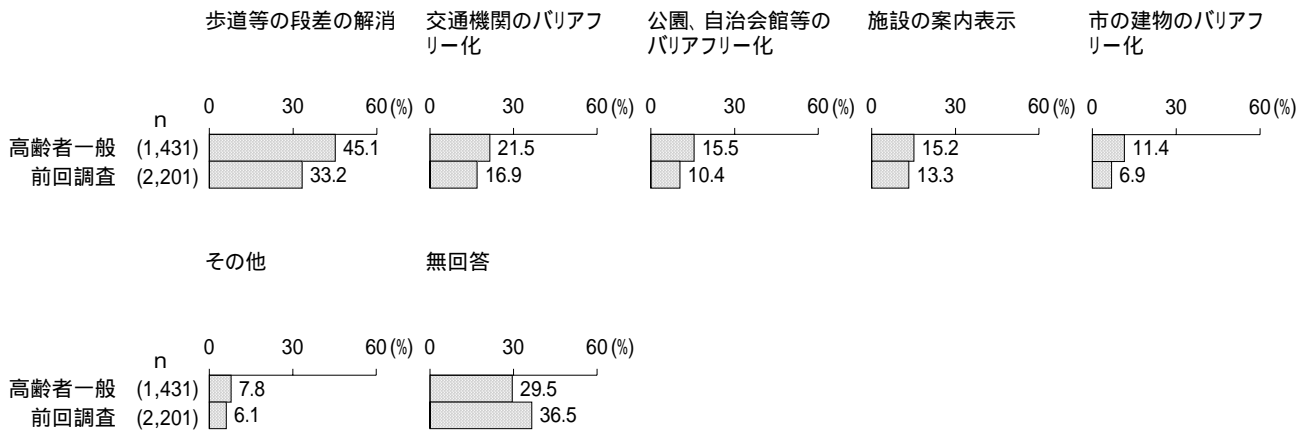
(10) 就労しない理由



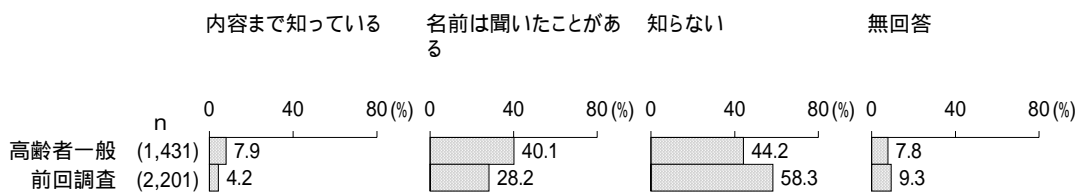
(11) 情報入手先



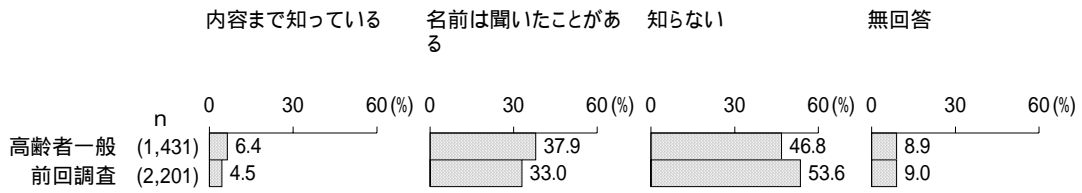
(12) 福祉に配慮したまちづくりに不足していること



(13) 成年後見制度の周知度

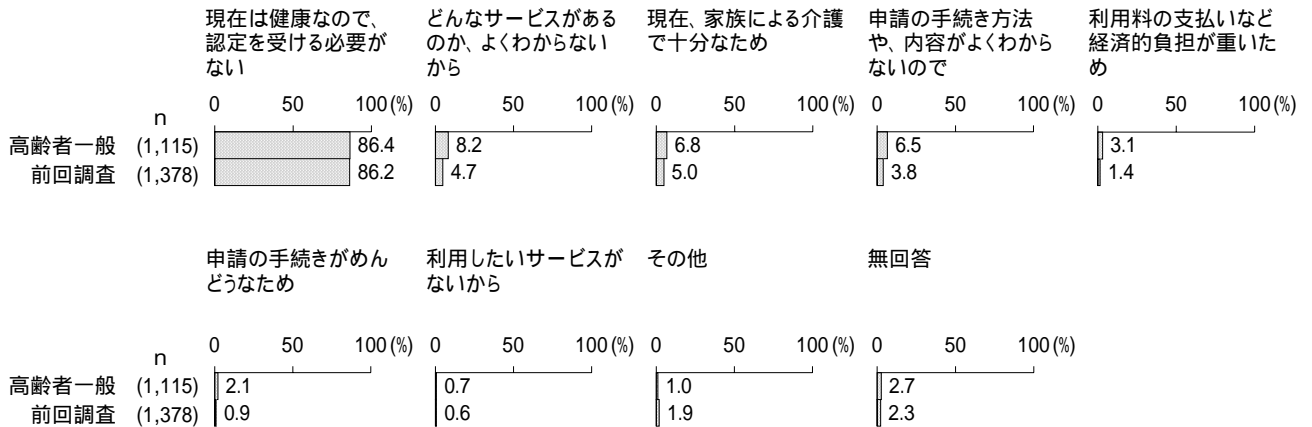


(14) 地域福祉権利擁護事業の周知度

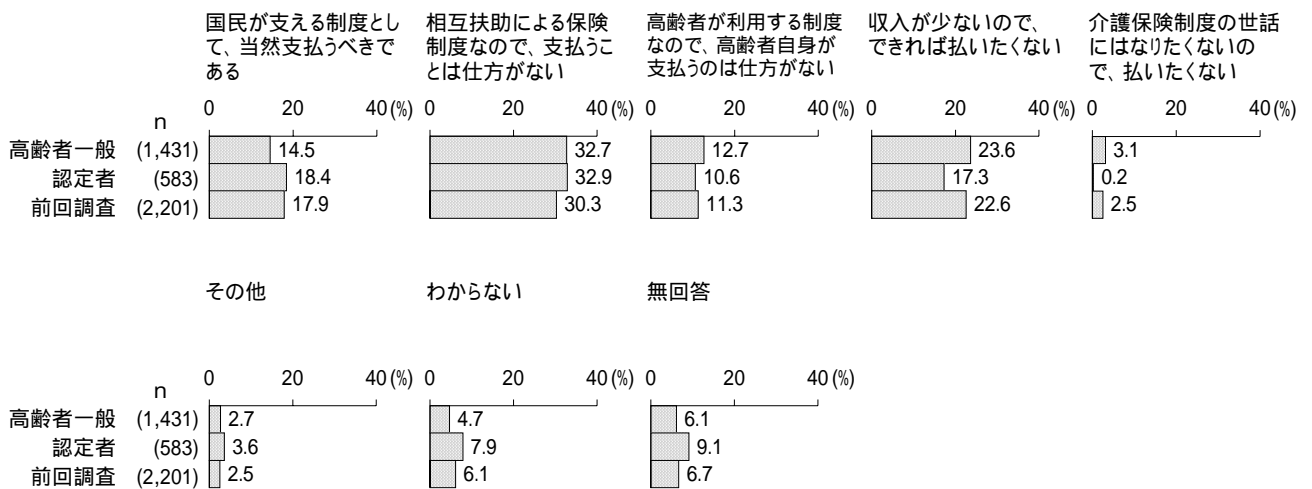


4. 介護保険などのサービスについて

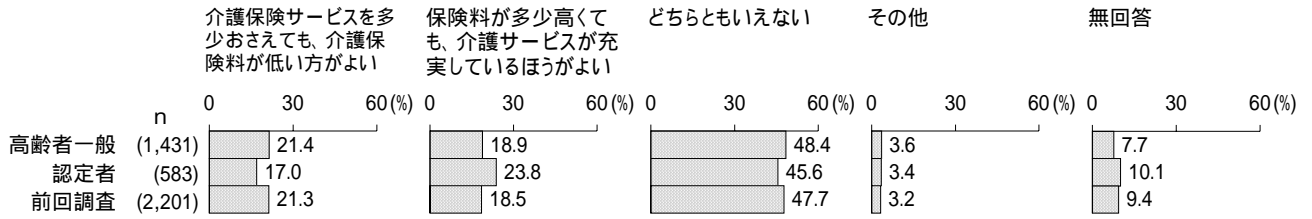
(1) 認定申請をしていない理由



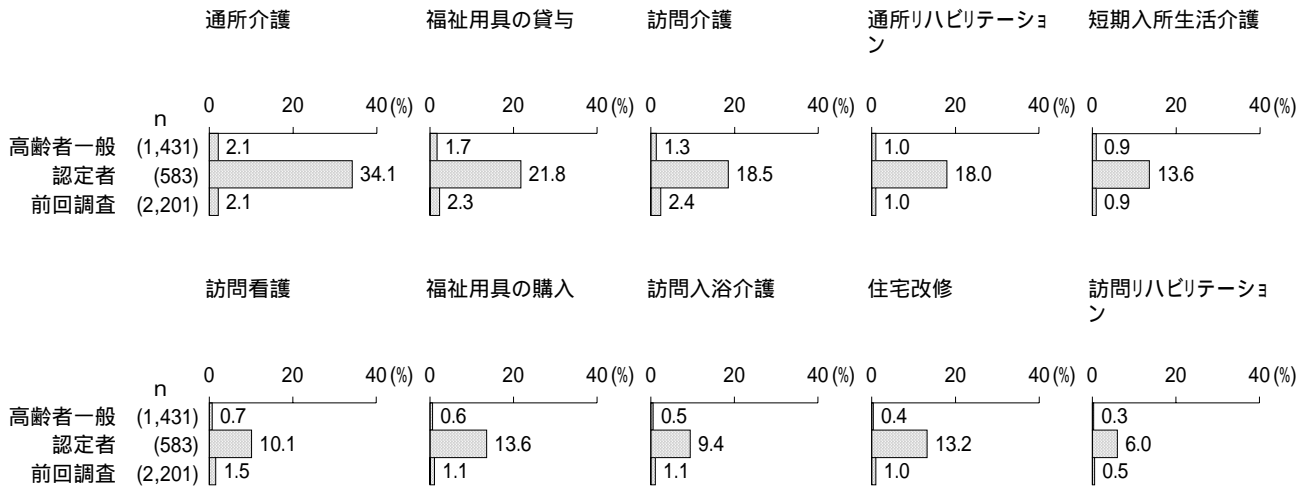
(2) 介護保険料の負担について



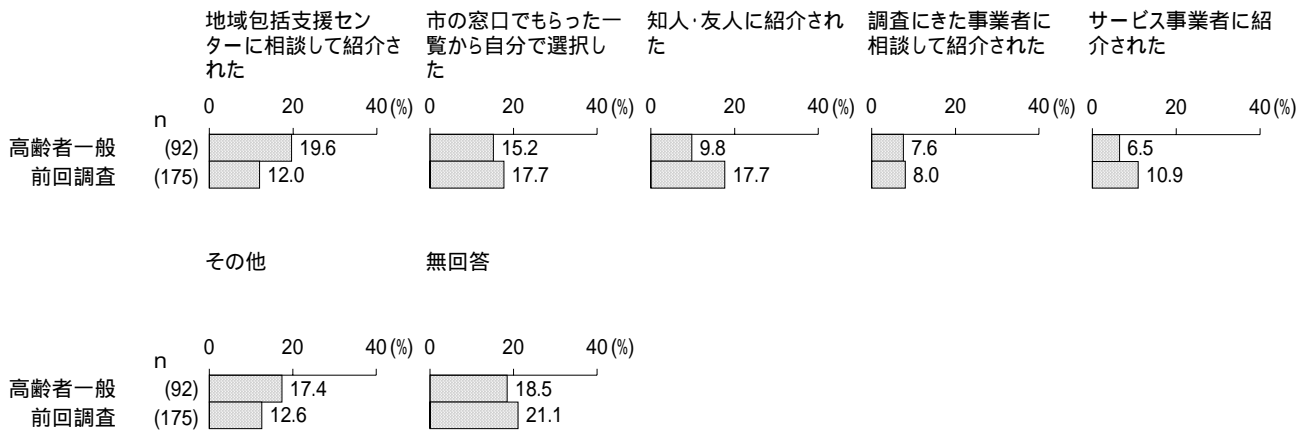
(3) 保険料と介護サービスのあり方について



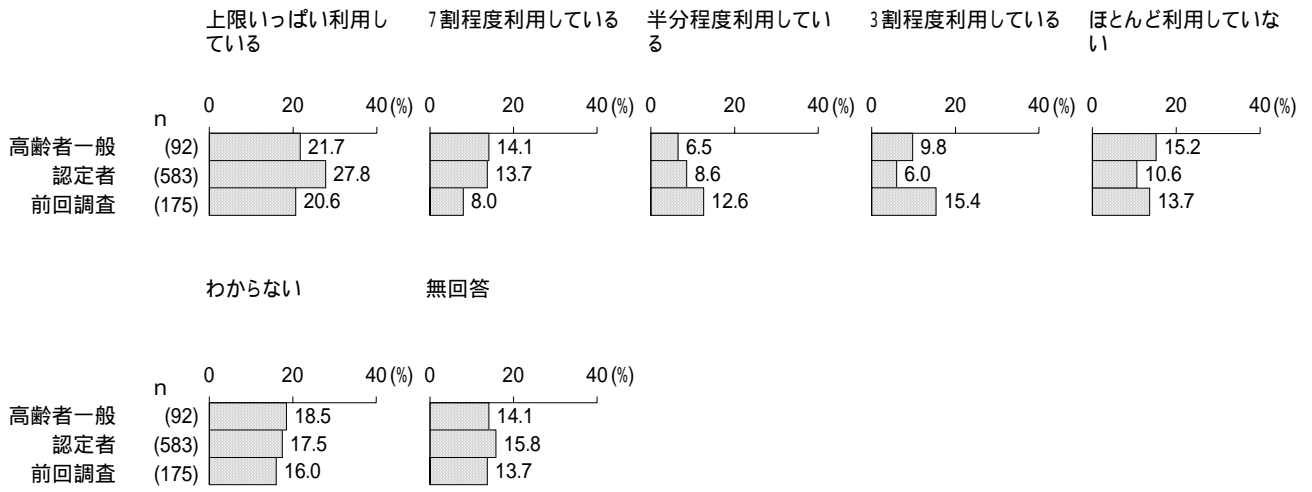
(4) 現在利用している居宅サービス



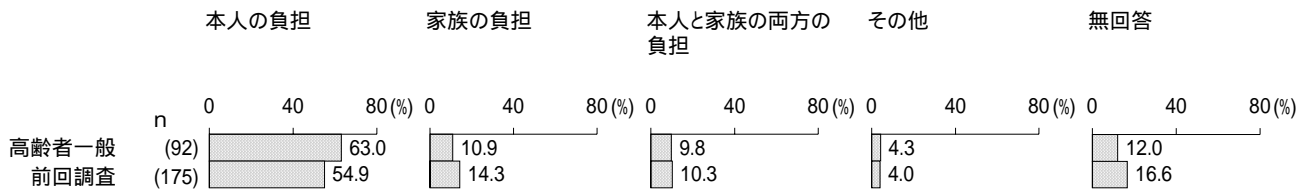
(5) ケアマネジャーを選んだきっかけ



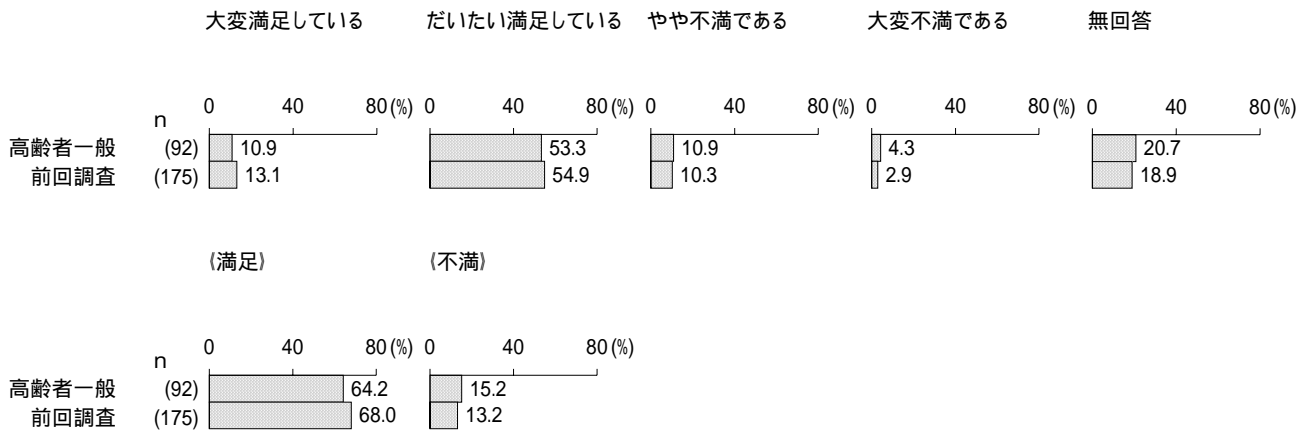
(6) 利用限度額に対する利用割合



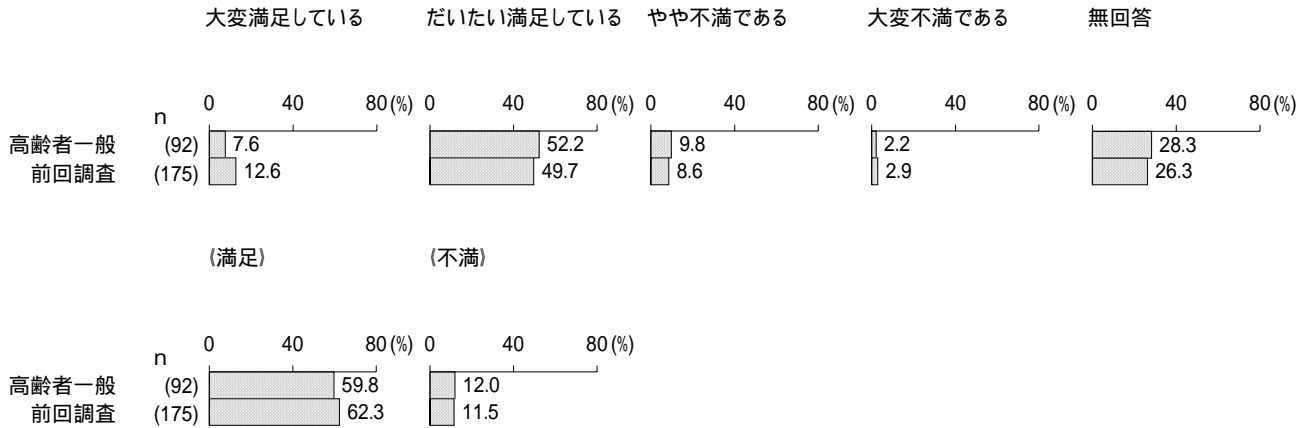
(7) 介護保険利用料の負担者



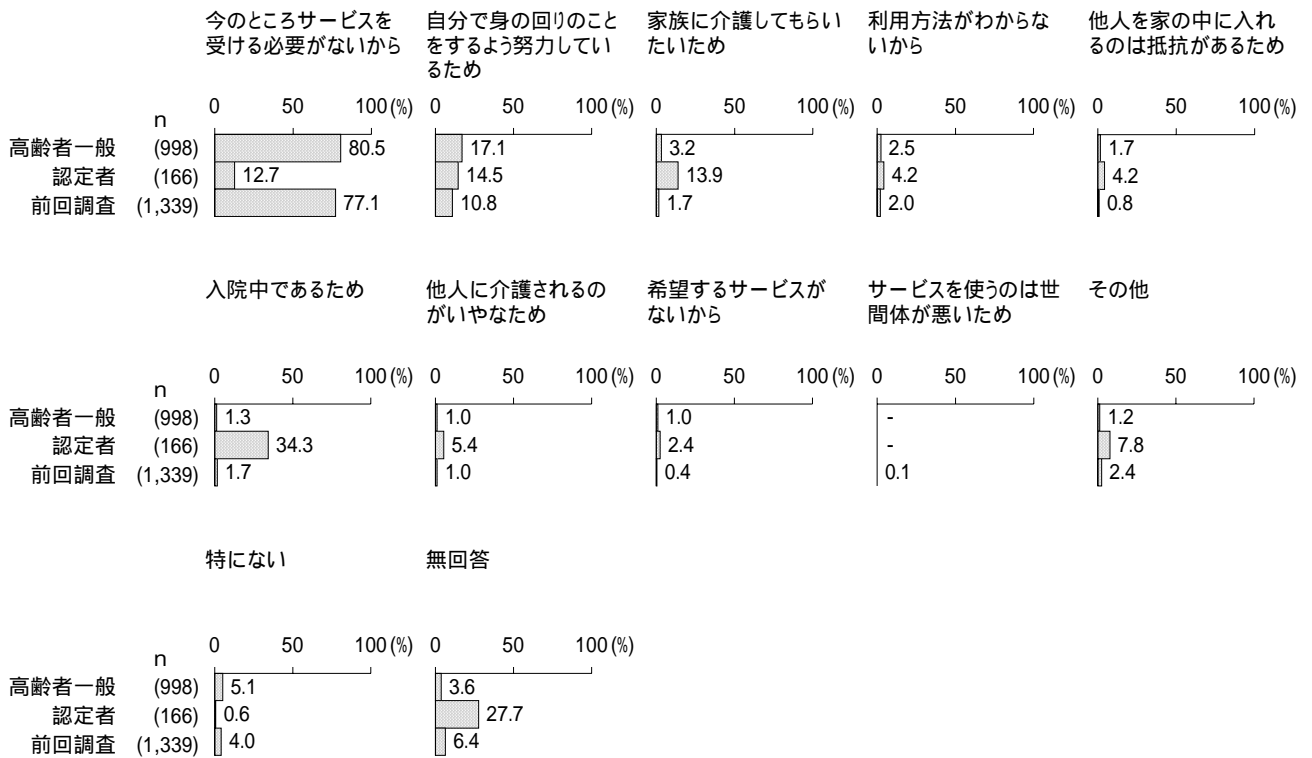
(8) ケアプランの満足度



(9) 在宅サービスの満足度



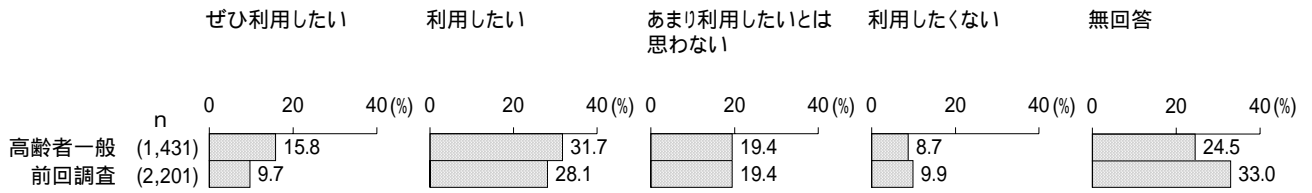
(10) 居宅サービスを利用していない理由



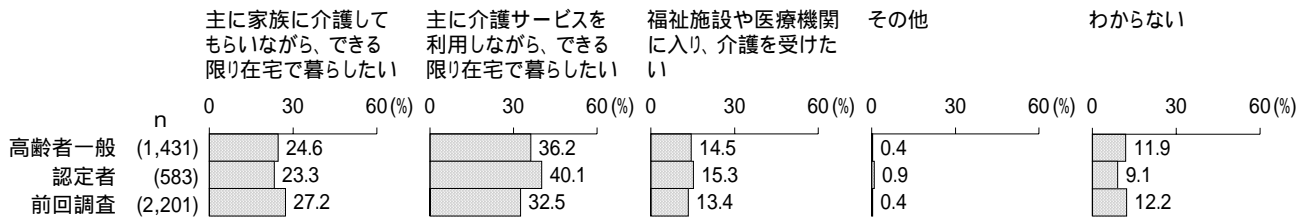
(11) 介護保険サービスの利用意向

	回答者数(人)	しない	現在利用していないが、今後は減らしたい	現在利用しているが、今後は利用したい	現在利用しているが、今後は利用しない	現在利用しているが、今後は利用する程度	現在利用しているが、今後は利用をさらに増やしたい	無回答
訪問介護								
高齢者一般	1,431	14.8	0.1	34.7	0.6	0.3	49.5	
前回調査	216	14.4	0.9	19.4	16.2	3.2	45.8	
訪問入浴介護								
高齢者一般	1,431	15.2	-	28.7	0.3	0.1	55.7	
前回調査	216	16.2	0.5	21.3	8.8	0.9	52.3	
訪問看護								
高齢者一般	1,431	13.1	-	30.8	0.3	0.1	55.6	
前回調査	216	16.2	0.9	19.9	7.9	0.9	54.2	
訪問リハビリテーション								
高齢者一般	1,431	13.3	-	28.4	0.2	0.2	57.8	
前回調査	216	16.7	0.9	20.8	4.6	-	56.9	
通所介護								
高齢者一般	1,431	12.6	-	28.4	1.6	0.3	57.0	
前回調査	216	15.7	-	14.8	17.6	2.3	49.5	
通所リハビリテーション								
高齢者一般	1,431	13.3	0.1	26.8	0.9	0.3	58.6	
前回調査	216	14.8	-	19.9	8.3	3.2	53.7	
短期入所生活介護								
高齢者一般	1,431	13.5	0.1	26.8	0.8	0.3	58.6	
前回調査	216	13.0	1.4	21.8	6.0	4.2	53.7	
福祉用具の貸与								
高齢者一般	1,431	12.2	-	28.8	0.8	0.1	58.1	
前回調査	216	9.7	0.9	22.7	13.0	2.3	51.4	
福祉用具購入費の支給								
高齢者一般	1,431	12.0	-	29.4	0.5	0.3	57.9	
前回調査	216	10.2	0.9	23.6	6.0	3.2	56.0	
住宅改修費の支給								
高齢者一般	1,431	13.0	-	30.7	0.3	0.3	55.8	
前回調査	216	12.0	1.4	25.0	4.6	2.8	54.2	

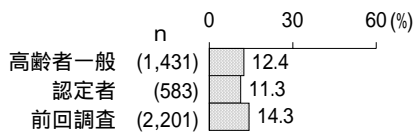
(12) 夜間対応型訪問介護の利用意向



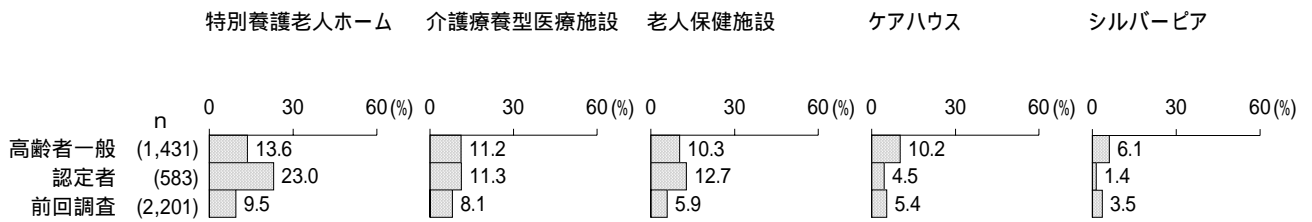
(13) 今後希望する介護形態



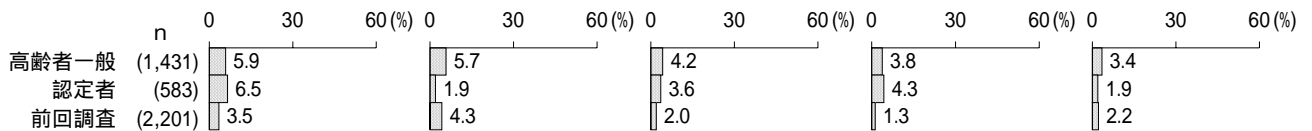
無回答



(14) 利用したい施設

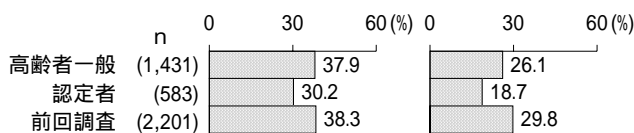


養護老人ホーム 高齢者専用賃貸住宅 生活支援ハウス グループホーム 有料老人ホーム

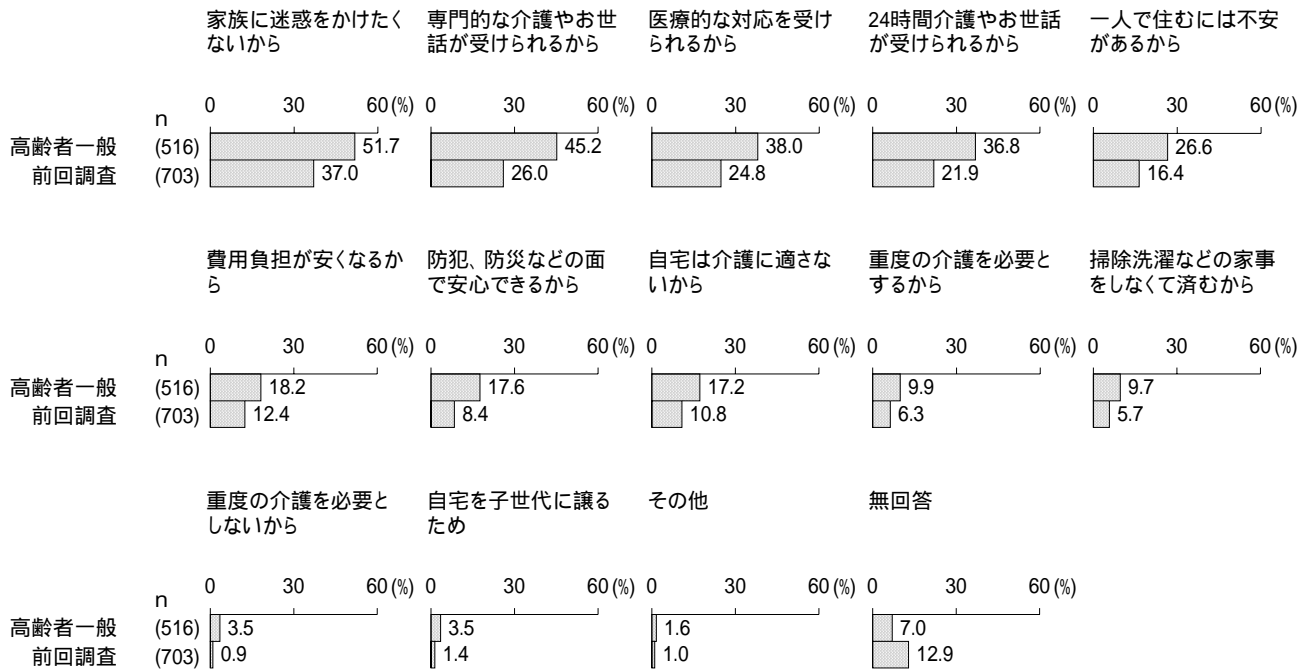


特にない

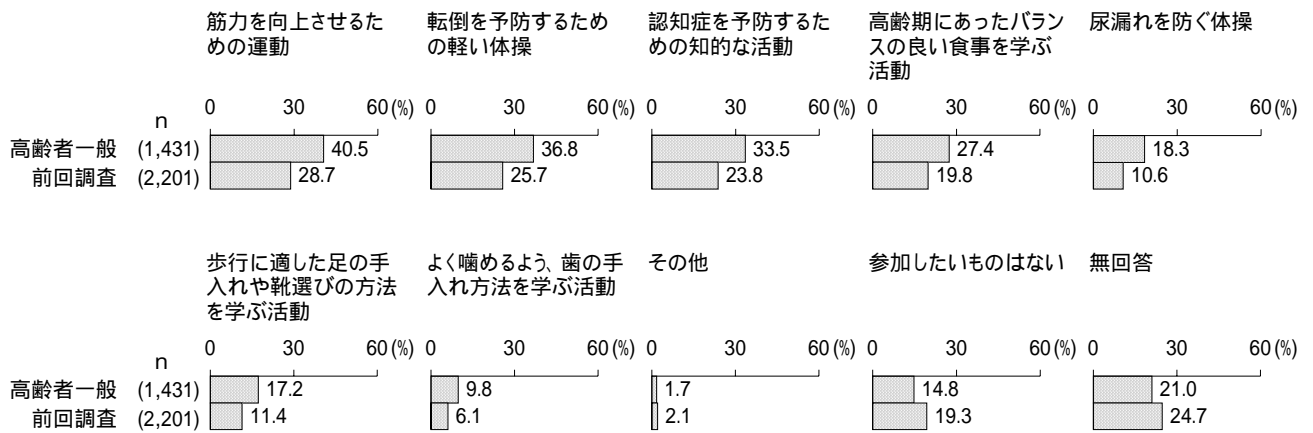
無回答



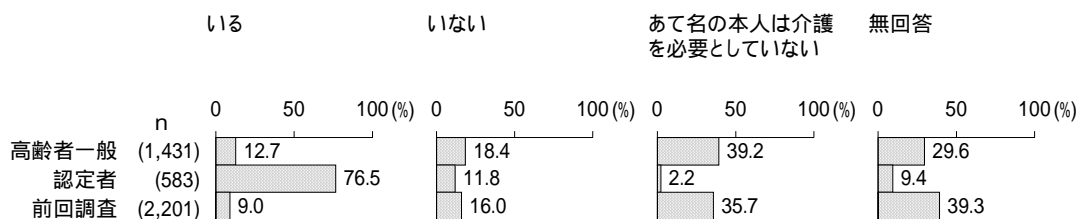
(15) 施設などを利用したい理由



(16) 介護予防の参加意向

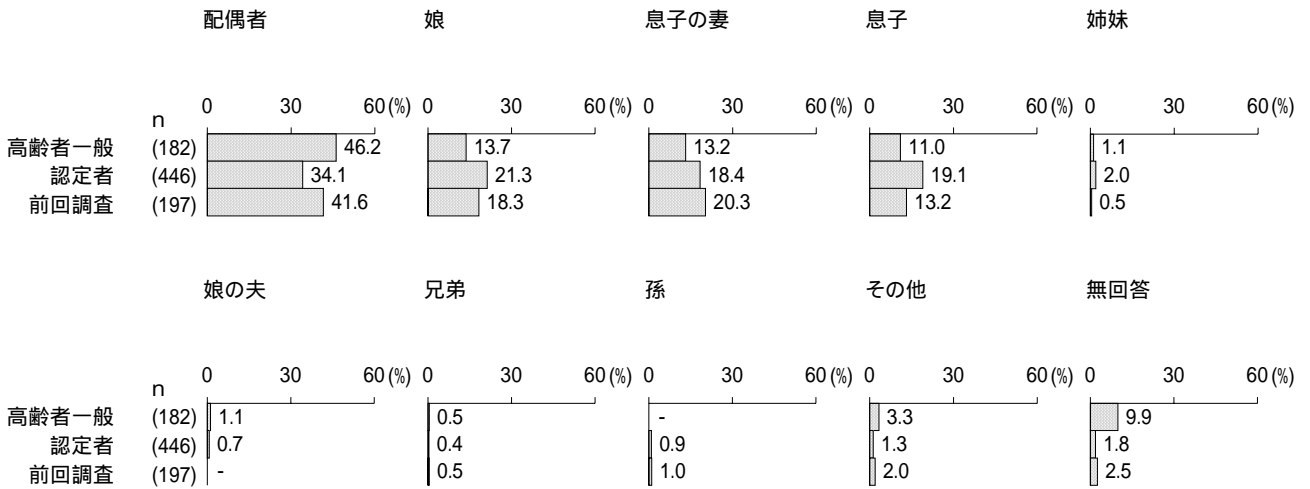


(17) 家族介護者の有無

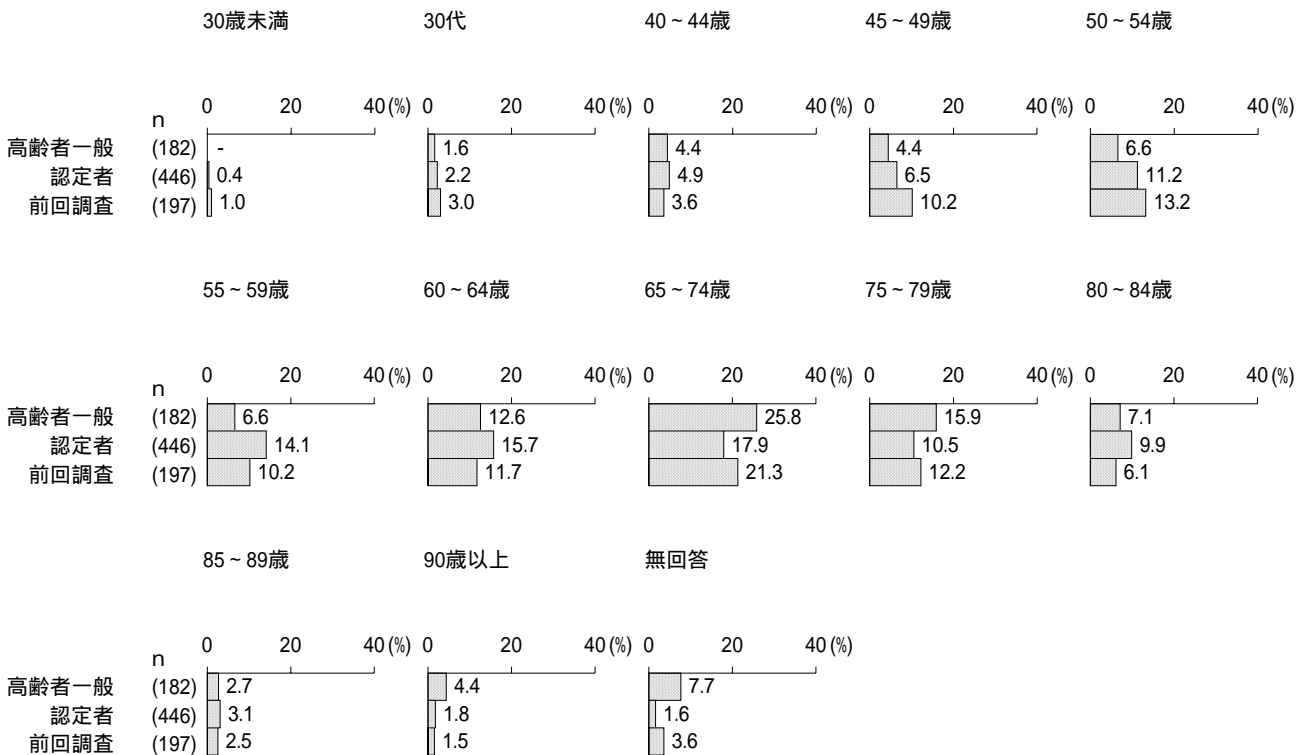


5. 介護者について

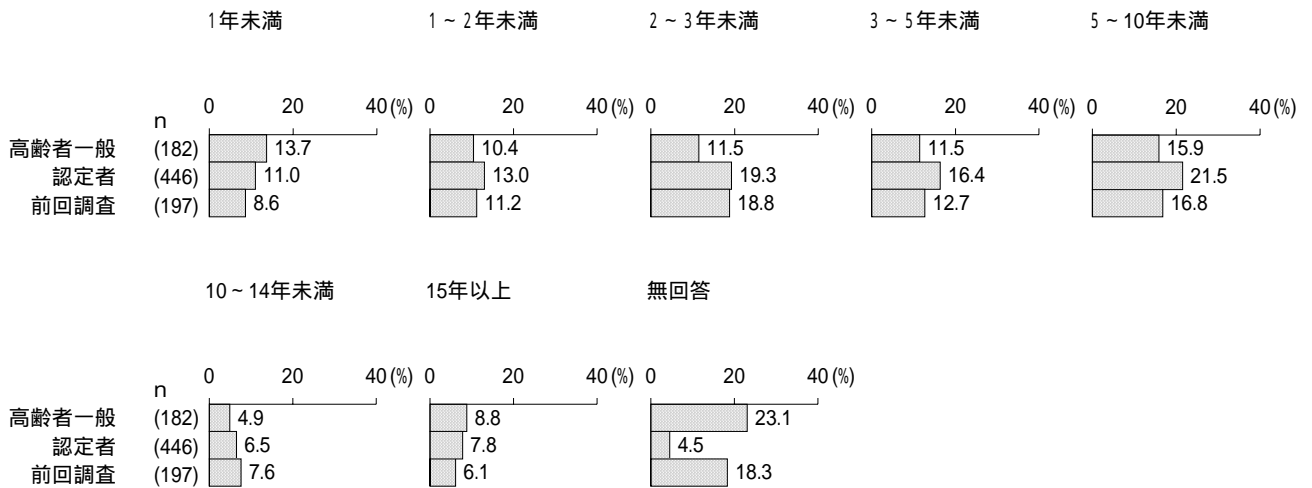
(1) 介護者の続柄



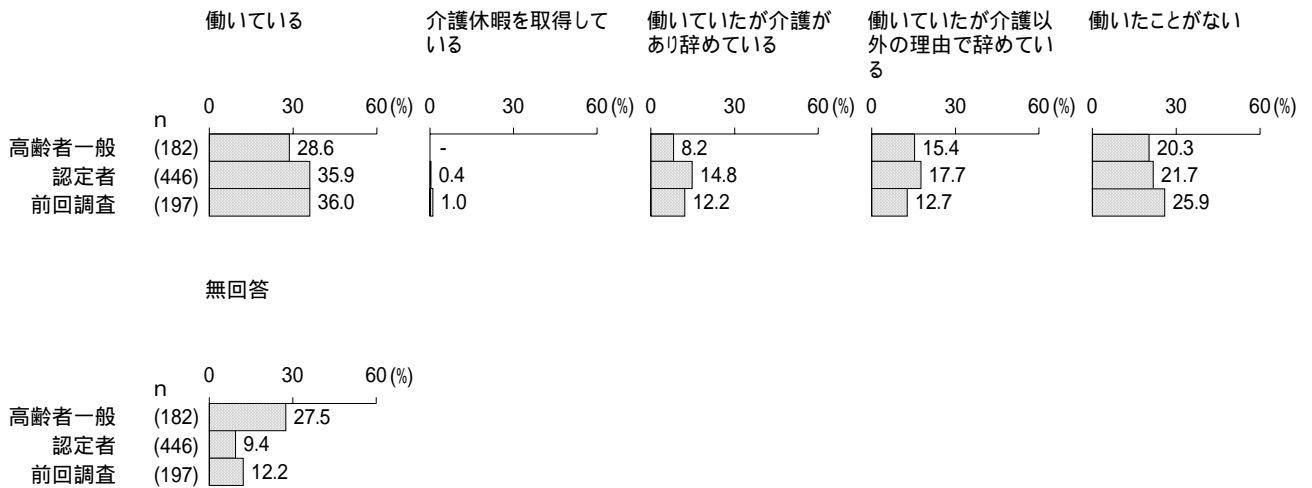
(2) 介護者の年齢



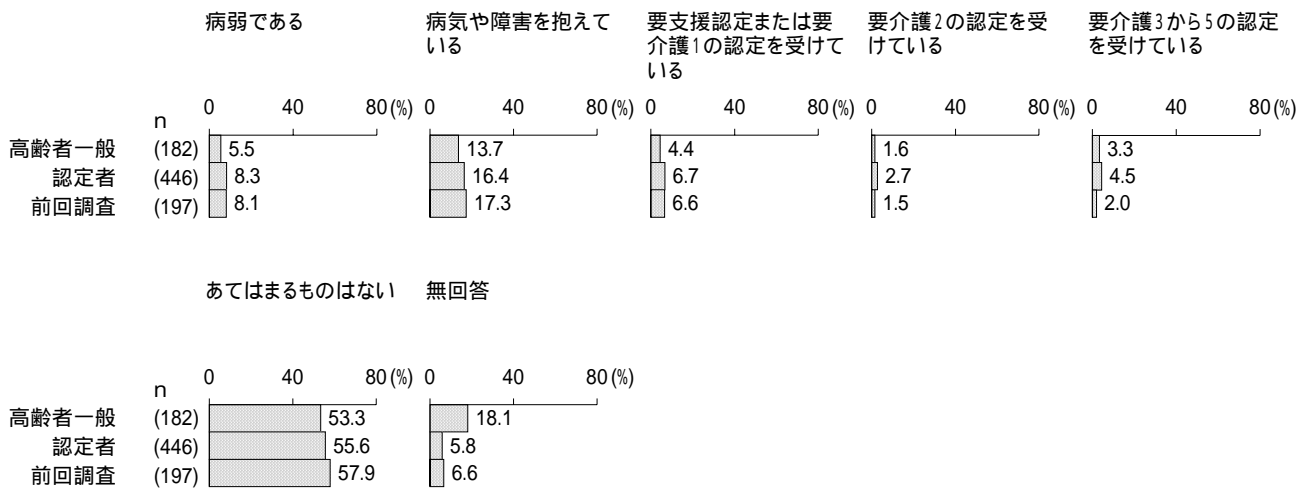
(3) 介護期間



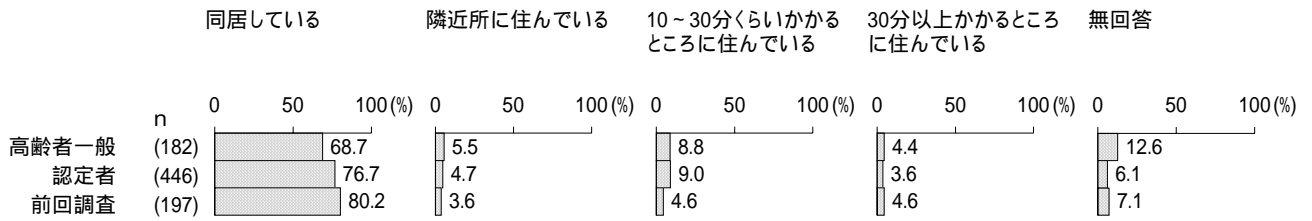
(4) 介護者の就労状況



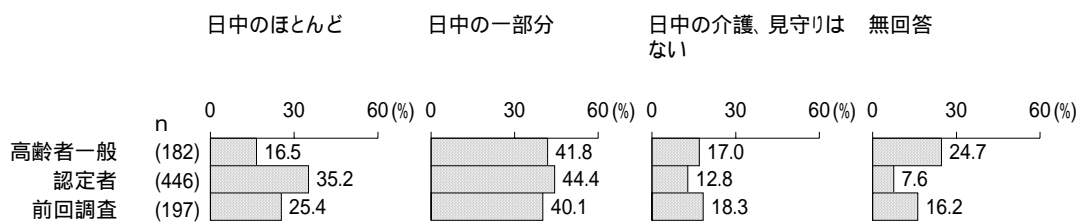
(5) 介護者の健康状態



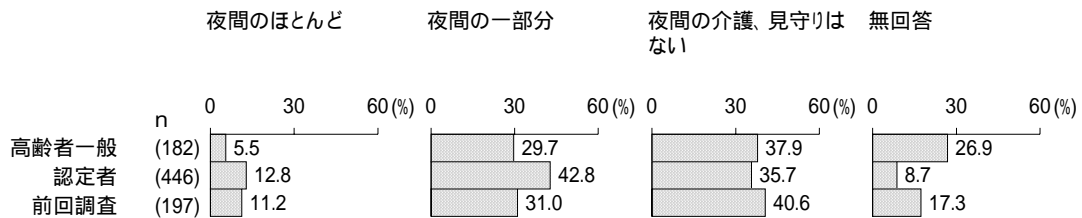
(6) 介護者と本人の距離



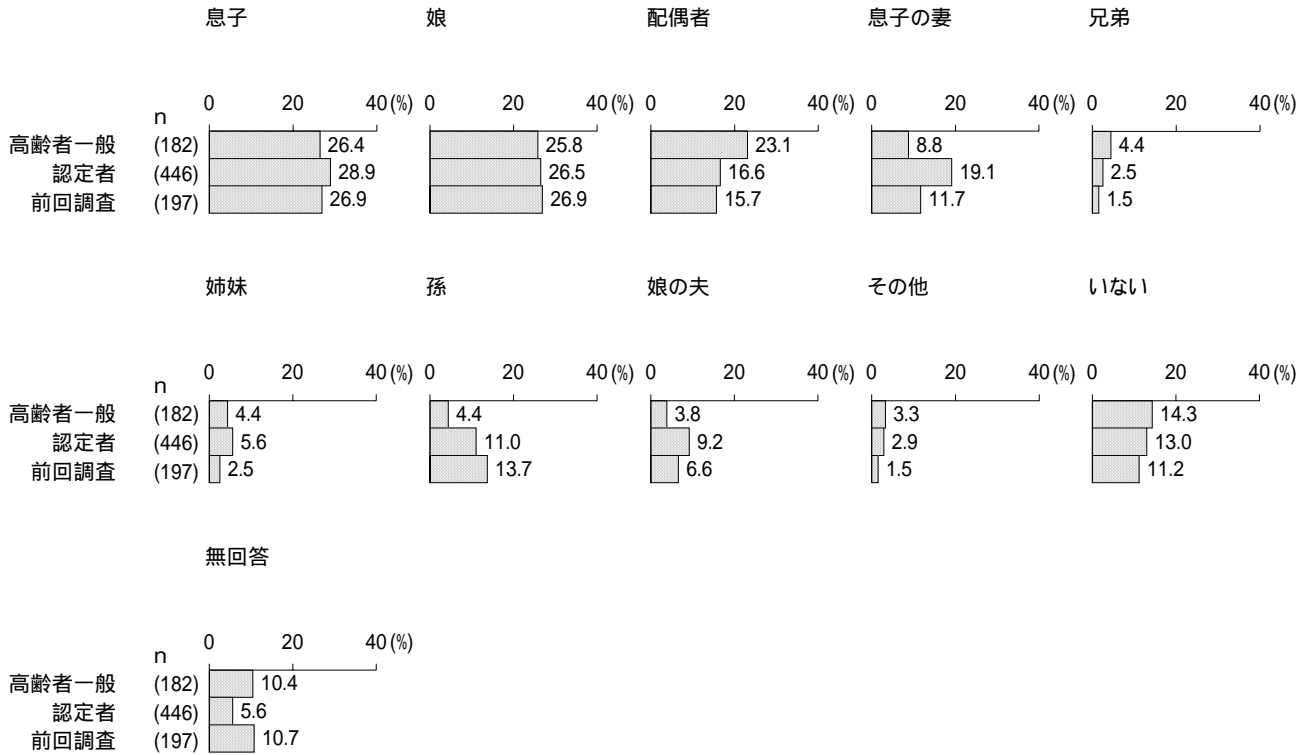
(7) 介護、見守りに費やす時間(日中)



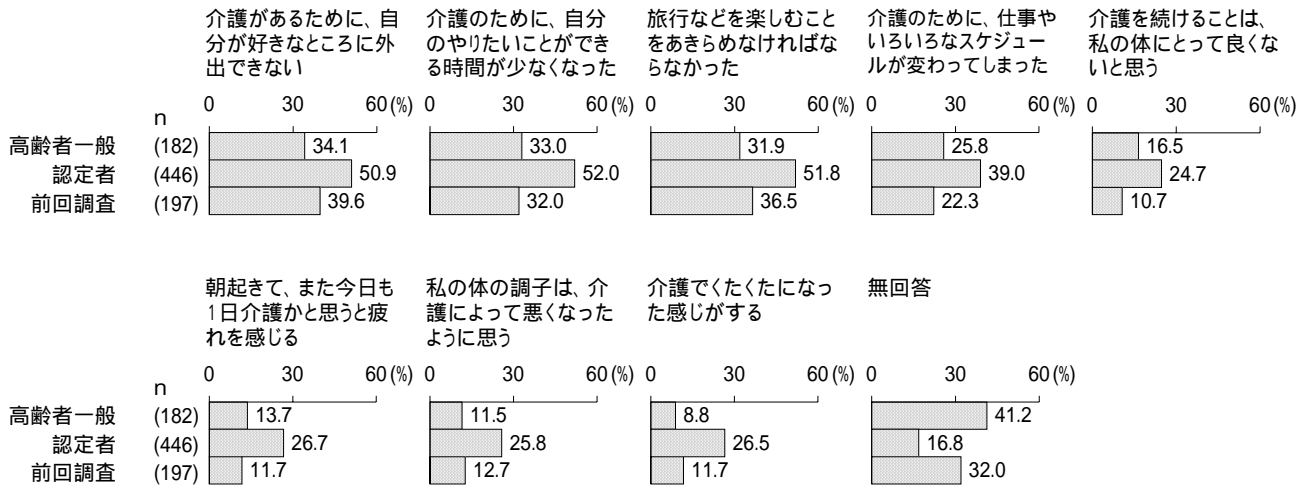
(8) 介護、見守りに費やす時間(夜間)



(9) 介護を手伝ってくれる家族

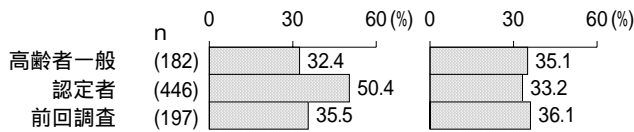
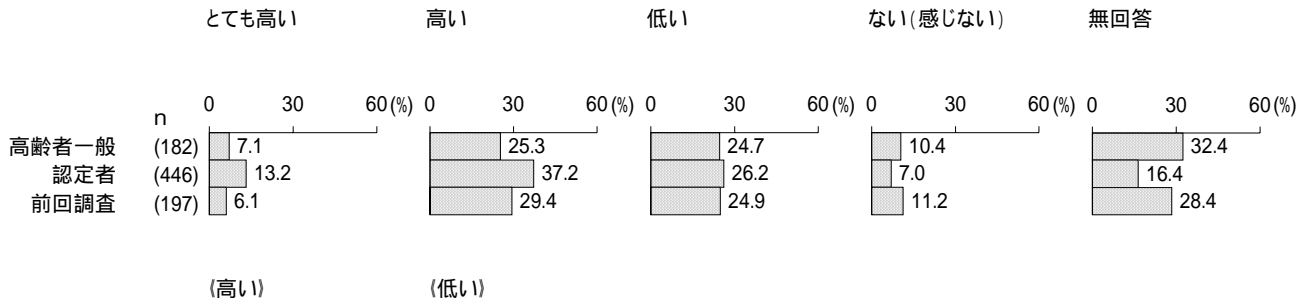


(10) 介護に際して感じるストレス

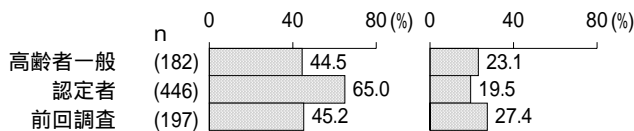
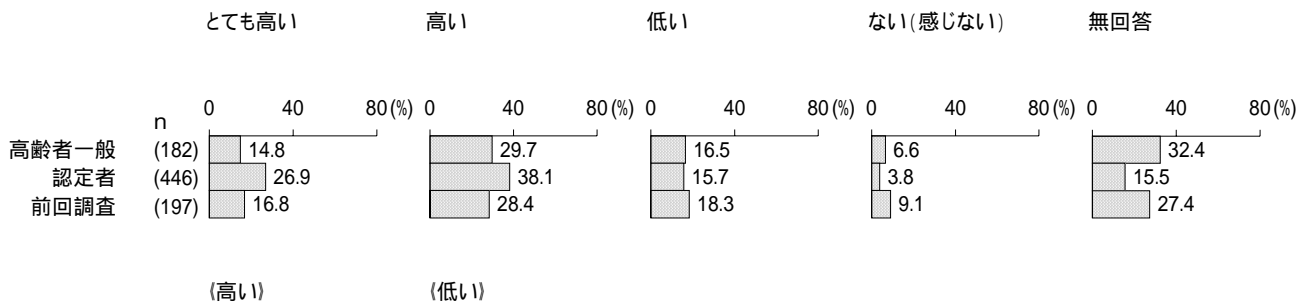


(11) 介護の負担感

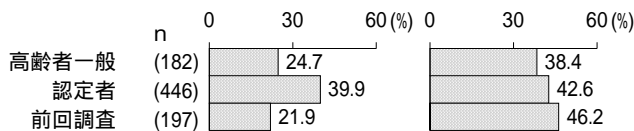
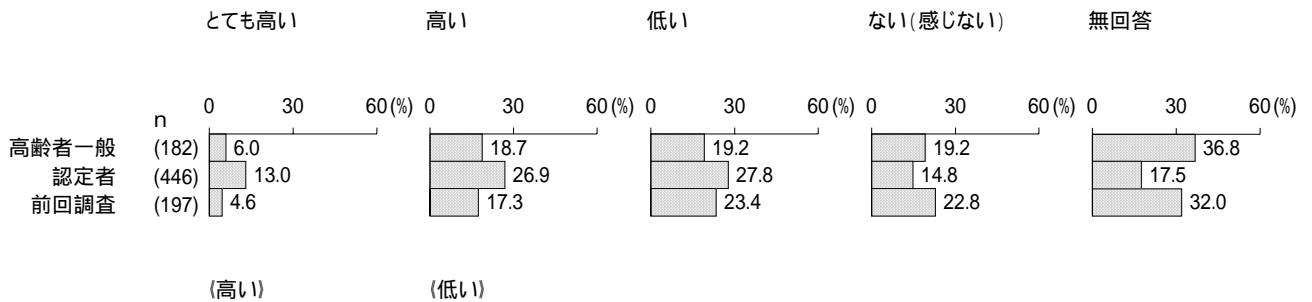
身体的負担感



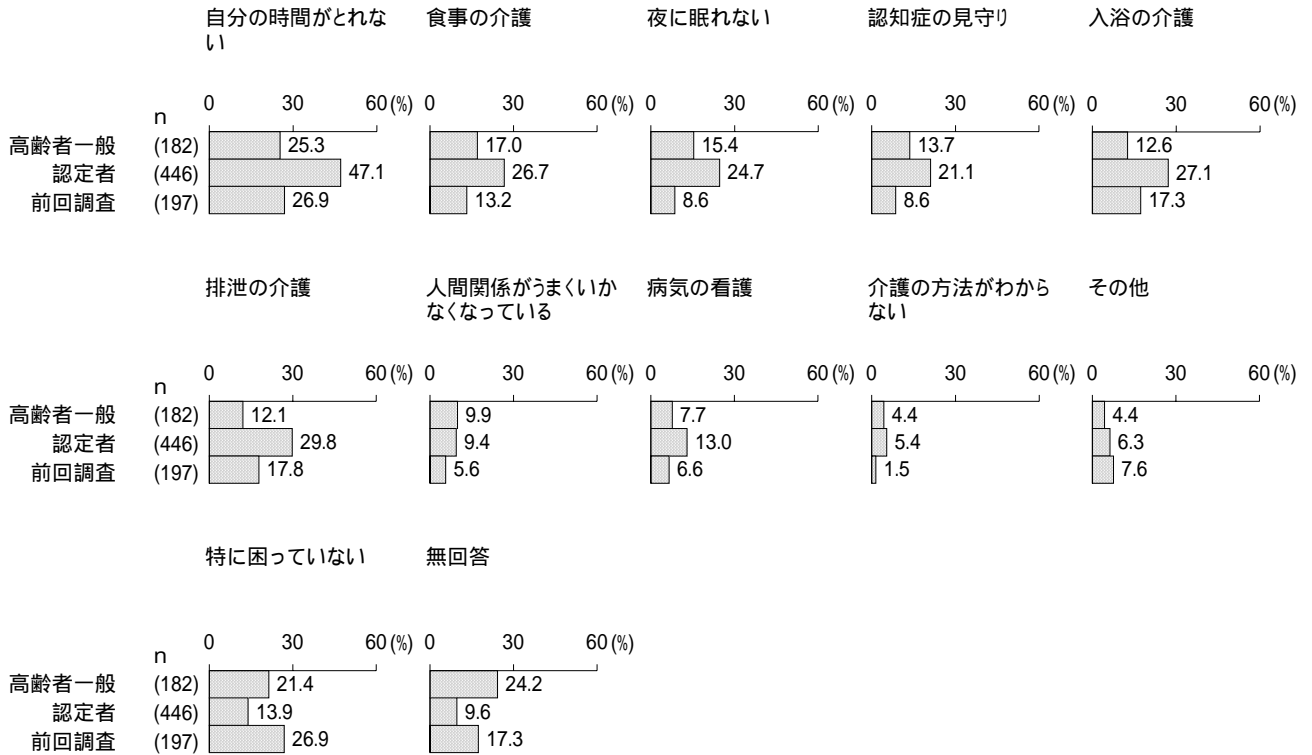
精神的負担感



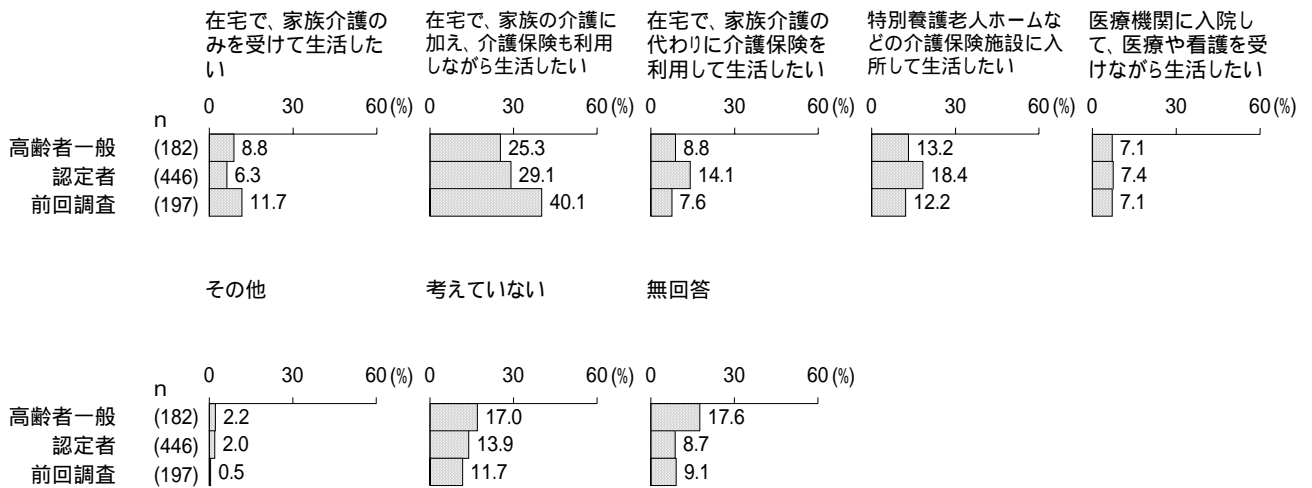
経済的負担感



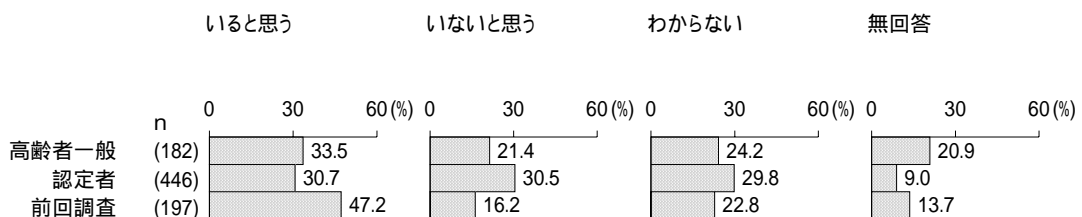
(12) 介護者が困っていること



(13) 介護者が自身に希望する介護形態



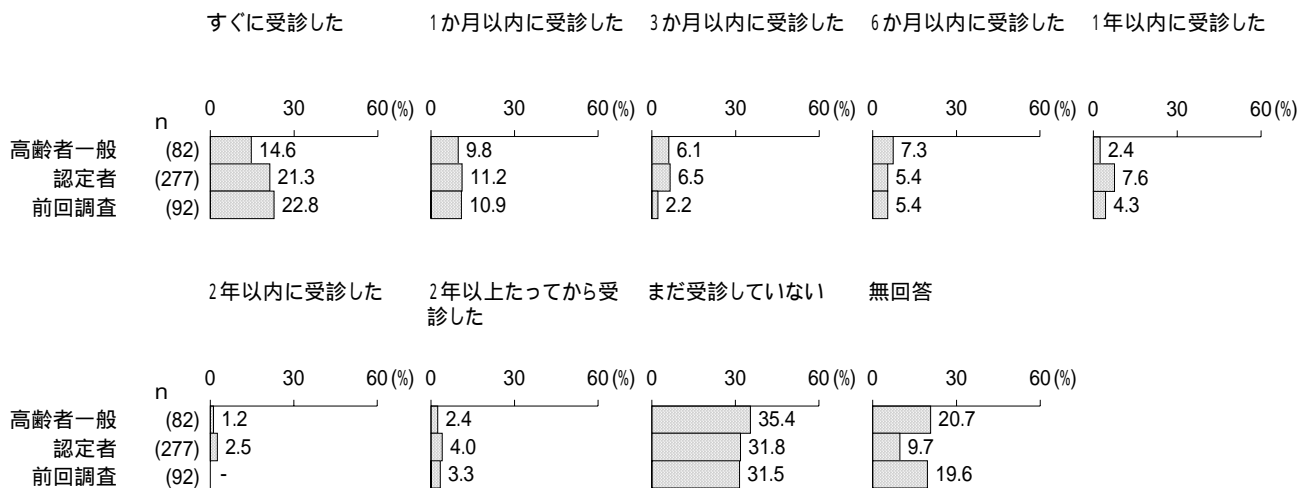
(14) 将来、介護者を介護してくれる人の有無



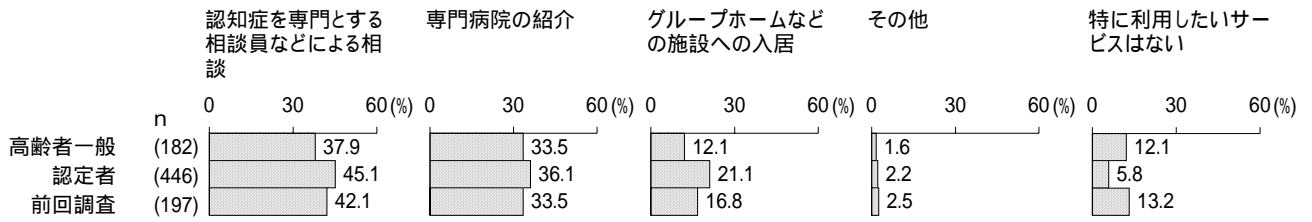
(15) 認知症の症状(上位15位)



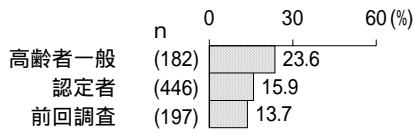
(16) 認知症を発症して受診するまでの期間



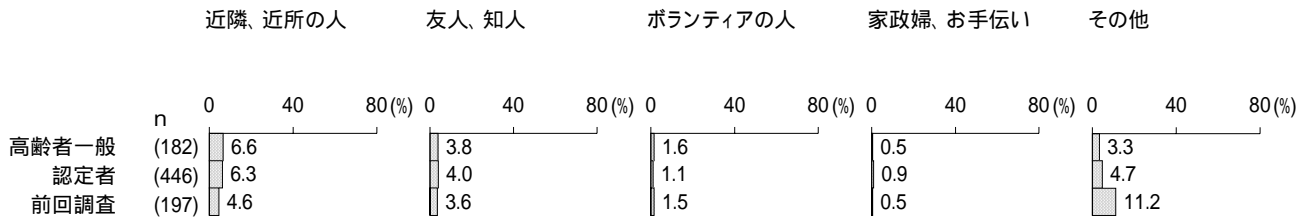
(17) 認知症に関して利用したいサービス



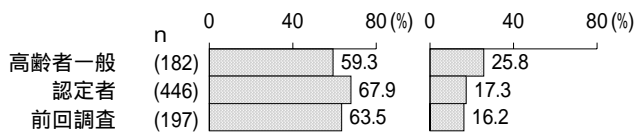
無回答



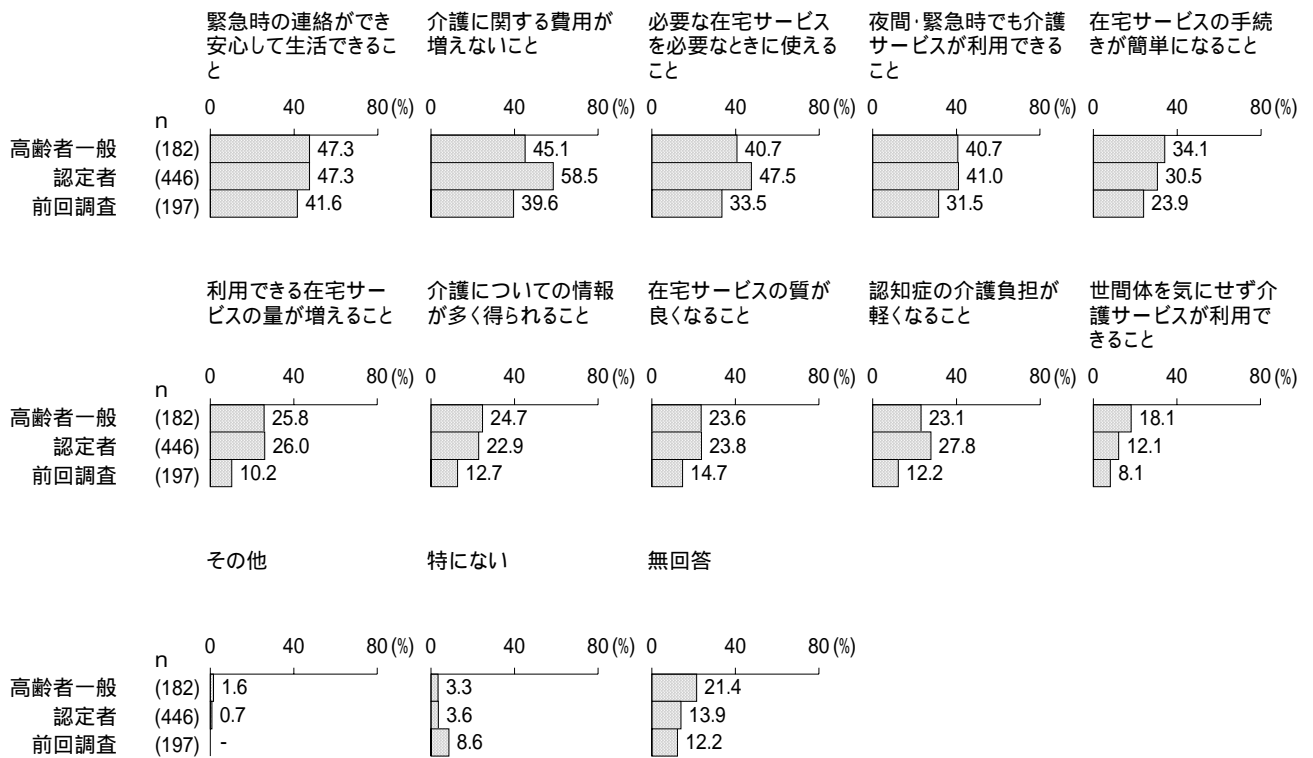
(18) 家族以外で介護者を手伝ってくれる人



手伝ってくれる人はいない 無回答



(19) 在宅生活を続けるために必要なこと



〔参考〕調査間比較・経年比較

青梅市 高齢者に関する調査報告書

2008年（平成20年）9月発行

- 【発行】 青梅市 健康福祉部 高齢介護課
〒198 - 8701 青梅市東青梅 1 - 11 - 1
☎ 0428 (22) 1111 (代表)
- 【集計】 (株)サーベイリサーチセンター
〒116 - 8581 荒川区西日暮里 2 - 40 - 10
☎ 03 (3802) 6711 (代表)